



CX410 シリーズ

ユーザーガイド

2014 年 3 月

www.lexmark.com

機種番号:

7527

機種:

415, 436

目次

安全情報.....	7
プリンタの詳細.....	9
プリンタの情報とその入手先.....	9
プリンタの設置場所を選択する.....	10
プリンタ構成.....	11
スキャナの基本機能の理解.....	12
自動原稿フィーダー(ADF)と原稿台ガラスの使用.....	13
プリンタコントロールパネルの理解.....	14
プリンタコントロールパネルを使用する.....	14
ホーム画面を理解する.....	14
スリープボタンとインジケータランプの色を理解する.....	16
タッチスクリーンのボタンを使用する.....	16
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する.....	18
コンピュータの IP アドレスを検索する.....	18
プリンタの IP アドレスを確認する.....	18
内蔵 Web サーバーにアクセスする.....	18
ホーム画面を理解する.....	19
各種アプリケーションを理解する.....	19
ホーム画面のアプリケーションを認証する.....	20
ホーム画面のアプリケーションに関する情報を見つける	20
用紙とお気に入りセットアップする	20
カードコピーを設定する	21
マイショートカットを使用する	21
マルチ送信をセットアップする	22
ネットワークへのスキャンをセットアップする	23
遠隔操作パネルの設定.....	23
構成をエクスポート/インポートする.....	24
追加のプリンタ設定.....	25
内部オプションを取り付ける.....	25
ハードウェアオプションを取り付ける.....	31
ケーブルを接続する.....	34
プリンタソフトウェアをセットアップする.....	35

ネットワーク.....	36
プリンタ設定を確認する.....	39
用紙と特殊用紙をセットする.....	41
用紙サイズとタイプを設定する.....	41
ユニバーサル用紙設定を構成する.....	41
250 または 550 枚トレイに用紙をセットする.....	41
手差しフィーダに用紙をセットする.....	44
650 枚デュオトレイに用紙をセットする.....	45
多目的フィーダに用紙をセットする.....	46
トレイのリンクおよびリンクを解除する.....	48
用紙および特殊用紙ガイド.....	51
特殊用紙を使用する.....	51
用紙ガイドライン.....	54
サポートされている用紙サイズ、タイプ、および重量.....	57
印刷.....	61
用紙を印刷する.....	61
ドキュメントを印刷する.....	61
フラッシュドライブまたはモバイルデバイスから印刷する.....	63
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する.....	65
情報ページを印刷する.....	67
印刷ジョブをキャンセルする.....	68
コピー.....	69
コピーを作成する.....	69
写真をコピーする.....	70
特殊用紙にコピー.....	70
プリンタコントロールパネルを使用してコピーショートカットを作成する.....	71
コピー設定のカスタマイズ.....	72
コピー情報.....	76
コピージョブをキャンセルする.....	77
コピーオプションの理解.....	78
E メールで送信する.....	82
プリンタを設定して E メールを送信する.....	82
E メールショートカットを作成する.....	82

ドキュメントを送信する.....	83
E メール設定のカスタマイズ.....	85
E メールをキャンセルする.....	86
E メールオプション.....	86
Fax.....	89
プリンタを設定して Fax を送信する.....	89
Fax を送信する.....	103
ショートカットを作成する.....	106
FAX 設定のカスタマイズ.....	107
送信 FAX のキャンセル.....	108
FAX の保留、転送.....	108
Fax オプション.....	109
スキャン.....	112
ネットワークへのスキャンを使用する.....	112
FTP アドレスにスキャンする.....	112
コンピュータまたはフラッシュドライブにスキャンする.....	114
スキャンオプション.....	116
プリンタのメニューを理解する.....	119
メニューリスト.....	119
消耗品メニュー.....	120
用紙メニュー.....	121
レポートメニュー.....	130
ネットワーク/ポート.....	131
セキュリティメニュー.....	139
設定メニュー.....	142
コストの削減と環境の保護.....	190
用紙とトナーの節約.....	190
省電力.....	191
リサイクル.....	195
プリンタを保護する.....	196
セキュリティロック機能を使用する.....	196
揮発性に関する記述.....	196
揮発性メモリのデータを消去する.....	197

揮発性メモリを消去する.....	197
プリンタハードディスクメモリを消去する.....	198
プリンタハードディスクの暗号化を設定する.....	198
プリンタセキュリティ情報を見つける.....	199
プリンタのメンテナンス.....	200
消耗品の保管.....	200
プリンタの清掃.....	200
部品と消耗品の状況を確認する.....	202
推定残りページ数.....	202
消耗品を注文する.....	202
消耗品を交換する.....	204
プリンタを移動する.....	224
プリンタを管理する.....	225
ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手.....	225
仮想ディスプレイを確認する.....	225
E メールアラートをセットアップする.....	225
レポートを表示する.....	226
内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する.....	226
コンフィデンシャル印刷設定を修正する.....	227
他のプリンタに設定をコピーする.....	227
初期状態のデフォルト設定を復元する.....	228
紙詰まりを取り除く.....	229
紙づまりを防ぐ.....	229
紙づまりメッセージと場所を理解する.....	230
[x]-ページ紙づまり、標準排紙トレイのつまりを取り除きます。[203.xx].....	232
[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開き、フューザーのつまりを取り除きます。[202.xx].....	235
[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開きます。[20y.xx].....	238
[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開き、両面印刷ユニットのつまりを取り除きます。[23y.xx].....	239
[x]-ページ紙づまり、トレイ [x]を開きます。[24y.xx].....	240
[x]-ページ紙づまり、手差しフィーダーのつまりを取り除きます。[251.xx].....	242
[x]-ページ紙づまり、多目的フィーダーのつまりを取り除きます。[250.xx].....	242
[x]-紙づまり、自動フィーダのトップカバーを開きます。[28y.xx].....	244

問題に対処する.....	246
プリンタメッセージを理解する.....	246
プリンタの問題を解決する.....	260
プリンタの問題を解決する.....	266
コピーの問題を解決する.....	293
Fax の問題を解決する.....	296
スキャナの問題を解決する.....	301
ホーム画面のアプリケーションの問題を解決する.....	305
EWS(内蔵 Web サーバー) が開かない.....	306
カスタマサポートに問い合わせる.....	307
通知.....	309
製品情報.....	309
版通知.....	309
電力消費量.....	313
索引.....	317

安全情報

電源コードは、本機の近くにあり容易にアクセスできる正しくアースしたコンセントに接続します。

本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **危険！ケガの恐れあり：**本製品はレーザーを使用しています。ここに記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

 **危険！表面は高温です：**プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

 **危険！ケガの恐れあり：**この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

 **危険！ケガの恐れあり：**プリンタの重量は 18 kg (40 lb) を超えています。安全に持ち上げるには、訓練を受けた人が 2 人以上必要です。

 **危険！ケガの恐れあり：**プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- プリンタを移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて外してください。
- プリンタを持ち上げてオプショントレイから外しわきへおきます。プリンタとトレイを動じに持ち上げないでください。

メモ：持ち上げるには、プリンタの両側面にある持ち手を使用します。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源ケーブルのみを使用してください。

この製品を公衆交換電話網へ接続する場合、この製品に付属する通信 (RJ-11) ケーブルまたは 26 AWG 以上の代替品のみを使用してください。

 **危険！感電の恐れあり：**プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタに他のデバイスを接続している場合はそれらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

 **危険！感電の恐れあり：**イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

 **危険！ケガの恐れあり：**電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

 **危険！感電の恐れあり：**感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

-  **危険！感電の恐れあり：**雷雨時には FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本機のセットアップや、FAX、電源コード、電話などの電氣的接続を行わないでください。
-  **危険！転倒の恐れあり：**床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。複数の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、FAX が可能な多機能プリンタ(MFP)を購入した場合、追加の備品が必要になる場合があります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。
-  **危険！ケガの恐れあり：**機器が不安定になる危険性を低減するために、トレイは個別にセットします。他のトレイはすべて、必要になるまで閉じておきます。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタの詳細

プリンタの情報とその入手先

必要な情報	入手先
初期セットアップ用のガイド： - プリンタを接続する - プリンタソフトウェアをインストールする	設定マニュアル - 設定マニュアルはプリンタに付属しています。また、 http://support.lexmark.com から入手することもできます。
詳細な設定とプリンタの使用手順： - 用紙と専用紙を選択および保管する - 用紙をセットする - プリンタ設定を設定する - 文書と写真を表示および印刷する - プリンタソフトウェアを設定および使用する - プリンタをネットワーク上に設定する - プリンタを手入れおよびメンテナンスする - トラブルシューティングと問題解決を行う	『ユーザーズガイド』および『クイックレファレンスガイド』 - これらのガイドは、『ソフトウェアおよび説明書類』CD に収録されています。 詳細については、 http://support.lexmark.com にアクセスしてください。
以下の手順： - プリンタをイーサネットネットワークに接続する - プリンタの接続に関する問題をトラブルシューティングする	『ネットワークガイド』 - 『ソフトウェアおよび説明書類』CD を開き、次の順に選択します。 マニュアル > ユーザーズガイドおよびその他の説明書類 > ネットワークガイド
プリンタソフトウェアを使用したヘルプ	Windows または Mac のヘルプ - プリンタソフトウェアのプログラムまたはアプリケーションを開いて、[ヘルプ]をクリックします。  をクリックして状況に即した情報を表示します。 メモ： - ヘルプは、プリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 - プリンタソフトウェアのある場所は、お使いのオペレーティングシステムによって、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップのどちらかになります。

必要な情報	入手先
最新の補足情報、更新、およびカスタマサポートは以下のとおりです。 • マニュアル • ドライバのダウンロード • ライブチャットによるサポート • E メールによるサポート • 音声サポート	Lexmark のサポート用 Web サイト - http://support.lexmark.com メモ: 国または地域を選択してから製品を選択し、該当するサポートサイトを表示してください。 お住まいの国または地域にあるサポート窓口の電話番号と受付時間は、サポート用 Web サイトかプリンタに付属の保証書に記載されています。 カスタマサポートへのお問い合わせの際には、迅速に対応させていただくため、領収書およびプリンタの背面に記載された以下の情報をメモしておいてください。 • マシントイプ番号 • シリアル番号 • 購入日 • 購入店
保証に関する情報	保証に関する情報は国または地域によって、次のように異なります。 • アメリカ合衆国内 - 本プリンタに付属する文書または http://support.lexmark.com を参照してください。 • その他の国および地域 - お使いのプリンタに付属する保証書を参照してください。

プリンタの設置場所を選択する

⚠ 危険！ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースがあることを確認します。オプションを取り付ける予定がある場合は、そのスペースも考慮します。以下の点が重要です。

- 正しく接地され、簡単にアクセスできるコンセントの近くにプリンタを設置します。
- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にします。
 - ホチキスや紙クリップを近くに置かないようにします。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにします。
 - 直射日光、極度の湿気を避けます。
- 推奨温度を守り、温度変化を避けます。

周辺温度	15.6 ~ 32.2°C (60 to 90°F)
保管温度	-40 ~ 43°C (-40 ~ 110°F)

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。

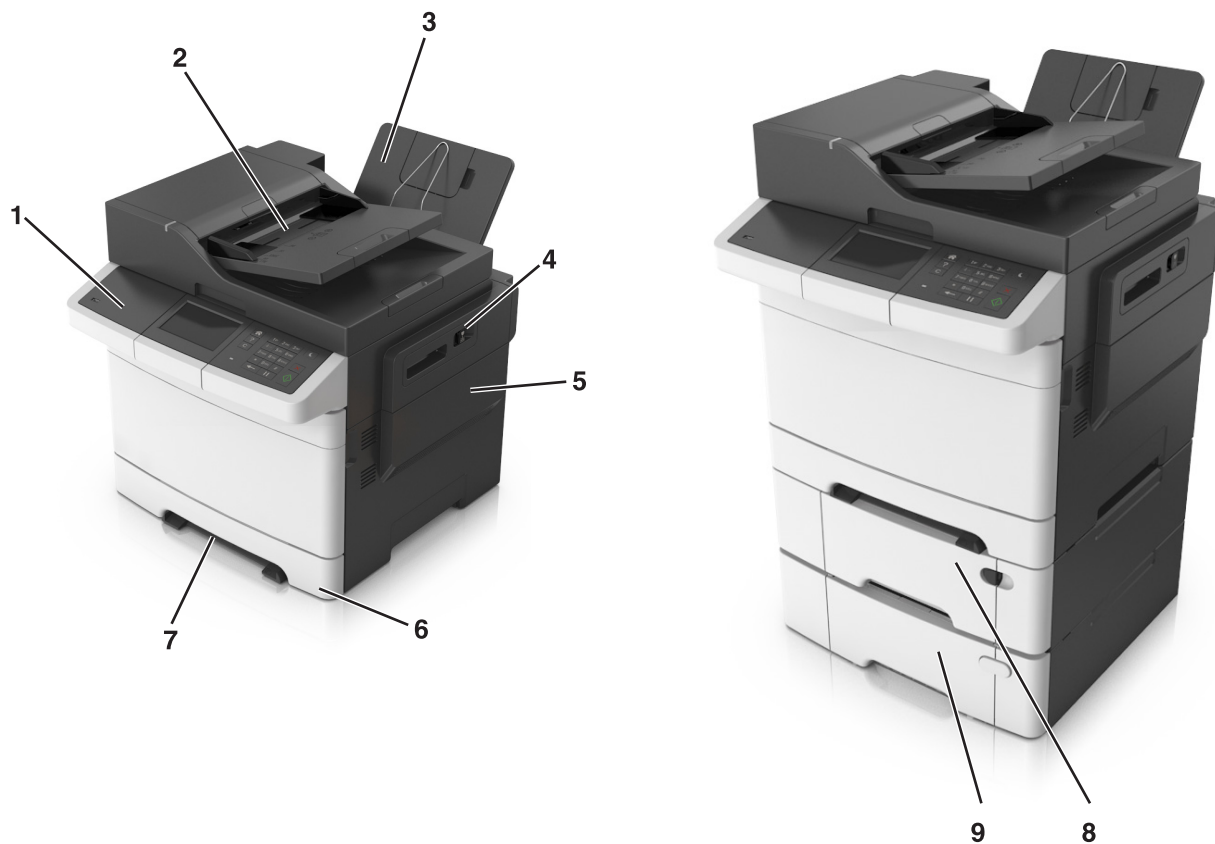


1	右側	304.8 mm (12 in.)
2	正面	508 mm (20 in.)
3	左側	76.2 mm (3 in.)
4	背面	101.6 mm (4 in.)
5	上部	291.7 mm (11.5 in.)

プリンタ構成

⚠ 危険！ 転倒の恐れあり： 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機 (MFP) を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

基本モデル



1	プリンタコントロールパネル
2	自動原稿フィーダー(ADF)
3	標準排紙トレイ
4	上部ドアラッチ
5	右側カバー
6	標準 250 枚トレイ(トレイ 1)
7	手差しフィーダー
8	統合多目的フィーダー付きのオプションの 650 枚デュオトレイ(トレイ 2)
9	オプション 550 枚トレイ(トレイ 3)

スキャナの基本機能の理解

- そのままコピー(クイックコピー)する、またはプリンタの設定を変更して、特定のコピージョブを実行する。
- プリンタコントロールパネルを使用して Fax を送信する
- 同時に複数の FAX 送信先に FAX を送信する。
- 原稿をスキャンして、お使いのコンピュータ、E メールアドレス、FTP サーバーなどに送信する。
- 原稿をスキャンして、別のプリンタに送信する(PDF 形式で FTP 経由)。

自動原稿フィーダー(ADF) と原稿台ガラスの使用

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

ADF を使用する

ADF を使用する方法

- 短辺を上にして原稿を ADF トレイにセットします。
- ADF トレイには、最大 50 枚の普通紙をセットできます。
- スキャンサイズ 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ) 幅～216 x 355 mm (8.5 x 14 インチ)
- 重さ 52～120 g/m² (14 ～ 32 ポンド) の用紙をスキャンできます。
- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

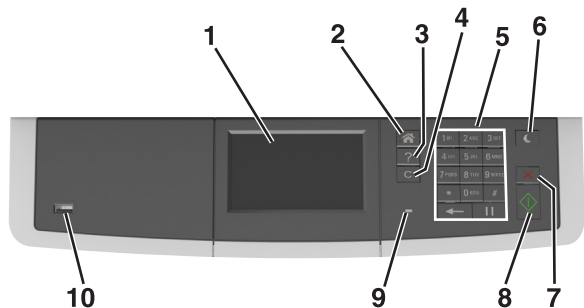
原稿台ガラスを使用

原稿台ガラスを使用する方法

- スキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上隅(緑色の矢印)にセットします。
- 216 x 296.9 mm (8.5 x 11.69 インチ) の寸法で、原稿をスキャンまたはコピーします。
- コピーできる書籍の厚さは、12.7 mm (0.5 インチ) までです。

プリンタコントロールパネルの理解

プリンタコントロールパネルを使用する

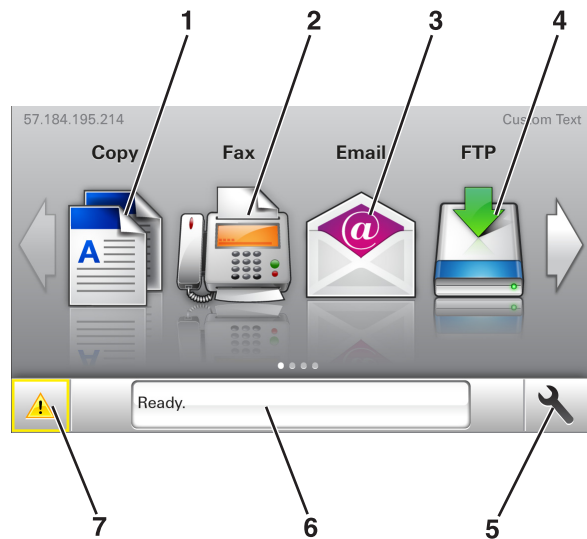


	項目	目的
1	表示	- プリンタの状況とメッセージを表示します。 - プリンタを設定して操作します。
2	[ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3	[ヘルプ]ボタン	ヘルプメニューに移動します。
4	[すべてクリア/リセット]ボタン	印刷、コピー、Eメール送信などの機能のデフォルト設定をリセットします。
5	キーパッド	数字、文字、記号を入力します。
6	[スリープ]ボタン	スリープモードまたはハイバネートモードを有効にします。
7	[キャンセル]ボタン	すべてのプリンタの動作をキャンセルします。
8	[スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
9	インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。
10	USB ポート	フラッシュドライブをプリンタに接続します。 メモ: 正面の USB ポートのみがフラッシュドライブをサポートします。

ホーム画面を理解する

プリンタの電源を入れると、ホーム画面という基本画面が表示されます。ホーム画面のボタンとアイコンを使用すると、コピー、Fax、スキャンなどのアクションを開始したり、メニュー画面を開いたり、メッセージに応答したりできます。

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ		目的
1	コピー	コピーメニューを表示し、コピーを作成します。
2	Fax	Fax メニューを表示し、Fax を送信します。
3	E メール	E メールメニューを表示し、E メールを送信します。
4	FTP	ファイル転送プロトコル(FTP)メニューを表示し、原稿を直接 FTP サーバーにスキャンします。
5	メニューアイコン	プリンタのメニューを表示します。 メモ: メニューは、プリンタが準備完了状態の場合にのみ使用できます。
6	状況メッセージバー	• [準備完了]や[取り込み中]など、現在のプリンタの状況を示します。 • [イメージングユニット残り僅か]または[カートリッジ残り僅か]など、プリンタ用消耗品の状態を示します。 • ユーザー操作メッセージと解決手順を示します。
7	状況/消耗品	• プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 • プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。

これはホーム画面に表示される場合もあります。

タッチ	目的
保持されたジョブ検索	現在保持されたジョブを検索します。
ユーザー別ジョブ	ユーザーによって保存された印刷ジョブを表示します。
プロファイルとソリューション	プロファイルとソリューションを表示します。

機能

機能	説明
注意メッセージ通知 	機能と関連がある注意メッセージの場合、このアイコンが表示され、赤色のインジケータランプが点滅します。

機能	説明
警告 	エラー状況が発生した場合、このアイコンが表示されます。
プリンタの IP アドレス 例: 123.123.123.123	プリンタの IP アドレスはホーム画面の左上端にあり、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。物理的にプリンタの近くにいないときに、内蔵 Web サーバーにアクセスし、プリンタ設定の表示やリモート構成を行う場合には、IP アドレスを使用できます。

スリープボタンとインジケータランプの色を理解する

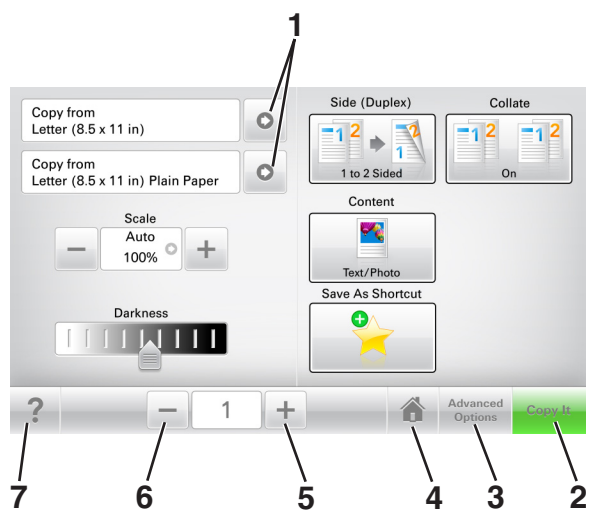
プリンタコントロールパネルの[スリープ]ボタンとインジケータランプの色は、特定のプリンタの状態または状況を示します。

インジケータランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフかハイバネートモードです。
緑色で点滅	プリンタはウォーミングアップ中、データの処理中、印刷中のいずれかです。
緑色で点灯	プリンタはオンですが、アイドル状態です。
赤色で点滅	プリンタへのユーザー操作が必要です。

スリープボタンランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフか[準備完了]状態です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタはハイバネートモードに入っているか、ハイバネートモードから復帰しています。
0.1 秒間黄色で点滅した後、低速のパルスパターンで 1.9 秒間完全にオフになる	プリンタはハイバネートモードです。

タッチスクリーンのボタンを使用する

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面、アイコン、およびボタンが異なって表示される場合があります。



	タッチ	目的
1	矢印	オプションのリストを表示します。
2	コピー	コピーを印刷します。
3	詳細オプション	コピーオプションを選択します。
4	ホーム	ホーム画面に移動します。
5	加算	さらに大きい値を選択します。
6	減算	さらに小さい値を選択します。
7	ヒント	タッチスクリーンで、状況に応じたヘルプのダイアログを開きます。

その他のタッチスクリーンのボタン

タッチ	目的
承諾 	設定を保存します。
キャンセル 	- 操作や選択をキャンセルします。 - 画面を終了して、変更内容を保存せずに、元の画面に戻ります。
リセット 	画面の値をリセットします。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

メモ:

- ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。一部のプリンタモデルでのみサポートされているアプリケーションがあります。
- 追加のソリューションおよびアプリケーションをご購入いただける場合もあります。詳細については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

コンピュータの IP アドレスを検索する

Windows の場合

- 1 [ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスで、「cmd」と入力してコマンドプロンプトを開きます。
- 2 「ipconfig」と入力して IP アドレスを探します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]から、[ネットワーク]を選択します。
- 2 お使いの接続の種類を選択し、[詳細] > [TCP/IP]の順にクリックします。
- 3 IP アドレスを探します。

プリンタの IP アドレスを確認する

メモ: お使いのプリンタがネットワークまたはプリントサーバに接続していることを確認します。

プリンタの IP アドレスは、以下の部分で確認できます。

- プリンタのホーム画面の左上端
- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

内蔵 Web サーバーにアクセスする

内蔵 Web サーバーはプリンタの Web ページであり、物理的にプリンタの近くにいないときに、プリンタ設定の表示やリモート構成ができます。

- 1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。
 - プリンタコントロールパネルのホーム画面
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション

- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

3 Enter キーを押します。

メモ: プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

ホーム画面を理解する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 次の手順を 1 つ以上実行します。

- 基本プリンタ機能のアイコンを表示または非表示にします。
 - a [設定] > [一般設定] > [ホーム画面のカスタマイズ]をクリックします。
 - b チェックボックスを選択し、ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

メモ: アイコンの横のチェックボックスをオフにした場合は、アイコンがホーム画面に表示されません。

- [送信]をクリックします。
- アプリケーションのアイコンをカスタマイズします。詳細については、[20 ページの「ホーム画面のアプリケーションに関する情報を見つける」](#)またはアプリケーション付属のマニュアルを参照してください。

各種アプリケーションを理解する

使用	目的
カードコピー	カードの両面をスキャンして、1 ページに印刷します。詳細については、 21 ページの「カードコピーを設定する」 を参照してください。
FAX	原稿をスキャンして、FAX 番号に送信します。詳細については、 89 ページの「Fax」 を参照してください。
用紙とお気に入り	直接プリンタのホーム画面から、頻繁に使用するオンラインフォームをすばやく検索して印刷できます。詳細については、 20 ページの「用紙とお気に入りをセットアップする」 を参照してください。
マルチ 送信	原稿をスキャンし、複数の場所に転送します。詳細については、 22 ページの「マルチ送信をセットアップする」 を参照してください。
個人ショートカット	プリンタのホーム画面に直接ショートカットを作成します。詳細については、 21 ページの「マイショートカットを使用する」 を参照してください。
E メールヘスキャン	原稿をスキャンして、E メールアドレスに送信します。詳細については、 82 ページの「E メールで送信する」 を参照してください。
コンピュータヘスキャン	原稿をスキャンし、ホストコンピュータ上の定義済みフォルダに保存します。詳細については、 115 ページの「パソコンへの保存を設定する」 を参照してください。
FTP ヘスキャン	原稿を直接ファイル転送プロトコル(FTP)サーバーにスキャンします。詳細については、 112 ページの「FTP アドレスにスキャンする」 を参照してください。
ネットワークへのスキャン	原稿をスキャンして、共有ネットワークフォルダに転送します。詳細については、 23 ページの「ネットワークへのスキャンをセットアップする」 を参照してください。

ホーム画面のアプリケーションを認証する

ホーム画面のアプリケーションに関する情報を見つける

プリンタにはホーム画面のアプリケーションがプリインストールされています。これらのアプリケーションを使用する前に、まず、内蔵 Web サーバーを使用して、これらのアプリケーションを認証してセットアップする必要があります。内蔵 Web サーバーへのアクセスの詳細については、[18 ページの「内蔵 Web サーバーにアクセスする」](#)を参照してください。

ホーム画面のアプリケーションの設定と使用の詳細を確認するには、次の手順を実行します。

- 1 <http://support.lexmark.com> に移動します。
- 2 [ソフトウェアソリューション]をクリックし、次のいずれかを実行します。
 - ネットワークへのスキャン ネットワークへのスキャン アプリケーションの詳細を確認できます。
 - その他のアプリケーション その他のアプリケーションの詳細を確認できます。
- 3 [マニュアル]タブをクリックし、ホーム画面のアプリケーションのマニュアルを選択します。

用紙とお気に入りセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	頻繁に使用されるオンライン用紙を直接プリンタのホーム画面からすばやく検索して印刷できるため、作業プロセスが合理化されます。 メモ: ブックマークの保存先であるネットワークフォルダ、FTP サイト、および Web サイトへのアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。ブックマークを保存したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも読み取りアクセス権をプリンタに付与します。ヘルプについては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- 2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [用紙とお気に入り]をクリックします。
- 3 [追加]をクリックして、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- ブックマークの場所の設定が正しいことを確認するには、ブックマークがあるホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、[18 ページの「コンピュータの IP アドレスを検索する」](#)を参照してください。
- ブックマークがあるフォルダへのアクセス権がプリンタに割り当てられていることを確認します。

- 4 [適用]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **用紙とお気に入り** をタッチして、フォームカテゴリ内でフォームを選択するか、フォームの番号、名前、説明に基づいてフォームを検索します。

カードコピーを設定する

メモ: 比較的新しいバージョンの『操作ガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接のリンクが記載されていることがあります。『操作ガイド』の更新がないどうかを確認するには、以下のサイトで定期的に更新を確認してください。<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

設定	終了:
	保険証、ID、その他のお財布サイズのカードをすばやく簡単にコピーします。 カードの両面を 1 ページにスキャンおよび印刷できるため、用紙を節約でき、より便利な方法でカードの情報を表示できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面で、プリンタの IP アドレスを表示します。IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 4 つの数字の並びで表されます。

2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [カードコピー] の順にクリックします。

3 必要に応じて、デフォルトのスキャンオプションを変更します。

- [標準設定のカセット] - スキャン画像を印刷するために使用する標準設定のカセットを選択します。
- [標準部数] - アプリケーションを使用するときの自動印刷部数を指定します。
- [標準コントラスト] - スキャンしたカードのコピーを印刷するときのコントラストのレベルを上げたり下げたりする設定を指定します。プリンタでコントラストを自動的に調整する場合は、[内容に最適] を選択します。
- [標準コピー倍率] - 印刷するときのスキャンしたカードのサイズを設定します。標準設定は 100 % (フルサイズ) です。
- [カラー出力] - チェックボックスをオンにしてスキャンしたカードをカラーで印刷するか、オフにしてモノクロでスキャンします。
- [解像度設定] - スキャンしたカードの品質を調整します。

メモ:

- カードをスキャンする場合は、スキャン解像度がカラーで 200 dpi 以下、モノクロで 400 dpi 以下であることを確認してください。
- 複数のカードをスキャンする場合は、スキャン解像度がカラーで 150 dpi 以下、モノクロで 300 dpi 以下であることを確認してください。

- [枠を印刷] - チェックボックスをオンにして、スキャン画像を周りに枠を付けて印刷します。

4 [適用] をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で [カードコピー] にタッチし、指示に従います。

マイショートカットを使用する

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	最大 25 の頻繁に使用するコピー、Fax、または E メールジョブ用に、プリンタの[ホーム]画面でショートカットを作成します。

アプリケーションを使用するには[マイショートカット]をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

マルチ送信をセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	文書をスキャンし、スキャンされた文書を複数の宛先に送信します。 メモ: プリンタハードディスクに十分な領域があることを確認してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。プリンタの IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [マルチ送信] をクリックします。

3 [プロファイル] セクションから、[追加] をクリックし、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- [FTP] または [共有フォルダ] を宛先として選択する場合は、宛先の場所設定が正しいことを確認してください。指定された送信先が存在するホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、[18 ページの「コンピュータの IP アドレスを検索する」](#) を参照してください。

4 [適用] をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で [マルチ送信] をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

ネットワークへのスキャンをセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	ハードコピーの原稿をスキャンして、共有のネットワークフォルダに転送できます。最大 30 個の一意のフォルダを転送先として定義できます。 メモ: - 転送先への書き込みアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。転送先を指定したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも書き込みアクセス権をプリンタに付与します。ヘルプについては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。 [ネットワークへのスキャン]アイコンが表示されるのは、1 つ以上の転送先が定義されている場合に限定されます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 次のいずれかを実行します。

- [ネットワークへのスキャンをセットアップ]をクリック > [ここをクリック](#)。
- [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [ネットワークへのスキャン]をクリックします。

3 転送先を指定して、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- 宛先の場所の設定が正しいことを確認するには、宛先があるホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、[18 ページの「コンピュータの IP アドレスを検索する」](#)を参照してください。
- 指定された宛先のフォルダへのアクセス権がプリンタに割り当てられていることを確認します。

4 [適用]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **ネットワークへのスキャン**をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

遠隔操作パネルの設定

このアプリケーションでは、物理的にネットワークプリンタの近くにいない場合でも、プリンタコントロールパネルを操作できます。コンピュータから、プリンタの状況確認、保留印刷ジョブのリリース、ブックマーク作成などの、印刷関連タスクを実行できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [設定] > [リモート操作パネル設定]をクリックします。

3 [有効化]チェックボックスを選択し、設定をカスタマイズします。

4 [送信]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、[遠隔操作パネル] > [VNC アプレットを起動]をクリックします。

構成をエクスポート/インポートする

構成設定をテキストファイルにエクスポートして、そのテキストファイルをインポートすることで、設定を別のプリンタに適用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 1 つのアプリケーションで設定をエクスポートまたはインポートするには、次の手順を実行します。

a [設定] > [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。

b [インストール済みアプリケーション]のリストから、構成するアプリケーションの名前をクリックします。

c [設定]をクリックし、次のいずれかを実行します。

- 構成をファイルにエクスポートするには、[エクスポート]をクリックしてから、コンピュータ画面の指示に従い、設定ファイルを保存します。

メモ:

- 設定ファイルを保存するときには、一意のファイル名を入力するか、デフォルトの名前を使用します。
- 「JVM メモリ不足」エラーが発生した場合は、設定ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。
- ファイルから設定をインポートするには、[インポート]をクリックしてから、以前に構成されたプリンタからエクスポートした保存済み設定ファイルを参照します。

メモ:

- 設定ファイルをインポートする前に、最初にプレビューするか、直接読み込むかを選択できます。
- タイムアウトが発生し、ブランクの画面が表示される場合は、Web ブラウザを更新し、[適用]をクリックします。

3 複数のアプリケーションで設定をエクスポートまたはインポートするには、次の手順を実行します。

a [設定] > [読み込み/書き出し]の順にクリックします。

b 次のいずれかを実行します。

- 設定ファイルをエクスポートするには、[Embedded Solutions 設定ファイルの書き出し]をクリックしてから、コンピュータ画面の指示に従い、設定ファイルを保存します。
- 設定ファイルをインポートするには、次の手順を実行します。
 - [Embedded Solutions 設定ファイルの読み込み] > [ファイルの選択]をクリックしてから、以前に構成されたプリンタからエクスポートした保存済み構成ファイルを参照します。
 - [送信]をクリックします。

追加のプリンタ設定

内部オプションを取り付ける

 **危険！感電の恐れあり：**プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告！破損の恐れあり：コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分を触ります。

使用可能な内蔵オプション

- メモリカード
 - DDR3 DIMM
- フラッシュメモリ
 - フォント
 - ファームウェア
 - 用紙とバーコード
 - 規定
 - IPDS

メモ：プリンタハードディスクはオプションのメモリデバイスであり、プリンタの背面 USB ポートに接続できます。

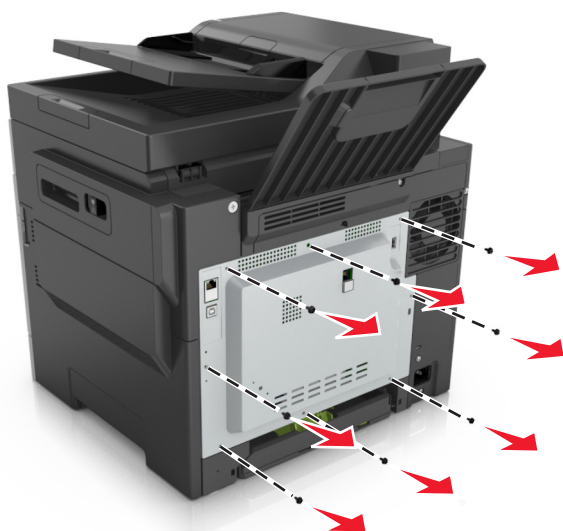
コントローラボードにアクセスする

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

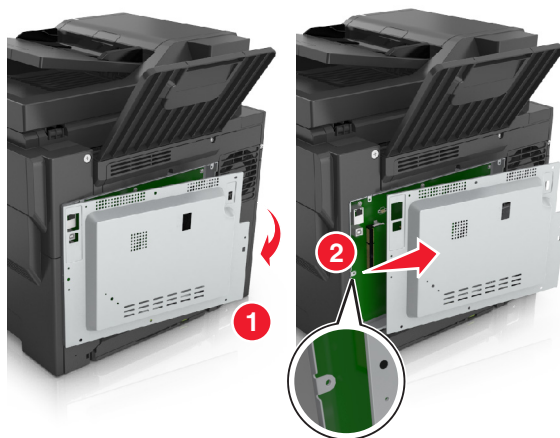
- 1 プリンタ背面のコントローラボードにアクセスします。

メモ： この作業には、マイナスドライバが必要です。

- 2 ネジを反時計回りに回して取り外します。



- 3 コントローラボードアクセスドアカバーを少し開き、右に動かして取り外します。



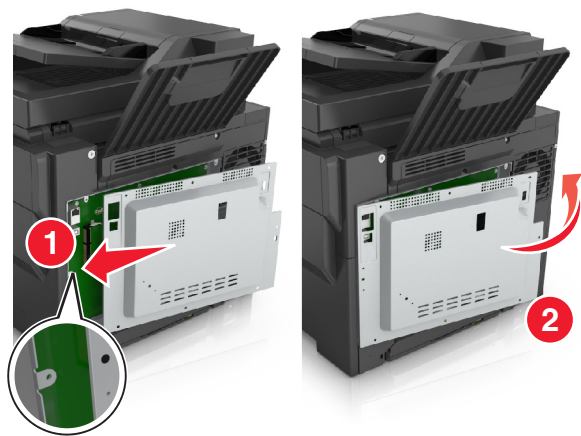
- 4 コントローラボードで該当するコネクタを見つけます。

警告！破損の恐れあり： コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分を触ります。

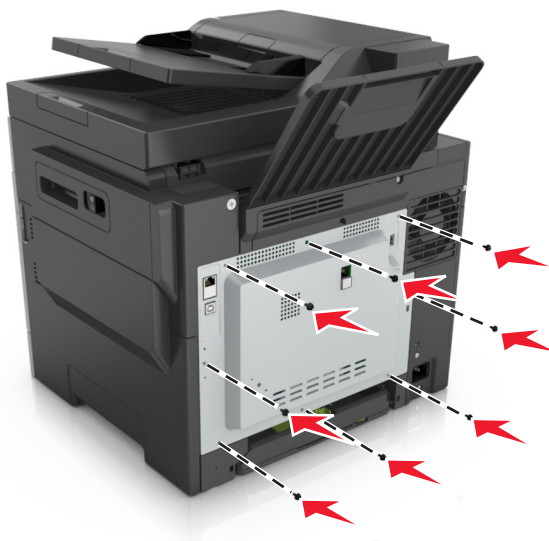


1	メモ리카ードコネクタ
2	オプションカードコネクタ

5 カバーを取り付けます。



- 6 ネジを時計方向に回し、カバーをロックします。



メモ리카ードを取り付ける

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

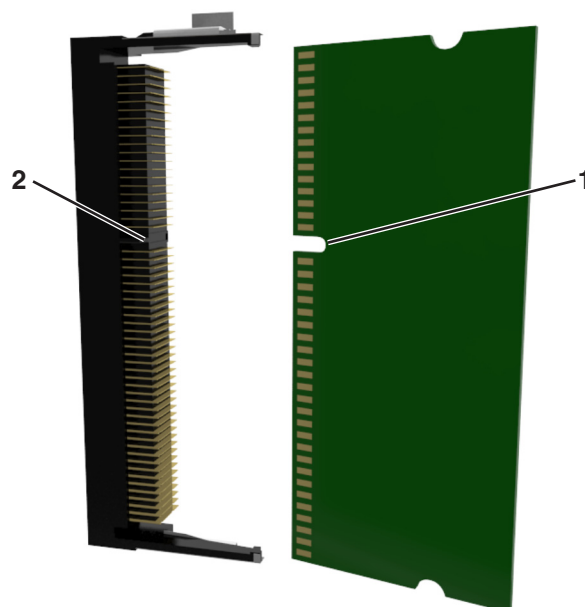
- 1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、[26 ページの「コントローラボードにアクセスする」](#)を参照してください。

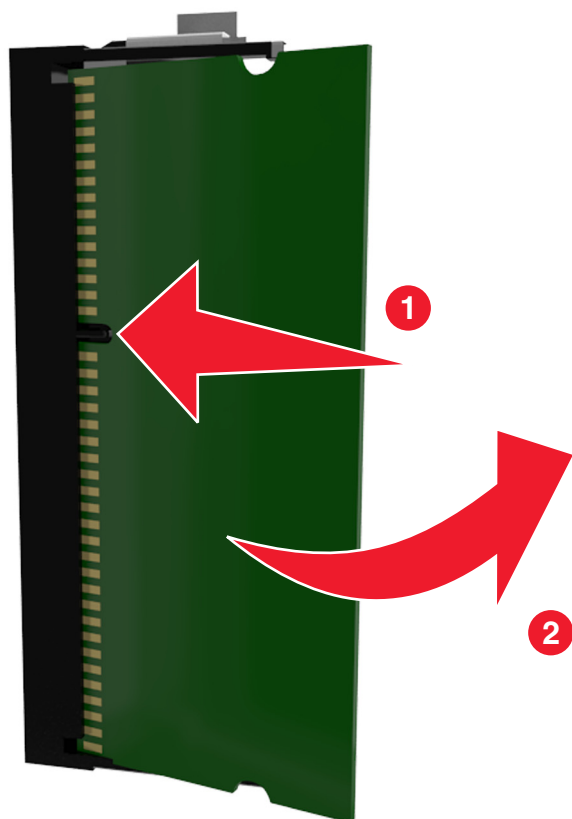
- 2 メモ리카ードを開梱します。

警告！破損の恐れあり： カードの端に沿った接点に触れないでください。損傷の原因となる可能性があります。

3 メモリカードの切り欠き部分 (1) をコネクタの突起 (2) に合わせます。



4 メモリカードをコネクタに真っすぐ押し入れ、所定の場所でカチッと音がするまで、コントローラボード壁の方に押しします。



5 コントローラボードのアクセスカバーを閉じます。

オプションカードを取り付ける

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタに他のデバイスを接続している場合はそれらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり： コントローラボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面に触れてください。

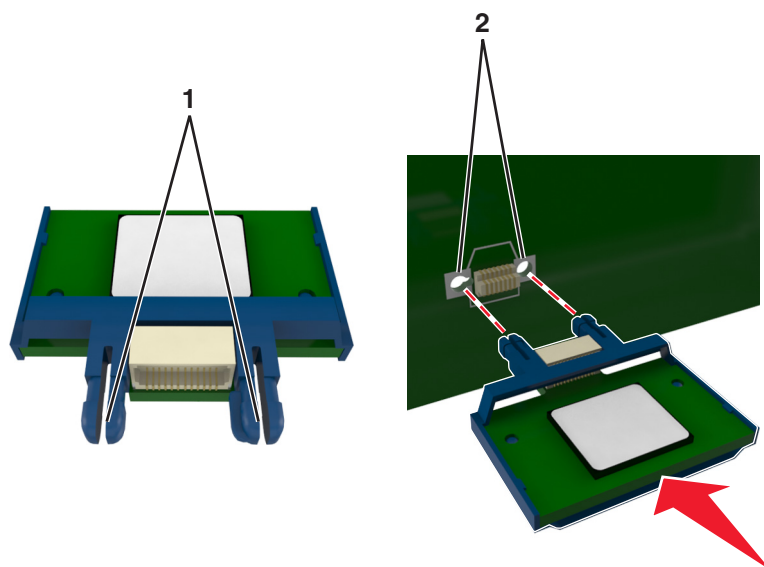
1 コントローラボードにアクセスします。

(⇒ [26 ページの「コントローラボードにアクセスする」](#))

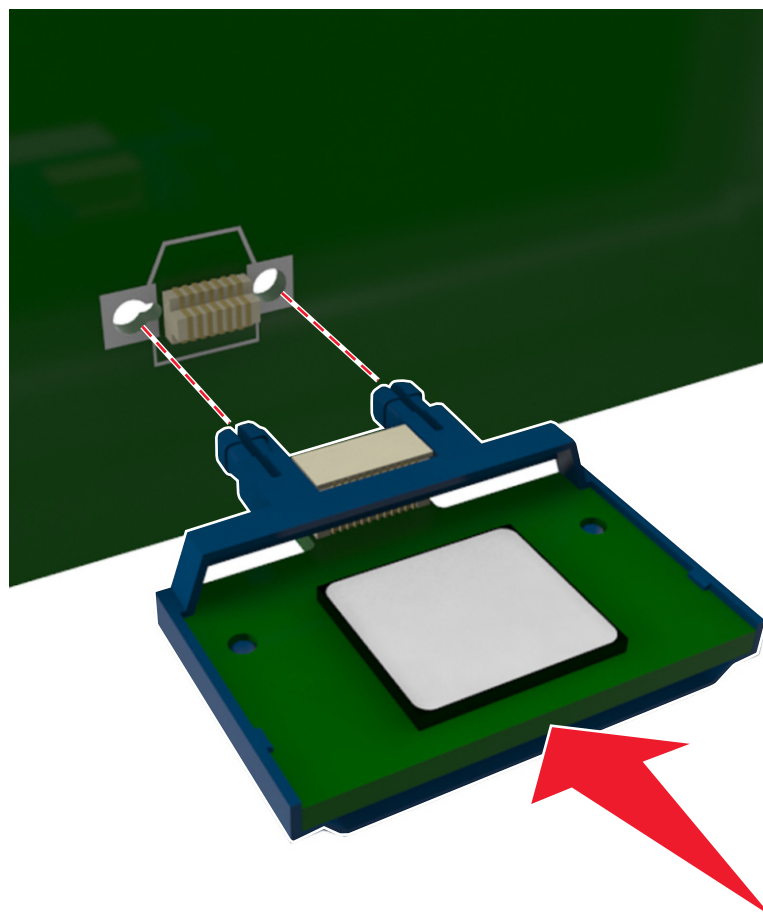
2 オプションカードを梱包から取り出します。

警告！破損の恐れあり： カードの端にある接点には触れないでください。

3 カードの側面を持ち、カードのプラスチックピン(1)をコントローラボードの穴(2)に合わせます。



4 図に示すようにして、カードをしっかり押し込みます。



警告！破損の恐れあり：カードを正しく挿入しないと、カードやコントローラボードを破損する恐れがあります。

メモ：カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

5 コントローラボードのアクセスドアを閉じます。

メモ：プリンタソフトウェアとハードウェアオプションをインストールした場合、印刷ジョブでできるようにするためにプリンタドライバのオプションを手動で追加しなければならない場合があります。(⇒ [35 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」](#))

ハードウェアオプションを取り付ける

取り付け順序

⚠ 危険！ケガの恐れあり：プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

次の順序で、プリンタとオプショントレイを取り付けます。

- オプション 550 枚トレイ(トレイ 3)
- 統合多目的フィーダー付きのオプションの 650 枚デュオトレイ(トレイ 2)
- プリンタ

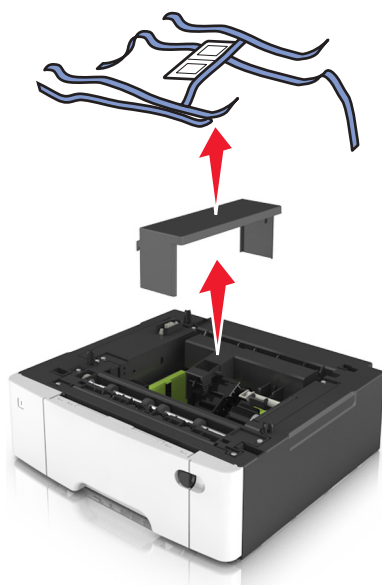
オプショントレイを取り付ける

プリンタでは、550 枚トレイ(トレイ 3)と統合多目的フィーダーを備えた 650 枚デュオトレイ(トレイ 2)の 2 つのオプション給紙源がサポートされています。

⚠ 危険！ケガの恐れあり： プリンタの重量は 18 kg(40 ポンド)以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

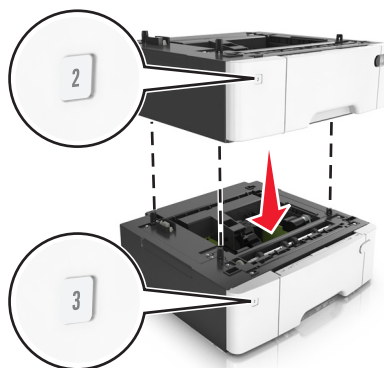
- 1 オプショントレイと防塵カバーを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。



- 2 トレイをプリンタの近くに置きます。
- 3 650 枚デュオトレイを 550 枚トレイに合わせ、下げて配置します。

メモ：

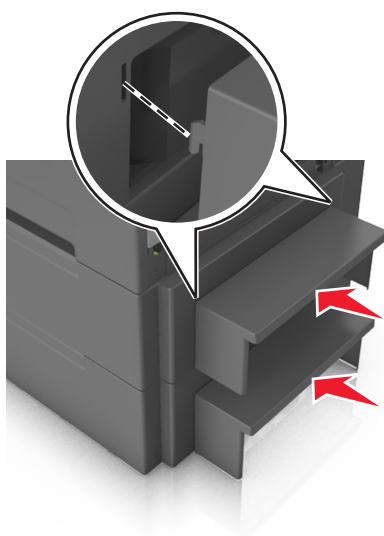
- 両方のオプショントレイを取り付けている場合は、550 枚トレイ(トレイ 3)が必ず 650 枚トレイ(トレイ 2)の下でなければなりません。
- 標準の 250 枚トレイには、オプショントレイと同梱のトレイ番号ラベルを使用して、トレイ 1 というラベルを付けることができます。



4 プリンタを 650 枚デュオトレイに合わせ、プリンタを下げます。



5 防塵カバーを取り付けます。



メモ: プリンタソフトウェアとハードウェアオプションがインストールされたとき、プリンタドライバのオプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにしなければならない場合があります。詳細については、[35 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)を参照してください。

ケーブルを接続する

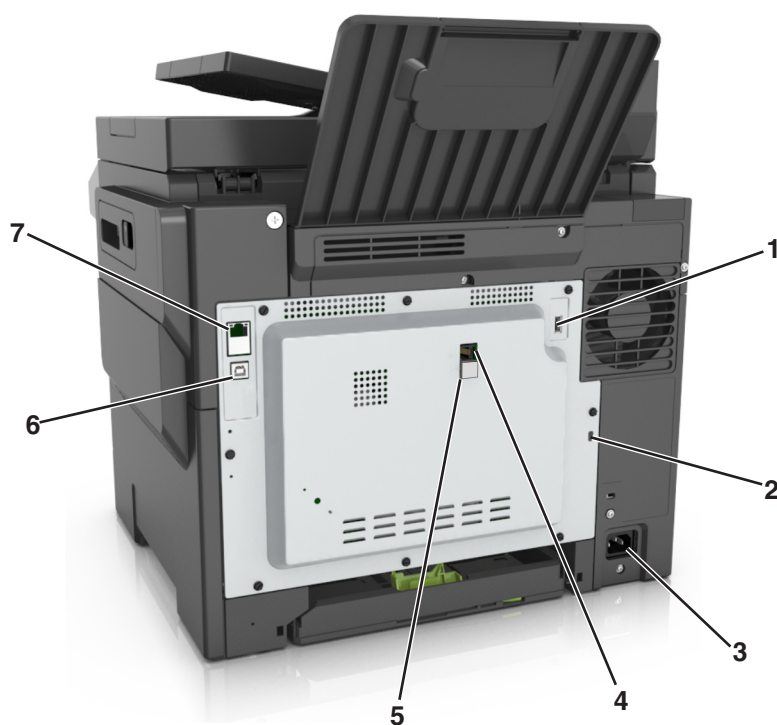
⚠ 危険！ケガの恐れあり: 雷雨時には、FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本製品のセットアップや、FAX、電源コード、電話など、電氣的な接続を行わないでください。

USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続するか、イーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。

以下のものが一致していることを確認します。

- ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク
- 該当するイーサネットケーブルとイーサネットポート

警告！破損の恐れあり: 印刷中は、図示している USB ケーブル、ネットワークアダプタ、およびプリンタ本体に触れないでください。データの損失や誤動作が発生する可能性があります。



	項目	目的
1	背面 USB ポート	オプションのワイヤレスネットワークアダプタまたはオプションのプリンタハードディスクを接続できます。
2	セキュリティロックポート	コントローラボードをロックします。
3	プリンタの電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。

	項目	目的
4	LINE ポート	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。
5	EXT ポート	追加デバイス(電話または留守番電話)をプリンタおよび電話回線に接続します。プリンタ用の専用 Fax 回線がなく、この接続方法が国または地域でサポートされている場合には、このポートを使用します。 メモ: ポートにアクセスするには、アダプタプラグを取り外します。
6	USB プリンタポート	USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。
7	イーサネットポート	プリンタをイーサネットネットワークに接続します。

プリンタソフトウェアをセットアップする

プリンタを取り付ける

- 1 ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。
- 2 インストーラを実行して、コンピュータ画面の手順に従います。
- 3 Macintosh ユーザーの場合は、プリンタを追加します。

メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションからプリンタの IP アドレスを取得します。

プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

- 1 プリンタのフォルダを開いてお使いのプリンタを選択します。
- 2 プリンタのプロパティを開いて、オプションを追加するか手動でインストールします。
- 3 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ] > [ドライバ]の順に選択します。
- 2 インストールされているハードウェアオプションを追加します。
- 3 変更を適用します。

ネットワーク

メモ:

- まず、ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する前に、MarkNet™ N8352 ワイヤレスネットワークアダプタを購入します。ワイヤレスネットワークアダプタのインストールについては、アダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- SSID (Service Set Identifier) は、ワイヤレスネットワークに割り当てられた名前です。WEP (Wired Equivalent Privacy)、WPA (Wi-Fi Protected Access)、WPA2、802.1X - RADIUS は、ネットワーク上で使用されるセキュリティの種類です。

プリンタをイーサネットネットワーク上にセットアップする準備をする

イーサネットネットワーク接続用にプリンタを設定するには、開始前に以下の情報をまとめておいてください。

メモ: コンピュータとプリンタの IP アドレスが自動で割り当てられる場合は、プリンタのインストールを続けてください。

- プリンタがネットワークで使用する有効で固有の IP アドレス
- ネットワークゲートウェイ
- ネットワークマスク
- プリンタのニックネーム (任意)

メモ: プリンタのニックネームを使うと、ネットワーク上でお使いのプリンタを特定するのが簡単になります。プリンタのニックネームには、既定のものを選択することも、覚えやすい名前を指定することもできます。

プリンタをネットワークへ接続するためのイーサネットケーブルと、実際にネットワークへ接続することができる利用可能なポートが必要です。損傷したケーブルにより発生する問題を防ぐために、なるべく新しいネットワークケーブルを使用してください。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する準備をする

メモ:

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していることを確認します。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- アクセスポイント (ワイヤレスルーター) がオンで、正しく動作していることを確認します。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する前に、次の情報があることを確認します。

- **SSID**—SSID は、ネットワーク名とも呼ばれます。
- **ワイヤレスモード (ネットワークモード)**—インフラモードまたはアドホックモードのどちらかです。
- **チャンネル (アドホックネットワークの場合)**—インフラネットワークの標準設定では、チャンネルは自動に設定されます。

一部のアドホックネットワークでも、自動に設定する必要があります。どちらのチャンネルを選択すればよいのか分からない場合は、システムサポート担当者に問い合わせてください。

- **セキュリティ方式**—セキュリティ方式として、以下の 4 つの基本オプションが用意されています。
 - WEP キー
ネットワークで複数の WEP キーを使用している場合、用意されているスペースに 4 つまで入力できます。既定の WEP 送信キーを選択して、現在ネットワークで使用しているキーを選択します。
 - WPA または WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズ
WPA では、暗号化によるセキュリティの層が追加されています。暗号化の種類としては、AES または TKIP を選択できます。ルーターとプリンタで、同じ種類の暗号化を設定する必要があります。暗号化の種類が異なる場合、プリンタはネットワークと通信できなくなります。
 - 802.1X-RADIUS
802.1X ネットワークにプリンタを接続する場合、以下の情報が必要になることがあります。
 - 認証の種類
 - 内部認証の種類
 - 802.1X ユーザー名とパスワード
 - 証明書
 - セキュリティなし
ワイヤレスネットワークでセキュリティを全く使用していない場合、セキュリティ情報も存在しません。
メモ: セキュリティ保護のないワイヤレスネットワークを使用することは推奨しません。

メモ:

- コンピュータの接続先であるネットワークの SSID が不明な場合は、コンピュータネットワークアダプタのワイヤレスユーティリティを起動して、ネットワーク名を確認します。ネットワークの SSID やセキュリティ情報を確認できない場合は、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。
- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、アクセスポイントと関連付けられている内蔵 WEB サーバー(EWS)を参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。

ワイヤレスセットアップウィザードを使用してプリンタを接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- イーサネットケーブルがプリンタから切断されていること。
- [アクティブ NIC]を[自動]に設定します。[自動]に設定するには、次の手順を実行します。

 >[ネットワーク/ポート] >[アクティブ NIC] >[自動] > 

メモ: プリンタの電源を切り、5 秒間以上待機してから、プリンタの電源を入れます。

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

 >[ネットワーク/ポート] >[ネットワーク [x]] >[ネットワーク 設定 [x]] >[ワイヤレス] >[ワイヤレス接続設定]

- 2 ワイヤレス接続設定を選択します。

使用	目的
ネットワークを検索	使用可能なワイヤレス接続を表示します。 メモ: このメニュー項目には、すべての保護されているか、保護されていないブロードキャスト SSID が表示されます。
ネットワーク名を入力	手動で SSID を入力します。 メモ: 正しい SSID を入力していることを確認します。
Wi-Fi Protected Setup	Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続します。

3 プリンタディスプレイの指示に従います。

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が Wi-Fi Protected Setup (WPS) 認証済みまたは WPS 対応であること。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールおよび接続され、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

プッシュボタン構成方法を使用する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。



> [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク[x]] > [ネットワーク設定[x]] > [ワイヤレス] > [ワイヤレス接続設定] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [プッシュボタン方式を開始]

2 プリンタディスプレイの指示に従います。

個人 ID 番号方式(PIN) を使用する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。



> [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク[x]] > [ネットワーク設定[x]] > [ワイヤレス] > [ワイヤレス接続設定] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [暗証番号方式を開始]

2 8桁の WPS PIN をコピーします。

3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。

5 8桁の PIN を入力し、設定を保存します。

内蔵 Web サーバーを使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタが一時的にイーサネットネットワークに接続されていること。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタコントロールパネルでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] の順にクリックします。

3 設定を修正し、アクセスポイント(ワイヤレスルーター)の設定に合わせます。

メモ: 必ず正しい SSID、セキュリティ方式、事前共有キーまたはパスフレーズ、ネットワークモード、およびチャンネルを入力します。

4 [送信] をクリックします。

5 プリンタの電源を切り、イーサネットケーブルを切断します。次に、5 秒以上待機し、プリンタの電源を入れます。

6 プリンタがネットワークに接続しているかどうかを確認するために、ネットワーク設定ページを印刷します。次に、[ネットワークカード [x]] セクションで、状況が [接続済み] かどうかを確認します。

プリンタ設定を確認する

すべてのハードウェアおよびソフトウェアオプションが実装され、プリンタの電源を入れたら、次を印刷してプリンタが正しく設定されていることを確認します。

- **メニュー設定ページ**—このページを使用して、すべてのプリンタオプションが正しく実装されていることを確認します。設置したオプションが一覧にない場合は、正しく設置されていません。オプションを取り外し、再度設置してください。
- **ネットワーク設定ページ**—プリンタにネットワークサポートがある場合は、このページを印刷して、ネットワーク接続が動作していることを確認します。このページには、ネットワーク印刷構成を支援する重要な情報もあります。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面から、次の順に選択します。



> [レポート] > [メニュー設定ページ]

ネットワーク設定ページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合、ネットワーク接続を確認するためにネットワーク設定ページを印刷します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も記載されています。

- 1 ホーム画面から、次の順に選択します。



> [レポート] > [ネットワーク設定ページ]

- 2 ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタの状態が「**接続**」になっていることを確認します。

状態が「**未接続**」の場合は、LAN ドロップがアクティブでないか、ネットワークケーブルが正しく動作していない可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせ、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してください。

用紙と特殊用紙をセットする

この章では、用紙と特殊用紙の選択と取り扱いについて説明します。用紙を正しく選択してセットすることで、ドキュメント印刷の信頼性が向上します。詳細については、[229 ページの「紙づまりを防ぐ」](#)および[57 ページの「用紙の保管」](#)を参照してください。

用紙サイズとタイプを設定する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [用紙メニュー] > [用紙サイズ/タイプ] > トレイを選択 > 用紙のサイズまたはタイプを選択 > 

ユニバーサル用紙設定を構成する

ユニバーサル用紙サイズはユーザー定義設定であり、プリンタメニューで事前設定されていない用紙サイズに印刷できます。

メモ:

- サポートされている最小ユニバーサルサイズは 76 x 127 mm (3 x 5 インチ) であり、多目的フィーダおよび手差しフィーダにのみセットできます。
- サポートされている最大ユニバーサルサイズは 215.9 x 359.9 mm (8.5 x 14.17 インチ) であり、多目的フィーダおよび手差しフィーダにのみセットできます。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [用紙メニュー] > [ユニバーサル設定] > [測定単位] > 単位を選択

2 [縦長の横の長さ]または[縦長の縦の長さ]をタッチします。

3 幅と高さを選択し、 をタッチします。

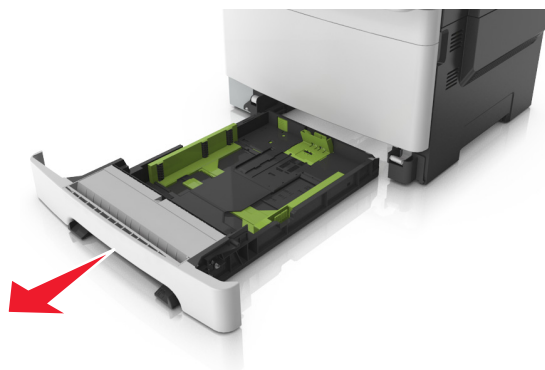
250 または 550 枚トレイに用紙をセットする

プリンタには、統合手差しフィーダを備えた 250 枚トレイ (トレイ 1) が 1 台あります。250 枚トレイ、650 枚デュオトレイ、および 550 枚トレイは、同じ用紙サイズとタイプをサポートし、同じ方法でセットされます。

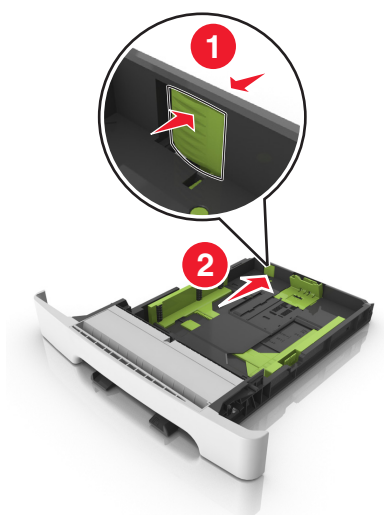
 **危険！ケガの恐れあり：** 本機が不安定にならないように、用紙カセットや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

1 トレイを完全に引き出します。

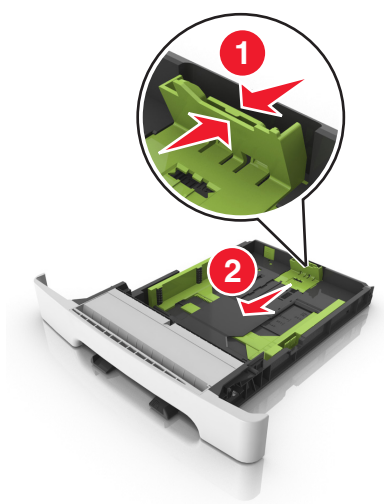
メモ: ジョブの印刷中や、ディスプレイに[取り込み中]が表示されている間は、トレイを取り外さないでください。紙づまりの原因となる可能性があります。



2 用紙がレターサイズの下紙よりも長い場合、トレイの背面の位置で長さガイドをつまみ、スライドして広げます。



3 長さガイドのタブをつまみ、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



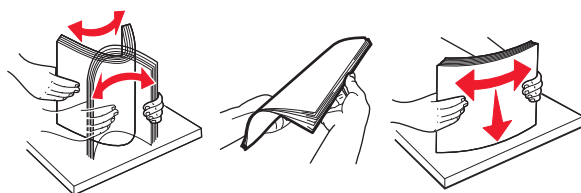
メモ: トレイの下部にある用紙サイズインジケータを使用して、ガイドの位置を決定します。

4 幅ガイドのタブをつまみ、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。

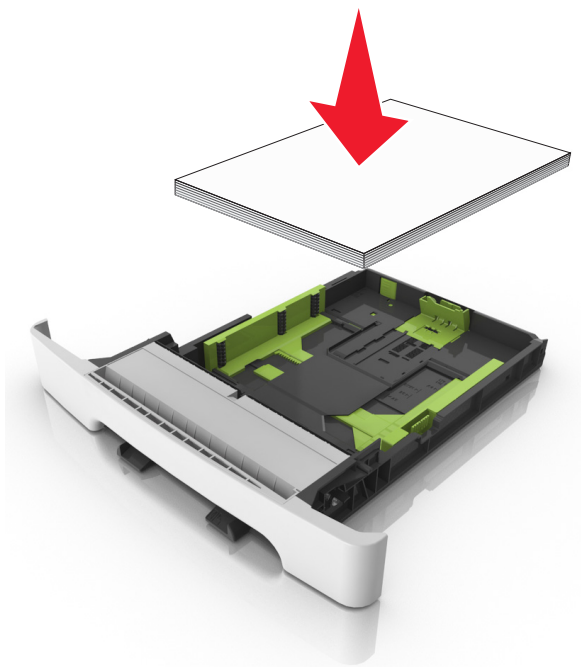


メモ: トレイの下部にある用紙サイズインジケータを使用して、ガイドの位置を決定します。

5 用紙を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。



6 推奨されている印刷面を上にして、用紙の束をセットします。



7 用紙ガイドを用紙の端に対してしっかりと配置します。

8 トレイを挿入します。



9 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。

メモ: 用紙のサイズや用紙のタイプを 1 台のトレイに混在させると、紙づまりの原因になる可能性があります。

手差しフィーダに用紙をセットする

標準の 250 枚トレイには統合された手差しフィーダがあり、異なるタイプの用紙で一度に 1 ページ印刷するために使用できます。

1 1 枚の用紙を手差しフィーダにセットします。

- 片面印刷の場合は、印刷面を下にします
- 両面印刷の場合は、印刷面を上にします

メモ: 印刷モードによって、異なる方法でレターヘッドをセットできます。



- フラップ面を上にして、用紙ガイドの右側に対して封筒をセットします。



2 先端が用紙ガイドに触れる位置まで、用紙を手差しフィーダにセットします。

メモ: 最高の印刷品質を実現するために、レーザープリンタ専用の高品質用紙のみを使用してください。

3 セットした用紙の幅に用紙ガイドを調整します。

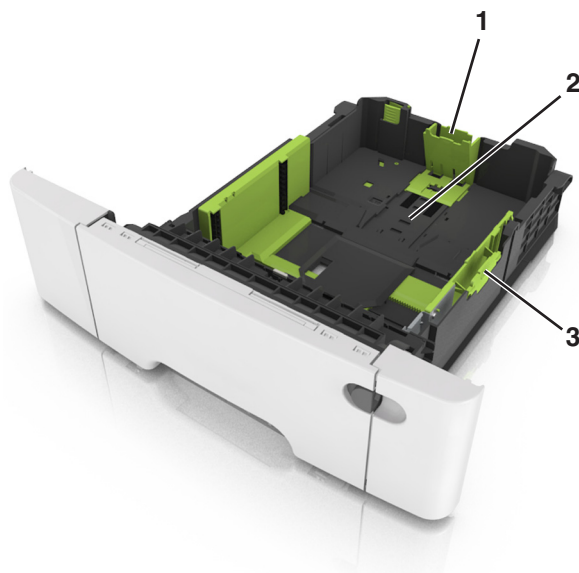
警告！破損の恐れあり: 用紙を無理にフィーダに入れないでください。用紙を無理に入れると、紙づまりの原因になる場合があります。



650 枚デュオトレイに用紙をセットする

650 枚デュオトレイ(トレイ 2)は、550 枚トレイおよび統合 100 枚多目的フィーダから構成されています。このトレイは 250 枚トレイおよびオプションの 550 枚トレイと同じ方法でセットされ、同じ用紙タイプとサイズをサポートします。ガイドタブの外観と用紙サイズインジケータの場所のみが異なります。

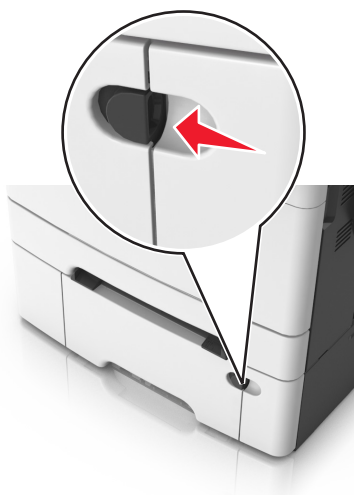
⚠ 危険！ケガの恐れあり： 本機が不安定にならないように、用紙カセットや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。



1	幅ガイドタブ
2	用紙サイズインジケータ
3	幅ガイドタブ

多目的フィーダに用紙をセットする

- 1 多目的フィーダのラッチを左側に押します。



- 2 多目的フィーダを開きます。



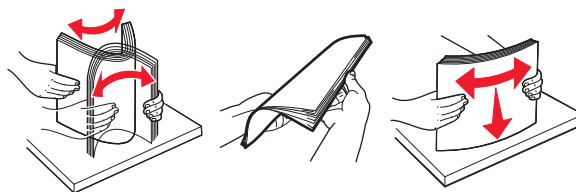
- 3 多目的フィーダの拡張ガイドを引きます。

メモ: 多目的フィーダが最後まで拡張して開くように、ゆっくりと拡張ガイドを引き出します。



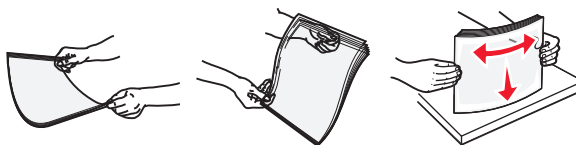
4 セットする用紙を準備します。

- 用紙の束を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。



- OHP フィルムの端を持ち、さばきます。平らな面で端をそろえます。

メモ: OHP フィルムの印刷面に触れないようにします。印刷面に傷をつけないように気をつけてください。



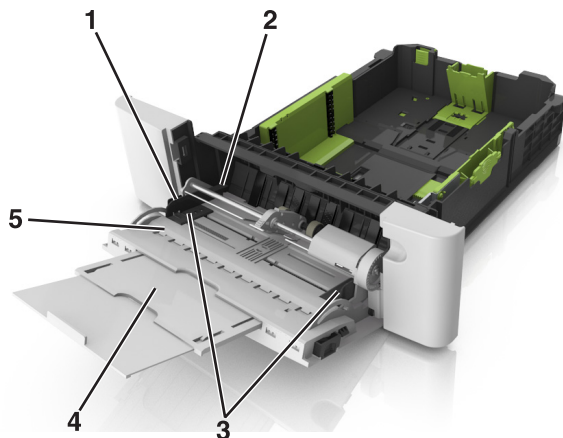
- 封筒の束を前後に曲げてほぐします。平らな面で端をそろえます。

警告！破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、プリンタに深刻な損傷が生じる可能性があります。



5 最大用紙高さインジケータとタブを探します。

メモ: 必ず用紙または特殊用紙が、用紙ガイドの最大用紙高さインジケータよりも下になるようにしてください。



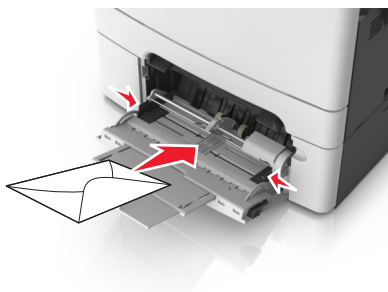
1	幅ガイドタブ
2	最大用紙高さインジケータ
3	幅ガイド
4	フィーダ拡張ガイド
5	用紙サイズインジケータ

6 用紙をセットし、幅ガイドが用紙の束の端に軽く触れるように、幅ガイドを調整します。

- 推奨印刷面を下にし、上端が最初にプリンタに入るように、用紙、カード用紙、OHP フィルムをセットします。



- フラップ面を上にして、用紙ガイドの右側に対して封筒をセットします。

**メモ:**

- ジョブが印刷中の間は、多目的フィーダに用紙をセットしたり、閉じたりしないでください。
- 一度にセットできる用紙サイズと紙種は 1 つのみです。
- 用紙は多目的フィーダに平らに入れます。用紙が多目的フィーダに余裕を持って収まり、曲がったり、しわが寄ったりしていないことを確認してください。

7 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズと紙種を設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

すべてのトレイの用紙サイズと用紙タイプが同じときには、プリンタはこれらのトレイをリンクします。1 つのリンクされたトレイが空になると、次のリンクされたトレイから給紙されます。レターヘッドや異なる色の普通紙など、すべての用紙に異なるカスタム紙種名を指定し、用紙が入っているトレイが自動的にリンクされないようにすることをお勧めします。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。**メモ:**

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー]の順にクリックします。

3 リンクしているトレイの用紙サイズとタイプの変更します。

- トレイをリンクするには、トレイの用紙サイズとタイプが必ずその他のトレイと一致しなければなりません。
- トレイのリンクを解除するには、トレイの用紙サイズとタイプがその他のトレイと一致してはなりません。

4 [送信]をクリックします。

メモ: また、プリンタコントロールパネルでも、用紙サイズとトレイの設定を変更できます。詳細については、[41 ページ](#)の「[用紙サイズとタイプを設定する](#)」を参照してください。

警告！破損の恐れあり: トレイにセットされた用紙は、プリンタに割り当てられた用紙タイプと一致する必要があります。フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。設定が正しくない場合は、印刷の問題が発生する可能性があります。

用紙タイプのカスタム名を作成する

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー] > [カスタム名]の順にクリックします。

3 カスタム名を選択し、カスタム用紙タイプ名を入力します。

4 [送信]をクリックします。

5 [カスタム紙種]をクリックし、新しいカスタム用紙タイプ名がカスタム名になっているかどうか確認します。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [用紙メニュー] > [カスタム名]

2 カスタム名を選択し、カスタム用紙タイプ名を入力します。



3 をタッチします。

4 [カスタム紙種]をタッチし、新しいカスタム用紙タイプ名がカスタム名になっていることを確認します。

カスタム用紙タイプを割り当てる

内蔵 Web サーバーを使用する

トレイのリンク時またはリンク解除時に、カスタム用紙タイプ名を割り当てます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー] > [カスタム紙種]の順にクリックします。

3 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [用紙メニュー] > [カスタム紙種]

2 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

3  をタッチします。

カスタム名を設定する**内蔵 Web サーバーを使用する**

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー] > [カスタムタイプ]の順にクリックします。

3 設定するカスタム名を選択し、用紙または特殊用紙タイプを選択してから、[送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [用紙メニュー] > [カスタムタイプ]

2 設定するカスタム名を選択し、 をタッチします。

用紙および特殊用紙ガイド

メモ:

- コンピュータまたはコントロールパネルで、用紙のサイズ、タイプ、および重量が適切に設定されていることを確認する。
- 特殊用紙をほぐしてさばき、そろえてからセットする。
- フューザーの損傷を防止するために、低速で印刷する場合があります。
- 厚紙およびラベルの詳細については、Lexmark サポート Web サイト(<http://support.lexmark.com>)で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。

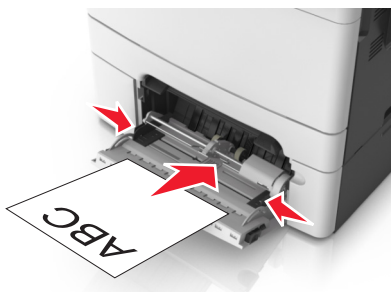
特殊用紙を使用する

レターヘッド紙を使用する場合のヒント

- レーザープリンタ用に特別に設計されたレターヘッド紙を使用してください。
- 使用する予定のレターヘッド紙を大量に購入する前に、そのレターヘッド紙にテストページを印刷してください。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙の束をほぐし、さばき、真っ直ぐにして、くっつかないようにします。
- レターヘッド紙に印刷する場合、ページの向きが重要な意味を持ちます。

給紙源	印刷	印刷面	用紙の向き
トレイ 	片面印刷	上向き	用紙の上端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
トレイ 	両面印刷	下向き	用紙の下端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。

メモ: 製造元または販売店に問い合わせて、選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうか確認してください。

給紙源	印刷	印刷面	用紙の向き
手差しフィーダー 	片面印刷	下向き	用紙の上端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
手差しフィーダー 	両面印刷	上向き	用紙の下端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
多目的フィーダー 	片面印刷	下向き	用紙の上端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
多目的フィーダー 	両面印刷	上向き	用紙の下端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
メモ: 製造元または販売店に問い合わせ、選択したプレプリントレーザヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうか確認してください。			

OHP フィルムを使用する場合のヒント

使用する予定の OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにテストページを印刷してください。

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた OHP フィルムに一致させます。
- 使用する予定の OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにテストページを印刷してください。
- 250 枚トレイ、手差しフィーダー、または多目的フィーダーから OHP フィルムを給紙します。
- レーザープリンタ用に特別に設計された OHP フィルムを使用してください。
- 印刷品質の問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付かないようにしてください。
- OHP フィルムをセットする前に、用紙の束をほぐし、さばき、真っ直ぐにして、くっつかないようにします。

封筒を使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた封筒に一致させます。
- 使用する予定の封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計された封筒を使用してください。
- 最適なパフォーマンスを得るには、90-g/m² (24 ポンド) の用紙製またはコットン含有率が 25% の封筒を使用します。
- 包装が破損していない新品の封筒に限定して使用します。
- 最適なパフォーマンスを発揮し、紙づまりを最小限に抑えるため、以下のような封筒は使用しないでください。
 - カールやねじれが大きい封筒。
 - 封筒同士が貼り付いているものや、何らかの傷がある封筒。
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスなどがある封筒。
 - 金属製の留め具、ひも、折れ筋などがある封筒。
 - かみ合わせのデザインがある封筒。
 - 切手が貼付されている封筒。
 - 垂れ蓋に封をしたときや、閉じたときに、接着剤がはみ出る封筒。
 - 角が折れ曲がった封筒。
 - きめの粗い封筒、しわのある封筒、または簀の目仕上げの封筒。
- 幅ガイドを調整して、封筒の幅に合わせる。
- 封筒をトレイにセットする前に、封筒をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

メモ: 環境の湿度が高く(60% 超)、印刷温度が高温になると、封筒にしわが寄ったり、圧着したりすることがあります。

ラベルを使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされたラベルに一致させます。
- 使用する予定のラベルを大量に購入する前に、そのラベルにサンプルを印刷してください。
- ラベルの印刷、特性、および設計の詳細については、Lexmark の Web サイト(<http://support.lexmark.com>)で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計されたラベルを使用してください。
- 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しないでください。

- ラベル用紙全体を使用してください。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。用紙の一部だけを使用すると、接着剤でプリンタやカートリッジが汚れて、プリンタやトナーカートリッジの保証対象外となることがあります。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しないでください。
- ラベル用紙をトレイにセットする前に、ラベル用紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

厚紙を使用する場合のヒント

厚紙は、重みのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、テクスチャなど、さまざまな特性は、印刷品質に大きな影響を与えることがあります。

- プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットされた厚紙と合うように、用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定します。
- 使用する予定の厚紙を大量に購入する前に、その厚紙にサンプルを印刷してください。
- トレイ設定の用紙の粗さおよび重さがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
- プレプリント、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響を与えることがあり、紙づまりやその他用紙の取り扱いに伴う問題を引き起こす可能性があることに注意してください。
- 厚紙をトレイにセットする前に、厚紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

用紙ガイドライン

正しい用紙または特殊用紙を選択することで、印刷の問題が削減されます。最高の印刷品質のために、大量の用紙を購入する前に、用紙または特殊用紙のサンプルで試してみてください。

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。用紙に印刷する際は、この特性を考慮してください。

重さ

プリンタトレイは、重さが最大 176 g/m² (47 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。多目的フィーダーは、重さが最大 176 g/m² (47 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。重さが 60 g/m² (16 ポンド) よりも軽い用紙は硬さが足りないため適切に給紙されず、紙づまりの原因になることがあります。最高の性能を実現するには、75-g/m² (20 ポンド) の縦目の用紙を使用してください。182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ) よりも小さい用紙の場合、90 g/m² (24 ポンド) よりも重い用紙を推奨します。

メモ: 両面印刷は、60 ~ 105-g/m² (16 ~ 28 ポンド) の縦目の用紙からサポートされています。

カール

カールは、用紙の先端が丸まろうとする性質を指します。カールの度合いが大きすぎると、給紙時に問題が生じることがあります。高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に、カールが発生することがあります。用紙を包装から取り出して高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管していると、それがトレイ内であっても、印刷前に用紙がカールして、給紙時に問題が生じることがあります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合は、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎる場合は、給紙時や印刷品質に問題が生じることがあります。必ず 100～300 シェフィールドポイントの用紙を使用してください。150～250 シェフィールドポイントの用紙を使用すると、最高の印刷品質が得られます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの給紙機能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで、元の包装のまま保管してください。そうすることで、用紙が湿度の変化を受けて劣化する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷に使用する 24～48 時間前から、用紙を元の包装のままプリンタと同じ環境に保管して、用紙の状態を調整してください。ただし、用紙を保管または輸送したときの環境がプリンタの設置環境と大きく異なる場合は、この調整の時間を数日伸ばしてください。用紙に厚みがある場合も同様に、調整に時間がかかることがあります。

紙目

紙目は、用紙に含まれる繊維の方向を指します。紙目には、用紙の縦方向に伸びる縦目と、用紙の横方向に伸びる横目があります。

60～90 g/m² (16 ～ 24 ポンド) の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100% の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、給紙時の問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を及ぼすことがあります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙 (CCP)、またはカーボン不要 (NCR) 紙とも呼ばれる、コピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
 - プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
 - プリンタフューズの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
 - 光学式文字認識 (OCR) フォームなど、±2.3 mm (±0.9 インチ) よりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント用紙
- 場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整して、これらのフォームに正常に印刷できることがあります。
- コーティングされた用紙 (消去可能ボンド)、合成紙、感熱紙
 - 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、またはカールした用紙
 - EN12281:2002 (欧州) に準拠していない再生紙
 - 重量が 60 g/m² (16 lb) 未満の用紙
 - マルチパートフォームまたはドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく損傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷可能面を確認する。通常、この情報は用紙のパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を 1 つのトレイにセットしない。これらを混在させると紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリント用紙とレターヘッド紙を選択する

プレプリント紙とレターヘッド紙を選択するときには、次のガイドラインに従います。

- 重さが 60～90 g/m² (16～24 ポンド) の縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙に限定して使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。

トナーの樹脂に影響されないインクを使用する。酸性インクや油性インクは通常、この要件を満たしています。ラテックスインクは、この要件を満たしていない可能性があります。

疑わしい場合は、用紙の供給元に問い合わせてください。

再生紙およびその他の事務用紙の使用

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark は、レーザー（電子写真）プリンタ向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。1998 年に Lexmark は、米国の大手工場で生産された再生紙が普通紙と同様に給紙されることを示す調査報告を米国政府に提出しました。ただし、すべての再生紙がスムーズに給紙されるとは限りません。

Lexmark は、再生紙（消費財廃棄物の含有率 20 ～ 100%）および世界中から集めた各種のテスト紙を使用して、さまざまな温度や湿度の条件下でのチャンバー試験など、継続的にプリンタのテストを行っています。Lexmark では、今日の事務用再生紙の使用を阻む理由はありませんが、再生紙には一般的に次の特性ガイドラインが適用されます。

- 低い含水率 (4 ～ 5%)
- 適切な平滑度 (100 ～ 200 シェフィールド単位または 140 ～ 350 ベントセン単位、ヨーロッパ)

メモ： 著しく滑らかな用紙（プレミアム 24 lb レーザー用紙、50 ～ 90 シェフィールド単位など）や著しく粗い用紙（プレミアムコットン紙、200 ～ 300 シェフィールド単位）の中には、ざらつきがあってもレーザープリンタできわめてきれいに印刷できるように設計されているものもあります。こうした種類の用紙を使用する前に、用紙の供給元に問い合わせてください。

- 適切な紙間の摩擦係数 (0.4 ～ 0.6)
- 給紙方向への十分な剛軟度

再生紙、軽量の用紙 (60 g/m² [16 lb ボンド] 以下) および薄い用紙 (3.8 mils [0.1 mm] 以下) および縦方向（または短辺）に給紙されるプリンタで横目に裁断された用紙は、確実な給紙に必要な剛軟度が不足していることがあります。このような種類の用紙をレーザー（電子写真）印刷に使用する場合は、前もって用紙の製造元に問い合わせてください。これらは一般的なガイドラインに過ぎず、これらのガイドラインを満たす用紙でもレーザープリンタで給紙の問題が発生することがあります（たとえば、通常の印刷条件で用紙が過度にカールしている場合など）。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21°C (70°F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18 ~ 24°C (65 ~ 75°F) で、相対湿度が 40 ~ 60% で印刷することを推奨しています。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚など、床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙は平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- プリンタにセットする準備ができたときにのみ、用紙をダンボール箱または包装から取り出します。ダンボール箱と包装は、用紙を清潔で乾燥した平らな状態にしておくのに役立ちます。

サポートされている用紙サイズ、タイプ、および重量

以下の表に、標準およびオプションの給紙源と、サポートされる用紙のサイズ、タイプ、および重さを示します。

メモ: 表に記載されていない用紙サイズの場合は、表のサイズから、最も近い大きい方のサイズを選択します。

サポートされている用紙サイズ

メモ: ご使用のプリンタの機種では、650 枚デュオトレイ (550 枚トレイおよび統合 100 枚多目的フィーダーから構成) を使用できます。650 枚デュオトレイの 550 枚トレイは、オプションの 550 枚トレイと同じ用紙サイズをサポートしています。統合多目的フィーダーは、異なる用紙サイズ、タイプ、および重量をサポートしています。

用紙サイズと寸法	標準 250 枚トレイ	手差しフィーダー	650 枚デュオトレイ		550 枚トレイ	ADF	原稿台ガラス	両面印刷モード
			550 枚トレイ	多目的フィーダー				
A4 210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓ ¹	✓	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓	✓	✓
A5 148 x 210 mm (5.83 x 8.3 インチ)	✓ ¹	✓	✓ ²	✓ ¹	✓ ²	✓	✓	X
A6 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	X	✓	X	✓ ¹	X	X	✓	X
JIS B5 182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓ ¹	✓	✓ ¹	✓ ¹	✓ ¹	✓	✓	X

¹ サイズ検出を使用しない場合に給紙源で用紙サイズがサポートされます。

² [ユニバーサル] は、用紙サイズが 148 x 215.9 mm (5.83 x 8.5 インチ) ~ 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ) の場合に限り、標準 250 枚トレイとオプションの 550 枚トレイでのみサポートされています。

³ [ユニバーサル] は、用紙サイズが 76.2 x 127 mm (3 x 5 インチ) ~ 215.9 x 359.9 mm (8.5 x 14.17 インチ) の場合に限り、多目的フィーダーと手差しフィーダーでのみサポートされています。

⁴ [ユニバーサル] は両面印刷モードで、幅が 210 mm (8.27 インチ) ~ 215.9 mm (8.5 インチ) で、長さが 279.4 mm (11 インチ) ~ 355.6 mm (14 インチ) の場合にのみサポートされます。

用紙サイズと寸法	標準 250 枚トレイ	手差しフィーダー	650 枚デュオトレイ		550 枚トレイ	ADF	原稿台ガラス	両面印刷モード
			550 枚トレイ	多目的フィーダー				
レター 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	√ ¹	√	√ ¹	√ ¹	√ ¹	√	√	√
リーガル 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	√ ¹	√	√ ¹	√ ¹	√ ¹	√	X	√
エグゼクティブ 184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	√ ¹	√	√ ¹	√ ¹	√ ¹	√	√	X
Oficio (メキシコ) 216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	√ ¹	√	√ ¹	√ ¹	√ ¹	√	X	√
フォリオ 216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	√ ¹	√	√ ¹	√ ¹	√ ¹	√	X	√
ステートメント 140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	X	√	X	√ ¹	X	√	√	X
ユニバーサル 76 x 127 mm (3 x 5 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	X	√ ^{1,3}	X	√ ^{1,3}	X	√	√	X
ユニバーサル 148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	√ ^{1,2}	√	√ ^{1,2}	√	√ ^{1,2}	X	X	√ ⁴
7 3/4 封筒 (Monarch) 98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	X	√	X	√ ¹	X	X	X	X
9 封筒 98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	X	√	X	√ ¹	X	X	X	X
10 封筒 105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	X	√	X	√ ¹	X	X	X	X

¹ サイズ検出を使用しない場合に給紙源で用紙サイズがサポートされます。

² [ユニバーサル]は、用紙サイズが 148 x 215.9 mm (5.83 x 8.5 インチ) ~ 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ) の場合に限り、標準 250 枚トレイとオプションの 550 枚トレイでのみサポートされています。

³ [ユニバーサル]は、用紙サイズが 76.2 x 127 mm (3 x 5 インチ) ~ 215.9 x 359.9 mm (8.5 x 14.17 インチ) の場合に限り、多目的フィーダーと手差しフィーダーでのみサポートされています。

⁴ [ユニバーサル]は両面印刷モードで、幅が 210 mm (8.27 インチ) ~ 215.9 mm (8.5 インチ)で、長さが 279.4 mm (11 インチ) ~ 355.6 mm (14 インチ) の場合にのみサポートされます。

用紙サイズと寸法	標準 250 枚トレイ	手差しフィーダー	650 枚デュオトレイ		550 枚トレイ	ADF	原稿台ガラス	両面印刷モード
			550 枚トレイ	多目的フィーダー				
DL 封筒 110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	X	✓	X	✓ ¹	X	X	X	X
C5 封筒 162 x 229 mm (6.4 x 9 インチ)	X	✓	X	✓ ¹	X	X	X	X
B5 封筒 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	X	✓	X	✓ ¹	X	X	X	X
その他 封筒 98 x 162 mm (3.9 x 6.3 インチ) 最大 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	X	✓	X	✓ ¹	X	X	X	X
¹ サイズ検出を使用しない場合に給紙源で用紙サイズがサポートされます。 ² [ユニバーサル]は、用紙サイズが 148 x 215.9 mm (5.83 x 8.5 インチ) ~ 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ) の場合に限り、標準 250 枚トレイとオプションの 550 枚トレイでのみサポートされています。 ³ [ユニバーサル]は、用紙サイズが 76.2 x 127 mm (3 x 5 インチ) ~ 215.9 x 359.9 mm (8.5 x 14.17 インチ) の場合に限り、多目的フィーダーと手差しフィーダーでのみサポートされています。 ⁴ [ユニバーサル]は両面印刷モードで、幅が 210 mm (8.27 インチ) ~ 215.9 mm (8.5 インチ) で、長さが 279.4 mm (11 インチ) ~ 355.6 mm (14 インチ) の場合にのみサポートされます。								

サポートされている用紙タイプと重量

メモ:

- ご使用のプリンタの機種では、650 枚デュオトレイ(550 枚トレイおよび統合 100 枚多目的フィーダーから構成)を使用できます。650 枚デュオトレイの 550 枚トレイは、550 枚トレイと同じ用紙をサポートしています。統合多目的フィーダーは、異なる用紙サイズ、タイプ、および重量をサポートしています。
- ラベル、OHP フィルム、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙タイプ	250 枚トレイ	手差しフィーダー	650 枚デュオトレイ		550 枚トレイ	ADF	原稿台ガラス	両面印刷モード
			550 枚トレイ	多目的フィーダー				
用紙 • 普通紙 • 再生紙 • 光沢紙 • ボンド • レターヘッド • プレプリント • カラー紙 • 軽量紙 • 重量紙 • ラフ/コットン紙 • カスタム紙種 [x]	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x
OHP フィルム	✓	✓	x	✓	x	✓	✓	x
ラベル • 用紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x
封筒	x	✓	x	✓	x	✓	✓	x

印刷

用紙を印刷する

用紙とお気に入りアプリケーションを使用すると、頻繁に使用する用紙や定期的に印刷するその他の情報にすばやく簡単にアクセスできます。このアプリケーションを使用する前に、まず、プリンタでセットアップする必要があります。詳細については、[20 ページの「用紙とお気に入りをセットアップする」](#)を参照してください。

- 1 プリンタホーム画面から、次のメニューを選択します。
[用紙とお気に入り] > リストから用紙を選択 > 部数を入力 > その他の設定を調整
- 2 プリンタモデルによっては、、 をタッチするか、[送信]をクリックします。

ドキュメントを印刷する

ドキュメントを印刷する

- 1 プリンタコントロールパネルから、用紙タイプとサイズを設定し、セットした用紙と一致させます。
- 2 次の手順で印刷ジョブを送信します。

Windows の場合

- a ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順にクリックします。
- b [プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- c 必要に応じて、設定を調整します。
- d [OK] > [印刷]の順にクリックします。

Macintosh の場合

- a [ページ設定]ダイアログで設定をカスタマイズします。
 - 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [ページ設定]の順に選択します。
 - 2 セットしている用紙に応じて、用紙サイズを選択するか、カスタムサイズを設定します。
 - 3 [OK]をクリックします。
- b [印刷]ダイアログで設定をカスタマイズします。
 - 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。
 - 2 必要に応じて、印刷オプションのポップアップメニューから設定を調整します。

メモ: 特定の用紙タイプを選択して印刷するには、セットしている用紙に応じて用紙タイプの設定を調整するか、適切なトレイまたはフィーダを選択します。

- 3 [印刷]をクリックします。

白黒のみで印刷

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定] > [印刷設定] > [印刷品質メニュー] > [印刷モード] > [白黒のみ] > 

トナーの濃さを調整する

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [印刷設定] > [印刷品質メニュー] > [トナーの濃さ] の順にクリックします。

- 3 設定を変更し、[送信] をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定] > [印刷設定] > [印刷品質メニュー] > [トナーの濃さ]

- 2 設定を調整し、 をタッチします。

[速度優先]と[最大収率]を使用する

[速度優先]と[最大収率]の設定を使用すると、印刷速度とトナー収率のどちらを優先するか選択できます。出荷時の設定は、[最大収率]です。

- [速度優先]—プリンタドライバの設定に基づいて、白黒またはカラーで印刷します。プリンタドライバで [白黒のみ] が選択されていなければ、カラーで印刷します。
- [最大収率]—各ページで検出された色内容に基づいて、モノクロからカラーに切り替えます。ページにモノクロとカラーの内容が混在している場合、カラーモードが頻繁に切り替わって、印刷速度が低下することがあります。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [印刷設定] > [セットアップメニュー] の順にクリックします。

- 3 [プリンタ使用方法] リストから、[速度優先]または[最大収率]を選択します。

- 4 [送信] をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [印刷設定] > [セットアップメニュー]

- 2 [プリンタ使用方法] リストから、[速度優先]または[最大収率]を選択します。
- 3 [送信]をタッチします。

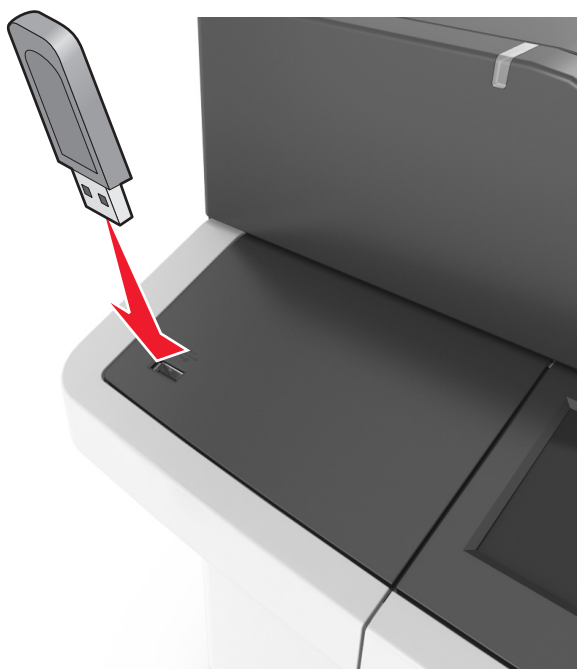
フラッシュドライブまたはモバイルデバイスから印刷する

フラッシュドライブから印刷する

メモ:

- 暗号化 PDF ファイルを印刷する際には、プリンタコントロールパネルからファイルのパスワードを入力するように指示されます。
- ユーザーが印刷権限を持っていないファイルは、印刷できません。

- 1 フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。



メモ:

- フラッシュドライブが挿入されると、プリンタのホーム画面にフラッシュドライブアイコンが表示されます。
- 紙づまりなどが発生して、プリンタがユーザーの操作を必要としている場合には、フラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブは認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、プリンタのディスプレイにビジーが表示されます。他の印刷ジョブの処理が終了したら、保留ジョブのリストを確認した上で、フラッシュドライブからドキュメントを印刷します。

警告！破損の恐れあり：メモリデバイスから印刷、読み取り、書き込みなどの処理が行われている間は、図示している部分に接続されている USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、コネクタ、メモリデバイス、プリンタに触れないでください。データの損失が発生する可能性があります。



- 2 プリンタコントロールパネルから、印刷するドキュメントを選択します。
- 3 矢印をタッチすると、ドキュメントのプレビューが表示されます。
- 4  または  を使用して、印刷する部数を指定し、[印刷]をタッチします。

メモ：

- ドキュメントの印刷が完了するまで、USB ポートからフラッシュドライブを取り外さないでください。
- USB 初期メニュー画面を終了した後もフラッシュドライブをプリンタに挿入したままにしておく場合、ホーム画面の[保持されたジョブ]をタッチすると、フラッシュドライブからファイルを印刷できます。

サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ

メモ：

- High Speed USB フラッシュドライブの場合は、Full Speed 規格をサポートする必要があります。Low Speed USB デバイスはサポートされていません。
- USB フラッシュドライブで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートする必要があります。NTFS (New Technology File System) やその他のファイルシステムでフォーマットされているデバイスはサポートされていません。

推奨フラッシュドライブ	ファイルタイプ
- Lexar JumpDrive FireFly (512MB および 1GB) - SanDisk Cruzer Micro (512MB および 1GB) - Sony Micro Vault Classic (512MB および 1GB)	ドキュメント: .pdf .xps 画像: .dcx .gif .jpeg または .jpg .bmp .pcx .tiff または .tif .png .fls

モバイルデバイスから印刷する

アプリケーションをダウンロードするには、www.lexmark.com/mobile にアクセスしてください。

メモ: モバイル印刷アプリケーションは、モバイルデバイスメーカーでも提供されている場合があります。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保持する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷] > 印刷ジョブタイプを選択

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な暗証番号 (PIN) を入力できる最大回数を制限します。 メモ: この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限	プリンタコントロールパネルから PIN を入力するまで、コンピュータに印刷ジョブを保持します。 メモ: PIN はコンピュータから設定されます。PIN は 0 ~ 9 の数字を使用した 4 桁です。
ジョブ期限切れの繰り返し	印刷ジョブを印刷し、プリンタのメモリに保存します。
メモ: - プリンタが他の保留ジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。 - プリンタコントロールパネルから印刷ジョブを開始するまで、プリンタのメモリに印刷ジョブを保存するように、プリンタを設定できます。 - プリンタでユーザーが開始できるすべての印刷ジョブは、保持されたジョブと呼ばれます。	

使用	目的
ジョブ期限切れの確認	印刷ジョブを 1 部印刷し、残りの部数を保持します。最初の印刷が問題ないかどうかを確認できます。すべての部数が印刷されると、印刷ジョブはプリンタのメモリから自動的に削除されます。
予約印刷ジョブの有効期限	後から印刷するために印刷ジョブを保存します。 メモ: [保持されたジョブ]メニューから削除されるまで、印刷ジョブを保持します。
メモ: - プリンタが他の保留ジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。 - プリンタコントロールパネルから印刷ジョブを開始するまで、プリンタのメモリに印刷ジョブを保存するように、プリンタを設定できます。 - プリンタでユーザーが開始できるすべての印刷ジョブは、保持されたジョブと呼ばれます。	

2  をタッチします。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

メモ: コンフィデンシャル印刷ジョブおよび確認印刷ジョブは、印刷後にメモリから自動的に削除されます。繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは、削除するまでプリンタのメモリに保持されます。

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 [プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- 3 [印刷後保持]をクリックします。
- 4 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、または確認)を選択して、ユーザー名を割り当てます。コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、4 桁の暗証番号も入力します。
- 5 [OK]または[印刷]をクリックします。
- 6 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブを解放します。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保持されたジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャルジョブ] > 暗証番号を入力 > [印刷する]
 - 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保持されたジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 部数を指定 > [印刷する]

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。
- 2 印刷オプションまたは[印刷部数と印刷ページ(Copies & Pages)]ポップアップメニューから、[ジョブ振分け]を選択します。
- 3 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、または確認)を選択して、ユーザー名を割り当てます。コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、4 桁の暗証番号も入力します。
- 4 [OK]または[印刷]をクリックします。

5 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブを解放します。

- コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保持されたジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャルジョブ] > 暗証番号を入力 > [印刷する]
- 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保持されたジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 部数を指定 > [印刷する]

コンフィデンシャル印刷設定を修正する

メモ: この機能は、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続されたプリンタでだけ使用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [構成] > [その他の設定] タブ > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定] の順にクリックします。

3 設定を変更します。

- PIN の最大入力試行回数を設定します。この回数に達すると、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。
- コンフィデンシャル印刷ジョブの期限を設定します。この時間内にジョブを印刷しない場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。

4 修正された設定を保存します。

情報ページを印刷する

フォントサンプルリストを印刷する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [レポート] > [フォント一覧を印刷]

2 [PCL フォント] または [PostScript フォント] をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されたリソースが表示されます。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [レポート] > [ディレクトリ印刷]

印刷ジョブをキャンセルする

プリンタコントロールパネルから印刷ジョブをキャンセルする

- 1 ホーム画面から、[ジョブをキャンセル]をタッチするか、キーボードの  を押します。
- 2 キャンセルするジョブをタッチし、 をタッチします。
- 3 キーボードの  を押すと、ホーム画面に戻ります。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

- 1 プリンタのフォルダを開いてプリンタを選択します。
- 2 プリントキューからキャンセルするジョブを選択して削除します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動します。
- 2 プリントキューからキャンセルするジョブを選択して削除します。

コピー

ADF	原稿台ガラス
 両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	 1 ページの文書、本のページ、小さいもの（葉書や写真など）、OHP フィルム、感光紙、薄いもの（雑誌の切り抜きなど）には原稿台ガラスを使用します。

コピーを作成する

クイックコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙（雑誌の切り抜きなど）は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切 に設定していないと、画像がページ内に収まらないことがあります。

- 3 プリンタコントロールパネルから、 をクリックします。

ADF を使用してコピーする

- 1 スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットします。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙（雑誌の切り抜きなど）は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > コピー設定を指定 > [コピー]

原稿台ガラスを使用してコピーする

- 1 コピーする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上端にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > コピー設定を指定 > [コピー]
複数ページをスキャンする場合は、次の原稿を原稿台の上に置き、[次のページをスキャン]をタッチします。
- 3 [ジョブを仕上げる]をタッチします。

写真をコピーする

- 1 コピーする面を下にして写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [内容] > [写真] > 
3 [内容のソース]メニューから、元の写真に最も一致する適切な設定を選択します。
- 4  > [コピー]をタッチします。
メモ: 複数の写真をコピーする場合は、次の写真を原稿台の上に置き、[次のページをスキャン]をタッチします。
- 5 [ジョブを仕上げる]をタッチします。

特殊用紙にコピー

OHP フィルムにコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。
メモ:
 - はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
 - 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択

3 次のメニューを選択します。

[コピー先] > OHP フィルムを含むトレイを選択 > [コピー]

OHP フィルムに対応するトレイがない場合は、次の手順を実行します。

[手差しフィーダー] > OHP フィルムのサイズを選択 > [OHP フィルム]

4 OHP フィルムを多目的フィーダーにセットしてから、[コピー]をタッチします。

レターヘッド紙にコピーする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択

3 [コピー先] > [手差しフィーダー]をタッチします。

4 スキャンする面を上にしてレターヘッド紙を上端から多目的フィーダーにセットします。

5 レターヘッドのサイズを選択してから、[レターヘッド] > [コピー]をタッチします。

プリンタコントロールパネルを使用してコピーショートカットを作成する

1 ホーム画面から[コピー]をタッチします。

2 コピー設定を調整し、[ショートカットとして保存]をタッチします。

メモ: コピーショートカットが作成された後に設定を変更する場合、設定は保存されません。

3 一意のショートカット名を入力し、 をタッチします。

4 ショートカット名が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

ショートカット名が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、情報を再入力します。

メモ:

- ショートカット名は、プリンタのホーム画面のコピーショートカットアイコンに表示されます。
- 同じ設定を使用して別のドキュメントをコピーするときには、ショートカットを使用できます。

コピー設定のカスタマイズ

サイズの異なる用紙をコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択

- 4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > 新しいコピーのサイズを選択 > [コピー]

メモ: 選択した用紙サイズが[コピー元]サイズと異なる場合は、サイズが自動調整されます。

選択したトレイの用紙でコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択

- 4 [コピー先]をタッチし、使用するタイプの用紙をセットしたトレイを選択します。

- 5 [コピー]をタッチします。

サイズの異なる用紙をコピーする

用紙サイズの異なる原稿をコピーするには、ADF を使用します。セットした用紙のサイズと[コピー先] および [コピー元] の設定に応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷される(例 1)か、単一の用紙サイズに収まるように印刷されます(例 2)。

例 1: 異なる用紙サイズでコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > [大きさ混在] > [コピー先] > [自動サイズ調整] > [コピー]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別されます。原稿の用紙サイズに応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷されます。

例 2: 単一の用紙サイズに収まるようにコピーする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > [大きさ混在] > [コピー先] > [レター] > [コピー]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別され、選択した単一の用紙サイズに収まるように調整されます。

用紙の両面にコピーする(両面コピー)

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [印刷面(両面印刷)] > 優先両面印刷方法を選択

メモ: 優先両面印刷方法の場合、最初の数字は原稿の印刷面、2 番目の数字はコピー先の印刷面を表しています。例えば、両面の原稿を両面コピーする場合は、[両面を両面に]を選択します。

4  > [コピー] をタッチします。

コピーを縮小または拡大する

コピーは、原稿のサイズの 25% から 400% にまで縮小または拡大できます。

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から[コピー]をタッチします。
- 4 [拡大縮小] 領域から、 または  をタッチして、コピーを拡大縮小します。

メモ:

- [拡大縮小]の出荷時の設定は[自動]です。
- [拡大縮小]の設定を[自動]のままにした場合、原稿の内容は、コピーする用紙のサイズに合わせて調整されます。
- [拡大縮小]を手動で設定してから、[コピー先]または[コピー元]をタッチすると、拡大縮小の値は[自動]に戻ります。

- 5 [コピー]をタッチします。

コピー品質の調整

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [内容]

- 4 コピーする内容のタイプに最も合ったボタンをタッチします。
 - [文字]—原稿の大半がテキストまたは線画。
 - [文字/写真]—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。
 - [写真]—原稿の大半が写真や画像。
 - [グラフィックス]—原稿の大半が、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- 5  をタッチします。

6 コピーする内容のタイプに最も合ったボタンをタッチします。

- [カラーレーザー]—原稿はカラーレーザープリンタで印刷されている。
- [インクジェット]—原稿はインクジェットプリンタで印刷されている。
- [雑誌]—原稿が雑誌。
- [出版物]—原稿は印刷機で印刷されている。
- [モノクロレーザー]—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷されている。
- [写真/フィルム]—原稿がフィルム写真。
- [新聞]—原稿が新聞。
- [その他]—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されている。

7  > [コピー]をタッチします。

丁合印刷する

ドキュメントを複数部印刷する場合は、それぞれセットとして印刷(丁合印刷)するか、ページごとにまとめて印刷(丁合せずに印刷)するかを選択できます。



1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > 部数を入力 > [丁合印刷] > ページの優先順序を選択 >  > [コピー]

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP 用紙、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [セパレータ紙]

メモ: コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入するには、[丁合印刷]を[1,2,3 - 1,2,3]に設定します。[丁合印刷]が[1,1,1 - 2,2,2]に設定されている場合、セパレータ紙はコピージョブの最後に追加されます。詳細については、[75 ページの「丁合印刷する」](#)を参照してください。

4 次のいずれかを選択します。

- 各部の間
- 各ジョブの間
- 各ページの間
- オフ

5  > [コピー]をタッチします。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

用紙を節約する目的で、連続した 2 ページまたは 4 ページのドキュメントを 1 枚の用紙にコピーできます。

メモ:

- 用紙サイズをレター、リーガル、A4、または JIS B5 に設定していることを確認します。
- コピーサイズを 100% に設定してください。

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [用紙の節約] > 目的の出力を選択 >  > [コピー]

メモ: [用紙の節約]が[オフ]の場合、[ページ枠を印刷]オプションは使用できません。

コピー情報

ページにヘッダーまたはフッターを入れる

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

コピー > ヘッダー/フッター

4 [ヘッダー]または[フッター]を選択し、 をタッチします。

5 ヘッダーまたはフッターを挿入する場所を選択してから、テキストオプションを選択し、 をタッチします。

6 ヘッダーまたはフッターを挿入する場所を選択してから、 をタッチします。

7 [ヘッダー/フッター]メニューで、 > [コピー]をタッチします。

各ページにオーバーレイメッセージを印刷する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [オーバーレイ] > オーバーレイメッセージを選択 > 

メモ: メッセージの選択肢は、緊急、コンフィデンシャル、コピー、カスタム、ドラフトです。

4 [コピー]をタッチします。

コピージョブをキャンセルする

ADF で原稿が処理されている途中でコピージョブをキャンセルする

ADF で原稿の処理が開始されたときに、プリンタコントロールパネルで [ジョブをキャンセル]をタッチします。

原稿台ガラスで原稿をコピーしている途中でコピージョブをキャンセルする

ホーム画面から [ジョブをキャンセル]をタッチします。

ディスプレイ上に [キャンセルしています]が表示されます。ジョブがキャンセルされると、コピー画面が表示されます。

ページの印刷中にコピージョブをキャンセルする

- 1 プリンタコントロールパネルから、 をクリックします。
- 2 キャンセルするジョブをタッチし、 をタッチします。
- 3  を押すと、ホーム画面に戻ります。

コピーオプションの理解

コピー元

このオプションを使用すると、原稿の用紙サイズを選択できます。

- 原稿と同じ用紙サイズをタッチします。
- 用紙サイズが異なる原稿を同じ幅でコピーするには、[**大きさ混在**]をタッチします。

コピー

このオプションでは、コピーが印刷される用紙のサイズとタイプを選択できます。

- セットしている用紙と同じサイズとタイプをタッチします。
- [コピー元]と[コピー先]の設定が異なる場合、[拡大縮小]設定がプリンタで自動的に調整され、サイズの差は調整されます。
- 使用するサイズとタイプの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、[手差しフィーダー]をタッチして、手差しフィーダーまたは多目的フィーダーに用紙を手動でセットします。
- [コピー先]を[自動サイズ調整]に設定すると、コピーのページはそれぞれ原稿の用紙サイズで印刷されます。同じサイズの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、**用紙サイズが見つかりません**というメッセージが表示され、トレイ、手差しフィーダー、または多目的フィーダーに用紙をセットするよう指示されます。

拡大縮小

このオプションを使用すると、コピー画像が 25%～400% の任意の範囲で均等に拡大縮小されます。自動設定も可能です。

- リーガル用紙からレター用紙のように、用紙サイズを変更してコピーするときに、[コピー元]と[コピー先]の用紙サイズを自動的に拡大縮小するよう設定することで、原稿の情報をすべてコピー先のページに収めることができます。
-  またはプリンタコントロールパネルの  をタッチすると、1% 刻みで値が増減します。ボタンを 2 秒以上押したままにすると、値が連続して増減します。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、コピーの濃度を調整します。

印刷面(両面印刷)

原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。

丁合印刷

このオプションでは、コピーを 2 部以上印刷するときに、印刷順序が原稿のページと同じ順序になるようにします。

部数

このオプションを使用すると、印刷する部数を設定できます。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にはテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷されている。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷されている。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷されている。
- **[雑誌]**—原稿が雑誌。
- **[新聞]**—原稿が新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されている。
- **[写真/フィルム]**—原稿がフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿が出版物。

カラー

このオプションにより、スキャン画像の出力をカラーまたはモノクロに設定できます。

両面印刷詳細設定

ドキュメントの向き、ドキュメントの印刷方法（片面印刷または両面印刷）、およびドキュメントの綴じ方を指定する場合に使用します。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定にショートカット名を割り当てて、保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

余白移動

スキャンした画像を移動することで、指定した距離分、余白のサイズを増減する場合に使用します。 または  をタッチして、目的の余白を設定します。追加した余白が大きすぎた場合、コピーはトリミングされます。

フチ消去

このオプションでは、原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去できます。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。

オーバーレイ

コピー内容に透かし(メッセージ)を重ねて挿入する場合に使用します。所定のメッセージ(緊急、コンフィデンシャル、コピー、ドラフト、およびカスタム)を選択できます。[カスタムテキストを入力]フィールドにカスタムメッセージを挿入し、[OK]フィールドを押すことも可能です。選択したメッセージは、各ページに大きな活字で薄く印刷されます。

送付状ページの設定

コピーの送付状と小冊子の送付状を設定する場合に使用します。

セパレータ紙

部、印刷、ページ、印刷ジョブ、またはコピージョブのまとまりごとに空のページを挿入する場合に使用します。コピーを印刷する用紙とは別のタイプや色の用紙をトレイにセットして、そのトレイからセパレータ紙として給紙できます。

ヘッダー/フッター

ヘッダーまたはフッターを挿入し、ページ上の挿入位置を指定できます。

次のいずれかを選択します。

- **Bates 番号**
- **カスタムテキスト**
- **日付/時刻**
- **ページ番号**

用紙の節約

原稿の 2 枚以上のページを同じページにまとめて印刷する場合に使用します。[用紙の節約] は、N-up 印刷とも呼ばれます。N は、枚数(Number)を表します。例えば、2-up の場合は原稿の 2 ページが 1 ページにまとめて印刷され、4-up の場合は原稿の 4 ページが 1 ページにまとめて印刷されます。

イメージ詳細設定

原稿をコピーする前に、[自動中央揃え]、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、[シャープネス]、および [色温度] 設定を調整します。

小冊子を作成

一連の印刷ページと丁合印刷ページを作成できます。このページは折りたたむと、原稿のページサイズの半分のサイズで、すべてのページが順に並んでいる小冊子となります。片面印刷または両面印刷を選択できます。

メモ: このオプションが表示されるのは、プリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

カスタムジョブ

動作しているプリンタハードディスクがあるときに、複数のスキャンジョブを 1 つのジョブに集約できます。

ADF 傾き補正

このオプションでは、ADFトレイから受信したときに、少し歪んだスキャン画像を真っ直ぐにできます。

E メールで送信する

ADF	原稿台ガラス
 両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	 1 ページの文書、本のページ、小さいもの（葉書や写真など）、OHP フィルム、感光紙、薄いもの（雑誌の切り抜きなど）には原稿台ガラスを使用します。

プリンタを使用し、1 人以上の受信者にスキャン文書を E メール送信できます。3 つの方法でプリンタから E メール送信できます。E メールアドレスの入力、ショートカット番号の使用、アドレス帳の使用が可能です。

プリンタを設定して E メールを送信する

E メール機能をセットアップする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール/FTP 設定] > [E メール設定] の順にクリックします。

- 3 該当する情報を入力し、[送信]をクリックします。

E メールショートカットを作成する

内蔵 Web サーバーを使用して E メールショートカットを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定]をクリックします。

3 [その他の設定] 列で、[ショートカット管理] > [E メールショートカットの設定]をクリックします。

4 宛先の一意の名前を入力して、E メールアドレスを入力します。複数のアドレスを入力する場合、各アドレスをコンマ(,)で区切ります。

5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して E メールショートカットを作成する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] > 受信者の E メールアドレスを入力 > 

メモ: 受信者のグループを作成するには、 をタッチして、次の受信者の E メールアドレスを入力します。

2 [件名] > Eメールの件名を入力 >  をタッチします。

3 [メッセージ] > メッセージを入力 >  をタッチします。

4 Eメールの設定を調整します。

メモ: E メールショートカットが作成された後に設定を変更する場合、設定は保存されません。

5 [ショートカットとして保存]をタッチします。

6 一意のショートカット名を入力し、 をタッチします。

7 ショートカット名が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

ショートカット名が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。

メモ:

- ショートカット名は、プリンタのホーム画面の E メールショートカットアイコンに表示されます。
- 同じ設定を使用して別のドキュメントを E メールで送信するときには、ショートカットを使用できます。

ドキュメントを送信する

プリンタコントロールパネルを使用して E メールを送信する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADFトレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切に設定していないと、画像がページ内に収まらないことがあります。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者]

4 E メールアドレスを入力するか、# を押して、ショートカット番号を入力します。

追加のアドレスを入力するには、 をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。

メモ: アドレス帳を使用して、E メールアドレスを入力することも可能です。

5 > [E メール送信] をタッチします。

ショートカット番号を使用して E メールを送信する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADFトレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADFトレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADFトレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 # を押し、キーパッドでショートカット番号を入力して、 をタッチします。

追加のアドレスを入力するには、 をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。

4 > [E メール送信] をタッチします。

アドレス帳を使用して E メールを送信する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADFトレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADFトレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADFトレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] >  > 受信者の名前を入力 > 

4 受信者の名前を入力します。

その他の受信者を検索するには、[新しい検索]をタッチし、次の受信者の名前を入力します。

5 >[E メール送信]をタッチします。

E メール設定のカスタマイズ

E メールの件名と本文を追加する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] > E メールアドレスを入力 > 

4 [件名] > E メールの件名を入力 > をタッチします。

5 [メッセージ] > メッセージを入力 > をタッチします。

出力ファイルタイプを変更する

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] > E メールアドレスを入力 >  > [送信形式]

4 送信するファイルタイプに当てはまるボタンをタッチします。

- [PDF]—Adobe Reader で閲覧できる、複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。Adobe Reader は、Adobe 社 (www.adobe.com) から無償で提供されています。
- [セキュア PDF]—ファイルコンテンツを不正アクセスから保護する、暗号化 PDF ファイルを作成する場合に使用します。

- **[TIFF]**—複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。内蔵 Web サーバー(EWS)の[設定]メニューで[複数ページ TIFF]をオンにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で TIFF ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
- **[JPEG]**—原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。JPEG ファイルは、ほとんどの Web ブラウザやグラフィックプログラムで閲覧できます。
- **[XPS]**—複数ページを含む単一の XML Paper Specification (XPS) ファイルを作成する場合に使用します。XPS ファイルは、Internet Explorer でホストされるビューアや .NET Framework を使用するか、サードパーティ製のスタンドアロンビューアをダウンロードすることで閲覧できます。

5  > **[E メール送信]**をタッチします。

メモ: **[セキュア PDF]**を選択した場合、パスワードを 2 回入力するよう指示されます。

E メールをキャンセルする

- ADF を使用している場合は、**スキャン中**というメッセージが表示されているときに、**[ジョブをキャンセル]**をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用している場合は、**スキャン中または次のページをスキャン/ジョブを終了**というメッセージが表示されているときに、**[ジョブをキャンセル]**をタッチします。

E メールオプション

受信者

このオプションを使用すると、Eメールの受信者を入力できます。複数の E メールアドレスを入力できます。

件名

このオプションを使用すると、Eメールの件名を入力できます。

本文

このオプションを使用すると、スキャンした添付ファイルとともに送信される Eメールの本文を入力できます。

ファイル名

このオプションでは、添付ファイル名をカスタマイズできます。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定にショートカット名を割り当てて、ショートカットとして保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

原稿サイズ

このオプションを使用すると、E メール送信する原稿の用紙サイズを設定できます。[原稿サイズ]を[大きさ混在]に設定すると、用紙サイズが異なる原稿(リーガルサイズおよびレターサイズのページ)をスキャンできます。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、スキャン文書の濃度を調整します。

解像度

このオプションを使用すると、Eメールの出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、Eメールサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

カラー

このオプションにより、スキャン画像の出力をカラーまたはモノクロに設定できます。

送信形式

このオプションにより、スキャン画像の出力タイプを入力します。

次のいずれかを選択します。

- **[PDF]**—複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。
メモ:工場出荷時は[PDF]に設定されています。
- **[セキュア PDF]**—ファイルコンテンツを不正アクセスから保護する、暗号化 PDF ファイルを作成する場合に使用します。
- **[TIFF]**—複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。内蔵 WEB サーバー(EWS)の[設定]メニューで [複数ページ TIFF] をオンにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で TIFF ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
- **[JPEG]**—原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。
- **[XPS]**—複数ページを含む単一の XPS ファイルを作成する場合に使用します。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。

- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。E メールに含めるスキャンの対象も指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

カスタムジョブ

動作しているプリンタハードディスクがあるときに、複数のスキャンジョブを 1 つのジョブに集約できます。

スキャンプレビュー

このオプションでは、E メールに添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

送信ログ

送信ログまたは送信エラーログを印刷できます。

フチ消去

このオプションでは、原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去できます。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。

イメージ詳細設定

E メールを送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[JPEG 品質]、[左右反転]、[ネガイメージ]、[端までスキャン]、[シャドウ描写]、[シャープネス]、および [色温度] 設定を調整する場合に使用します。

ADF 傾き補正

このオプションでは、ADF トレイから受信したときに、少し歪んだスキャン画像を真っ直ぐにできます。

Fax

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

プリンタを設定して Fax を送信する

⚠ 危険！感電の恐れあり：雷雨時には、FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本製品のセットアップや、FAX、電源コード、電話など、電気的な接続を行わないでください。

メモ：

- 以下の接続方法は、国や地域により適用できない場合があります。
- プリンタの初期設定中、FAX 機能チェックボックスやその他後に設定する予定の機能の選択を解除し、**[続行]** をタッチしてください。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告！破損の恐れあり：実際に FAX を送受信している間、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



FAX の初期設定

多くの国や地域では、送信 FAX の各ページ上部あるいは下部の余白、または送信原稿の 1 枚目に、送信元（メッセージを送信する会社やその他団体、または個人名）および送信元番号（送信 FAX 機、会社、その他団体、または個人の電話番号）の情報の記載が求められます。詳細については、[315 ページの「通信端末機器の規制に関する通知」](#)を参照してください。

FAX の設定情報の入力には、プリンタのコントロールパネルを使用する、もしくはブラウザを使用して内蔵 WEB サーバー（EWS）にアクセスし、設定メニューを入力します。

メモ: TCP/IP 環境をお持ちでない場合、プリンタのコントロールパネルを使用して FAX の設定情報を入力する必要があります。

プリンタのコントロールパネルによる FAX 設定

初めてプリンタの電源を入れると、一連のスタートアップ画面が表示されます。プリンタに FAX 機能がある場合、[Fax 名]および[Fax 番号]画面が表示されます。

- 1 [Fax 名]画面が表示されたら、次の手順を実行します。
 - a すべての送信 Fax に印刷される名前を入力します。
 - b Fax 名を入力し、[送信]をタッチします。
- 2 [Fax 番号]画面が表示されたら、Fax 番号を入力し、[送信]をタッチします。

内蔵 WEB サーバー(EWS)による FAX 設定

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。
- 3 [FAX 名]フィールドが表示後、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。

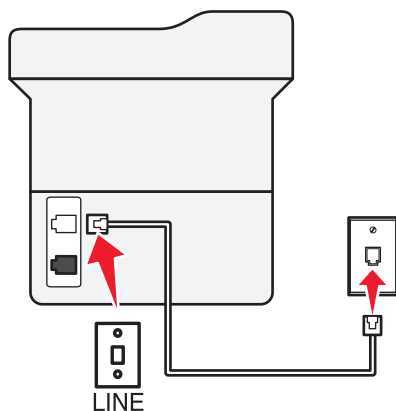
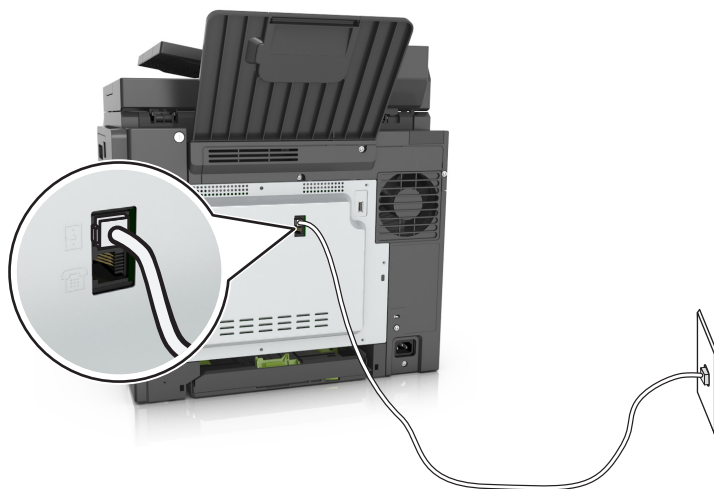
4 [FAX 番号]フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。

5 [送信]をクリックします。

FAX 接続の選択

シナリオ 1: 標準電話回線

設定 1: プリンタが専用 Fax 回線に接続している



接続するには:

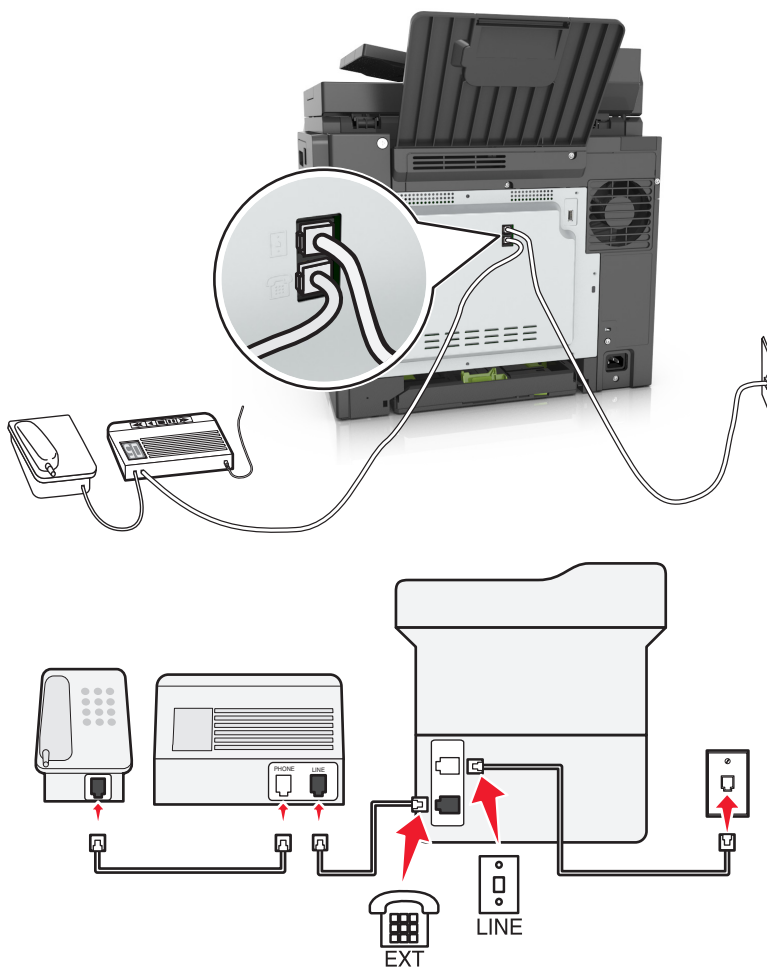
- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの  ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。

この設定のヒント:

- 自動的に Fax を受信する(自動受信オン)または手動で Fax を受信する(自動受信オフ)ように、プリンタを設定できます。
- 自動的に Fax を受信する(自動受信オン)場合は、任意の回数の呼び出し音が鳴った後に受信するように設定できます。

設定 2: プリンタが留守番電話と回線を共有している

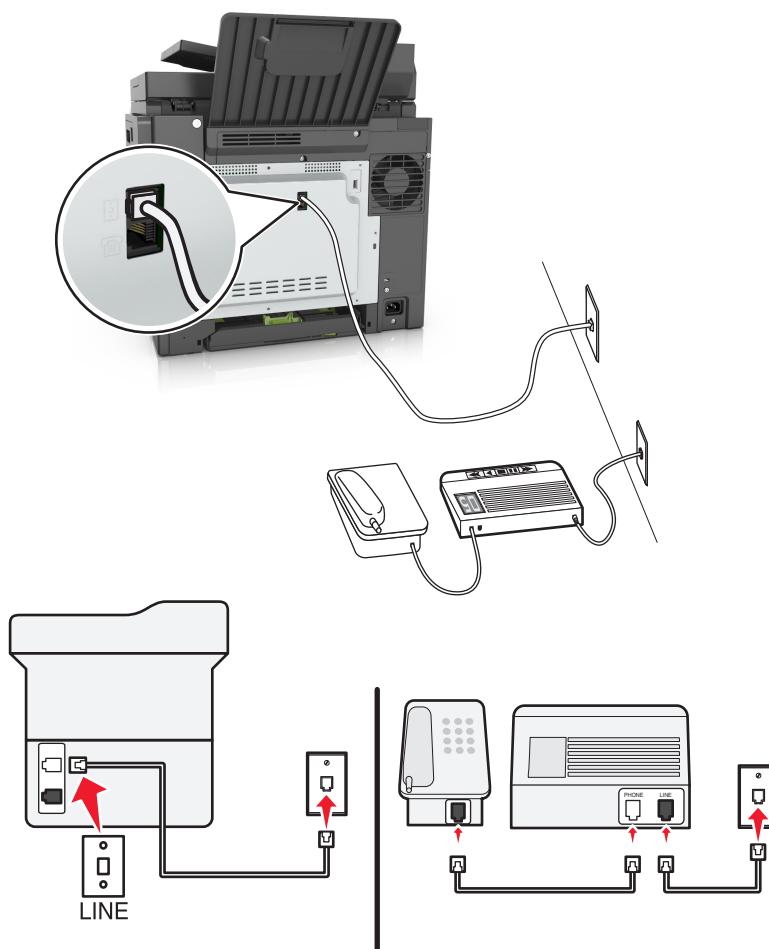
同じ電話用壁ジャックに接続



接続するには:

- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの  ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。
- 3 留守番電話をプリンタの  ポートに接続します。

異なる壁ジャックに接続



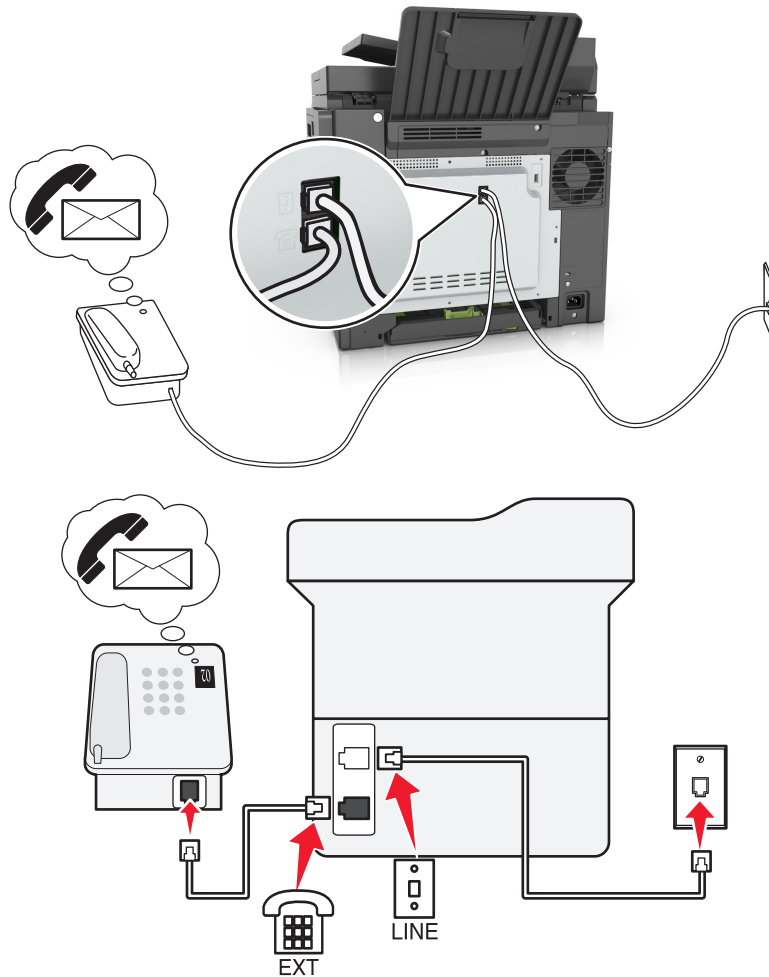
接続するには:

- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの **⑥** ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。

この設定のヒント:

- 回線で 1 つの電話番号しかない場合は、Fax を自動的に受信 (自動受信オン) するように設定する必要があります。
- 留守番電話の後、呼び出し音が 2 回鳴った後に受信するように設定します。例えば、4 回鳴った後に留守番電話が通話を受信する場合、6 回鳴った後に受信するようにプリンタを設定します。このようにすることで、留守番電話が最初に通話を受信し、音声通話が着信します。通話が Fax の場合、プリンタは回線の Fax 信号を検知し、通話を引き継ぎます。
- 電話会社の着信識別サービスに加入している場合は、プリンタで正しい着信パターンが設定されていることを確認してください。そうでない場合は、自動的に Fax を受信するように設定した場合でも、Fax が受信されません。

設定 3: プリンタがボイスメールサービスに加入している電話と回線を共有している



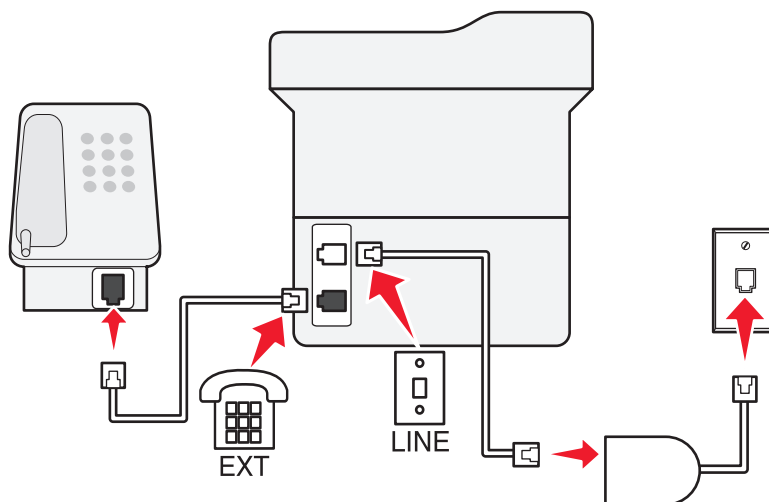
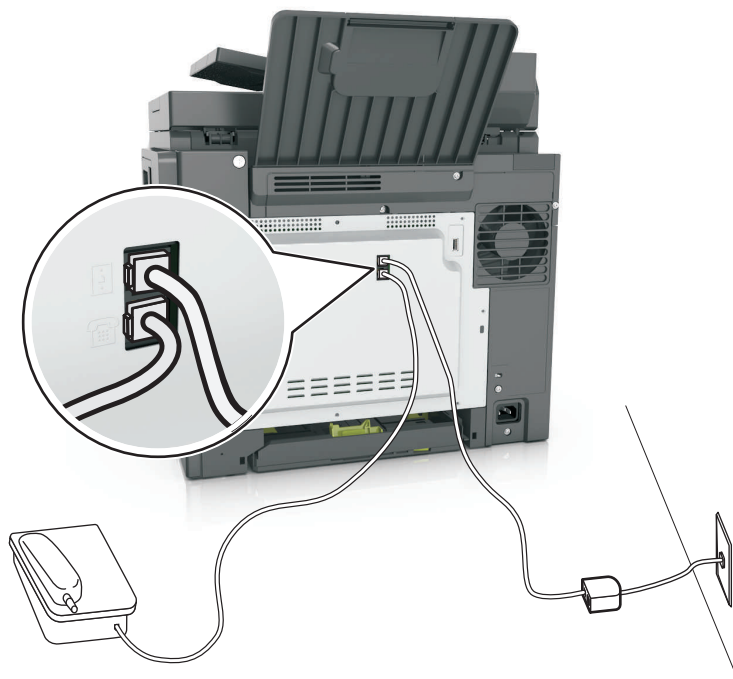
接続するには:

- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの  ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。
- 3 電話をプリンタの  ポートに接続します。

この設定のヒント:

- 着信識別サービスに加入している場合、この設定が最適です。着信識別サービスに加入している場合は、プリンタで正しい着信パターンが設定されていることを確認してください。そうでない場合は、自動的に Fax を受信するように設定した場合でも、Fax が受信されません。
- 回線で 1 つの電話番号しかない場合は、Fax を手動で受信(自動受信オフ)するように設定する必要があります。電話に応答し、Fax トーンが聞こえたら、電話で *9* または手動応答コードを押し、Fax を受信します。
- Fax を自動的に受信(自動受信オン)するように設定することもできますが、Fax の受信が予定されているときには、ボイスメールサービスをオフにする必要があります。Fax よりもボイスメールを多く使用する場合には、この設定が最適です。

シナリオ 2: デジタル加入者回線 (DSL)



デジタル加入者回線は通常の電話回線を、音声とインターネットの 2 つのチャンネルに分割します。電話信号と Fax 信号は音声チャンネルで転送され、インターネット信号はもう一方のチャンネルで転送されます。このため、アナログ音声通話 (Fax を含む) とデジタルインターネットアクセスで、同じ回線を使用できます。

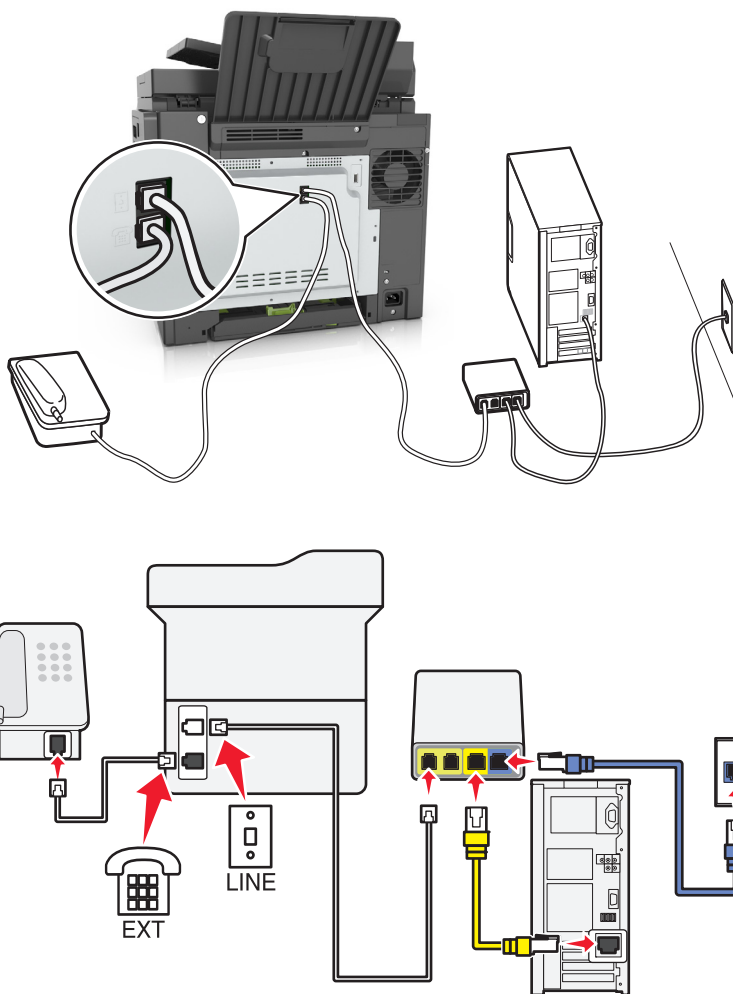
2 つのチャンネル間の干渉を最低限に抑え、高品質接続を保証するためには、ネットワークのアナログデバイス (Fax 機、電話、留守番電話) で DSL フィルタを取り付ける必要があります。干渉により、電話ではノイズや空電、プリンタでは Fax エラーや低品質、コンピュータでは低速インターネット接続が生じます。

プリンタのフィルタを取り付けるには:

- 1 DSL フィルタの回線ポートを壁ジャックに接続します。
- 2 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの  ポートに接続します。電話ポートのもう一方の端を DSL フィルタへ接続します。

- 3 インターネットアクセスでコンピュータを使用し続けるには、コンピュータを DSL フィルタの DSL HPN ポートに接続します。
- 4 電話をプリンタに接続するには、プリンタの ☎ ポートから取り付けられたアダプタプラグを取り外し、電話をポートに接続します。

シナリオ 3: VoIP 電話サービス



接続するには:

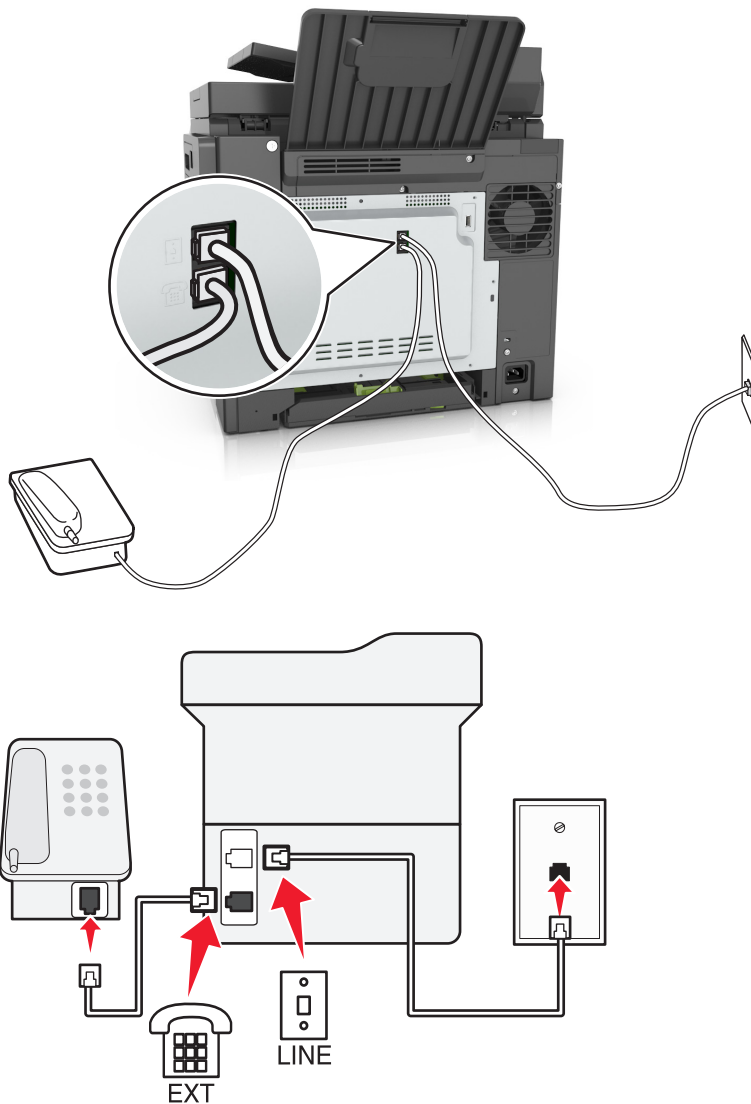
- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの ☎ ポートに接続します。
- 2 ケーブルの反対の端を VoIP アダプタの **電話回線 1** または **電話ポート** と書かれているポートに接続します。
メモ: 電話回線 2 または Fax ポートと書かれているポートは常に有効なわけではありません。2 番目の電話ポートを有効にすると、VoIP プロバイダによって追加料金が課金される場合があります。
- 3 電話をプリンタの ☎ ポートに接続します。

3 アナログ電話をプリンタの ☎ ポートに接続します。

メモ:

- ケーブルモデムの電話ポートが有効であることを確認するために、アナログ電話を電話ポートに差し込み、発信音を聞きます。発信音が聞こえた場合、ポートは有効です。
- デバイスで 2 つの電話ポートが必要で、追加料金を避けたい場合は、プリンタを 2 番目の電話ポートに差し込まないでください。この場合、電話スプリッターを使用できます。電話スプリッターを電話回線 1 または電話ポートに差し込み、プリンタと電話をスプリッターに差し込みます。
- 回線スプリッターではなく、必ず電話スプリッターを使用してください。正しいスプリッターを使用していることを確認するために、アナログ電話をスプリッターに差し込み、発信音を聞きます。

設定 2: プリンタが壁のジャックに接続し、ケーブルモデムが施設内のどこかに取り付けられている

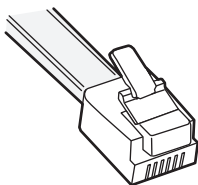


- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの ☎ ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。
- 3 アナログ電話をプリンタの ☎ ポートに接続します。

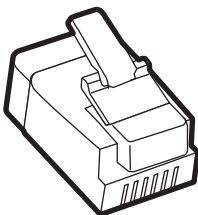
シナリオ 5: 異なる電話用ジャックとプラグがある国または地域

一部の国または地域では、プリンタ付属のものとは異なる電話用壁ジャックコネクタを使用している場合があります。ほとんどの国または地域で採用されている標準の壁ジャックは RJ-11 です。プリンタには RJ-11 ジャックと RJ-11 プラグ付き電話ケーブルが付属しています。

施設内の壁ジャックまたは装置がこのタイプの接続に対応していない場合、電話アダプタを使用する必要があります。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに付属しておらず、個別に購入しなければならない場合があります。

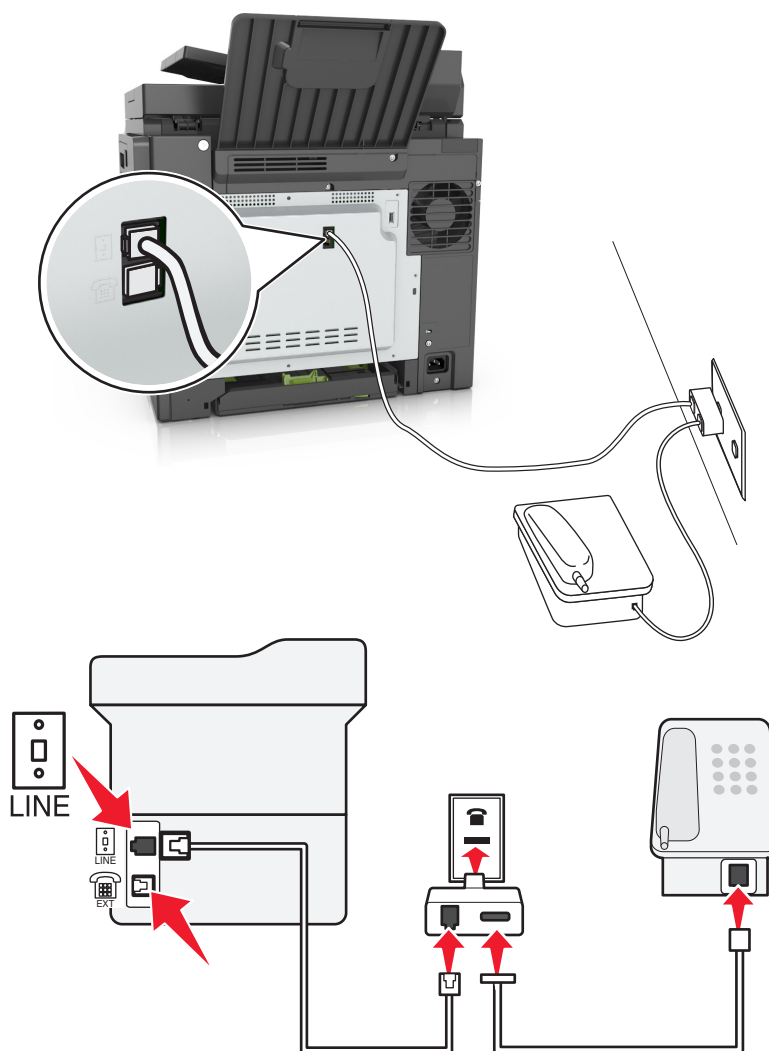


プリンタの ☎ ポートにアダプタプラグが取り付けられる場合があります。カスケードまたはシリアル配線方式で、電話アダプタまたは施設を使用している場合、プリンタの ☎ ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

プリンタを RJ-11 以外の壁のジャックに接続する



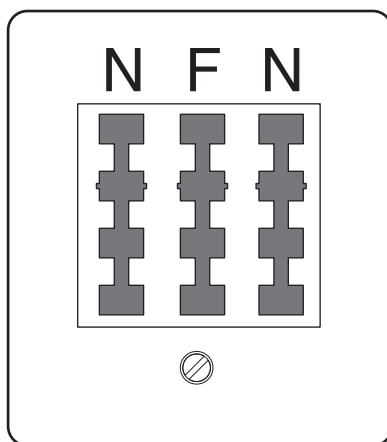
- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの☎ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を RJ-11 アダプタに接続後、アダプタを壁のジャックに接続します。
- 3 別のデバイス(電話または留守番電話)を同じ壁ジャックに接続し、デバイスのコネクタが RJ-11 ではない場合、電話アダプタに直接接続します。

メモ:

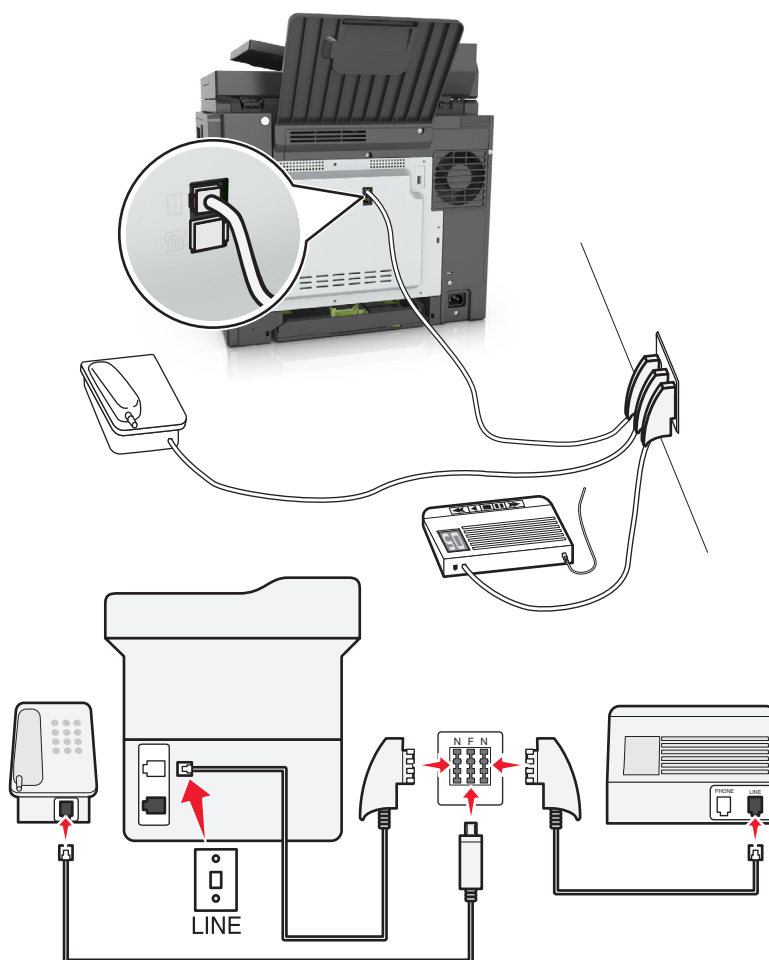
- プリンタの☎ポートには、アダプタで使用するためのアダプタプラグがある場合があります。プリンタの☎ポートからプラグを取り外さないでください。
- 一部の国または地域では、電話アダプタまたはアダプタプラグがプリンタに付属していない場合があります。

ドイツでプリンタを壁のジャックに接続する

ドイツの壁ジャックには 2 種類のポートがあります。N ポートは Fax 機、モデム、および留守番電話用です。F ポートは電話用です。



プリンタはいずれかの N ポートに接続します。



- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの  ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を RJ-11 アダプタに接続後、アダプタを N ポートに接続します。

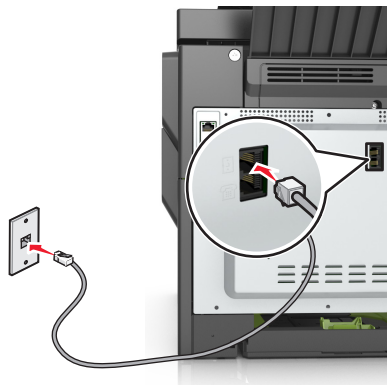
3 電話と留守番電話を同じ壁ジャックに接続する場合は、図のようにデバイスを接続します。

メモ: シリアルまたはカスケード電話システムに接続している場合は、プリンタの  ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスは、ご契約の電話会社を介してご利用頂ける場合があります。本サービスによって1つの電話回線で複数の電話番号を保有することができ、それぞれ異なる着信音をご使用頂けます。こちらは FAX と電話とを区別する際に役立つと思われます。着信識別サービスにご加入の場合は、以下のステップに従い機器を接続してください。

- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。



3 着信識別設定を変更し、ご希望されるプリンタ用の着信に設定します。

メモ: 工場出荷時の着信識別設定はオンとなっております。こちらによりプリンタは 1 つ、2 つ、及び 3 つの着信パターンで応答します。

a ホーム画面から、次のメニューを選択します。



>[設定] >[FAX 設定] >[アナログ FAX 設定] >[受信の設定]

b 変更したい着信パターン設定を選択し、 をタッチします。

送信 FAX/番号の設定

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] >[FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。

3 [FAX 名]フィールドが表示後、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。

- 4 [FAX 番号]フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。
- 5 [送信]をクリックします。

日付および時刻の設定

送信する全ての FAX に日付および時刻を印字されるよう設定することができます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [セキュリティ] > [日付/時刻を設定]の順にクリックします。
- 3 [日付と時間手動設定]フィールドに、現在の日付と日時を入力します。
- 4 [送信]をクリックします。

メモ: ネットワークタイムのご使用をお勧めします。

夏時間を使用するようにプリンタを設定する

プリンタは自動的に夏時間に合わせるように設定できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [セキュリティ] > [日付/時刻を設定]の順にクリックします。
- 3 [DST を自動的に順守]チェックボックスをオンにし、DST 開始/終了日付を[カスタム時間帯の設定]セクションに入力します。
- 4 [送信]をクリックします。

Fax を送信する

プリンタコントロールパネルを使用して Fax を送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から[Fax]をタッチします。
- 4 プリンタコントロールパネルのキーボードから、Fax 番号またはショートカット番号を入力します。

メモ: 受信者を追加するには、 をタッチして受信者の電話番号またはショートカット番号を入力するか、アドレス帳を検索します。

- 5 [Fax]をタッチします。

コンピュータを使用して FAX を送信する

プリンタドライバの FAX オプションを使用すると、印刷ジョブをプリンタに送信し、ジョブを FAX として送信します。FAX オプションは通常の FAX 機として動作しますが、プリンタコントロールパネルではなく、プリンタドライバによって制御されます。

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 [プロパティ]、[基本設定]、[オプション]または[セットアップ]をクリックします。
- 3 次のメニューを選択します。
[FAX]タブ > [FAX を有効にする]
- 4 [FAX 番号]フィールドに、宛先の FAX 番号を 1 件以上入力します。
メモ: FAX 番号は、電話帳機能を使用するか、手動で入力できます。
- 5 必要に応じて、[外線発信番号]フィールドにプレフィックスを入力します。
- 6 該当する用紙サイズと用紙の向きを選択します。
- 7 FAX に表紙を含める場合は、[送付状を含めてすべてのページを表示する]を選択し、該当する情報を入力します。
- 8 [OK]をクリックします。

メモ:

- FAX オプションは、PostScript ドライバまたはユニバーサル FAX ドライバでのみ使用できます。これらのドライバのインストールについては、ソフトウェアおよびドキュメント CD を参照してください。
- FAX オプションを使用する前に、[構成]タブの PostScript ドライバで構成し、有効にする必要があります。
- [FAX 送信前に必ず設定を表示する]チェックボックスがオンになっている場合、FAX を送信する前に、宛先情報を確認するメッセージが表示されます。このチェックボックスがオフの場合、[FAX]タブの[OK]をクリックしたときに、キューで待機している原稿が自動的に FAX として送信されます。

ショートカット番号を使用して FAX を送信する

FAX ショートカットは、電話機や FAX 機のスピードダイヤル番号のようなものです。ショートカット番号(1 ~ 999)には、1 件以上の受信者を含めることができます。

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 プリンタコントロールパネルから # を押し、キーボードを使用してショートカット番号を入力します。
- 4 [FAX] をタッチします。

アドレス帳を使用して FAX を送信する

アドレス帳機能では、ブックマークおよびネットワークディレクトリサーバーを検索できます。

メモ: アドレス帳機能が有効になっていない場合、システムサポート担当者までお問い合わせください。

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[FAX] >  > 受信者の名前を入力 > 

メモ: 一度に検索できる名前は 1 件のみです。

- 4 受信者の名前をタッチし、[FAX] をタッチします。

Fax を予定時刻に送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[Fax] > Fax 番号を入力 > [後で送信]

メモ: Fax モードが Fax サーバに設定されている場合、[後で送信] ボタンは表示されません。送信待機中の Fax が Fax キューに一覧表示されます。

- 4 Fax を送信する時刻を指定し、 をタッチします。
時刻は 30 分刻みで増減できます。
- 5 [Fax]をタッチします。
メモ: ドキュメントがスキャンされ、予定時刻に Fax で送信されます。

ショートカットを作成する

内蔵 Web サーバーを使用して Fax 宛先ショートカットを作成する

- 1 件の Fax 番号または Fax 番号のグループにショートカット番号を割り当てます。
 - 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで、プリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
 - 2 [設定] > [ショートカット管理] > [FAX ショートカット設定]の順にクリックします。
メモ: パスワードが要求される場合があります。ID とパスワードがわからない場合は、システムサポート担当者までお問い合わせください。
 - 3 ショートカット名を入力してから、Fax 番号を入力します。
メモ:
 - 複数の番号が含まれるショートカットを作成するには、グループの Fax 番号を入力します。
 - グループ内の各 Fax 番号はセミコロン (;) で区切ります。
 - 4 ショートカット番号を割り当てます。
メモ: 入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。
 - 5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して Fax 宛先ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面から、[Fax]をタッチし、Fax 番号を入力します。
Fax 番号のグループを作成するには、 をタッチして、その他の Fax 番号を入力します。
- 2  をタッチします。
- 3 一意のショートカット名を入力し、 をタッチします。
- 4 ショートカット名と番号が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。
ショートカット名または番号が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。

FAX 設定のカスタマイズ

FAX の解像度変更

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、**[Fax]**をタッチし、Fax 番号を入力します。
- 4 解像度エリアから、 または  タッチしてご希望の解像度に変更します。

メモ: 設定は標準(最も速い)からウルトラファイン(最も遅い、最高の品質)まであります。

- 5 **[Fax]**をタッチします。

FAX の濃さ調整

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、**[Fax]**をタッチし、Fax 番号を入力します。
- 4 [濃度]エリアから、 または  をタッチして FAX の濃さを調整します。
- 5 **[Fax]**をタッチします。

FAX ログの閲覧

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 **[設定]** > **[レポート]**をクリックします。
- 3 **[FAX ジョブログ]** または **[FAX 通信ログ]**をクリックします。

迷惑 FAX のブロック

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] > [無記名の FAX をブロック]の順にクリックします。

メモ:

- このオプションにより、番号非通知の受信 FAX や FAX 名のない受信 FAX を全てブロックします。
- [FAX 除外リスト]フィールドに、ブロックする特定の FAX 送信者の電話番号や Fax 名を入力してください。

送信 FAX のキャンセル

オリジナル原稿がまだスキャン中に FAX をキャンセルする

- ADF を使用している場合は、スキャン中というメッセージが表示されているときに、プリンタコントロールパネルで **[ジョブをキャンセル]** をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用している場合は、スキャン中または次のページをスキャン/ジョブを終了というメッセージが表示されているときに、プリンタコントロールパネルで **[ジョブをキャンセル]** をタッチします。

原稿がメモリにスキャンされた後で Fax をキャンセルする

- 1 ホーム画面で **[ジョブをキャンセル]** をタッチします。
[ジョブをキャンセル]画面が表示されます。
- 2 キャンセルするジョブをタッチします。
画面には 3 つのジョブだけが表示されます。目的のジョブが表示されるまで下矢印をタッチし、キャンセルするジョブをタッチします。
- 3 **[選択したジョブを削除]** をタッチします。
[選択したジョブを削除]画面が表示され、選択したジョブが削除されます。次に[ホーム]画面が表示されます。

FAX の保留、転送

FAX の保留

このオプションにより、受信 FAX を出力するまで印刷保留することができます。保留した FAX は手動、または決められた日付もしくは時刻に出力することができます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 保留]の順にクリックします。

3 [保持 FAX モード]メニューより、以下の中からいずれか 1 つを選択します。

- オフ
- 常にオン
- 手動
- 予約

4 スケジュールを選択した場合、さらに以下のステップに従って進みます。

- a [FAX 保留スケジュール]をクリックします。
- b アクションメニューより、[FAX 保留]を選択します。
- c 時間メニューより、保留した FAX のリリース希望時刻を選択します。
- d 日付メニューより、保留した FAX のリリース希望日を選択します。

5 [追加]をクリックします。

Fax の転送

このオプションにより、受信した FAX を印刷し、指定の FAX 番号、電子メールアドレス、FTP サイト、または LDSS に転送ができます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定]の順にクリックします。

3 [Fax 転送]メニューから、[印刷]、[印刷して転送]、または[転送]を選択します。

4 [転送先]メニューから、[Fax]、[E メール]、[FTP]、[LDSS]、または[eSF]を選択します。

5 ショートカットに転送フィールドに、FAX 転送先のショートカット番号を入力します。

メモ: ショートカット番号は、[転送先]メニューで選択された設定で有効である必要があります。

6 [送信]をクリックします。

Fax オプション

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、Fax の濃度を調整します。

解像度

このオプションを使用すると、Fax の出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、ファイルサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

次のいずれかを選択します。

- **標準**—ほとんどの文書を Fax 送信するときに使用します。
- **ファイン 200 dpi**—小さい印刷の文書を Fax 送信するときに使用します。
- **スーパーファイン 300 dpi**—詳細な文書を Fax 送信するときに使用します。
- **ウルトラファイン 600 dpi**—画像や写真のある文書を Fax 送信するときに使用します。

カラー

このオプションを使用すると、スキャンした画像の出力をカラーまたはモノクロに設定できます。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿は印刷機で印刷。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。FAX に含めるスキャンの対象も指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

送信ログ

送信ログまたは送信エラーログを印刷できます。

フチ消去

このオプションでは、原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去できます。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。

カスタムジョブ

動作しているプリンタハードディスクがあるときに、複数のスキャンジョブを 1 つのジョブに集約できます。

スキャンプレビュー

このオプションでは、FAX に添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

遅延送信

このオプションにより FAX を時刻、日付を遅らせて送信することができます。

詳細イメージング

このオプションでは、Fax を送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、および[シャープネス]設定を変更または調整します。

ADF 傾き補正

このオプションでは、ADFトレイから受信したときに、少し歪んだスキャン画像を真っ直ぐにできます。

スキャン

ネットワークへのスキャンを使用する

[ネットワークへのスキャン]では、システムサポート担当者が指定したネットワーク上の場所に原稿をスキャンできます。保存場所(共有ネットワークフォルダ)がネットワーク上で作成された後、アプリケーションのセットアップ処理によって、内蔵 Web サーバーを使用して、該当するプリンタ上でアプリケーションのインストールと構成が実行されます。詳細については、[23 ページの「ネットワークへのスキャンをセットアップする」](#)を参照してください。

FTP アドレスにスキャンする

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
	
両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより、原稿をファイル転送プロトコル(FTP)サーバーへ直接スキャンできます。一度に 1 つの FTP アドレスしかサーバーへ送信できません。

システムサポート担当者により既に FTP 宛先が構成されていれば、宛先の名称がショートカット番号として利用できます。または保持されたジョブアイコンの下にプロファイルとして一覧表示されます。FTP の宛先を別の PostScript プリンタにすることができます。

ショートカットを作成する

原稿を FTP サーバーに送るたびに、プリンタのコントロールパネルに FTP のサイトアドレス全体を入力する代わりに、常駐 FTP 宛先を作成し、ショートカット番号を割り当てることができます。ショートカット番号作成方法には、内蔵 Web サーバー(EWS)を使った方法と、プリンタコントロールパネルを使った方法の 2 通りがあります。

内蔵 Web サーバーを使用して FTP ショートカットを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 次のメニューを選択します。

[設定] > その他の設定エリア > [ショートカットの管理] > [FTP ショートカットセットアップ]

3 必要な情報を入力します。

メモ: パスワードが要求される場合があります。ID とパスワードがわからない場合は、システムサポート担当者までお問い合わせください。

4 ショートカット番号を入力します。

メモ: 入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。

5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して FTP ショートカットを作成する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[FTP] > [FTP アドレス] > FTP アドレスを入力 >  >  > ショートカット名を入力 > 

2 ショートカット名と番号が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

ショートカット名または番号が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。

FTP アドレスにスキャンする

プリンタコントロールパネルを使用して FTP アドレスにスキャンする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。**メモ:**

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。**3** ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[FTP] > [FTP アドレス] > FTP アドレスを入力 >  > [スキャン]

ショートカット番号を使用して FTP アドレスにスキャンする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 プリンタコントロールパネルから、キーボードの # を押し、FTP ショートカット番号を入力します。
- 4 [スキャン]をタッチします。

コンピュータまたはフラッシュドライブにスキャンする

ADF	原稿台ガラス
	
複数ページの原稿には ADF を使用します。	1 ページの文書、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより原稿を直接コンピュータやフラッシュドライブへスキャンできます。スキャン中に画像を受信するために、プリンタに直接接続する必要はありません。コンピュータ上でスキャンプロファイルを作成し、このプロファイルをプリンタへダウンロードすることで、ネットワークを介してスキャンした原稿をコンピュータに戻すことができます。

内蔵 Web サーバーを使用してコンピュータにスキャンする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [プロファイルをスキャン] > [スキャンプロファイルの作成]の順にクリックします。
- 3 スキャン設定を選択し、[次へ]をクリックします。
- 4 スキャン画像を保存するコンピュータの場所を選びます。
- 5 スキャン名、ユーザー名の順に入力します。

メモ: スキャン名はディスプレイの[プロファイルをスキャン]リストに表示されます。

6 [送信]をクリックします。

メモ: [送信]をクリックすると、ショートカット番号が自動的に割り当てられます。原稿をスキャンする準備ができると、このショートカット番号を使用できます。

7 [プロファイルをスキャン]画面の指示を確認します。

- a オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- b 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- c 次のいずれかを実行します。

- # を押し、キーボードを使用してショートカット番号を入力します。
- ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[保持されたジョブ] > [プロファイル] > リストのショートカットを選択

メモ: スキャナは原稿をスキャンし、指定したディレクトリに送信します。

8 コンピュータからファイルを表示します。

メモ: 出力ファイルは指定した場所に保存されるか、指定したプログラムで開きます。

パソコンへの保存を設定する

メモ:

- この機能は、Windows Vista 以降でのみサポートされています。
- お使いのコンピュータとプリンタが同じネットワークに接続されていることを確認します。

- 1 プリンタのフォルダを開いてお使いのプリンタを選択します。

メモ: お使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタを追加します。

- 2 プリンタのプロパティを開き、必要に応じて設定を調整します。

- 3 操作パネルで、[パソコンへの保存]にタッチし、適切なスキャン設定を選択し、[送信]を選択します。

フラッシュドライブにスキャンする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 フラッシュドライブをプリンタ正面の USB ポートに挿入します。

メモ: USB ドライブのホーム画面が表示されます。

4 保存先フォルダを選択し、[USB ドライブにスキャン]をタッチします。

メモ: 30 秒間何も操作をしないと、ホーム画面に戻ります。

5 スキャン設定を調整し、[スキャン]をタッチします。

スキャンオプション

FTP アドレス

このオプションにより、FTP 宛先の IP アドレスを入力します。

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

ファイル名

このオプションにより、スキャン画像のファイル名を入力します。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定に番号を割り当てて、ショートカットとして保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

原稿サイズ

このオプションを使用すると、スキャン送信する原稿の用紙サイズを設定できます。[原稿サイズ]を[大きさ混在]に設定すると、用紙サイズが異なる原稿(リーガルサイズおよびレターサイズのページ)をスキャンできます。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、スキャン文書の濃度を調整します。

解像度

このオプションを使用すると、ファイルの出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、ファイルサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

カラー

このオプションにより、スキャン画像の出力をカラーまたはモノクロに設定できます。

送信形式

このオプションにより、スキャン画像の出力タイプを入力します。

次のいずれかを選択します。

- **[PDF]**—複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。
- **[セキュア PDF]**—ファイルコンテンツを不正アクセスから保護する、暗号化 PDF ファイルを作成する場合に使用します。
- **[TIFF]**—複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。[設定]メニューで [複数ページ TIFF] をオフにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で Tiff ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
- **[JPEG]**—原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。
- **[XPS]**—複数ページを含む XPS ファイルを作成する場合に使用します。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿は印刷機で印刷。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

送信ログ

送信ログまたは送信エラーログを印刷できます。

スキャンプレビュー

このオプションでは、ファイルに添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、フォーマットされ動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

フチ消去

このオプションでは、原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去できます。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。

詳細イメージング

このオプションでは、スキャンを送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[JPEG 品質]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、および[シャープネス]設定を調整します。

カスタムジョブ

動作しているプリンタハードディスクがあるときに、複数のスキャンジョブを 1 つのジョブに集約できます。

ADF 傾き補正

このオプションでは、ADFトレイから受信したときに、少し歪んだスキャン画像を真っ直ぐにできます。

プリンタのメニューを理解する

メニューリスト

消耗品メニュー	用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート	
シアンカートリッジ	標準設定給紙源	メニュー設定ページ	アクティブ NIC	
マゼンタカートリッジ	用紙サイズ/タイプ	デバイス統計	標準ネットワークまたは	
イエローカートリッジ	代替サイズ	ネットワーク設定ページ	ネットワーク [x]	
ブラックカートリッジ	用紙の粗さ	ネットワーク [x] 設定ページ	標準 USB	
廃トナーボトル	用紙の重量	ショートカット一覧	SMTP セットアップ	
メンテナンスキット	用紙セット方法	FAX ジョブのログ		
	カスタム紙種	FAX 通信ログ		
	カスタム名	コピーショートカット		
	カスタムスキャンサイズ	E メールショートカット		
	ユニバーサル設定	FAX ショートカット		
		FTP ショートカット		
		プロファイル一覧		
		フォント一覧を印刷		
		ファイルディレクトリを印刷		
		印刷デモ		
		備品レポート		
セキュリティ	設定	ヘルプ	ショートカット管理	オプションカードメニュー
その他	一般設定	すべてのガイドを印刷	FAX ショートカット	[各インストール済み
セキュリティ設定	コピー設定	コピーガイド	E メールショートカット	DLE のインデックス]
コンフィデンシャル印刷	FAX 設定	E メールガイド	FTP ショートカット	
一時データファイルを消去	E メール設定	FAX ガイド	コピーショートカット	
データファイル	FTP 設定	FTP ガイド	プロファイルショートカット	
セキュリティ監査ログ	フラッシュドライブメニュー	色品質		
日付/時刻を設定	印刷設定	印刷不良ガイド		
		情報ガイド		
		消耗品ガイド		

消耗品メニュー

使用	目的
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックトナーカートリッジ ほぼ残り僅か 残り僅か ほぼ寿命切れ 交換 不明 不良 不明または応答しない 非サポート 無効な領域 OK Lexmark 純正のカートリッジではない	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックトナーカートリッジの状態を示します。
黒またはカラーイメージングキット ほぼ残り僅か 残り僅か ほぼ寿命切れ 交換 不明 不良 不明または応答しない 非サポート OK Lexmark 純正のイメージングキットではない	黒またはカラーイメージングキットの状態を示します。
廃トナーボトル ほとんど満杯 交換 不明 OK	廃トナーボトルの状態を示します。
保守キット ほぼ残り僅か 残り僅か ほぼ寿命切れ 交換 OK	保守キットの状態を示します。

用紙メニュー

標準設定給紙源メニュー

使用	目的
標準設定給紙源 トレイ[x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブのデフォルト用紙を設定します。 メモ: - 多目的フィーダーを[用紙メニュー]のメニュー設定に表示するには、650 枚デュオトレイを取り付ける必要があります。 - 工場出荷時は[トレイ 1 (標準トレイ)]に設定されています。 - 取り付けられた給紙源だけがメニュー設定に表示されます。 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが[用紙サイズ]と[用紙タイプ]の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。

用紙サイズ/タイプ

使用	目的
トレイ [x] サイズ A4 A5 JIS-B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ユニバーサル	各トレイにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが[用紙サイズ]と[用紙タイプ]の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。
トレイ [x] タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル 光沢紙 ボンド レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙種 [x]	各トレイにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイ 1 のデフォルト設定は普通紙です。カスタムタイプ [x] は、その他のすべてのトレイの出荷時デフォルト設定です。 - ユーザー定義名は、カスタム紙種 [x] の代わりに表示されます。 - このメニューを使用して、自動トレイリンクを設定します。 - OHP フィルムは 250 枚トレイでのみサポートされます。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
多目的フィーダーサイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	多目的フィーダーにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: • 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • このメニュー項目は多目的フィーダー (MP フィーダー) がある場合にのみ表示されます。 • 多目的フィーダーは自動的に用紙サイズを検出しません。用紙サイズ値を設定する必要があります。
多目的フィーダータイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 光沢紙 ラベル ボンド 封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙種 [x]	多目的フィーダーにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は カスタム紙種 [x] に設定されています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
手差し用紙サイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル	手動でセットされた用紙のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
手差し用紙タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 光沢紙 ラベル ボンド レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙種 [x]	手動でセットした用紙タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。
手差し封筒サイズ 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	手動でセットした封筒サイズを指定します。 メモ: 10 米国向けの工場出荷時設定は封筒になっています。DL グローバル向けの工場出荷時設定は封筒 になっています。
手差し封筒タイプ 封筒 カスタム紙種 [x]	手動でセットした封筒タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は封筒に設定されています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

代替サイズメニュー

項目	目的
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧のすべて	要求したサイズ of 用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[一覧のすべて]です。使用可能な代替がすべて許可されます。 [オフ]に設定した場合は、サイズの代替を使用できません。 - サイズの代替を設定すると、[用紙を変更]を表示せずに印刷ジョブを続けることができます。

用紙の粗さメニュー

使用	目的
普通紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる普通紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
厚紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる厚紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通]に設定されています。 - 厚紙がサポートされている場合にのみ表示されます。
OHP フィルムの粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる OHP フィルムの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
再生紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる再生紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
光沢紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる光沢紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
重い光沢紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる重い光沢紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ラベルの粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるラベルの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ボンドの粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるボンドの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[粗い]に設定されています。

使用	目的
封筒の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる粗い封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
レターヘッド紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるレターヘッド紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
プレプリント紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるプレプリント紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
カラー紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるカラー紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
軽い用紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる軽い用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
重い用紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされる重い用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ラフ/コットン紙の粗さ 粗い	セットされるコットン紙の相対的な粗さを指定します。
カスタム [x]粗さ 滑らか 普通 粗い	セットされるカスタム紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通]に設定されています。 - カスタムタイプがサポートされている場合にのみ表示されます。

用紙重さメニュー

使用	目的
普通紙の重さ かるい 普通 おもい	セットされる普通紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
重い厚紙の重さ かるい 普通 おもい	セットされる厚紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。

使用	目的
OHP フィルムの重さ かるい 普通 おもり	セットされる OHP フィルムの相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
再生紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされる再生紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
光沢紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされる光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
重い光沢紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされる重い光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ラベル紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされるラベル紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ボンド紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされるボンド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
封筒の重さ かるい 普通 おもり	セットされる封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
粗い封筒の重さ かるい 普通 おもり	セットされる粗い封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[おもり]に設定されています。
レターヘッド紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされるレターヘッド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
プレプリント紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされるプレプリント紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
カラー用紙の重さ かるい 普通 おもり	セットされるカラー用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。

使用	目的
軽量紙の重さ かるい	セットされる用紙の相対的な重さが軽いことを指定します。
重量紙の重さ おもい	セットされる用紙の相対的な重さが重いことを指定します。
ラフ/コットン紙の重さ かるい 普通 おもい	セットされるラフ/コットン紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
カスタム [x]重さ かるい 普通 おもい	セットされるカスタム用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通]に設定されています。 - カスタムタイプがサポートされている場合にのみ表示されます。

用紙セット方法メニュー

使用	目的
重い厚紙セット中 オフ	用紙タイプとして[重い厚紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
再生紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[再生紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
光沢紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[光沢紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
重い光沢紙セット中 オフ	用紙タイプとして[重い光沢紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ラベル紙セット中 オフ	用紙タイプとして[ラベル紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ボンド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ボンド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
レターヘッド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[レターヘッド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
プレプリント紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[プレプリント紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
メモ: [両面]を選択すると、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブにおいて両面印刷が標準となります。 - 工場出荷時はすべてのメニューが[オフ]に設定されています。	

使用	目的
色付き紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[色付き紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
軽量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[軽量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
重量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[重量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ラフ/コットン紙セット中 オフ	用紙タイプとして[ラフ/コットン紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
カスタム [x] セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[カスタムタイプ [x]]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 メモ: [カスタムタイプ [x] セット中]は、カスタムタイプがサポートされているときのみ表示されます。
メモ: • [両面]を選択すると、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブにおいて両面印刷が標準となります。 • 工場出荷時はすべてのメニューが[オフ]に設定されています。	

カスタム紙種メニュー

使用	目的
カスタムタイプ [x] 用紙 厚紙 OHP フィルム 光沢紙 ラフ/コットン紙 ラベル 封筒	工場出荷時に標準で用意されている [カスタムタイプ [x] 名]、または、内蔵 Web サーバーや MarkVision™ Professional にてユーザーが定義した [カスタム名] に、普通紙や特殊用紙を割り当てます。 メモ: • 工場出荷時は、カスタムタイプ [x] は [普通紙] に設定されています。 • 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたはフィーダーにて [カスタム用紙] タイプがサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 厚紙 OHP フィルム 光沢紙 ラフ/コットン紙 ラベル 封筒	[再生紙] が選択されているときに、用紙タイプを指定します。 メモ: • 工場出荷時は [用紙] に設定されています。 • 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたはフィーダーにて [再生紙] タイプがサポートされている必要があります。

カスタム名メニュー

使用	目的
カスタム名 [x]	用紙タイプのカスタム名を指定します。プリンタメニューの[カスタムタイプ [x]]に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。

カスタムスキャンサイズメニュー

使用	目的
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1-8.5 インチ (25-215.9 mm) 高さ 1-14 インチ (25-355.6 mm) 用紙の向き 縦長 横長 2 スキャン/面 オフ オン	カスタムスキャンサイズ名、スキャンサイズ、および各種オプションを指定します。 メモ: - プリンタメニューの[カスタムスキャンサイズ [x]]に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。 - 米国向けの工場出荷時設定の幅は 8.5 インチになっています。それ以外の国では、工場出荷時は 210 ミリメートルに設定されています。 - 米国向けの工場出荷時設定の高さは 14 インチになっています。それ以外の国では、工場出荷時は 297 ミリメートルに設定されています。 [用紙の向き]の工場出荷時設定は[縦長]になっています。 [2 スキャン/面]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。

ユニバーサル設定メニュー

使用	目的
測定単位 インチ ミリメートル	測定単位を指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[インチ]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[ミリメートル]になっています。
縦長の横の長さ 3 ~ 8.5 インチ 76 ~ 215.9 mm	縦長の横の長さを指定します。 メモ: - 指定した横の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の横の長さが使用されます。 - 米国向けの工場出荷時設定は[8.5 インチ]になっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 - それ以外の国では、工場出荷時は 215.9 mm に設定されています。この設定は 1 mm 単位で変更できます。
縦長の縦の長さ 3 ~ 14.17 インチ 76 ~ 360 mm	縦長の縦の長さを指定します。 メモ: - 指定した縦の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の縦の長さが使用されます。 - 米国向けの工場出荷時設定は[14 インチ]になっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 - それ以外の国では、工場出荷時は 356 mm に設定されています。この設定は 1 mm 単位で変更できます。

レポートメニュー

レポートメニュー

使用	目的
メニュー設定ページ	トレイにセットされている用紙や実装メモリ、合計ページ数、警報、時間切れ、プリンタ操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状態、ネットワーク接続状態などに関するレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの統計情報(消耗品の情報や印刷済みページの詳細情報など)に関するレポートを印刷します。
ネットワーク設定ページ	ネットワークプリンタの設定(TCP/IP アドレスなど)に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。
ネットワーク [x] 設定ページ	ネットワークプリンタの設定(TCP/IP アドレスなど)に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、複数のネットワークオプションがインストールされているときに、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続されたプリンタでのみ表示されます。
ショートカット一覧	現在設定されているショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ジョブのログ	送信された過去 200 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューにて[ジョブログを有効化] が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、着信拒否された過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューにて[ジョブログを有効化] が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
コピーショートカット	コピーショートカットに関するレポートを印刷します。
E メールショートカット	E メールショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ショートカット	FAX ショートカットに関するレポートを印刷します。
FTP ショートカット	FTP ショートカットに関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
フォント一覧を印刷	現在プリンタで設定されているプリンタ言語で使用可能なすべてのフォントのレポートを印刷します。
ファイルディレクトリを印刷	オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクに保存されているすべてのリソースの一覧を印刷します。 メモ: • [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定してください。 • オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクが正しく実装され、動作していることを確認してください。
備品レポート	備品情報(プリンタのシリアル番号やモデル名など)に関するレポートを印刷します。このレポートには、テキストに加えて UPC バーコードも印刷されるため、バーコードを読み取って備品データベースに備品情報を保存することができます。

ネットワーク/ポート

アクティブ NIC メニュー

使用	目的
アクティブ NIC 自動 [利用可能なネットワークカード一覧]	プリンタをネットワークに接続できます。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - このメニュー項目は、オプションのネットワークアダプタがインストールされている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークまたはネットワーク [x] メニュー

メモ: このメニューにはアクティブなポートのみ表示されます。非アクティブなポートは表示されません。

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
ネットワークバッファ 自動 3KB ~ [許容される最大サイズ]	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - 値は 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が [オン] か [オフ] かにによって異なります。 - ネットワークバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。このメニューは、フォーマットされたディスクがインストールされている時のみ表示されます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。 [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。
標準ネットワークまたはネットワーク [x] 設定 レポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 ワイヤレス (Wireless) AppleTalk	プリンタのネットワーク設定を表示/設定します。 メモ: [ワイヤレス]のメニューは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されている時のみ表示されます。

レポートメニュー

メニューにアクセスするには、以下のいずれかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [レポート]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [レポート]

項目	目的
設定ページを印刷	ネットワークプリンタ設定 (TCP/IP アドレスなど) に関するレポートを印刷します。

ネットワークカードメニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [ネットワークカード]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [ネットワークカード]

使用	目的
カードの状態を表示 接続 切断	ネットワークカードの状態を表示します。
カード速度を表示	現在アクティブなネットワークカードの速度を表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
ジョブタイムアウト 0、10 ～ 225 秒	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの秒数を設定します。 メモ: • 工場出荷時は 90 秒に設定されています。 • ゼロを設定すると、タイムアウトが無効になります。 • 1 ～ 9 の値を選択する場合、[無効]が表示され、値が保存されません。

TCP/IP メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [TCP/IP]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [TCP/IP]

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。 メモ: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。
IP アドレス	現在の TCP/IP アドレスを表示または変更します。 メモ: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化] および [自動 IP を有効化] が [オフ] になります。またこのとき、BOOTP と RARP をサポートするシステムでは、[BOOTP を有効化] および [RARP を有効化] も [オフ] になります。
ネットマスク	現在の TCP/IP ネットマスクを表示または変更します。
ゲートウェイ	現在の TCP/IP ゲートウェイを表示または変更します。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP アドレスの割り当てとパラメータの設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は [オン] に設定されています。
RARP を有効化 オン オフ	RARP アドレスの割り当て設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ] に設定されています。

使用	目的
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP アドレスの割り当て設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
自動 IP を有効化 はい いいえ	ゼロ構成ネットワーク設定を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	内蔵の FTP サーバを有効にします。これにより、FTP を使ってファイルをプリンタに送信することができます。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
HTTP サーバーを有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバーを有効にします。有効にすると、プリンタは Web ブラウザを使用してリモートで監視および管理できます。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
WINS サーバーアドレス	現在の WINS サーバーアドレスを表示または変更します。
DDNS を有効化 はい いいえ	現在の DDNS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
mDNS を有効化 はい いいえ	現在の mDNS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
DNS サーバーアドレス	現在の DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス 2	
バックアップ DNS サーバーアドレス 3	
HTTPS を有効化 はい いいえ	現在の HTTPS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。

IPv6 メニュー

メニューにアクセスするには、次のメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [Ipv6]
- [ネットワーク/ポート]メニュー > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [Ipv6]

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
IPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
自動構成 オン オフ	ネットワークアダプタが、ルーターにより自動設定された IPv6 アドレスを受け入れるか指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。
アドレスを表示	メモ: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。
ルーターアドレスを表示	
DHCPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの DHCPv6 を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

ワイヤレスメニュー

メモ: このメニューは、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタまたはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタ機種でのみ表示されます。

メニューを表示するには、次の手順を実行します。

[ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [ワイヤレス]

使用	目的
Wi-Fi Protected Setup プッシュボタン方式を開始する PIN 方式を開始する	ワイヤレスネットワークを確立し、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: [プッシュボタン方式を開始する]では、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方が指定された時間内に押下されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。 [PIN 方式を開始する]では、プリンタの PIN がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。
WPS 自動検出を有効化/無効化 有効 無効	WPS のアクセスポイントが使用する接続方法([プッシュボタン方式を開始する]または[PIN 方式を開始する])を自動的に検出します。 メモ: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
ネットワークモード BSS タイプ インフラストラクチャ アドホック	ネットワークモードを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[インフラストラクチャ]に設定されています。これにより、プリンタはアクセスポイントを使用して、ネットワークにアクセスできます。 [アドホック]では、プリンタとコンピュータ間で直接ワイヤレス接続が構成されます。
互換性 802.11b/g 802.11b/g/n	ワイヤレスネットワークのワイヤレス規格を指定します。 メモ: 工場出荷時は[802.11b/g/n]に設定されています。
ネットワークを選択	プリンタが使用できるネットワークを選択します。
信号品質を表示	ワイヤレス接続の品質を表示します。
セキュリティモードを表示	ワイヤレスネットワークの暗号化方式を表示します。

AppleTalk メニュー

メモ: このメニューは、イーサネットネットワークに接続されているプリンタモデルか、オプションのワイヤレスネットワークアダプタが取り付けられている場合にのみ表示されます。

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [AppleTalk]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [AppleTalk]

使用	目的
有効 はい いいえ	AppleTalk サポートを有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
名前	プリンタに割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 メモ: この名前は 内蔵 WEB サーバーからのみ変更することができます。
アドレスを表示	プリンタに割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: このアドレスは 内蔵 WEB サーバーからのみ変更することができます。
ゾーン [ネットワークで利用可能なゾーン一覧]	ネットワークで利用可能な AppleTalk ゾーンの一覧を表示します。 メモ: 工場出荷時は、ネットワークのデフォルトゾーンが設定されています。

標準 USB メニュー

項目	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。[PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ]メニューで指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。[PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ]メニューで指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[自動]です。[自動]では、プリンタはデータを検査して形式を特定し、それに従ってデータを処理します。 - プリンタの操作パネルでこの設定を変更すると、プリンタが自動的に再起動します。メニュー項目が更新されます。

項目	目的
USB バッファ 無効 自動 3KB ~ (許容最大サイズ)	USB 入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[自動]です。 [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。 - USB バッファサイズの値は、1 KB 単位で変更できます。 - 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [USB バッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレル、シリアル、ネットワークの各バッファを無効にするかサイズを減らします。 - プリンタの操作パネルでこの設定を変更すると、プリンタが自動的に再起動します。メニュー項目が更新されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[自動]です。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。
ENA アドレス YYY.YYY.YYY.YYY	外付けプリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニューは、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ネットマスク YYY.YYY.YYY.YYY	外付けプリントサーバーのネットマスク情報を設定します。 メモ: このメニューは、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ゲートウェイ YYY.YYY.YYY.YYY	外付けプリントサーバーのゲートウェイ情報を設定します。 メモ: このメニューは、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合にのみ使用できます。

SMTP セットアップメニュー

使用	目的
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーゲートウェイとポート情報を指定します。 メモ: 25 はデフォルト SMTP ゲートウェイポートです。
一次 SMTP ゲートウェイポート	
二次 SMTP ゲートウェイ	
二次 SMTP ゲートウェイポート	
SMTP タイムアウト 5-30	サーバーが E メール送信試行を停止するまでの秒数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 に設定されています。
返信アドレス	プリンタから送信される Eメールの返信アドレスを指定します (最大 128 文字)。
SSL を使用 無効 交渉 必須	プリンタが SMTP サーバーに接続する際、セキュリティ強化のために SSL を使用するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[無効]に設定されています。 [交渉]を選択した場合、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバーが決定します。

使用	目的
SMTP サーバー認証 認証なし Login/PLAIN CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	Eメールの利用権限を審査するためのユーザー認証タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は[認証なし]に設定されています。
デバイスから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用	SMTP サーバーと通信する際に、どの証明書を使用するかを指定します。 メモ: • [デバイスから送信される E メール] および [ユーザーから送信される E メール] の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • [デバイスの SMTP 証明書を使用]を選択した場合、デバイスのユーザー ID とパスワードを使用して SMTP サーバーにログインします。
ユーザーから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションのユーザー ID とパスワードを使用 セッションの E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	
デバイスのユーザー ID	
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	
NTLM ドメイン	

セキュリティメニュー

その他のセキュリティ設定メニュー

使用	目的
ログイン制限 ログイン失敗許容回数 ログイン失敗許容時間 ロックアウト時間 パネルログインのタイムアウト リモートログインのタイムアウト	すべてのユーザーがロックアウトされる前に、プリンタコントロールパネルからログイン失敗できる上限回数(または上限時間)を指定します。 メモ: • [ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。1 ~ 10 回を選択できます。出荷時の設定は 3 です。 • [ログイン失敗許容時間]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。1 ~ 60 分を選択できます。出荷時の設定は 5 分です。 • [ロックアウト時間]では、ログイン失敗可能な許容回数を超えたときに、ユーザーをロックアウトする時間を指定します。1 ~ 60 分を選択できます。出荷時の設定は 5 分です。1 分に設定されている場合は、ロックアウト時間が適用されません。 • [パネルログインのタイムアウト]では、[ホーム] 画面にて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。1 ~ 900 秒を選択できます。出荷時の設定は 30 秒です。 • [リモートログインのタイムアウト]では、リモートインターフェイスにて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。1 ~ 120 分を選択できます。出荷時の設定は 10 分です。
最小暗証番号 1 ~ 16	暗証番号(PIN)の最小桁数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 4 に設定されています。

コンフィデンシャル印刷メニュー

使用	目的
無効暗証番号許容回数 オフ 2 ~ 10	無効な暗証番号(PIN)を入力できる最大回数を制限します。 メモ: • このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号(PIN)に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタから削除されるまでの時間を制限します。 メモ: • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタの RM またはハードディスクにあるときに有効期限の設定が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタの RAM にあったコンフィデンシャル印刷ジョブはすべて削除されます。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

使用	目的
ジョブ期限切れの繰り返し オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	印刷ジョブがプリンタに保存される期間を設定します。
ジョブ期限切れの確認 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ベリファイ(確認)が必要な印刷ジョブがプリンタに保存される期間を設定します。
予約印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される期間を指定します。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

一時データファイルを消去メニュー

[一時データファイルを消去]では、ファイルシステムで現在使用されていないプリンタハードディスクの印刷ジョブデータのみを削除します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保留ジョブなどのプリンタハードディスクのすべての恒久データは保持されます。

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
消去モード 自動	ディスク消去モードを指定します。
自動消去方法 シングルパス マルチパス	過去の印刷ジョブで使用されたすべてのディスクスペースにマークを付けます。そのスペースが消去されるまでファイルシステムが再利用できません。 メモ: - 工場出荷時は[シングルパス]に設定されています。 - 自動消去を選択した場合のみ、一定時間プリンタをオフにすることなくディスク消去を有効にすることができます。 - 機密性の高いデータは、必ず [マルチパス]を使って消去してください。

セキュリティ監査ログメニュー

使用	目的
ログをエクスポート	権限を持ったユーザーがセキュリティ監査ログをエクスポートすることができます。 メモ: 内蔵 Web サーバーからログをエクスポートする場合、コンピュータにログをダウンロードすることができます。
ログを削除 はい いいえ	監査ログを削除するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
ログを設定 監査を有効化 はい いいえ リモート Syslog を有効化 いいえ はい リモート Syslog ファシリティ 0~23 ログ記録するイベントの重要度 0~7	監査ログを設定する方法を指定します。 メモ: • [監査を有効化]によって、イベントがセキュア監査ログに記録されるか、リモート Syslog に記録されるかが決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog を有効化]によって、ログがリモートサーバーに送信されるかどうか決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog ファシリティ]によって、リモート Syslog サーバーにログを送信するために使用する値が決定されます。工場出荷時は 4 に設定されています。 • セキュリティ監査ログが有効な場合、各イベントの重要度が記録されます。工場出荷時は 4 に設定されています。

日付/時刻設定メニュー

使用	目的
現在の日付/時刻	プリンタの現在の日付と時刻を表示します。
日付/時刻の手動設定 [日時を入力]	日時を入力します。 メモ: • 日時を手動で設定すると、[NTP を有効化]が[無効]になります。 • ウィザードでは、YYYY-MM-DD-HH:MM の形式で日時を設定できます。
タイムゾーン [タイムゾーンのリスト]	タイムゾーンを選択します。 メモ: 工場出荷時は GMT に設定されています。
DST を自動的に順守 オン オフ	この設定では、[タイムゾーン]で設定したタイムゾーンの夏時間が適用されます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
NTP を有効化 オン オフ	ネットワークタイムプロトコル(NTP)を有効にします。NTP を有効にすると、ネットワーク上にある機器の時計を同期させることができます。 メモ: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • 手動で日時を設定する場合は、この設定をオフにします。

設定メニュー

一般設定メニュー

使用	目的
表示言語 英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ギリシャ語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: 機種によっては、一部の言語が使用できない場合があります。一部の言語では、特殊ハードウェアをインストールしなければならない場合があります。
消耗品の推定を表示 推定を表示 推定を表示しない	コントロールパネル、内蔵 Web サーバー、メニュー設定、およびデバイス統計レポートに消耗品の推定を表示します。 メモ: 工場出荷時は[推定を表示]に設定されています。
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	電力や用紙、特殊用紙の使用量を最小にします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。[オフ]を選択すると、プリンタが工場出荷時の設定にリセットされます。 [電力]を選択すると、プリンタの消費電力が最小になります。 [電力/用紙]を選択すると、プリンタの消費電力、および用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。 [用紙]を選択すると、印刷ジョブに必要な用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。
ADF セットビープ 有効 無効	用紙がセットされたときに ADF のビープを鳴らすかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[有効化]に設定されています。
静音モード オフ オン	プリンタの騒音を最小化します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
初期設定を実行 はい いいえ	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ 英語 フランス語 カナダフランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 ギリシャ語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 フィンランド語 ポルトガル語 ロシア語 ポーランド語 スイスドイツ語 スイスフランス語 韓国語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 日本語 カスタムキー [x]	ディスプレイキーボードの言語とカスタムキーボード情報を指定します。
用紙サイズ 米国 メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[米国]に設定されています。 - 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
PC ポートのスキャン範囲 [ポート範囲]	ポートをブロックしているファイアウォールの後ろにあるプリンタで使用する有効なポート範囲を指定します。 メモ: 工場出荷時は 9751:12000 に設定されています。

使用	目的
表示する情報 左側 右側 カスタムテキスト [x]	ホーム画面の上端に表示する情報を指定します。 左メニューと右メニューに表示する情報は、以下のオプションから選択します。 - なし - IP アドレス - ホスト名 - 担当者名 - 設置場所 - 日付/時刻 - mDNS/DDNS サービス名 - ゼロ構成名 - カスタムテキスト [x] - モデル名 メモ: • [IP アドレス]の工場出荷時設定は[左側]になっています。 • [日付/時刻]の工場出荷時設定は[右側]になっています。
表示する情報(続き) 黒のトナー シアンのトナー マゼンタのトナー 黄のトナー フューザー 転写モジュール	消耗品に関する表示情報をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 - 表示タイミング - 非表示 - 表示 - 表示メッセージ - 標準 - 代替 - 標準 [文字入力] - 代替 [文字入力] メモ: [表示タイミング]の工場出荷時設定は[非表示]になっています。
表示する情報(続き) 廃トナーボトル 紙づまり 用紙をセット サービスエラー	特定のメニューに関する表示情報をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 - 表示 - はい - いいえ - 表示メッセージ - 標準 - 代替 - 標準 [文字入力] - 代替 [文字入力] メモ: [表示]の工場出荷時設定は[いいえ]になっています。

使用	目的
ホーム画面のカスタマイズ 言語を変更 コピー コピーショートカット Fax FAX ショートカット E メール E メールショートカット FTP FTP ショートカット 保持されたジョブ検索 保持されたジョブ USB ドライブ プロファイルとアプリ ブックマーク ユーザー別ジョブ 用紙とお気に入り カードコピー ネットワークへのスキャン マイショートカット マルチ転送	ホーム画面に表示されるアイコンを変更します。 各アイコンで、次のオプションを選択します。 表示 非表示
日付形式 MM-DD-YYYY DD-MM-YYYY YYYY-MM-DD	日付形式を指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[MM-DD-YYYY]になっています。それ以外の国の場合、工場出荷時は[DD-MM-YYYY]に設定されています。
時刻形式 12 時間形式: A.M./P.M. 24 時間形式	時刻形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[12 時間形式: A.M./P.M.]に設定されています。
画面明るさ 20 ~ 100	ディスプレイの明るさを指定します。 メモ: 工場出荷時は 100 に設定されています。
1 ページコピー オフ オン	原稿台から一度に 1 ページずつコピーするよう設定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック オン オフ ボリューム 1 ~ 10	ボタンの音声ボリュームを設定します。 メモ: • [ボタンのフィードバック]の工場出荷時設定は[オン]になっています。 • [ボリューム]の工場出荷時設定は 5 になっています。
ブックマークを表示 はい いいえ	[保持されたジョブ] エリアにブックマークを表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
背景削除を許可 オン オフ	画像の背景削除ができるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
カスタムスキャンを許可 オン オフ	複数のジョブをスキャンして1つのファイルに保存します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。[オン]が選択されている場合、[カスタムスキャンを許可]の設定は、特定のジョブでのみ有効です。
ADF 紙詰まり時の再開位置 ジョブレベル 用紙レベル	ADF で紙詰まりが発生したとき、どのレベルでスキャンジョブを再開するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[ジョブレベル]に設定されています。ジョブレベルが選択される場合、ジョブ全体を再スキャンします。 [用紙レベル]を選択した場合、紙詰まりを起こした用紙以降のページのみ再度スキャンされます。
Web ページ更新頻度 30～300	内蔵 Web サーバー(EWS) が Web ページを更新する間隔を秒数で指定します。 メモ: 工場出荷時は 120 に設定されています。
担当者名	プリンタの担当者名を指定します。 メモ: 担当者名は 内蔵 Web サーバー(EWS) に保存されます。
設置場所	場所を指定します。 メモ: ロケーションは 内蔵 Web サーバー(EWS) に保存されます。
警報 警報制御 カートリッジ警報	オペレータの操作が必要な場合に、警報音が鳴るように設定します。 各警報タイプで、次のオプションを選択します。 オフ シングル 連続 メモ: - 警報制御とカートリッジ警報の工場出荷時は[シングル]に設定されています。この設定では、数回短いピープ音が鳴ります。 [連続]では、短いピープ音が一定の間隔で複数回繰り返されます。
時間切れ スタンバイモード 無効 1 ～ 240	プリンタが低電力状態になるまでの時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 15 分に設定されています。
時間切れ スリープモード 無効 1～120	印刷ジョブが完了してからプリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。 メモ: - 工場出荷時は 20 分に設定されています。 - タイムアウト時間を短くすると電力をより多く節約できますが、ウォームアップにより多くの時間がかかります。 - プリンタが室内の電灯と同じ電源を使用している場合、一番短い時間に設定してください。 - プリンタを常に使用する場合は、タイムアウト時間を長くしてください。タイムアウト時間を長くすると、ほとんどの状況において最低限のウォームアップ時間で印刷することができます。 [無効]は、[省電力]が[オフ]に設定されている場合にのみ表示されます。

使用	目的
時間切れ ディスプレイがオフの状態で印刷 ディスプレイがオフの状態で印刷を許可 印刷時にディスプレイがオン	ディスプレイがオフの間にジョブを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[印刷時にディスプレイがオン]に設定されています。
時間切れ ハイバネートタイムアウト 無効 20 分 1 ～ 3 時間 6 時間 1 ～ 3 日 1 ～ 2 週間 1 か月	プリンタがハイバネートモードになるまでの時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 3 日に設定されています。
時間切れ 接続時にハイバネートタイムアウト ハイバネート ハイバネートしない	アクティブなイーサネットまたは電話接続がある場合でも、[ハイバネート]モードに設定します。 メモ: 工場出荷時は[ハイバネート]に設定されています。
時間切れ 画面タイムアウト 15～300	プリンタに[準備完了]と表示されるまでの時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
時間切れ 画面タイムアウトの延期 オン オフ	[画面タイムアウト]に達したときに、ホーム画面に戻らず、指定されたジョブを続行します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
時間切れ 印刷タイムアウト 無効 1～255	残りの印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが印刷ジョブ終了メッセージの受信を待つ時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 90 秒に設定されています。 - タイマーが時間切れになっても、プリンタの印刷途中のページは印刷されます。 [印刷タイムアウト]の設定は、PCL を使用しているときのみ有効です。
時間切れ データ待ち時間 無効 15～65535	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが次のデータを待つ時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 40 秒に設定されています。 [データ待ち時間]の設定は、PostScript エミュレーションを使用しているときのみ有効です。
時間切れ ジョブ保留タイムアウト 5～255	リソースを利用できないために印刷できないジョブがある場合、そのジョブを保留する前に、印刷キューに格納されているジョブの印刷を続行するためのユーザーの操作を待つ時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 30 に設定されています。 - このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。

使用	目的
エラー回復 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。 メモ: 出荷時の設定は、[常に再起動]です。
エラー回復 最大自動再起動 1 ~ 20	プリンタが実行できる自動再起動回数を定義します。 メモ: - 工場出荷時は 2 に設定されています。 - 再起動回数が指定した値に達すると、エラーメッセージが表示されます。
印刷回復 自動続行 無効 5~255	一定時間内に問題が解決されなかった場合に、オフライン状態から自動的に復帰して印刷を再開します。 メモ: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
印刷回復 紙づまり回復 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。この設定では、印刷ジョブを保留するのに必要なメモリが他の印刷ジョブで必要とならない場合に限り、紙づまりが発生したページが再印刷されます。 [オン]を選択すると、紙づまりが発生したページが常に再印刷されます。 [オフ]を選択すると、紙づまりが発生したページは再印刷されません。
印刷回復 ページ保護 オフ オン	印刷されていない可能性のあるページを正常に印刷できます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。この設定では、ページ全体を印刷するのに十分なメモリがない場合、ページが途中まで印刷されます。 [オン]を選択すると、ページ全体が印刷されます。
[スリープ] ボタンを押す 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態にて[スリープ] ボタンが押されたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[スリープ]に設定されています。
[スリープ] ボタンを押し続ける 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態にて[スリープ] ボタンが押し続けられたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: 工場出荷時の設定は、[何もしない]です。
出荷時標準設定 復元しない 復元	プリンタの初期状態のデフォルト設定を使用します。 メモ: - 工場出荷時の設定は、[復元しない]です。 [復元]を選択すると、[ネットワーク/ポート]メニューの設定を除き、プリンタのすべての設定が工場出荷時設定に戻ります。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。
構成ファイルのエクスポート エクスポート	設定ファイルをフラッシュドライブにエクスポートします。

コピー設定メニュー

使用	目的
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
カラー オン オフ	コピーがカラーどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
カラーコピーを許可 オン オフ	カラーコピーを有効にします。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択すると、カラーコピーに関するメニューが非表示になります。 - この設定は[カラー]の設定に優先します。
印刷面(両面印刷) 片面を片面に 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。 メモ: - 片面を片面に片面印刷の原稿をコピーして片面印刷します。 - 片面を両面に片面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。 - 両面を片面に一両面印刷の原稿をコピーして片面印刷します。 - 両面を両面に一両面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。コピー出力は原稿と全く同じ構成になります。
用紙の節約 オフ 2 アップ縦長 2 アップ横長 4 アップ縦長 4 アップ横長	2 ページ(または 4 ページ)のドキュメントを 1 ページにコピーします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ページ枠を印刷 オン オフ	印刷されたコピーにページの境界線が印刷されます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページを順番にスタックします。 メモ: 工場出荷時は(1,2,3) (1,2,3)に設定されています。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ ID カード	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 - リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。
コピーの給紙源 トレイ [x] 手差しフィーダー 多目的フィーダー	コピージョブの給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1] に設定されています。
OHP フィルムセパレータ紙 オン オフ	OHP フィルムの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は [オン] に設定されています。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	各ページや各部、各ジョブの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は [オフ] に設定されています。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は [トレイ 1] に設定されています。
濃さ 1-9	コピーの濃さを指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
コピー部数 1 ~ 999	コピージョブの部数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。

使用	目的
ヘッダー/フッター [位置] オフ 日付/時刻 ページ番号 カスタムテキスト 印刷対象 全ページ 先頭ページのみ 先頭以外の全ページ カスタムテキスト	ヘッダー/フッターの情報、およびヘッダー/フッターを印刷するページ上の位置を指定します。 以下の場所オプションから選択します。 • 上部左 • 上部中央 • 上部右 • 下部左 • 下部中央 • 下部右 メモ: • [位置]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。 • [印刷対象]の工場出荷時設定は[全ページ]になっています。
オーバーレイ 部外秘 コピー 下書き 緊急 カスタム オフ	コピージョブの各ページにオーバーレイ印刷する文字を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
カスタムオーバーレイ	カスタムオーバーレイテキストを指定します。 メモ: 最大 64 文字まで指定できます。
優先コピーを許可 オン オフ	ページやドキュメントの割り込みコピーを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	カスタムコピー設定をショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
背景削除 -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
自動中央揃え オフ オン	印刷内容を自動的にページ中央に配置します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0～255 緑色 標準しきい値 0～255 青色 標準しきい値 0～255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	コピーのコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ～ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF の傾きを調整 自動 オフ オン	スキャン画像の若干の傾きを修正します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1～5	コピーにおけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。 メモ: • 工場出荷時は 0 に設定されています。 • 色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。
サンプルコピー オフ オン	原稿のサンプルコピーを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

FAX 設定メニュー

FAX モード(アナログ FAX 設定)メニュー

アナログ FAX 設定モードでは、電話回線を使って FAX を送信します。

使用	目的
FAX 名	プリンタ内蔵の FAX 名を指定します。
FAX 番号	FAX に割り当てられている電話番号を指定します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号	FAX の識別方法を指定します。
手差し FAX を有効化 オン オフ	プリンタから手差し FAX 送信のみできるように設定します。手差しで FAX 送信するには、電話回線スプリッターと電話の受話器が必要です。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話で行います。 - 数字キーにて # 0 を押し、その後すぐに、手差し FAX 機能を実行してください。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等 ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送信データと FAX 受信データに対して不揮発性メモリをどのように割り当てるかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[均等]に設定されています。この設定では、FAX 送信データと FAX 受信データに対してメモリが分割されます。 [ほぼ送信完了]を選択すると、メモリ領域の大部分が FAX 送信データに割り当てられます。 [すべて送信]を選択すると、メモリ領域は FAX 送信データにのみ割り当てられます。 [すべて受信]を選択すると、メモリ領域は FAX 受信データにのみ割り当てられます。 [ほとんど受信]を選択すると、メモリ領域の大部分が FAX 受信データに割り当てられます。
FAX をキャンセル 許可 許可しない	プリンタが FAX ジョブをキャンセルできるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[許可]に設定されています。
発信者 ID オフ 一次 代替	使用されている発信者 ID の種類を指定します。
FAX 番号のマスキング オフ 左から 右から	送信 FAX 番号をどちらの桁からマスクするかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - マスクする桁数は[マスキングする桁数]にて指定します。
マスキングする桁数 0~58	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。

使用	目的
FAX 送付状ページ FAX 送付状ページ 標準設定でオフ 標準設定でオン 使用しない 常に使用 [～まで含む]フィールド オン オフ [～から含む]フィールド オン オフ 送信元 [メッセージを含む]フィールド オン オフ メッセージ ロゴを含む オン オフ フッター [x]を含める オン オフ フッター [x]	FAX 送付状を設定します。 メモ: • [FAX 送付状]では[標準設定でオフ]が出荷時の初期設定です。 • その他のすべてのメニュー項目は、工場出荷時にすべて[オフ]に設定されています。
使用	目的
解像度 標準 精細 200 dpi スーパーファイン 300 dpi	品質をドット/インチ (dpi) で指定します。解像度を高くするほど印刷品質が良くなりますが、FAX 送信にかかる時間が長くなります。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [長辺]を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように (縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように) 配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように (縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように) 配置されます。
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
濃さ 1-9	出力の濃さを調整します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
ダイヤルプレフィックス	ダイヤルプレフィックス (例: 99) を入力します。数字入力フィールドが表示されます。
ダイヤルプレフィックスルール プレフィックスルール [x]	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。

使用	目的
自動リダイヤル 0-9	指定の番号に FAX 送信を試行する回数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
リダイヤル間隔 1~200	リダイヤルの間隔を分で指定します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
PABX 経由 はい いいえ	交換器のブラインドダイヤル(ダイヤルトーンが発生しないダイヤル)を有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[いいえ]に設定されています。
ECM を有効化 はい いいえ	FAX のエラー訂正モード(ECM)を有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
FAX スキャンを有効化 オン オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
FAX 用ドライバ はい いいえ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ダイヤルモード トーン パルス	ダイヤル音(トーンまたはパルス)を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トーン]に設定されています。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	FAX 送信の速度優先をボーで指定します。 メモ: 工場出荷時は 33600 に設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントをスキャンして 1 つのファイルにまとめます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンジョブのプレビューをディスプレイに表示します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
背景削除 -4 ~ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。

使用	目的
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	スキャン画像のカラーバランスが等しくなるようにします。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0～255 緑色 標準しきい値 0～255 青色 標準しきい値 0～255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	スキャン画像のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ～ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF の傾きを調整 自動 オフ オン	スキャン画像の若干の傾きを修正します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	Fax の前に原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1～5	Fax のシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。 メモ: • 工場出荷時は 0 に設定されています。 • 色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

使用	目的
カラー FAX スキャン有効化 標準設定でオフ 標準設定でオン 使用しない 常に使用	カラー FAX を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[標準設定でオフ]に設定されています。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オン オフ	送信 FAX をすべてモノクロに変換します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
FAX 受信を有効化 オン オフ	プリンタによる FAX 受信を許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
待機中の FAX ジョブ なし トナー トナーと消耗品	指定したリソースが利用できないために待機中の FAX ジョブを、印刷キューから削除します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
呼び出し回数 1~25	FAX 着信に应答するまでの呼び出し回数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
自動応答 はい いいえ	受信 Fax ジョブに対して自動応答します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
手動応答コード 0-9	電話番号パッドでコードを入力し、Fax 受信を開始します。 メモ: - 工場出荷時は 9 に設定されています。 - このメニュー項目は、プリンタと電話で回線を共有している場合に使用します。
自動縮小 オン オフ	指定した FAX 給紙源にセットされた用紙のサイズに合わせて、受信 FAX 出力のサイズを調節します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
給紙源 自動 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差しフィーダー	受信 FAX を印刷する用紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
印刷面(両面印刷) オフ オン	受信 FAX の両面印刷を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
セパレータ紙 オフ 出力前 出力後	受信 FAX 出力にセパレータ紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
FAX のフッター オン オフ	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	FAX 受信の速度優先をボーで指定します。 メモ: 工場出荷時は 33600 に設定されています。
FAX 転送 印刷する 印刷して転送 転送	受信 FAX を他の受信者に転送します。 メモ: 工場出荷時は[印刷する]に設定されています。
転送先 Fax E メール FTP LDSS eSF	FAX 転送方法を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[Fax]に設定されています。 - このメニュー項目はプリンタの 内蔵 Web サーバー(EWS)からのみ利用することができます。
ショートカットに転送	受信タイプ(FAX、E メール、FTP、LDSS、eSF)に対応したショートカット番号を入力します。
無記名の FAX をブロック オフ オン	ステーション ID または Fax ID が設定されていない機器から送信された FAX をブロックします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
禁止された FAX 一覧	着信を拒否する FAX 番号の一覧をプリンタに保存します。
FAX 保留 FAX 保留モード オフ 常にオン 手差し スケジュール FAX 保留スケジュール	FAX を常に(またはスケジュールに従って)保留します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
カラー FAX 受信を有効化 オン オフ	カラー Fax を受信し、モノクロで印刷できます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
使用	目的
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	FAX を送信後に送信ログを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。

使用	目的
受信エラーログ 印刷しない エラー時に印刷	受信エラー発生時に受信エラーログを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。
自動印刷ログ オン オフ	FAX ログを自動印刷します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - FAX ジョブを 200 件実行するたびにログが印刷されます。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	ログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
ログ表示 リモートステーション名 ダイヤルした番号	ログ印刷出力に、ダイヤルした番号 (または返信されたステーション名もしくは FAX 名) を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[リモートステーション名]に設定されています。
ジョブログを有効化 オン オフ	FAX ジョブのログへのアクセスを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
通話ログを有効化 オン オフ	FAX 通信ログへのアクセスを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
スピーカーモード 常にオフ 接続されるまでオン 常にオン	スピーカーのモードを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[接続されるまでオン]に設定されています。この設定では、FAX 接続が確立するまでスピーカーから音が出ます。 [常にオン]を選択すると、スピーカーが常にオンになります。 [常にオフ]を選択すると、スピーカーが常にオフになります。
スピーカー音量 高 残り僅か	音量を設定します。 メモ: 工場出荷時は[高]に設定されています。
着信音量 オフ オン	FAX のスピーカーから出力される着信音量を設定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
すべて 1 回のみ受信 2 回のみ受信 3 回のみ受信 1 回または 2 回のみ受信 1 回または 3 回のみ受信 2 回または 3 回のみ受信	着信に応答する呼び出し音のパターンを指定します。 メモ: 工場出荷時は[すべての呼び出し音]に設定されています。

FAX モード(FAX サーバー設定)メニュー

FAX モードでは、FAX ジョブを FAX サーバーに転送します。

使用	目的
送信先形式	プリンタコントロールパネルで仮想キーボードを使用して特定の Fax 情報を入力します。
返信アドレス	
件名	
メッセージ	
SMTP セットアップ	SMTP の設定情報を指定します。
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーのポート情報を指定します。
二次 SMTP ゲートウェイ	
イメージ形式 PDF (.pdf) XPS (.xps) TIFF (.tif)	FAX 用にスキャンする画像の形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	元の原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
FAX 解像度 標準 精細 200 dpi スーパーファイン 300 dpi	FAX 用にスキャンする画像の解像度を指定します。
濃さ 1-9	出力の濃さを調整します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 4 x 6 インチ 3 x 5 インチ	スキャンされる原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 - リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。Fax にスキャンジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
アナログ受信を有効化 オフ オン	アナログ FAX の受信を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

E メール設定メニュー

使用	目的
E メールサーバー設定 件名 メッセージ ファイル名	E メールサーバー情報を指定します。 メモ: [件名]フィールドには 255 文字以下で入力できます。 [メッセージ]フィールドには 512 文字以下で入力できます。 [ファイル名]フィールドには 53 文字以下で入力できます。
E メールサーバー設定 自分にコピーを送信 表示しない 標準設定でオン 標準設定でオフ 常にオン	送信者自身に E メールのコピーを送信します。 メモ: 工場出荷時は[表示しない]に設定されています。

使用	目的
E メールサーバー設定 Eメールの最大サイズ 0~65535 KB	Eメールの最大サイズを KB で指定します。 メモ: 指定した最大サイズを超える E メールは送信されません。
E メールサーバー設定 サイズのエラーメッセージ	Eメールのサイズが設定された上限サイズを超えているとき、メッセージを送信します。 メモ: 1024 文字以下で入力します。
E メールサーバー設定 送信先を制限	ドメイン名(企業のドメイン名など)を指定して、そのドメイン名に対してのみ Eメールの送信を許可します。 メモ: - 指定したドメインに対してのみ Eメールを送信できます。 - 指定できるドメインは 1 つだけです。
E メールサーバー設定 Web リンク設定 サーバー ログイン パスワード パス ファイル名 Web リンク	Eメールサーバーのパス名を設定します。例: /directory/path. メモ: * :? < > の文字はパス名に使えません。 - サーバー、ログイン、パスワード、パス、および Web リンクについて、128 文字以下で入力できます。 [ファイル名]には 53 文字以下で入力できます。
形式 PDF (.pdf) セキュア PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	スキャンファイルの形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF バージョン 1.2-1.7 A-1a	Eメール用のスキャン時に作成する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
カラー オフ オン	カラーまたはモノクロのどちらで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの解像度をドット/インチ(dpi)で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ 1-9	出力の濃さを調整します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	スキャンされる原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 - リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。 - 設定されると、カスタムスキャンサイズ [x]ではなく、定義済みのカスタム名が表示されます。
印刷面(両面印刷) オフ 長辺 短辺	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [長辺]を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真画像の品質(ファイルサイズと画像品質)を設定します。 メモ: - 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。

使用	目的
テキスト標準設定 5～90	テキストの品質(ファイルサイズと画像品質)を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 5～90	文字/写真画像の品質(ファイルサイズと画像品質)を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 5～90	写真画像の品質(ファイルサイズと画像品質)を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。
E メールによる画像送信方法 添付 Web リンク	画像送信方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[添付]に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。E メールジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	送信ログを印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	E メールログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
E メールビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が[オフ]に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンジョブのプレビューをディスプレイに表示します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	E メールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択すると、Eメールの[送信先] 画面に [ショートカットとして保存] ボタンが表示されません。

使用	目的
背景削除 -4 ～ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0～255 緑色 標準しきい値 0～255 青色 標準しきい値 0～255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ～ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF の傾きを調整 自動 オフ オン	スキャン画像の若干の傾きを修正します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1～5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。 メモ: • 工場出荷時は 0 に設定されています。 • 色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

使用	目的
cc:/bcc: を使用 オフ オン	[cc:]、[bcc:]フィールドを有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

FTP 設定メニュー

使用	目的
形式 PDF (.pdf) セキュア PDF (.pdf) TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	FTP ファイルの形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF バージョン 1.2-1.7 A-1a	FTP で送信する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
カラー オフ オン	カラーまたはモノクロのどちらで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの品質をドット/インチで指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ 1-9	出力の濃さを調整します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。

使用	目的
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 - リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。 - 設定されると、カスタムスキャンサイズ [x] ではなく、定義済みのカスタム名が表示されます。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [長辺]を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真イメージに関して、品質 (イメージのファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: - 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
テキスト標準設定 5~90	文字の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 5~90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 5~90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。

使用	目的
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FTP ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	送信ログを印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
FTP ビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が[オフ]に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
ファイル名	ベースファイル名を指定します。 メモ: 53 文字以下で入力します。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントをコピーして 1 つのスキャンジョブにまとめます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンジョブのプレビューをディスプレイに表示します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	FTP アドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
背景削除 -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0～255 緑色 標準しきい値 0～255 青色 標準しきい値 0～255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ～ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF の傾きを調整 自動 オフ オン	スキャン画像の若干の傾きを修正します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1～5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。 メモ: • 工場出荷時は 0 に設定されています。 • 色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

フラッシュドライブメニュー

スキャン設定メニュー

使用	目的
形式 PDF (.pdf) セキュア PDF TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps)	FTP で送信するファイルの形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF バージョン 1.2-1.7 A1-a	FTP で送信する PDF ファイルのバージョンを設定します。 メモ: 工場出荷時は 1.5 に設定されています。
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラーレーザー]に設定されています。
カラー オン オフ	カラーまたはモノクロのどちらで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの解像度をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ 1-9	出力の濃さを調整します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: • 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は [A4] になっています。 • リーガル、フォリオ、および Oficio (メキシコ) の用紙タイプは ADF でのみサポートされています。 • 設定されると、カスタムスキャンサイズ [x]ではなく、定義済みのカスタム名が表示されます。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	ページ上で文字や画像をどの向きに配置するかを指定します。 メモ: • 工場出荷時は [オフ] に設定されています。 • [長辺] を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように (縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように) 配置されます。 • [短辺] を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように (縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように) 配置されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと品質) を設定します。 メモ: • 工場出荷時は [内容に合わせて最適化] に設定されています。 • 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 • 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。 • このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
テキスト標準設定 5~90	文字の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
文字/写真標準設定 5~90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 75 に設定されています。
写真標準設定 5~90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は 50 に設定されています。

使用	目的
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FTP ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - このメニュー項目の設定は、すべてのスキャン機能に適用されます。
スキャンビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が [オフ] に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
ファイル名	ベースファイル名を指定します。 メモ: 53 文字以下で入力します。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントをコピーして 1 つのコピー出力にまとめます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンジョブのプレビューをディスプレイに表示します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
背景削除 -4 ~ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0~255 緑色 標準しきい値 0~255 青色 標準しきい値 0~255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 - 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0~5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。

使用	目的
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ~ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF の傾きを調整 自動 オフ オン	スキャン画像の若干の傾きを修正します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1~5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
色温度 -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 0 に設定されています。 - 色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。

印刷設定メニュー

使用	目的
部数 1~999	デフォルト部数を設定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。
給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブのデフォルト用紙を設定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
カラー カラー モノクロ	カラーまたはモノクロのどちらで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[カラー]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページをスタックします。 メモ: 工場出荷時は (1,2,3) (1,2,3) に設定されています。
印刷面(両面印刷) 片面 両面	片面印刷するか両面印刷するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[片面]に設定されています。

使用	目的
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷において、印刷の向きに対してページをどのように綴じるかを定義します。 メモ: - 工場出荷時は[長辺]に設定されています。ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
N アップ方向 自動 横長 縦長	複数ドキュメントの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	1 枚の用紙に複数ページを印刷します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 1 枚あたりのページ数が選択されたら、各ページが調整され、目的のページ数が 1 枚に表示されます。
N アップの枠 なし ソリッド(塗りつぶし)	各ページの周りに枠を印刷します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[用紙の節約]を使用して、1 枚に印刷されるページの順序を指定します。 メモ: - 工場出荷時は横に設定されています。 - 配置は、ページ数と方向によって異なります。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	ブランクセパレータ紙を印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [各部の間]を選択し、[丁合印刷] が[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷] が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます(1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など) [各ジョブの間]を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 [各ページの間]を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。

印刷設定

セットアップメニュー

使用	目的
プリンタ言語 PCL PS	標準のプリンタ言語を設定します。 メモ: - プリンタ言語の工場出荷時設定は[PS]になっています。 - プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信することができます。
待機中のジョブ オン オフ	プリンタオプションやカスタム設定で指定したリソースを利用できないために待機中の印刷ジョブを、印刷キューから削除します。これらの印刷ジョブは独立した印刷キューに格納されているため、他の印刷ジョブは通常どおり実行されます。利用できなかったリソースが利用できるようになると、印刷キューに格納されていた待機中のジョブが印刷されます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。これにより、プリンタの電源がオフになっても、キューに格納されている印刷ジョブが消えることはありません。
印刷領域 普通 ページに合わせる 用紙全体	論理的/物理的に印刷可能な領域を設定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通]に設定されています。[普通]の設定で定義された印刷不可能領域に印刷しようとすると、印刷領域の境界で画像がクリップされます。 [用紙全体]を選択すると、[普通]の設定で定義された印刷不可能領域に画像を移動することができます。[用紙全体]の設定は、PCL 5e インタープリターを使用して印刷するページにのみ適用されます。PCL XL インタープリターまたは PostScript インタープリターを使用して印刷するページには適用されません。
プリンタ使用方法 枚数優先 速度優先	プリンタの印刷速度を上げるか、印刷枚数を上げるかどうかを設定します。 メモ: 出荷時の設定は、[枚数優先]です。
モノクロモード オン オフ	文字や画像をブラックトナーカートリッジのみを使って印刷します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ダウンロード先 RAM フラッシュメモリ ディスク	ダウンロードデータの保存場所を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[RAM]に設定されています。この設定では、ダウンロードデータが RAM に一時保存されます。 - フラッシュメモリまたはハードディスクに保存する場合、ダウンロードデータは恒久的に保存されます。この場合、プリンタの電源がオフになっても、ダウンロードデータはフラッシュメモリやハードディスクに残ります。 - このメニュー項目は、正常に動作する、フラッシュドライブまたはフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
リソース保存 オン オフ	使用可能なメモリ容量より多くのメモリを必要とするジョブを受信したときに、RAM に一時保存されているダウンロードデータ(フォントやマクロなど)をどのように処理するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。[オフ]を選択すると、メモリが必要になるまでダウンロードデータが保持されます。ただし、印刷ジョブを処理するためにダウンロードデータが削除されます。 [オン]を選択すると、言語を変更したりプリンタをリセットしたりしても、ダウンロードデータが保持されます。また、プリンタのメモリが不足すると、メモリアル [38] のメッセージが表示されますが、ダウンロードデータは削除されません。
[全て印刷]の順序 アルファベット順 古い順 新しい順	[全て印刷] が選択されたとき、保留またはコンフィデンシャルジョブをどの順序で印刷するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[アルファベット順]に設定されています。なお、プリンタコントロールパネルには常にアルファベット順で印刷ジョブが表示されます。

仕上げメニュー

項目	目的
面(両面印刷) 片面 両面	すべての印刷ジョブの標準設定として両面印刷を使用するかどうかを指定します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[片面]です。 - プリンタソフトウェアから両面印刷を設定するには、次の手順に従います。 Windows の場合: [ファイル] > [印刷]の順にクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。 Macintosh の場合: [ファイル] > [プリント]の順に選択し、[プリント]ダイアログおよびポップアップメニューで設定を調整してください。
両面印刷綴じ 長辺 短辺	両面印刷されたページの綴じ方を用紙の向きについて定義します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[長辺]です。長辺綴じの場合、ページは用紙の長い辺(縦長の場合は左、横長の場合は上)で綴じます。 - 短辺綴じの場合、ページは用紙の短い辺(縦長の場合は上、横長の場合は左)で綴じます。
部数 1-999	各印刷ジョブの標準設定の部数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[1]です。
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブに空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷しない]です。
部単位印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数部を印刷する場合に、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。 メモ: 出荷時の標準設定は[(1,2,3) (1,2,3)]です。

項目	目的
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	セパレータ紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [各部の間]は、[部単位印刷]が[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合に印刷ジョブの各部の間に白紙を挿入します。[部単位印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合、2 ページ目の組の後、3 ページ目の組の後のように、印刷した各ページの組の間に白紙を挿入します。 [各ジョブの間]は、印刷ジョブの間に白紙を挿入します。 [各ページの間]は、印刷ジョブの各ページの間に白紙を挿入します。この設定は、OHP フィルムに印刷する場合や、ドキュメントに白紙を挿入する場合に便利です。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダ	セパレータ紙をセットする給紙源を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[トレイ 1 (標準トレイ)]です。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[オフ]です。 1 枚の用紙に割り付けるページの数を選択すると、選択した数のページが 1 枚の用紙に表示されるように各ページが縮小されます。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	用紙節約を使用する場合に 1 枚の用紙に印刷するページの順序を指定します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[横方向(左から)]です。 - 配置方法は、ページ像の数およびページ像の向きが縦方向か横方向かによって異なります。
N アップ方向 自動 横 縦	1 枚の用紙に印刷するページの方法を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動]です。縦か横かはプリンタによって選択されます。
N アップ枠 なし 実線	用紙節約を使用する場合に枠線を印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。

印刷品質メニュー

使用	目的
印刷モード カラー 白黒のみ	画像を白黒で印刷するかカラーで印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[カラー]に設定されています。 - プリンタドライバの設定がこの設定に優先します。

使用	目的
カラー補正 自動 オフ 手差し	印刷されたページの色を調整します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。この設定では、印刷されたページ上の各オブジェクトに対して異なる色変換テーブルが適用されます [オフ]ではカラー補正がオフになります。 [手動]を選択した場合、[手動カラー]メニューにて色変換テーブルをカスタマイズすることができます。 - 色の加減算の結果が異なるため、コンピュータ画面上の色と印刷されたページ上の色は完全には一致しません。
印刷解像度 1200 dpi 4800 CQ	dpi または色品質 (CQ) で印刷出力の解像度を指定します。 メモ: 工場出荷時は 4800 CQ に設定されています。
トナーの濃さ 1～5	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: - 工場出荷時は 4 に設定されています。 - 値を小さくすると、トナーを節約することができます。
細かい線を強調 オン オフ	建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - 内蔵 WEB サーバー(EWS) から [細かい線を強調]を設定するには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。 - ソフトウェアからこのオプションを設定できます。 Windows の場合 [ファイル] > [印刷]をクリックしてから、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、[セットアップ]のいずれかをクリックします。 Macintosh の場合 [ファイル] > [印刷]を選択してから、印刷ダイアログとポップアップメニューにて設定を変更します。
カラートナー節約 オン オフ	グラフィックスや画像の印刷に使用するトナーの量を減らします。文字の印刷に使用するトナーの量は減りません。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [オン]を選択すると、この設定が[トナーの濃さ]の設定に優先します。
RGB 明るさ -6 ～ 6	明るくするか暗くして、印刷出力を調節します。出力を明るくすると、トナーを節約できます。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
RGB コントラスト 0～5	印刷物のコントラストを調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
RGB 彩度 0～5	カラー出力の彩度を調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。

使用	目的
カラーバランス シアン -5 ~ 5 マゼンタ -5 ~ 5 イエロー -5 ~ 5 ブラック -5 ~ 5 標準設定に戻す	各色のトナー使用量を増減させて、印刷出力の色を調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーサンプル sRGB 画面 sRGB 鮮明 画面 - トウルーパーブラック 鮮明 オフ - RGB US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ - CMYK	プリンタで使用されている RGB/CMYK の各種色変換テーブルのサンプルページを印刷します。 メモ: • ユーザーが選択したサンプルが印刷されます。 • カラーサンプルには、RGB または CMYK の値とともに、色見本のボックスが表示されます。目的の印刷出力において RGB と CMYK のどちらが適しているかを判断するのに役立ちます。 • 内蔵 WEB サーバー(EWS) からカラーサンプルページの全一覧にアクセスするには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
手動カラー RGB イメージ RGB 文字 RGB グラフィックス	RGB の色変換をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 鮮明 sRGB 画面 画面 - トウルーパーブラック sRGB 鮮明 オフ メモ: • [RGB イメージ]の工場出荷時設定は[sRGB 画面]になっています。この設定では、コンピュータのディスプレイに適した色変換テーブルが適用されます。 • [RGB 文字] および [RGB グラフィックス]の工場出荷時設定は[sRGB 鮮明]になっています。これは彩度を上げる色表を使用します。この設定は、グラフィックスや文字の業務印刷に適しています。 • [Vivid]を選択すると、明度と彩度がより高い色変換テーブルが適用されます。 • [画面 - トウルーパーブラック]を選択すると、ブラクトナーのみでグレーの中間色を表現する色変換テーブルが適用されます。 • [オフ]では色変換がオフになります。

使用	目的
手動カラー(続き) CMYK イメージ CMYK 文字 CMYK グラフィックス	CMYK の色変換をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ メモ: - 工場出荷時設定は[US CMYK]になっています。[US CMYK]では、SWOP カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 - 米国以外の国の工場出荷時設定は[ユーロ CMYK]になっています。[ユーロ CMYK]では、Euroscale カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 [鮮明 CMYK]を選択すると、[US] より彩度の高い色変換テーブルが適用されます。 [オフ]では色変換がオフになります。
スポット色交換	指定した CMYK 値を、名前付きのスポット色に割り当てます。 メモ: このメニューは、内蔵 Web サーバーでのみ表示されます。
カラー調整	色変換テーブルを再校正し、出力における色偏差を補正します。 メモ: - このメニューを選択すると、カラー調整が開始されます。カラー調整中は、完了するまで、ディスプレイに カラー調整中 と表示されます。 - プリンタ周囲の変化しやすい環境(部屋の温度や湿度など)によって、出力の色偏差が引き起こされる場合があります。そのような場合に、プリンタのアルゴリズムによってカラー調整することができます。また、カラー調整を実行すると、カラーアライメントが再校正されます。

ジョブアカウントメニュー

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。プリンタのハードディスクが読み書き可能ではなく、書き込み保護されていないことを確認してください。

使用	目的
ジョブアカウントのログ オフ オン	プリンタが受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ジョブアカウントのユーティリティ	ログファイルを印刷して削除(またはフラッシュドライブにエクスポート)します。
ジョブアカウントのログ回数 毎週 毎月	ログファイルの作成頻度を指定します。 メモ: 工場出荷時は[毎月]に設定されています。
最後に行うログ操作 なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除	ログ回数しきい値が終了したときに、プリンタがどのように動作するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログがほとんど満杯レベル オフ 1 ~ 99	ログファイルの最大サイズを指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。

使用	目的
ログ操作がほとんど満杯レベル なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	プリンタのハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[なし]に設定されています。 - このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ログがほとんど満杯レベル]にて指定します。
ログ操作が満杯 なし 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	ディスク使用量が上限(100 MB)に達したときのプリンタの動作を指定します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログ記録 URL	ジョブアカウントのログをどこに送信するかを指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイル名として使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの標準のプレフィックスとして使用されます。

ユーティリティメニュー

使用	目的
保持されたジョブを削除 コンフィデンシャル 保留 復元されなかったジョブ すべて	プリンタのハードディスクから、コンフィデンシャルまたは保留のジョブを削除します。 メモ: - 選択した設定は、プリンタに保存されている印刷ジョブにのみ適用されます。ブックマーク、フラッシュドライブに保存されている印刷ジョブ、およびその他の保持されたジョブには適用されません。 [復元されなかったジョブ]を選択すると、プリンタのハードディスクやメモリから復元できなかった印刷ジョブや保持されたジョブをすべて削除します。

使用	目的
フラッシュメモリをフォーマット はい いいえ	フラッシュメモリをフォーマットします。 警告！ 破損の恐れあり： フラッシュメモリをフォーマット中は、プリンタの電源をオフにしないでください。 メモ： • [はい]を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータがすべて削除されます。 • [いいえ]を選択すると、フォーマットは行われません。 • ここでいうフラッシュメモリとは、プリンタに挿入されたフラッシュメモリカードのことを指します。 • フラッシュメモリオプションカードは、読み取りまたは書き込み保護されてはなりません。 • このメニュー項目は、フラッシュメモリカードが正しく動作しているときにのみ表示されます。
ディスク上のダウンロードしたデータを削除 今すぐ削除 削除しない	プリンタのハードディスクに保存されているダウンロードデータ(保持されたジョブ、バッファされたジョブ、一時退避されたジョブなど)を削除します。 メモ： • [今すぐ削除]を選択すると、ダウンロード物を削除するように設定され、削除完了後に元の画面に戻ります。 • タッチスクリーンプリンタモデルでは、[削除しない]を選択すると、プリンタディスプレイが[ユーティリティ]のメインメニューに戻ります。タッチスクリーンプリンタモデル以外の場合、[削除しない]を選択すると、削除完了後に元の画面に戻ります。
16 進トレースの有効化	印刷ジョブで発生した問題の原因を分離できます。 メモ： • 16 進トレースを有効にすると、プリンタに送信されたデータはすべて 16 進数とキャラクタ文字で印刷されます。また、制御コードは実行されません。 • 16 進トレースを終了するか無効にするには、プリンタの電源をオフにするか、プリンタをリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	ページ当たりのトナー使用率推定値を出力します。この推定値は、各印刷ジョブの最後に追加ページとして別途印刷されます。 メモ： 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

XPS メニュー

項目	目的
エラーページ印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むページを印刷します。 メモ： 出荷時標準設定は[オフ]です。

PDF メニュー

項目	目的
用紙にあわせて印刷 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 メモ： 出荷時標準設定は[いいえ]です。
注釈 印刷しない 印刷する	PDF 内の注釈を印刷します。 メモ： 出荷時標準設定は[印刷しない]です。

PostScript メニュー

使用	目的
PS エラーを印刷 オン オフ	PostScript のエラー情報を含むページを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
PS スタートアップモードをロック オン オフ	SysStart ファイルを無効にできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
フォント優先順位 常駐 フラッシュメモリ/ハードディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[常駐]に設定されています。 - このメニュー項目は、フォーマットされた正常なフラッシュメモリオプションカードまたはプリンタのハードディスクがインストールされているときにのみ表示されます。 - フラッシュメモリオプションカードまたはハードディスクが、読み取り専用でない(または書き込みプロテクトやパスワードプロテクトされていない)ことを確認してください。 [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定しないでください。
イメージ平滑化 オン オフ	解像度が低い画像のコントラストやシャープネスを強調し、色の変化を滑らかにします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 300 dpi 以上の解像度を持つ画像には、[イメージ平滑化]の設定は効果がありません。

PCL メニュー

使用	目的
フォントソース 常駐 ディスク ダウンロード フラッシュメモリ すべて	[フォント名]メニューで使用されるフォント名を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[常駐]に設定されています。[常駐]は、RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントを示します。 [フラッシュ]および[ディスク]設定は、そのオプションのすべての常駐フォントです。 - フラッシュオプションは正しくフォーマットする必要があります。また、読み書き保護、書き込み保護、またはパスワード保護されてはなりません。 [ダウンロード]は RAM でダウンロードされたフォントです。 [すべて]はすべてのフォントで使用できます。
フォント名 Courier 10	指定フォントとフォントが保存されるオプションを示します。 メモ: 工場出荷時は Courier 10 に設定されています。Courier 10 はフォント名、フォント ID、およびプリンタの保存場所です。フォントソース略語の R は常駐です。F はフラッシュ、K はディスク、D はダウンロードです。

使用	目的
シンボルセット 10U PC-8 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: 10U PC-8 は米国向けの工場出荷時設定です。12U PC-850 はグローバル向けの工場出荷時設定です。 - シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。サポートされたシンボルのみが表示されます。
PCL 設定 ポイントサイズ 1.00-1008.00	調整可能印刷フォントのポイントサイズを変更します。 メモ: - 工場出荷時は 12 に設定されています。 - ポイントサイズは文字の高さです。1 ポイントは約 0.014 インチです。 - ポイントは 0.25 刻みで増減できます。
PCL 設定 ピッチ 0.08 ~ 100	調整可能フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: - 工場出荷時は 10 に設定されています。 - ピッチはインチ当たりの固定スペース文字 (cpi)を参照します。 - ピッチは 0.01 cpi 刻みで増減できます。 - 調整不可フォントの場合、ピッチは表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き 縦長 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[縦長]に設定されています。この設定では、文字や画像はページの短辺と並行に印刷されます。 [横長]を選択すると、文字や画像はページの長辺と並行に印刷されます。
PCL 設定 1 ページ当たりの行数 1~255	1 ページ当たりの印刷行数を指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は 60 になっています。その他の国の工場出荷時設定は 64 になっています。 - 行間のスペースは、[1 ページ当たりの行数] や [用紙サイズ]、[用紙の向き] の設定に基づいて、プリンタにより設定されます。[1 ページ当たりの行数]を設定する前に、[用紙サイズ] や [用紙の向き]を適切に設定してください。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 用紙の印刷設定を行います。 メモ: - 工場出荷時は 198 mm に設定されています。 [203 mm]を選択すると、ピッチが 10 の文字を 1 行当たり 80 文字印刷することができます。
PCL 設定 LF 後自動 CR オン オフ	ラインフィード(LF)制御コマンドの後にキャリッジリターン(CR)制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
PCL 設定 CR 後自動 LF オン オフ	キャリッジリターン (CR) 制御コマンドの後にラインフィード (LF) 制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は [オフ] に設定されています。
トレイ番号変更 多目的フィーダー割り当て オフ なし 0-199 トレイ [x] 割り当て オフ なし 0-199 手差し用紙割り当て オフ なし 0-199 手差し封筒割り当て オフ なし 0-199	プリンタのソフトウェアやプログラムが、トレイやフィーダーに標準とは異なる給紙源を割り当てる場合、それらのソフトウェアやプログラムを使って正しく印刷できるように設定します。 メモ: - 工場出荷時は [オフ] に設定されています。 [なし] では、[給紙源選択] コマンドは無視されます。このオプションは、PCL 5 インタープリターにて選択されている場合のみ表示されます。 - トレイ番号として 0 ~ 199 の番号を割り当てることができます。
トレイ番号変更 出荷時標準設定を表示 MPF 標準設定 = 8 T1 標準設定 = 1 T2 標準設定 = 4 T3 標準設定 = 5 T4 標準設定 = 20 T5 標準設定 = 21 封筒標準設定 = 6 手差し標準設定 = 2 手差し封筒標準設定 = 3	トレイやフィーダーの工場出荷時設定を表示します。
トレイ番号変更 標準設定に戻す はい いいえ	トレイやフィーダーの設定を、すべて工場出荷時設定に戻します。

HTML メニュー

項目		目的
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTCS NewSansMTCT New SansMTJA NewSansMTKO	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ: フォントが指定されていない HTML ドキュメントには、Times フォントを使用します。

項目	目的
フォントサイズ 1 ~ 255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[12 pt]です。 - フォントサイズは、1 ポイント単位で増減できます。
拡大縮小 1-400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 メモ: - 出荷時標準設定は[100%]です。 - 拡大/縮小率は、1% 単位で増減できます。
用紙の向き 縦長 横長	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 メモ: 出荷時標準設定は[縦長]です。
余白 8 ~ 255 mm	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[19 mm]です。 - 余白は、1 mm 単位で増減できます。

項目	目的
背景 印刷しない 印刷する	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時標準設定は[印刷する]です。

イメージメニュー

項目	目的
自動調整 オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、用紙の向きを選択します。 メモ: 出荷時標準設定は[オン]です。この設定は、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きの設定を上書きします。
反転 オン オフ	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: - 出荷時標準設定は[オフ]です。 - この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率変更 左上隅の固定 最適なフォント選択 中央の固定 高さ/幅の調整 高さの調整 幅の調整	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 メモ: - 出荷時標準設定は[最適なフォント選択]です。 [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[最適に調整]に設定されます。
用紙の向き 縦長 横長 縦長反転 横長反転	イメージの印刷方向を設定します。 メモ: 出荷時標準設定は[縦長]です。

ヘルプメニュー

[ヘルプ]メニューには、一連のヘルプページが用意されています。このヘルプページは、多機能プリンタ(MFP)内に PDF ファイルとして格納されています。ヘルプメニューには、プリンタの使い方やさまざまな作業(コピー、スキャン、E メール、Fax など)に関する情報が用意されています。

プリンタには、英語版、フランス語版、ドイツ語版、スペイン語版が格納されています。その他の翻訳版については、<http://support.lexmark.com> をご覧ください。

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
コピーガイド	コピーの作成およびコピー設定の変更に関する情報を提供します。
E メールガイド	E メールアドレスやショートカット番号、アドレス帳を使って E メールを送信する方法や、E メール設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX 番号やショートカット番号、アドレス帳を使って FAX を送信する方法や、FAX 設定の構成に関する情報を提供します。
FTP ガイド	原稿をスキャンして、それを FTP アドレスやショートカット番号、アドレス帳を使って直接 FTP サーバーに送信する方法や、FTP 設定の構成に関する情報を提供します。

メニュー項目	説明
色品質	色品質の問題を解決する方法を説明します。
印刷不良ガイド	繰り返し発生するコピー不良や印刷不良を解決する方法を提供します。
情報ガイド	さらに詳しい情報の入手先に関する情報を提供します。
消耗品ガイド	消耗品を注文するのに必要な部品番号を提供します。

コストの削減と環境の保護

Lexmark は環境の持続可能性に取り組み、環境への影響を減らすように継続的にプリンタを改良しています。環境を考慮して設計し、梱包材を減らしながら、回収およびリサイクルプログラムを実施しています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト(www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム(www.lexmark.com/recycle)

特定のプリンタ設定またはタスクを選択することで、プリンタの影響をさらに抑えることができる場合があります。本章では、環境への利点を大きくする可能性のある設定およびタスクについて概要を説明します。

用紙とトナーの節約

研究報告が示すように、プリンタの二酸化炭素排出量の 80% は、印刷で使用される用紙に由来しています。再生紙を使用するとともに、以下で推奨している用紙の両面に印刷する方法や 1 枚の用紙に複数ページを印刷する方法を利用することで、二酸化炭素排出量を大幅に削減できます。

プリンタ設定で簡単に用紙や消費電力を節約する方法の詳細については、[191 ページの「エコモードを使用する」](#)を参照してください。

再生紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark は、レーザープリンタ向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。お使いのプリンタで使用できる再生紙に関する詳細は、[56 ページの「再生紙およびその他の事務用紙の使用」](#)をご覧ください。

消耗品を節約する

用紙の両面に印刷する

お使いのプリンタ機種が両面印刷に対応している場合、用紙の両面に印刷にするかどうかを選択できます。

メモ:

- 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。
- サポートされている製品および国を網羅した一覧については、<http://support.lexmark.com> で入手できます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

印刷ジョブで複数ページ印刷(N アップ)を選択することで、1 枚の用紙の片面に、複数ページのドキュメントから連続するページを最大で 16 ページ印刷できます。

下書きの段階で誤りがないかチェックする

ドキュメントを複数部印刷またはコピーする前に、以下の手順を実行します。

- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

紙づまりを防止する

紙づまりを防ぐため、用紙の選択とセットは正しく行います。詳細については、[229 ページの「紙づまりを防ぐ」](#)を参照してください。

省電力

エコモードを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定] > [エコモード]をクリック > 設定を選択

使用	目的
オフ	エコモード関連の設定をすべて出荷時の設定にリセットします。この設定では、プリンタの仕様に沿ったパフォーマンスが得られます。
電力	消費電力を減らします。特にプリンタがアイドル状態のときに効果的です。 • プリンタエンジンのモーターは、印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかることがあります。 • 動作しない状態が 1 分続くと、プリンタはスリープモードに移行します。
電力/用紙	電力モードと用紙モードに関連する設定をすべて使用します。
普通紙	• 自動両面印刷機能を有効にします。 • ログ印刷機能をオフにします。

- 3 [送信]をクリックします。

プリンタの騒音を低減する

静音モードを有効にして、プリンタの騒音を低減します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定] > [静音モード]をクリック > 設定を選択

使用	目的
オン	プリンタの騒音を低減します。 メモ: - 印刷ジョブは低速で処理されます。 - プリンタエンジンのモーターは、ドキュメントの印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかります。
オフ	初期状態のデフォルト設定を使用します。 メモ: この設定では、プリンタ仕様のパフォーマンスが優先されます。

3 [送信]をクリックします。

スリープモードを調整する

消費電力を節約するには、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間(分)を短縮します。1 ～ 120 を選択します。出荷時の設定は 30 分です。

メモ: スリープモードでも、印刷ジョブは受け付けられます。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [一般設定] > [時間切れ]をクリックします。

3 [スリープモード]フィールドで、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間(分)を入力します。

4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定] > [時間切れ] > [スリープモード]

2 [スリープモード]フィールドで、プリンタをスリープモードに移行するまでの待機時間(分)を選択します。

3  をタッチします。

ハイバネートモードを使用する

ハイバネートモードは、消費電力が著しく低い省電力モードです。

メモ:

- 標準設定では、3 日間動作しなければ、プリンタはハイバネートモードに移行します。
- 印刷ジョブを送信する前に、必ずプリンタをハイバネートモードから復帰させてください。ハードリセットまたは[スリープ]ボタンの長押しによって、プリンタがハイバネートモードから復帰します。
- プリンタがハイバネートモードの場合、内蔵 Web サーバーは無効です。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定]

2 [スリープボタンを押す]または[スリープボタンを押し続ける]をタッチします。

3 [ハイバネート] >  をタッチします。

ハイバネートタイムアウトを設定する

[ハイバネートタイムアウト]では、印刷ジョブが処理されてからプリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [一般設定] > [時間切れ]をクリックします。

3 [ハイバネートタイムアウト]メニューで、低電力状態に入るまでにプリンタが待機する時間、日、週、月数を選択します。

4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定] > [時間切れ] > [ハイバネートタイムアウト]

2 印刷ジョブが処理されてから、休止モードになるまで、プリンタが待機する時間を選択します。

3  をタッチします。

電力モードの定期実行を使用する

プリンタの電力状態が低下したり、レディ状態になったときに、[電力モードの定期実行]によって定期実行を行えます。

メモ: この機能は、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続されたプリンタでだけ使用できます。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定] > [電力モードの定期実行]をクリックします。

- 3 アクションメニューより、電力モードを選択します。

- 4 時間メニューより、時間を選択します。

- 5 [日]メニューより、日を選択します。

- 6 [追加]をクリックします。

ディスプレイの明るさを調整する

消費電力を節約したい場合や、ディスプレイの表示が見にくい場合には、ディスプレイの明るさを調整します。

設定可能な範囲は 20～100 です。出荷時の設定は 100 です。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定]の順にクリックします。

- 3 [画面の明るさ]フィールドで、ディスプレイの明るさのパーセント値を入力します。

- 4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定] > [画面明るさ]

- 2 [画面の明るさ]フィールドで、ディスプレイの明るさのパーセント値を入力します。

- 3  をタッチします。

リサイクル

Lexmark は、リサイクルを目的とする回収プログラムや環境関連の先進的な取り組みを進めています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト(www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム (www.lexmark.com/recycle)

Lexmark 製品をリサイクルする

リサイクルを目的として Lexmark 製品を返却するには、以下の手順に従ってください

- 1 www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
- 2 リサイクル製品の種類を見つけて、お住まいの国または地域をリストから選択します。
- 3 画面の指示に従います。

メモ: Lexmark の回収プログラムの対象に含まれていないプリンタの消耗品やハードウェアは、お客様の最寄りのリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。最寄りのリサイクルセンターに問い合わせて、受け入れ可能な品目を確認してください。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。Lexmark はダンボール箱をリサイクルします。

再利用やリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムでは、再利用やリサイクルを目的として、お客様が Lexmark に使用済みカートリッジを返却するプロセスを簡素化して無料化することで、年間に数百万個ものカートリッジが廃棄されることなく転用されています。Lexmark に返却された使用済みカートリッジは必ずリサイクル用に再利用されるか、別の製品に転用されます。カートリッジの返却に使用されたダンボール箱もリサイクルされます。

再利用またはリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却するには、プリンタまたはカートリッジに同梱されている説明書に従い、料金元払いの発送用ラベルを使用してください。また、以下の方法もあります。

- 1 www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
- 2 [トナーカートリッジ]セクションから、お住まいの国または地域を選択します。
- 3 画面の指示に従います。

プリンタを保護する

セキュリティロック機能を使用する

プリンタにはセキュリティロック機能が搭載されています。大半のノート型パソコンと互換性のあるロックを図に示した場所に取り付けて、プリンタの盗難を防止できます。



揮発性に関する記述

本機には、デバイスおよびネットワーク設定、ならびにユーザーデータを格納できるさまざまなタイプのメモリが搭載されています。

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷・コピージョブ時にユーザーのデータを一時的にバッファに格納する標準的なランダムアクセスメモリ(RAM)を使用しています。
不揮発性メモリ	本機には、2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)です。両タイプ共、オペレーティングシステムやデバイスの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、内蔵ソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のデバイスには、ハードディスクドライブが搭載されています。プリンタのハードディスクは、各デバイス固有の機能に対応するように設計されています。これにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータを保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタの稼働を中止する
- プリンタのハードドライブを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する

- 外部の業者によりプリンタが修理される
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社に売却される

ハードドライブの廃棄

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

高セキュリティ環境では、プリンタまたはそのハードディスクが社外に搬出された際にプリンタハードディスクに保存されている機密データに不正にアクセスされないことがないように、さらなる措置を講じることが必要になります。

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破碎** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: 大部分のデータは電子的に消去できますが、すべてのデータの完全な消去を保証する唯一の方法は、各記憶装置を完全に破壊することです。

揮発性メモリのデータを消去する

プリンタに搭載されている揮発性メモリ(RAM)での情報の保持には電源が必要です。バッファされているデータを消去するには、プリンタの電源を切ります。

揮発性メモリを消去する

次の手順で、個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、埋め込みソリューションを消去します。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 プリンタの電源を入れながら、**2** および **6** を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]メニューが表示されます。プリンタが完全に起動すると、通常のホーム画面のアイコンの代わりにタッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

- 3 **[すべての設定を消去]**を押します。

この処理の実行中、プリンタは複数回再起動します。

メモ: [すべての設定を消去]を実行すると、デバイスの設定、ソリューション、ジョブ、パスワードを確実に削除できます。

- 4 **[戻る]** > **[設定メニュー終了]**を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクメモリを消去する

メモ:

- すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。
- プリンタメニューで[一時データファイルを消去]を設定すると、削除に設定されたファイルを安全に上書きすることで、印刷ジョブによって残されたコンフィデンシャル原稿の残りを削除できます。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 プリンタの電源を入れながら、**2** および **6** を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。
プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]が表示されます。プリンタの電源が完全に入ったら、タッチ画面に機能のリストが表示されます。
- 3 [ディスクを消去]をタッチしてから、次のいずれかのオプションを押します。
 - [ディスクを消去(高速)] – 1 回のパスでディスクをすべてゼロで上書きする
 - [ディスクを消去(セキュア)] – ディスクをランダムなビットパターンで複数回上書きしてから、検証パスを実行する。セキュアな上書きは、米国国防省の DoD 5220.22-M 規格に準拠しており、ハードディスクからデータを確実に消去することができます。機密性の高い情報は、この方法で消去する必要があります。
- 4 ディスクの消去を開始するには、[はい]を押します。

メモ:

- ディスク消去には、数分から 1 時間以上かかります。
- ディスクの消去には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

- 5 [戻る] > [設定メニューを閉じる]を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクの暗号化を設定する

ハードディスクの暗号化を有効にすると、プリンタまたはハードディスクの盗難の際に機密データの喪失を防ぐことができます。

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [セキュリティ] > [ディスク暗号化]を選択します。

メモ: フォーマット済みの正常なプリンタハードディスクが搭載されている場合にのみ、[セキュリティ]メニューに[ディスク暗号化]が表示されます。

3 [ディスク暗号化]メニューから、[有効化]を選択します。

メモ:

- ディスク暗号化を有効にすると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 プリンタの電源を切ります。

2 プリンタの電源を入れながら、2 および 6 を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]が表示されます。プリンタが完全に起動すると、タッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

3 [ディスク暗号化] > [有効化]をタッチします。

メモ: ディスク暗号化を有効にすると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。

4 ディスクの消去を開始するには、[はい]を押します。

メモ:

- 暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。データの損失につながる可能性があります。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- ディスク消去には、数分から 1 時間以上かかります。ディスクが暗号化されると、プリンタは、[有効化/無効化]画面に戻ります。

5 [戻る] > [設定メニューを閉じる]を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタセキュリティ情報を見つける

高セキュリティ環境では、追加の手順を実施し、権限のないユーザーがプリンタに保存される機密データにアクセスできないようにしなければならない場合があります。詳細については、[Lexmark セキュリティ Web ページ](#)をご覧ください。

詳細については、次の手順で、『内蔵 Web サーバー – セキュリティ: 管理者ガイド』も参照してください。

1 www.lexmark.com に移動して、[サポートおよびダウンロード(Support & Downloads)] > プリンタを選択します。

2 [マニュアル(Manuals)]タブをクリックし、[内蔵 Web サーバー – セキュリティ: 管理者ガイド(Embedded Web Server – Security: Administrator's Guide)]を選択します。

プリンタのメンテナンス

最適な印刷品質を維持するために、特定のタスクを定期的に行う必要があります。

消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C (95°F) 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

プリンタの清掃

プリンタの清掃

メモ: 数か月に 1 回、この作業を実施しなければならない場合があります。

警告！破損の恐れあり: 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

- 1 必ずプリンタの電源を切り、壁コンセントから電源コードを抜いてください。

 **危険！感電の恐れあり:** プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

- 2 標準排紙トレイ、多目的フィーダー、および手差しフィーダーから用紙を取り除きます。
- 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。
- 4 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせます。プリンタの外側だけを清掃してください。

警告！破損の恐れあり: 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。

- 5 プリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してから、新しい印刷ジョブを送信してください。

原稿台ガラスを清掃する

コピーまたはスキャンした画像の縞など、印刷品質に問題が生じた場合には、原稿台ガラスを清掃します。

- 1 柔らかい、糸くずの出ない布を水で少し湿らせます。
- 2 スキャナカバーを開きます。



- 3 上に示した部分をすべて清掃し、乾かします。



1	ADF カバーの裏側の白い部分
2	スキャナカバーの裏側の白い部分
3	原稿台ガラス
4	ADF ガラス

- 4 スキャナカバーを閉じます。

部品と消耗品の状況を確認する

プリンタコントロールパネルから部品と消耗品の状況を確認する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[状況/消耗品] > [消耗品を表示]

内蔵 Web サーバーから部品と消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [デバイス状況] > [詳細]の順にクリックします。

推定残りページ数

推定残りページ数は、プリンタの最近の印刷履歴に基づいています。正確な数値は大幅に異なる場合があります、実際のドキュメントの内容、印刷品質設定、およびその他のプリンタ設定等多くの要因に依存しています。

実際の印刷消費量が履歴印刷消費量と異なる場合は、推定残りページ数の正確性が低下する可能性があります。推定値に基づいて消耗品を購入または交換する前には、さまざまなレベルの正確性を考慮してください。プリンタで適切な印刷履歴が取得されるまで、初期の推定では、国際標準化機構* のテスト方式とページ内容に基づいて将来の消耗品消費量を想定します。

* 平均的な連続黒または複合 CMY は ISO/IEC 19798 に従ってカートリッジ量を宣言しています。

消耗品を注文する

米国で消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。その他の国または地域の場合、Lexmark の Web サイト(www.lexmark.com)にアクセスするか、プリンタの販売店にお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

Lexmark の純正部品と消耗品を使用する

Lexmark プリンタは純正の Lexmark 消耗品と部品を使用したときに最高の効果を発揮するように設計されています。他社の消耗品または部品を使用すると、プリンタおよびイメージングコンポーネントの性能、信頼性、寿命に影響するおそれがあります。他社の消耗品や部品を使用すると、保証範囲に影響する可能性があります。他社の消耗品や部品を使用したことに起因する損傷には、保証が適用されません。すべての寿命インジケータは、Lexmark 消耗品と部品に対して機能するように設計されていますが、他社の消耗品や部品を使用した場合は予期しない結果が生じる可能性があります。意図された耐用期間後もイメージングコンポーネントを使用し続けると、Lexmark プリンタまたは関連するコンポーネントに損傷を引き起こすおそれがあります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19798 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与え、トナーがなくなる前にカートリッジ部品が損傷する原因になります。

回収プログラムカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州連合 (EU)、欧州経済地域 (EEA)、スイス	その他の国および地域 Rest of the world
回収プログラムトナーカートリッジ			
ブラック	801K	802K	808K
シアン	801C	802C	808C
マゼンタ	801M	802M	808M
イエロー	801Y	802Y	808Y
標準出力回収プログラムトナーカートリッジ			
ブラック	801SK	802SK	808SK
シアン	801SC	802SC	808SC
マゼンタ	801SM	802SM	808SM
イエロー	801SY	802SY	808SY
高出力回収プログラムトナーカートリッジ			
ブラック	801HK	802HK	808HK
シアン	801HC	802HC	808HC
マゼンタ	801HM	802HM	808HM
イエロー	801HY	802HY	808HY
地域の国情報については、 www.lexmark.com/regions をご覧ください。			

項目	グローバル
標準出力標準トナーカートリッジ	
ブラック	800S1
シアン	800S2
マゼンタ	800S3
イエロー	800S4
高出力標準トナーカートリッジ	
ブラック	800H1
シアン	800H2
マゼンタ	800H3
イエロー	800H4
地域の国情報については、 www.lexmark.com/regions をご覧ください。	

イメージングキットを注文する

項目	すべての国と地域
ブラックイメージングキット	700Z1
カラーイメージングキット	700Z5

保守キットを注文する

メモ:

- 特定のタイプの用紙を使用するには、保守キットをより頻繁に交換しなければならない場合があります。
- フューザーおよび転写モジュールは保守キットに含まれ、必要に応じて個別に注文および交換することもできます。
- 保守キットを交換するには、お客様サポート (<http://support.lexmark.com>) またはサービス担当者までお問い合わせください。

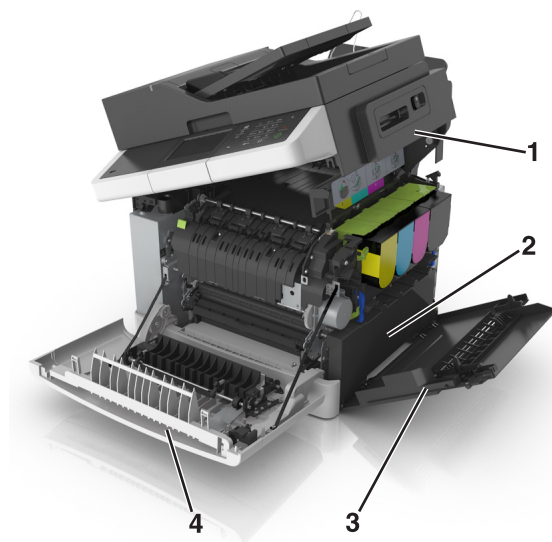
部品名	タイプ	消耗品番号
保守キット	115 V	40X7615
	220 V	40X7616
	100 V	40X7617

廃トナーボトルを注文する

項目	すべての国と地域
廃トナーボトル	C540X75G

消耗品を交換する

廃トナーボトルを交換する



1	上部ドア
2	廃トナーボトル
3	右側カバー
4	正面ドア

1 交換廃トナーボトルを開梱します。

2 正面ドアを開きます。

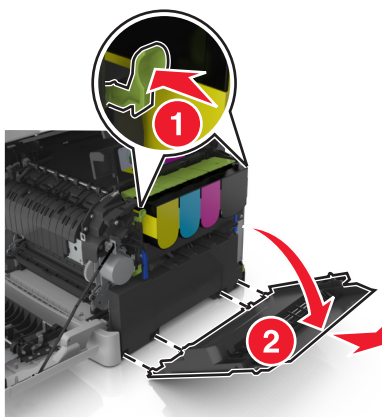
 **危険！表面は高温です：**プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を低減するために、面に触れる前に面を冷却します。



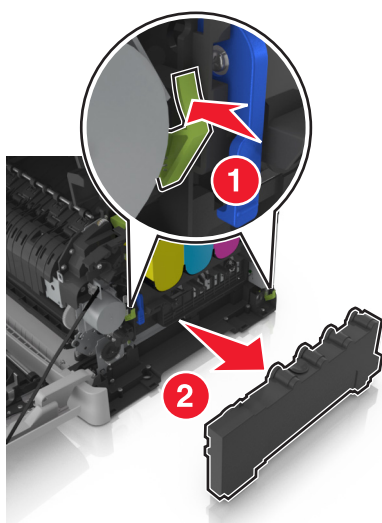
3 上部ドアを開きます。



4 右側のカバーを取り外します。



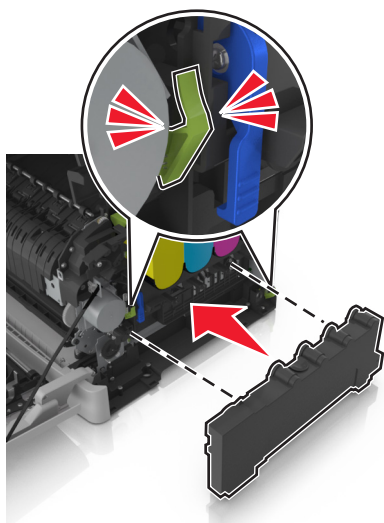
5 廃トナーボトルの各側にある緑色のレバーを押し、廃トナーボトルを取り外します。



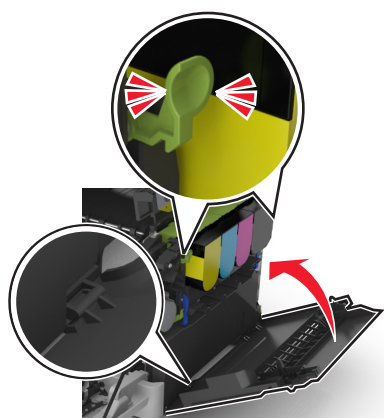
6 使用済みの廃トナーボトルを同梱の梱包材で密封します。

詳細については、[195 ページの「Lexmark 製品をリサイクルする」](#)を参照してください。

7 交換廃トナーボトルを挿入します。



8 右側のカバーを挿入します。



9 プリンタの右側の解除ラッチをスライドして握り、上部ドアをゆっくりと閉じます。



10 正面ドアを閉じてください。



ブラックおよびカラーイメージングキットの交換

1 正面ドアを開きます。

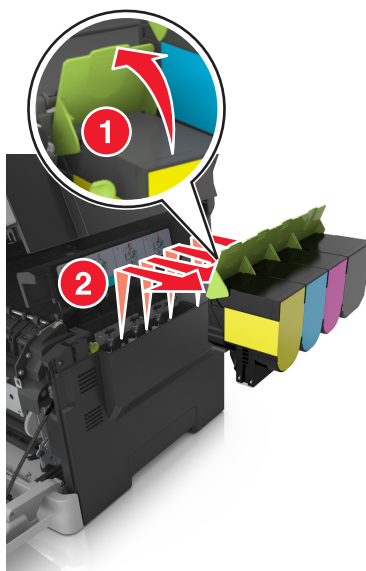
 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を低減するために、面に触れる前に面を冷却します。



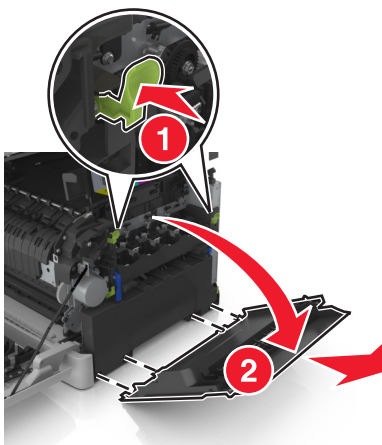
2 上部ドアを開きます。



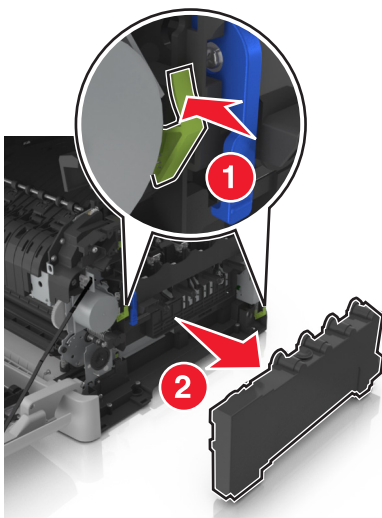
3 ハンドルを持ち上げてトナーカートリッジを取り外し、イメージングキットからゆっくりと引き出します。



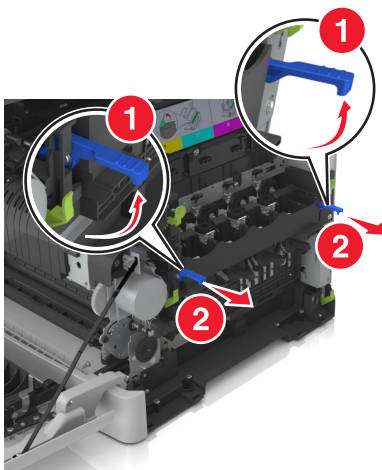
4 右側のカバーを取り外します。



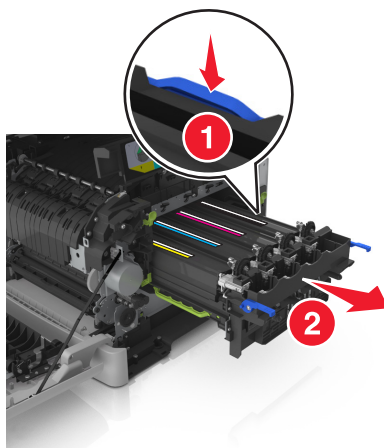
5 廃トナーボトルの各側にある緑色のレバーを押し、廃トナーボトルを取り外します。



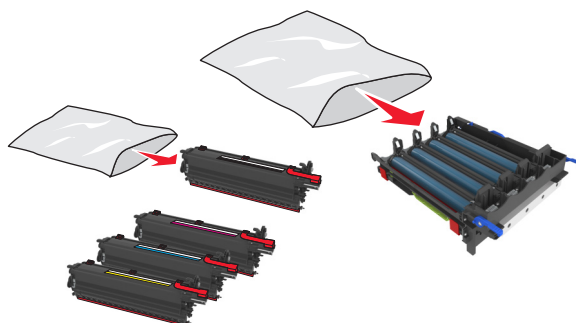
6 イメージングキットの青色のレバーを持ち上げ、停止するまでイメージングキットを引きます。



7 青色のレバーを押し、両側面の緑色のハンドルを握り、イメージングキットを引き出します。



8 交換用のブラックおよびカラーイメージングキットを開梱します。

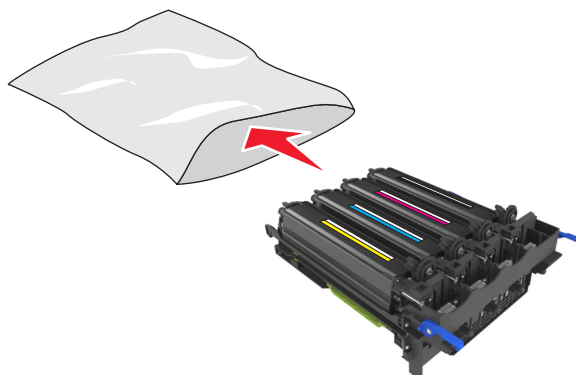


メモ:

- カラーイメージングキットには、イメージングキットとシアン、マゼンタ、イエロー、およびブラック開発者ユニットがあります。
- ブラックイメージングキットには、イメージングキットとブラック開発者ユニットがあります。

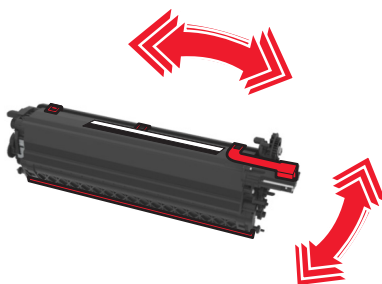
9 使用済みのイメージングキットを、交換用のイメージングキットが入っていた袋に入れて密封します。

詳細については、[195 ページの「Lexmark 製品をリサイクルする」](#)を参照してください。

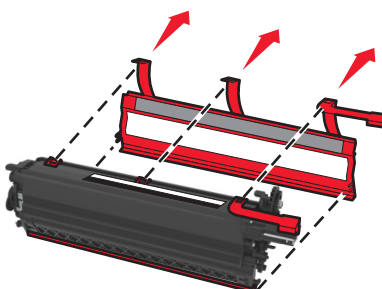


メモ: ブラックイメージングキットを交換するときには、シアン、マゼンタ、およびイエロー開発者ユニットは保持します。ブラック開発者ユニットのみを処分します。

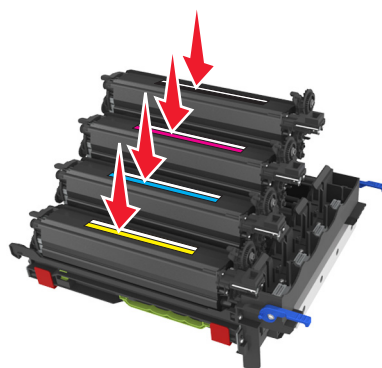
10 イエロー、シアン、マゼンタ、およびブラック開発者ユニットをゆっくりと横方向に振ります。



11 赤色の梱包テープと付属の素材を開発者ユニットから取り外します。

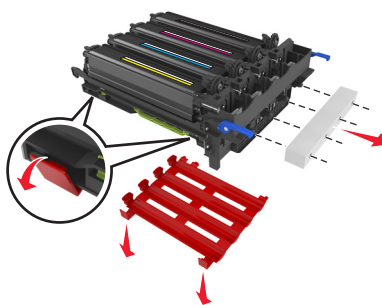


12 イエロー、シアン、マゼンタ、およびブラック開発者ユニットをゆっくりと挿入します。



メモ: 各開発者ユニットが対応する色スロットに挿入されていることを確認します。

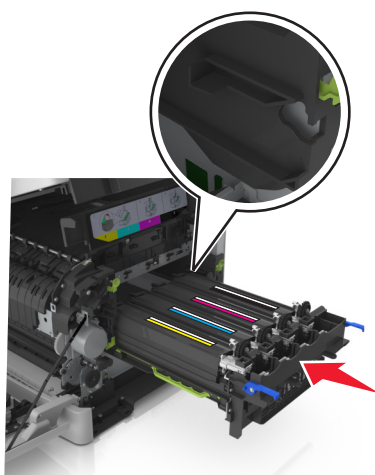
13 赤色の梱包テープをイメージングキットから取り外します。



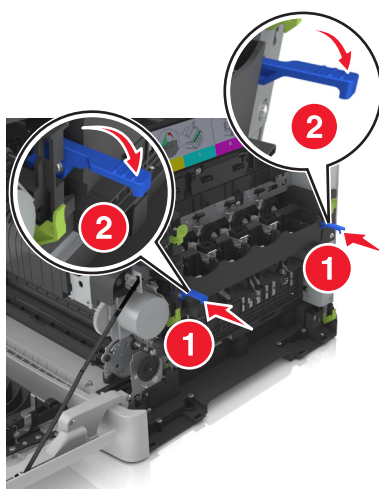
警告！破損の恐れあり: イメージングキットの下の方の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。



14 イメージングキットの位置を合わせ、挿入します。

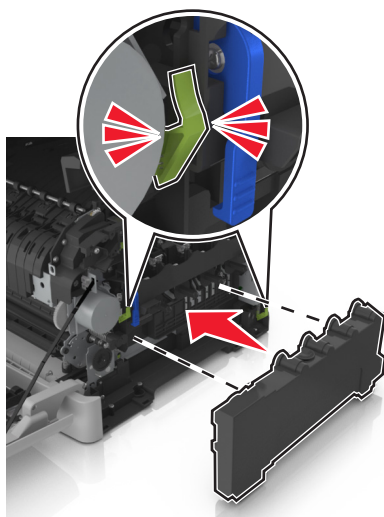


15 イメージングキットが所定の場所に固定されるまで、ゆっくりとしっかりと青色のレバーを押します。

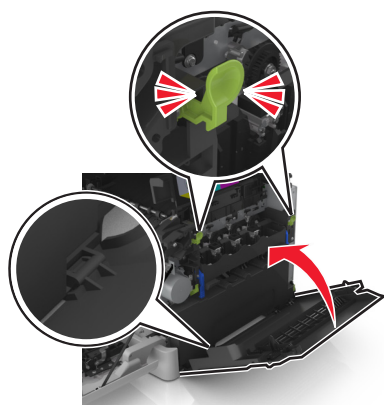


メモ: イメージングキットが完全に固定されていることを確認します。

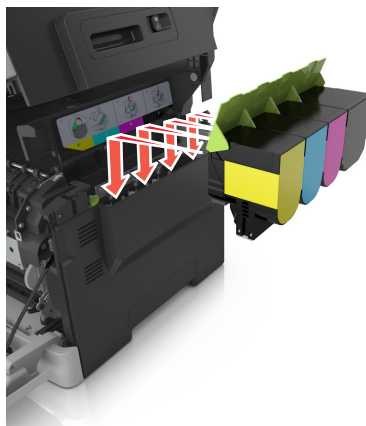
16 廃トナーボトルを挿入します。



17 右側のカバーを挿入します。



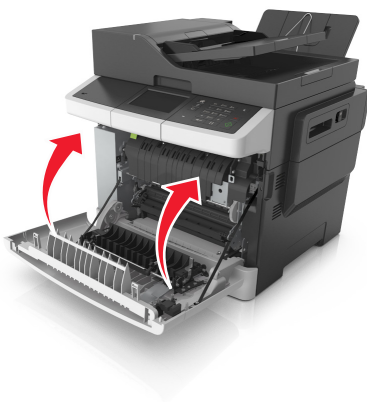
18 トナーカートリッジを挿入します。



19 プリンタの右側の解除ラッチをスライドして握り、上部ドアをゆっくりと閉じます。



20 正面ドアを閉じてください。

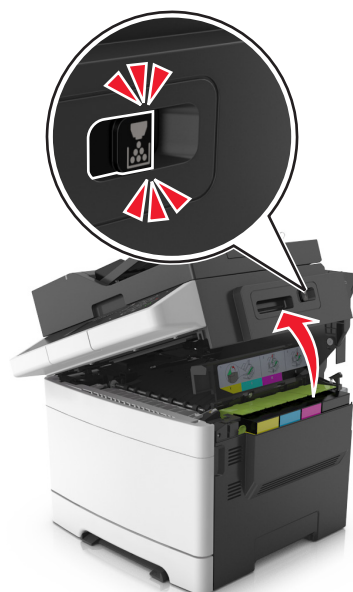


トナーカートリッジの交換

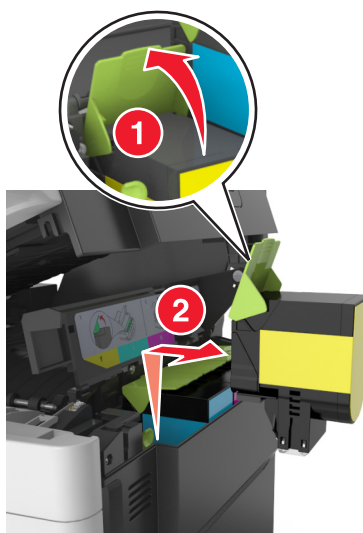
警告！破損の恐れあり： Lexmark 製以外のトナーカートリッジを使用したことに起因する損傷は、保証の対象外です。

メモ： Lexmark 製以外のトナーカートリッジを使用すると、印刷品質が低下する可能性があります。

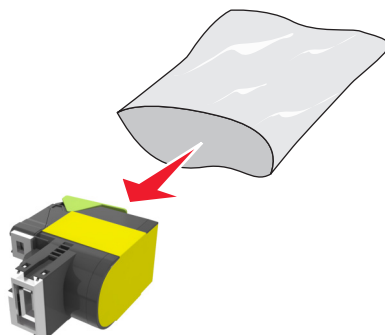
1 上部ドアを開きます。



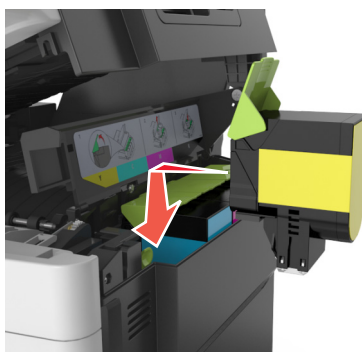
2 ハンドルを持ち上げてトナーカートリッジを取り外し、イメージングキットからゆっくりと引き出します。



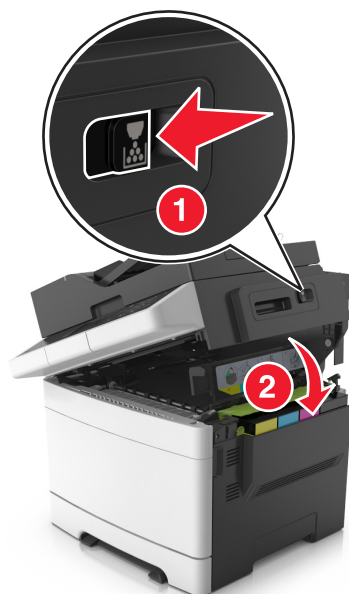
- 3 新しいトナーカートリッジを開梱し、梱包材を取り外します。



- 4 新しいトナーカートリッジを合わせ、所定の位置に入るまでカートリッジを下に押します。



- 5 プリンタの右側の解除ラッチをスライドして握り、上部ドアをゆっくりと閉じます。



- 6 使用済みのトナーカートリッジを、交換用のトナーカートリッジが入っていた袋に入れて密封します。
詳細については、[195 ページの「Lexmark 製品をリサイクルする」](#)を参照してください。

ディベロッパーユニットを交換する

プリンタ品質の問題またはプリンタの損傷が発生したときには、ディベロッパーユニットを交換します。

1 正面ドアを開きます。

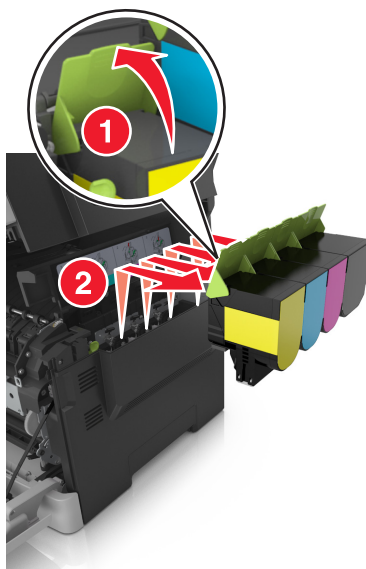
 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を低減するために、面に触れる前に面を冷却します。



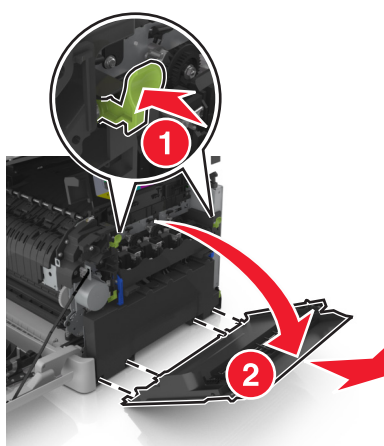
2 上部ドアを開きます。



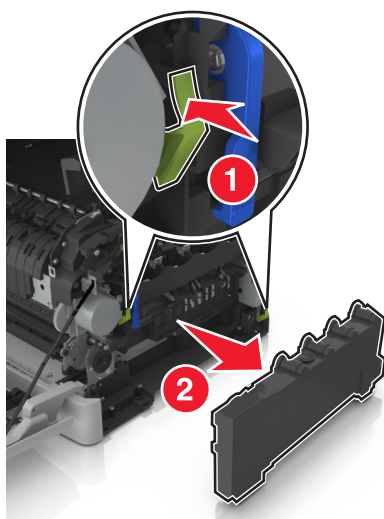
3 トナーカートリッジハンドルを持ち上げ、イメージングキットからゆっくりと引きます。



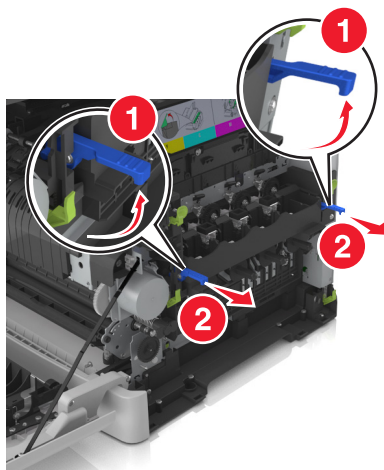
4 右側のカバーを取り外します。



5 廃トナーボトルの各側にある緑色のレバーを押し、廃トナーボトルを取り外します。

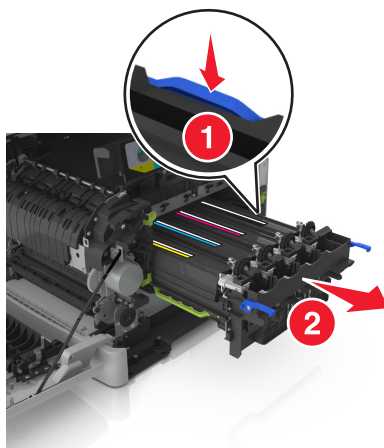


- 6 イメージングキットの青色のレバーを持ち上げ、停止するまでイメージングキットを引きます。

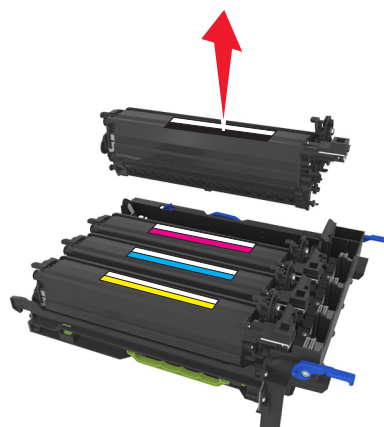


- 7 青色のレバーを押し、両側面の緑色のハンドルを握り、イメージングキットを引き出します。

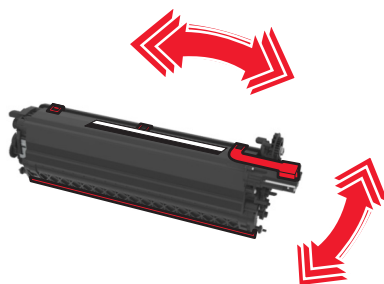
警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。



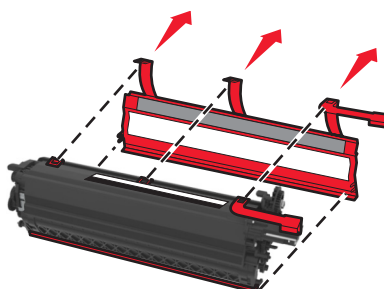
- 8 使用済みのディベロッパーユニットを取り外します。



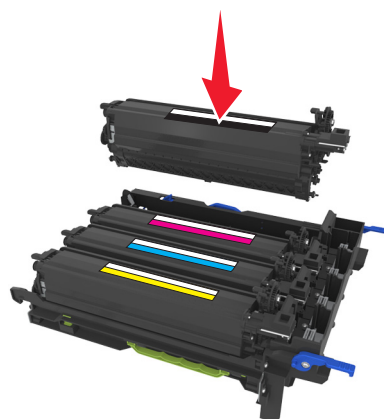
9 梱包から取り出す前に、交換用ディベロッパーユニットをゆっくりと横方向に振ります。



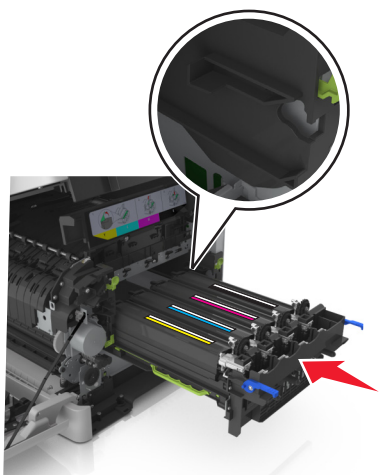
10 ディベロッパーユニットの赤色の出荷用カバーを取り外します。



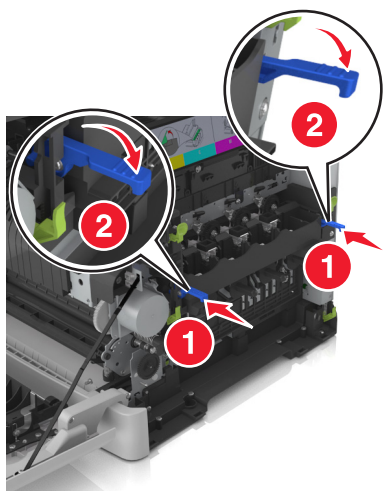
11 ディベロッパーユニットを挿入します。



12 イメージングキットの位置を合わせ、挿入します。

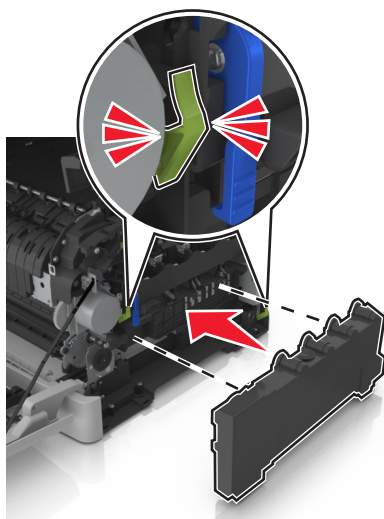


13 イメージングキットが所定の場所に固定されるまで、ゆっくりとしっかりと青色のレバーを押します。

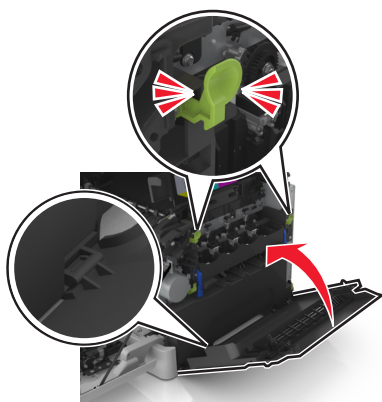


メモ: イメージングキットが完全に固定されていることを確認します。

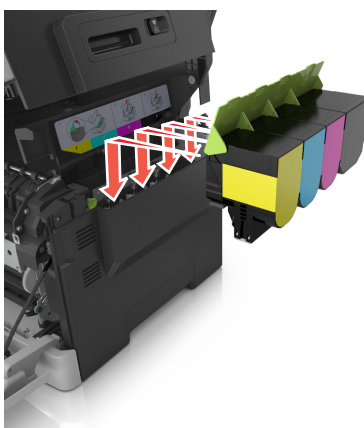
14 廃トナーボトルを交換します。



15 右側のカバーを挿入します。



16 トナーカートリッジを挿入します。



17 プリンタの右側の解除ラッチをスライドして握り、上部ドアをゆっくりと閉じます。



18 正面ドアを閉じてください。



19 使用済みのディベロッパーユニットを、交換用のディベロッパーユニットが入っていた袋に入れて密封します。
詳細については、[195 ページの「Lexmark 製品をリサイクルする」](#)を参照してください。

プリンタを移動する

プリンタを移動する前に

- ⚠ 危険！ケガの恐れあり：**プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。
- ⚠ 危険！ケガの恐れあり：**プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
- 電源スイッチを使用してプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
 - 移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタを持ち上げて、オプションのトレイからプリンタを取り外し、横に置きます。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

メモ：プリンタの両側にある握りを使用してプリンタを持ち上げます。

警告！破損の恐れあり：不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを別の場所に移動する

プリンタやハードウェアオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- プリンタの移動には、プリンタの底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、ハードウェアオプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

プリンタの輸送

プリンタを輸送する際は、元の梱包材を使用してください。

プリンタを管理する

ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手

この章では、内蔵 Web サーバーを使用した基本的な管理サポートタスクについて説明します。より詳細なシステムサポートタスクについては、Software Documentation CD (ソフトウェアおよび説明書類 CD) に収録されている『Networking Guide (ネットワークガイド)』および Lexmark の ホームページ (<http://support.lexmark.com>) に掲載されている『Embedded Web Server Administrator's Guide (内蔵 Web サーバー (EWS) 管理者ガイド)』を参照してください。詳細については、Lexmark のサポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) をご覧ください。

仮想ディスプレイを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで、プリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 画面の左上隅に表示される仮想ディスプレイを確認します。

仮想ディスプレイは、プリンタのコントロールパネルで動作する実際のディスプレイと同様に動作し、プリンタのメッセージを表示します。

E メールアラートをセットアップする

消耗品が低下したとき、用紙を交換または追加する必要があるとき、または紙詰まりが発生したときに、E メールアラートを送信するように、プリンタを設定します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定]をクリックします。

- 3 [その他の設定]メニューから、[E メールアラートセットアップ]をクリックします。

- 4 通知をオンにする項目を選択し、E メールアドレスを入力します。

- 5 [送信]をクリックします。

メモ: E メールサーバーの設定については、システムサポート担当者に問い合わせてください。

レポートを表示する

内蔵 Web サーバーから一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、および消耗品の状態を評価する際に便利です。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [レポート]をクリックしてから、表示するレポートのタイプをクリックします。

内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する

選択可能アラートを設定することで、消耗品がほぼ残り僅か、残り僅か、非常に残り僅か、寿命になったときに、アラートを送信する方法を指定できます。

メモ:

- トナーカートリッジ、イメージングキット、保守キット、および廃トナーボトルに関する通知を選択できます。
- ほぼ残り僅か、残り僅か、および非常に残り僅かの消耗品状態に対して、すべてのアラートを設定できます。消耗品の寿命状態では、一部のアラートを設定できません。電子メールアラートはすべての消耗品状態に対して使用できます。
- アラートを表示する消耗品残り推定量の割合は、一部の消耗品の状態に対して設定できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで、プリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [印刷設定] > [消耗品通知]をクリックします。

- 3 各消耗品のドロップダウンメニューから、次の通知オプションのいずれかを選択します。

通知	説明
オフ	すべての消耗品で通常のプリンタ動作が発生します。
E メールのみ	消耗品の状態に達すると、E メールが送信されます。消耗品の状態は、メニューページと状況ページに表示されます。
警告	プリンタには警告メッセージが表示され、消耗品の状態に関するメールが生成されます。消耗品の状態に達しても、プリンタは停止しません。
継続可能な停止 ¹	消耗品の状態に達すると、プリンタはジョブの処理を停止します。印刷を続行するには、ユーザーがボタンを押す必要があります。

¹ 消耗品通知が有効な場合、消耗品の状態に関する E メールが送信されます。

² 一部の消耗品が空になると、損傷を防止するために、プリンタが停止します。

通知	説明
継続不能な停止 ^{1,2}	消耗品の状態に達すると、プリンタが停止します。印刷を続行するには、消耗品を交換する必要があります。
¹ 消耗品通知が有効な場合、消耗品の状態に関する E メールが送信されます。	
² 一部の消耗品が空になると、損傷を防止するために、プリンタが停止します。	

4 [送信]をクリックします。

コンフィデンシャル印刷設定を修正する

メモ: この機能は、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで、プリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] タブ > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]をクリックします。

3 設定を変更します。

- 暗証番号入力試行最大回数を設定します。ユーザーが暗証番号の入力を試行し、特定の試行回数を超えた場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。
- コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期間を設定します。ユーザーが指定された期間内にジョブを印刷しなかった場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。

4 変更した設定を保存します。

他のプリンタに設定をコピーする

メモ: この機能は、ネットワークプリンタでのみ使用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 4 つの数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、Web ページを正しく読み込むために、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2 [プリンタ設定をコピー]をクリックします。

3 言語を変更するには、ドロップダウンリストから言語を選択し、[言語を送信するには、ここをクリック]をクリックします。

4 [プリンタ設定]をクリックします。

5 適切なフィールドにソースプリンタおよび対象プリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: 対象プリンタを追加または削除する場合は、[ターゲット IP を追加]または[ターゲット IP を削除]をクリックします。

6 [プリンタ設定をコピー]をクリックします。

初期状態のデフォルト設定を復元する

参照のために現在のメニュー設定の一覧を保持する場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷します。詳細については、[39 ページの「メニュー設定ページを印刷する」](#)を参照してください。

プリンタの出荷時のデフォルト設定を復元するためのより包括的な方法が必要な場合は、[すべての設定を消去]オプションを実行します。詳細については、[197 ページの「揮発性メモリを消去する」](#)を参照してください。

警告！破損の恐れあり： 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が元の出荷時の標準設定に戻ります。例外は、表示言語、カスタムサイズ、メッセージおよびネットワーク/ポート設定です。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定] > [出荷時標準設定] > [復元] >

紙詰まりを取り除く

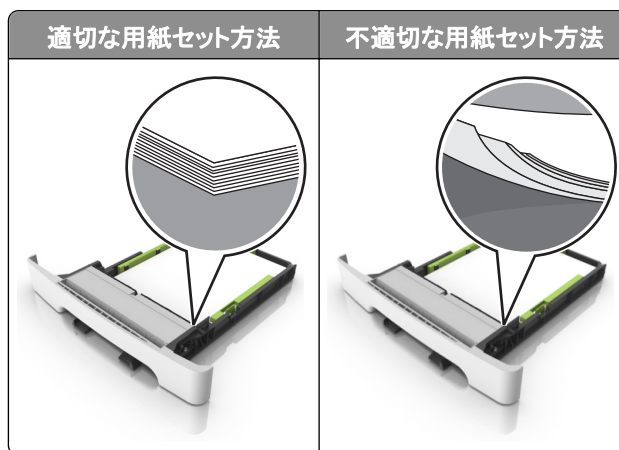
注意して用紙および特殊用紙を選択し、正しくセットすることで、ほとんどの紙づまりを防止できます。紙づまりが発生した場合、本章で概説する手順に従ってください。

警告！破損の恐れあり： 工具を使って、紙づまりを取り除かないでください。フューザーが恒久的に損傷するおそれがあります。

紙づまりを防ぐ

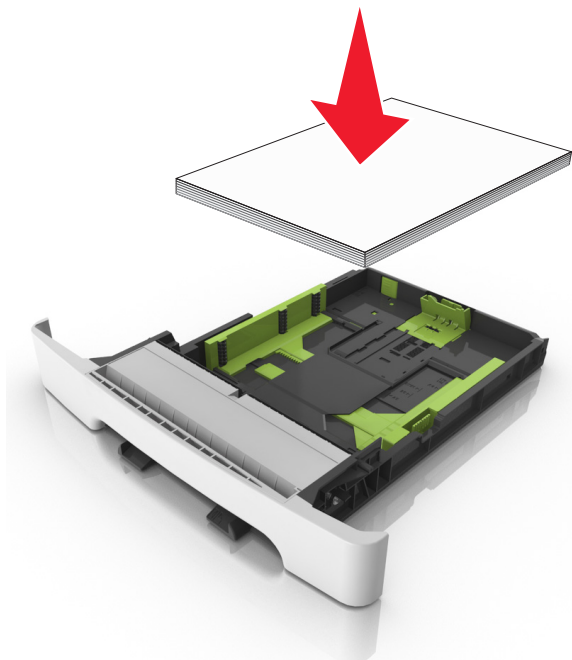
用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置く。



- 印刷中はトレイを取り外さない。
- 印刷中はトレイをセットしない。印刷前にトレイをセットするか、セットするよう指示が表示されるまで待ちます。
- セットする用紙の量が多すぎないようにする。用紙の高さが給紙上限マークを超えないようにしてください。

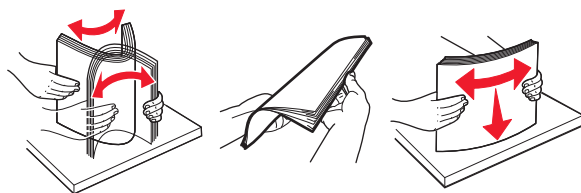
- 用紙をトレイに滑り込ませない。図のようにして用紙をセットしてください。



- トレイまたは多目的フィーダーのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認する。
- 用紙をセットしたらトレイをプリンタにしっかりと押し込む。

推奨された用紙を使用する

- 推奨用紙または専用紙のみを使用する。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしない。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。

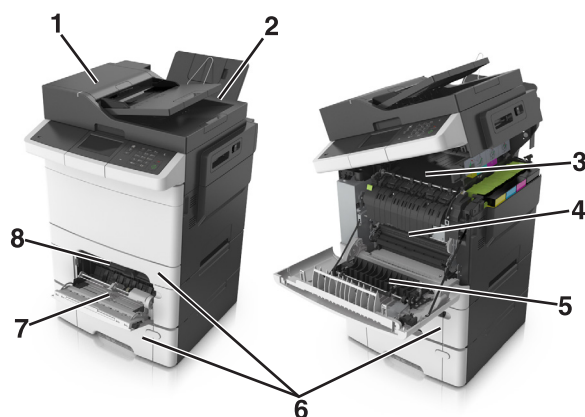


- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙の大きさ、重さ、種類が異なる用紙を1つのトレイにセットしない。
- コンピュータまたはプリンタの操作パネルで、用紙の大きさと種類が正しく設定されていることを確認する。
- 製造元が推奨する方法で用紙を保管する。

紙づまりメッセージと場所を理解する

紙づまりが発生すると、プリンタのディスプレイに、紙づまりが発生した場所を示すメッセージと紙づまりを取り除く手順が表示されます。ディスプレイに示されたドア、カバー、およびトレイを開き、紙づまりを取り除きます。

メモ: [紙詰まり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙づまりが発生したページを再印刷します。ただし、[自動]はページが印刷されることを保証しません。



	紙詰まりの場所	ディスプレイのメッセージ	対処
1	自動原稿フィーダ (ADF)	[x] ページ紙づまり、自動フィーダ上部カバーを開いてください [28y.xx]	ADFトレイからすべての用紙を取り除き、詰まっている用紙を取り除きます。
2	標準排紙トレイ	[x] ページ紙づまり、標準排紙トレイから用紙を取り除いてください [203.xx]	詰まっている用紙を取り除きます。
3	フューザー	[x] ページ紙づまり、正面ドアを開きフューザーから用紙を取り除いてください [202.xx]	正面ドアを開き、タブを引きます。フューザーカバーを下に押さえてから、詰まっている用紙を取り除きます。
4	正面ドア	[x] ページ紙づまり、正面ドアを開いてください [20y.xx]	正面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
5	両面印刷エリア	[x] ページ紙づまり、正面ドアを開き両面印刷エリアから用紙を取り除いてください [23y.xx]	正面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。
6	トレイ [x]	[x] ページ紙づまり、トレイ [x] を開いてください [x]) [24y.xx]	指示されたトレイを引き出し、詰まっている用紙を取り除きます。
7	多目的フィーダー	[x] ページ紙づまり、多目的フィーダから用紙を取り除いてください [250.xx]	用紙解除レバーを押して用紙ローラーを持ち上げ、詰まっている用紙を取り除きます。
8	手差しフィーダ	[x] ページ紙づまり、手差しフィーダから用紙を取り除いてください [251.xx]	詰まっている用紙を取り除きます。

[x]-ページ紙づまり、標準排紙トレイのつまりを取り除きます。[203.xx]

1 上部ドアを開きます。



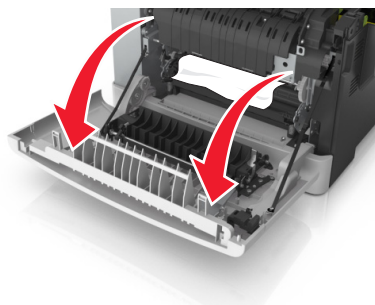
2 つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



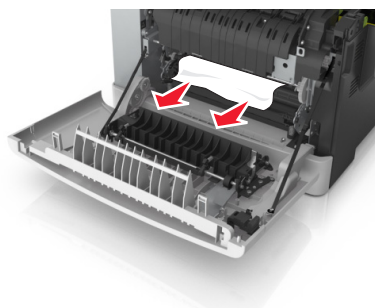
3 前面ドアを開きます。

 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

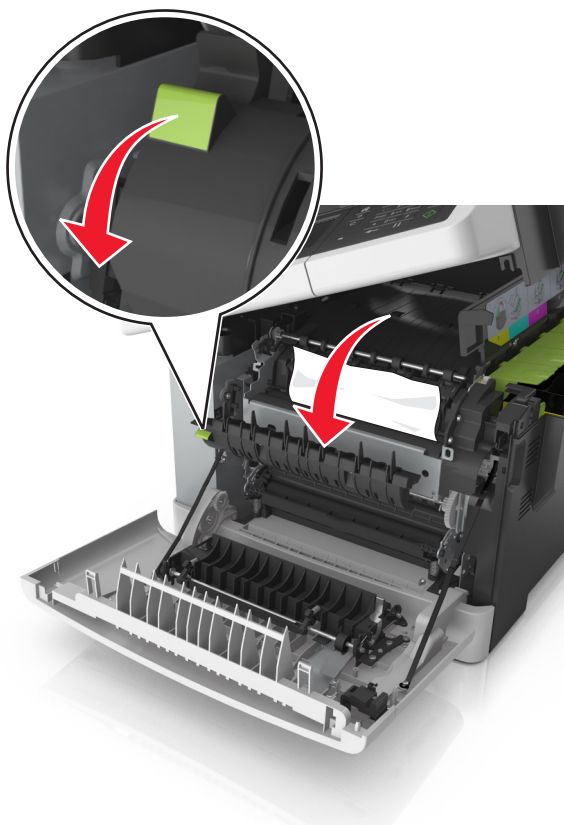


a フューザーの下につまった用紙がある場合は、つまった用紙の両サイドをしっかり持ってゆっくり引き出します。

メモ： すべての紙片を取り除きます。

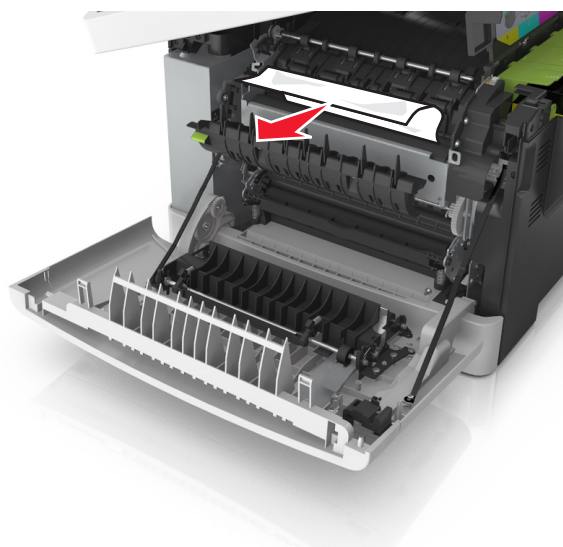


- b** 緑のレバーを引き、フューザーのカバーを開きます。



- c** フューザーにつまった用紙がある場合は、フューザーのカバーを下ろし、紙づまりを取り除きます。

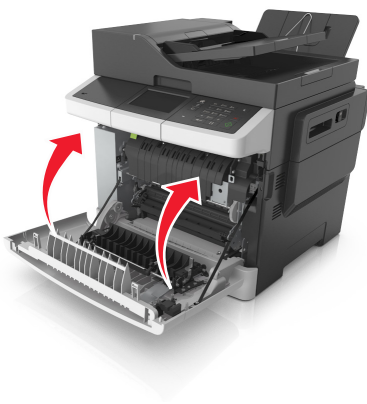
メモ: すべての紙片を取り除きます。



4 プリンタの右側面にあるリリースラッチをスライドして押したまま、上部ドアをゆっくり閉じます。



5 前面ドアを閉じます。



6 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開き、フューザーのつまりを取り除きます。[202.xx]

1 前面ドアを開きます。

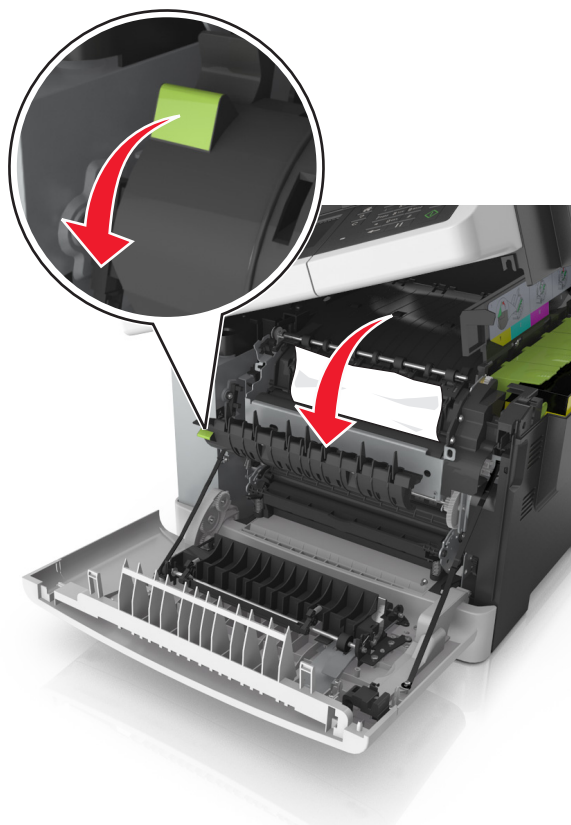
 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。



2 上部ドアを開きます。

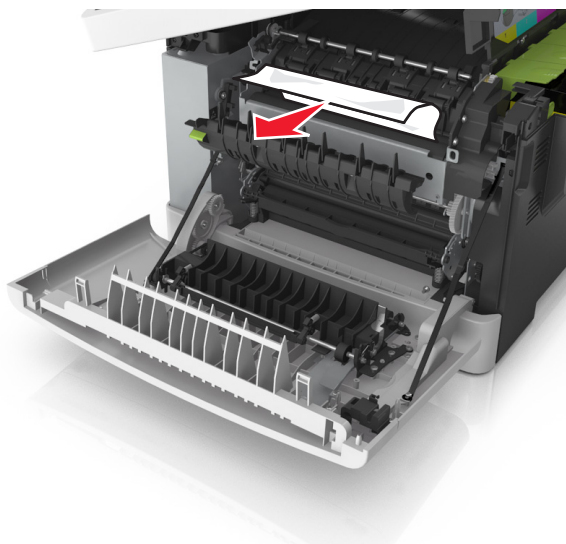


3 緑のレバーを引き、フューザーのカバーを開きます。



4 フューザーのカバーを下ろし、紙づまりを取り除きます。

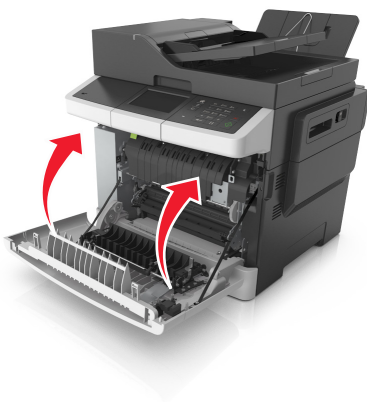
メモ: すべての紙片を取り除きます。



5 プリンタの右側面にあるリリースラッチをスライドして押したまま、上部ドアをゆっくり閉じます。



6 前面ドアを閉じます。

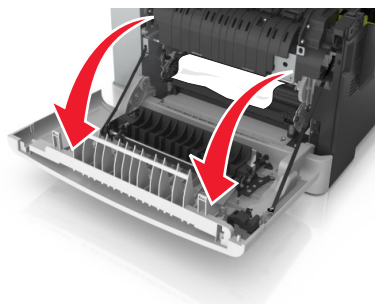


7 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開きます。[20y.xx]

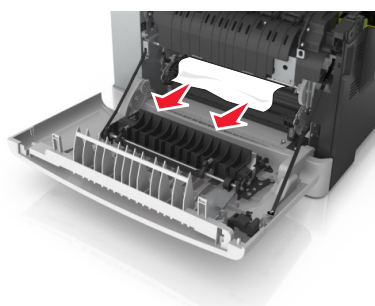
1 前面ドアを開きます。

 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

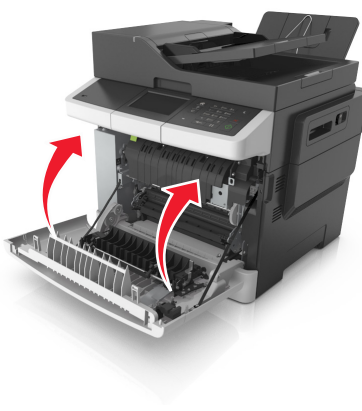


2 つまった用紙の両側をしっかりとって、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



3 前面ドアを閉じます。

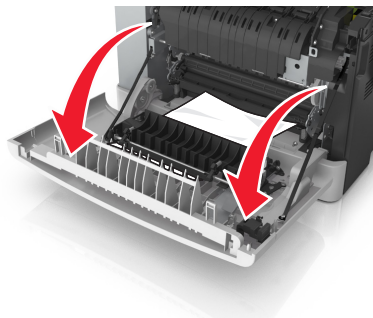


4 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開き、両面印刷ユニットのつまりを取り除きます。[23y.xx]

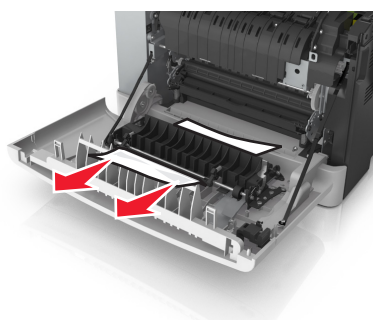
1 前面ドアを開きます。

 **危険！表面は高温です：** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

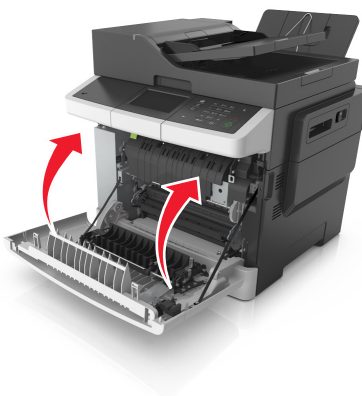


2 つまった用紙の両側をしっかりと持って、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



3 前面ドアを開じます。

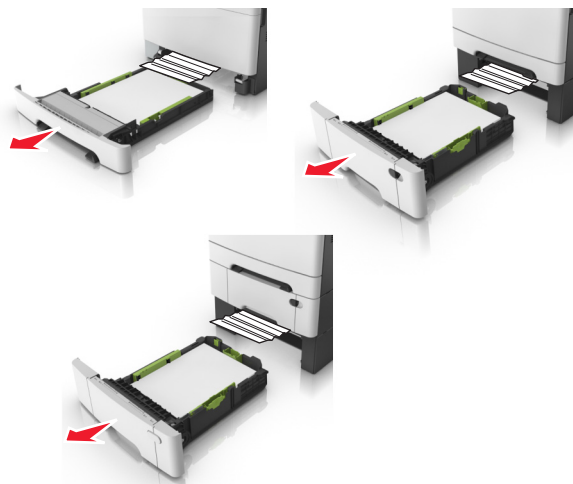


4 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

[x]-ページ紙づまり、トレイ [x]を開きます。[24y.xx]

1 トレイを完全に引き出します。

メモ: プリンタ画面のこのメッセージは、用紙がつまっている場所を示しています。



2 つまった用紙の両側をしっかりとって、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。

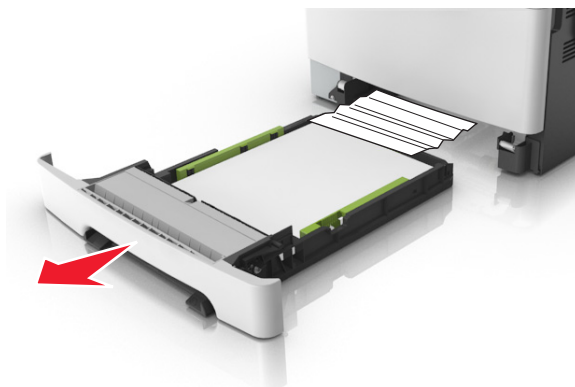


3 トレイを挿入します。

4 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

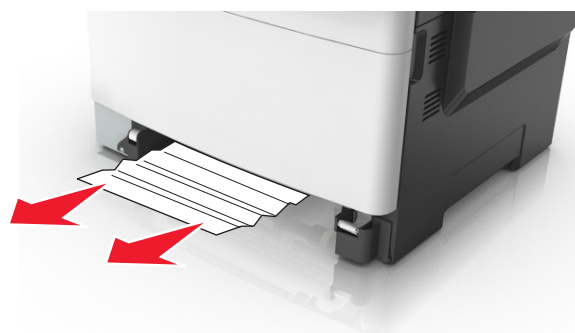
[x]-ページ紙づまり、手差しフィーダーのつまりを取り除きます。[251.xx]

- 1 標準の 250 枚トレイ(トレイ 1)と手差しフィーダーを引き出します。



- 2 つまった用紙の両側をしっかりと持って、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



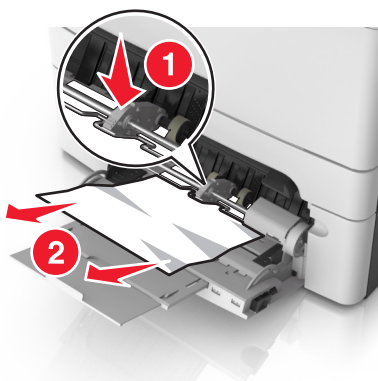
- 3 トレイを挿入します。

- 4 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します]の順に選択し、 を押して確定します。

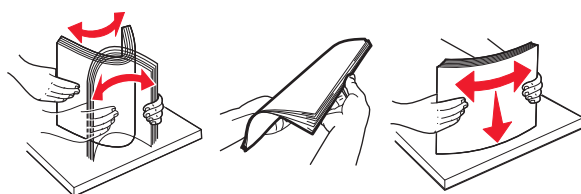
[x]-ページ紙づまり、多目的フィーダーのつまりを取り除きます。[250.xx]

- 1 多目的フィーダーの用紙リリースレバーを押して、つまった用紙をつかみ、ゆっくりと引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



2 用紙を上下にまげてほぐし、パラパラめくります。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端を揃えます。



3 多目的フィーダに用紙を再度セットします。



4 用紙ガイドを、用紙の端に軽く触れる位置まで動かします。



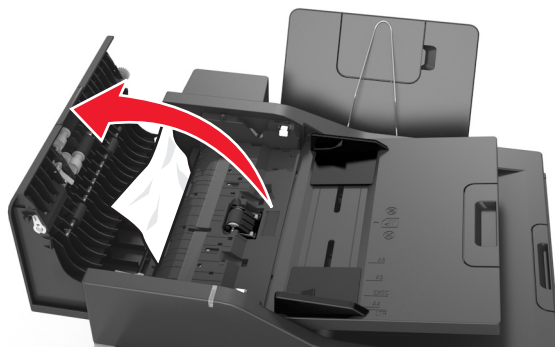
5 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] >  > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します] >  の順に選択します。

[x]-紙づまり、自動フィーダのトップカバーを開きます。[28y.xx]

1 すべての原稿を ADF トレイから取り除きます。

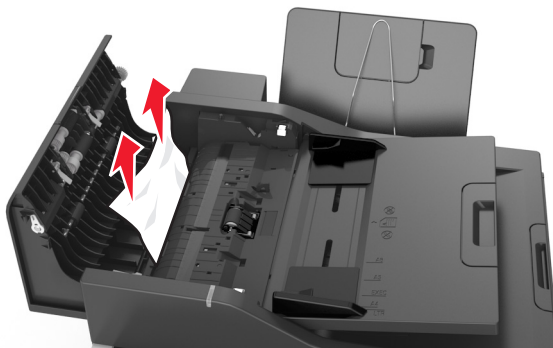
メモ: 用紙を ADF トレイから取り除くと、メッセージが消えます。

2 ADF カバーを開けます。



3 つまった用紙の両側をしっかりと持って、ゆっくり引き出します。

メモ: すべての紙片を取り除きます。



- 4 ADF カバーを閉じます。
- 5 原稿の端を揃え、ADF にもう一度すべての原稿をセットして、用紙ガイドを調節します。
- 6 メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの  をタッチします。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、[次へ] >  > [つまっているものを取り除き、[OK]を押します] >  の順に選択します。

問題に対処する

プリンタメッセージを理解する

カラーの調節中

処理が完了するのを待ちます。

[給紙源] を [カスタムタイプ名] に変更してください

以下の方法をいくつか試してください。

- トレイに正しいサイズと種類の用紙をセットし、プリンタの操作パネルで[用紙の変更が完了しました]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
メモ: プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で用紙のサイズと種類が指定されているか確認します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源] を [カスタム文字列] に変更してください

以下の方法をいくつか試してください。

- トレイに正しいサイズと種類の用紙をセットし、プリンタの操作パネルで[用紙の変更が完了しました]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
メモ: プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で用紙のサイズと種類が指定されているか確認します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源] を [用紙の種類] [用紙サイズ] に変更してください

以下の方法をいくつか試してください。

- トレイに正しいサイズと種類の用紙をセットし、プリンタの操作パネルで[用紙の変更が完了しました]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
メモ: プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で用紙のサイズと種類が指定されているか確認します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ドアを閉じてください

右側サイドカバーが取り付けられていることを確認し、上部カバーと前部ドアを閉じて、メッセージを消去します。

ジョブを再開する場合は原稿台のカバーを閉じ、原稿をセットしてください [2yy.xx]

プリンタコントロールパネルから、次の 1 つ以上のメニューを選択します。

- [ADF からスキャン]を選択し、を押してから、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- [原稿台からスキャン]を選択し、を押して、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台ガラスからすぐにスキャンを続行します。
- [次のスキャンをせずにジョブを仕上げ]を選択し、を押して、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
メモ: スキャンジョブはキャンセルされます。成功したスキャンページが、コピー、E メール用に処理されます。
- [ジョブの再開]を選択し、を押して、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。
- [ジョブをキャンセル]を選択し、を押して、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。

[カラー] カートリッジ残りほぼ僅か [88.xy]

トナーカートリッジを注文する必要があります。必要に応じて、[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。

[カラー] カートリッジほぼ残り僅か [88.xy]

必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。

[カラー] カートリッジ残りごく僅か、推定残りページ[x] [88.xy]

次のような場合は、該当するトナーカートリッジをただちに交換する必要があります。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。
- プリンタメモリを増設します。

構成設定変更。保留中のジョブがいくつか復元されませんでした[57]

以下のいずれかが変更された可能性があるため、保持ジョブは無効になっています。

- プリンタファームウェアがアップデートされた。
- 印刷ジョブのトレイが取り外されている。
- USB ポートに接続されていないフラッシュドライブから印刷ジョブが送信された。
- プリンタのハードディスクが別のプリンタ機種に取り付けられているときに保存された印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに残っている。

メモ: プリンタのハードディスクとフラッシュドライブは 一部のプリンタ機種でのみサポートされています。

プリンタの操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを消去します。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、 を押して確認します。

フラッシュメモリ不良[51]

以下の方法をいくつか試してください。

- 不良のフラッシュメモリカードを交換します。
- プリンタ操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

ディスク満杯[62]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを無視して処理を続けます。
- プリンタのハードディスクに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- もっと容量が大きいプリンタハードディスクを取り付けます。

このデバイスで使用するには、ディスクをフォーマットする必要があります。

プリンタの操作パネルで[**ディスクを初期化**]をタッチし、プリンタのハードディスクをフォーマットしてメッセージを消去します。

メモ: プリンタのハードディスクに保存されているファイルは、フォーマットによりすべて削除されます。

USB ドライブ読取りエラーです。USB を取り外してください。

サポートされていない USB デバイスを取り付けられています。USB デバイスを取り外し、サポートされているデバイスを取り付けてください。

USB ハブの読み取りエラーが発生しました。ハブを取り外します。

サポートされていない USB ハブを取り付けられています。USB ハブを取り外し、サポートされているハブを取り付けてください。

トレイ [x]に互換性なし。[59]

指定されたトレイを取り外してから再び取り付け、メッセージを消去します。

正しくない用紙サイズ、[給紙源]を開いてください [34]

メモ: 給紙源はトレイまたはフィーダにできます。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 給紙源に正しい用紙サイズをセットします。
- プリンタコントロールパネルから[続行]を選択します。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、を押して確認します。
- 長さガイドおよび幅ガイドを確認して、用紙がトレイに正しくセットされていることを確認してください。
- [印刷設定]または[印刷]ダイアログボックスの設定で適切なサイズとタイプの用紙が設定されていることを確認してください。
- 該当する用紙サイズとタイプをプリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]で指定されているか確認してください。
- 用紙サイズが正しく設定されていることを確認してください。たとえば、[多目的フィーダーサイズ]が[ユニバーサル]に設定されている場合は、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

トレイ [x]をセットしてください

指定されたトレイをプリンタに挿入します。

フラッシュメモリのデフラグを行うにはメモリが不足しています[37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。
- プリンタメモリから、フォントやマクロなどのデータを削除します。
- プリンタメモリを増設します。

メモリ不足、保持されたジョブが幾つか削除されました[37]

現在のジョブを処理するために、保持されたジョブの一部が削除されました。

[続行]を選択して、メッセージを消去します。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、を押して確認します。

丁合印刷にはメモリ不足です[37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択し、ジョブの保存済みの部分を印刷して、残りの印刷ジョブの丁合を開始します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

リソース保存機能を使うにはメモリ不足です[35]

プリンタメモリを増設するか、プリンタ操作パネルの[続行]を選択してリソース保存機能を無効にし、メッセージを消去して、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモリ不足。保持されたジョブが幾つか復元されません[37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去します。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、 を押して確認します。
- その他の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。

[給紙源]に[カスタムタイプ名]をセットする

以下の方法をいくつか試してください。

- カセットまたはフィーダに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 適切なサイズまたはタイプの用紙がセットされたカセットを使用するには、プリンタの操作パネルで[用紙セット完了]を選択します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ: 適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたカセットが見つかると、そのカセットから給紙されます。適切なタイプおよびサイズの用紙がセットされたカセットが見つからない場合は、標準設定のカセットから印刷されます。

- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源]に[カスタム文字列]をセットする

以下の方法をいくつか試してください。

- 指定されたカセットまたはフィーダに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 適切なサイズまたはタイプの用紙がセットされたカセットを使用するには、プリンタの操作パネルで[用紙セット完了]を選択します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ: 正しいタイプおよびサイズの用紙がセットされたカセットが見つかると、そのカセットから用紙が給紙されます。正しいタイプおよびサイズの用紙がセットされたカセットが見つからない場合は、標準設定のカセットから印刷されます。

- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源]に[用紙サイズ]をセットする

以下の方法をいくつか試してください。

- トレイまたはフィーダに、適切なサイズの用紙をセットします。
- 適切なサイズの用紙がセットされたトレイまたはフィーダを使用するには、プリンタの操作パネルで[用紙セット完了]を選択します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ: 適切なサイズの用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから給紙されます。適切なサイズの用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、標準設定のトレイから印刷されます。

- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源]に[用紙タイプ][用紙サイズ]をセットする

以下の方法をいくつか試してください。

- カセットまたはフィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 適切なサイズとタイプの用紙がセットされた用紙カセットまたはフィーダーを使用するには、プリンタの操作パネルで[用紙セット完了]を選択します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ: 適切なサイズおよびタイプの用紙がセットされたカセットが見つかると、そのカセットから給紙されます。適切なサイズおよびタイプの用紙がセットされたカセットが見つからない場合は、標準設定のカセットから印刷されます。

- 現在のジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに [カスタム文字列]をセットしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- フィーダーに、適切なサイズと種類の用紙をセットします。
- プリンタの機種に応じて、[各ページ、用紙のセット要請]をタッチするか、プリンタの操作パネルの  を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに [カスタムタイプ名]をセットしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- フィーダーに、適切なサイズと種類の用紙をセットします。
- プリンタの機種に応じて、[各ページ、用紙のセット要請]をタッチするか、プリンタの操作パネルの  を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに [用紙サイズ]をセットしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- フィーダーに適切なサイズの用紙をセットします。
- プリンタの機種に応じて、[各ページ、用紙のセット要請]をタッチするか、プリンタの操作パネルの  を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに [用紙の種類][用紙サイズ]をセットしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- フィーダーに、適切なサイズと種類の用紙をセットします。
- プリンタの機種に応じて、[各ページ、用紙のセット要請]をタッチするか、プリンタの操作パネルの  を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

保守キットの残量が少なくなっています [80.xy]

保守キットを注文しなければならない場合があります。詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、お客様サポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、[続行]をクリックし、メッセージを消去して印刷を続けます。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、 を押して確認します。

保守キットがほぼ残り僅かです [80.xy]

詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、[続行]をクリックし、メッセージを消去して印刷を続けます。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、 を押して確認します。

保守キットがほぼ寿命切れです、推定残りページ [x] [80.xy]

保守キットを速やかに交換しなければならない場合があります。詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、お客様サポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、プリンタコントロールパネルの[続行]をクリックし、メッセージを消去して印刷を続けます。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、 を押して確認します。

メモリ満杯[38]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタ操作パネルで[ジョブをキャンセル]を押して、メッセージを消去します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
- プリンタメモリを増設します。

ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[続行]をクリックし、印刷を続行します。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、を押して確認します。
- プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark のサポート Web サイト(<http://support.lexmark.com>)をご覧ください。

リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足[52]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、を押して確定します。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- より容量の大きなフラッシュメモリカードにアップグレードします。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

他社製[カラー][消耗品タイプ]。『ユーザーズガイド』を参照してください [33.xy]

メモ: 「消耗品タイプ」は、トナーカートリッジやイメージングキットなどです。

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告！破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用を続行するには、プリンタの操作パネルの  と # ボタンを同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品をプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。

メモ: サポートされている消耗品の一覧については、『ユーザーズガイド』の「消耗品の注文」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

不明または応答しない[カラー]カートリッジを取り付けなおしてください [31.xy]

以下の方法をいくつか試してください。

- なくなっているトナーカートリッジを取り付けます。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」セクションを参照してください。
- 応答しないカートリッジを取り外してから、再び取り付けます。

メモ: カートリッジの再取り付け後にメッセージが表示された場合、そのカートリッジは不良である可能性があります。トナーカートリッジを交換してください。

不明または応答しない[タイプ]イメージングキットを取り付けなおしてください [31.xy]

メモ: [タイプ]は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

以下の方法をいくつか試してください。

- なくなっているイメージングキットを取り付けなおします。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」セクションを参照してください。
- 応答しないイメージングキットを取り外してから、再び取り付けます。

メモ: イメージングキットの再取り付け後にメッセージが表示された場合、そのイメージングキットは不良である可能性があります。イメージングキットを交換します。

印刷した用紙を再度トレイ [x]にセットしてください

以下のいずれかの手順を実行します。

- メッセージを消去し、用紙の裏面への印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの[続行]を押します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[場所の名前] の梱包材を取り除いてください

- 1 指定された場所に残っている梱包材をすべて取り除きます。
- 2 プリンタの操作パネルで[続行]をタッチしてメッセージを消去します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。

標準排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

[カラー] カートリッジを交換してください。推定残りページ 0 [88.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、指定されたトナーカートリッジを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

[カラー] カートリッジを交換してください。プリンタのリージョンの不一致 [42.xy]

プリンタのリージョン番号に一致するトナーカートリッジを取り付けます。x はプリンタのリージョンを示しています。y はカートリッジリージョンの値を示しています。x および y は以下に示す値になります。

リージョン番号	リージョン
0	グローバル
1	米国、カナダ
2	欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)、スイス
8	その他の国
9	使用できません

メモ:

- x および y の値は、プリンタ操作パネルに表示されるエラーコードの xy です。
- 印刷を続行するには、x および y の値が同じでなければなりません。

[タイプ] のイメージングキットを交換してください。推定残りページ 0 [84.xy]

メモ: [タイプ]は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

メッセージを消去して印刷を続行するには、指定されたイメージングキットを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

メモ: 交換用のイメージングキットがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」か、www.lexmark.comを参照してください。

ジョブを再開する場合は、すべての原稿を交換してください。

プリンタコントロールパネルから、次の 1 つ以上のメニューを選択します。

- **[ADF からスキャン]**を選択し、を押してから、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- **[原稿台からスキャン]**を選択し、を押して、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台ガラスからすぐにスキャンを続行します。
- **[次のスキャンをせずにジョブを仕上げ]**を選択し、を押して、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
メモ: スキャンジョブはキャンセルされます。成功したスキャンページが、コピー、E メール用に処理されます。
- **[ジョブの再開]**を選択し、を押して、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。
- **[ジョブをキャンセル]**を選択し、を押して、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。

故障したハードディスクを外してください[61]

故障したプリンタハードディスクを取り外して交換します。

不良 [カラー] カートリッジを交換してください [31.xy]

メッセージを消去するには、不良トナーカートリッジを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

メモ: 交換用のトナーカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

不良 [タイプ] イメージングキットを交換してください [31.xy]

メモ: [タイプ]は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

メッセージを消去して印刷を続行するには、不良イメージングキットを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

メモ: 交換用のイメージングキットがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」か、www.lexmark.com を参照してください。

ジョブを再開する場合は、詰まっている原稿を交換してください。

プリンタコントロールパネルから、次の 1 つ以上のメニューを選択します。

- [ADF からスキャン]を選択し、を押してから、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- [原稿台からスキャン]を選択し、を押して、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台ガラスからすぐにスキャンを続行します。
- [次のスキャンをせずにジョブを仕上げ]を選択し、を押して、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
メモ: スキャンジョブはキャンセルされます。成功したスキャンページが、コピー、E メール用に処理されます。
- [ジョブの再開]を選択し、を押して、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。
- [ジョブをキャンセル]を選択し、を押して、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。

保守キットをセットし直してください、推定残りページ 0 [80.xy]

プリンタはメンテナンスの予定があります。詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、サービス担当者にお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

不明な[カラー]カートリッジをセットし直してください [31.xy]

指定されたトナーカートリッジを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」セクションを参照してください。

不明な[タイプ]イメージングキットをセットし直してください [31.xy]

メモ: [タイプ]は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

指定されたイメージングキットを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」セクションを参照してください。

なくなっている廃トナーボトルを交換してください [82.xy]

なくなっている廃トナーボトルを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

サポートされていない [カラー] カートリッジを交換してください [32.xy]

メッセージを消去するには、トナーカートリッジを取り外してから、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

サポートされていない [タイプ] イメージングキットを交換してください [32.xy]

メモ: [タイプ]は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

メッセージを消去するには、指定されたイメージングキットを取り外してから、サポートされているイメージングキットを取り付けます。

メモ: 交換用のイメージングキットがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」か、www.lexmark.com を参照してください。

廃トナーボトルを交換してください [82.xy]

廃トナーボトルを交換して、メッセージを消去します。

保持されたジョブを復元しますか？

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタのハードディスクに保持されているジョブをすべて復元するには、プリンタの操作パネルで**[復元する]**を選択します。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、 を押して確認します。
- 印刷ジョブをまったく復元しない場合は、**[復元しない]**を選択します。タッチスクリーンのプリンタ機種でない場合は、 を押して確認します。

スキャナの ADF のカバーが開いています

ADF カバーを閉じます。

管理者によってスキャナが無効にされています [840.01]

スキャナを使用せずに印刷するか、システムサポート担当者までお問い合わせください。

スキャナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。[840.02]

プリンタコントロールパネルから、次の 1 つ以上を実行します。

- [スキャナを無効にして継続]を選択し、ホーム画面に戻り、システムサポート担当者に連絡します。
- [スキャナを再起動して自動的に有効化]を選択し、ジョブをキャンセルします。

メモ: これにより、スキャナが有効になります。

- タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、 を押して確認します。

スキャナ紙詰まり、原稿をすべてスキャナから取り除いてください [2yy.xx]

スキャナから詰まっている用紙を取り除きます。

スキャナ紙詰まり、原稿をスキャナから取り除いてください [2yy.xx]

スキャナから詰まっている用紙を取り除きます。

保持されたジョブがいくつか復元されません

プリンタの操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ: 復元されなかった保留中のジョブはプリンタのハードディスクに残りますが、アクセスできなくなります。

SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから  を押し、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

標準ネットワークソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[続行]をクリックし、印刷を続行します。タッチスクリーン式以外のプリンタモデルの場合、 を押して確認します。
- プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark のサポート Web サイト(<http://support.lexmark.com>)をご覧ください。

標準 USB ポートが無効です [56]

プリンタの操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

メモ:

- プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。
- [USB バッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

ジョブを完了するには消耗品が必要です

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで、[消耗品に関するメッセージ]をタッチし、現在のジョブの処理を続行するために必要な消耗品についてのエラーメッセージをすべて表示します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
 - 1 なくなっている消耗品をただちに注文します。
 - 2 消耗品を取り付けます。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。
- 印刷ジョブをキャンセルし、なくなっている消耗品を取り付けてから、印刷ジョブを再送信します。

取付けられたフラッシュオプションが多すぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 不要なフラッシュメモリを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

取付けられたトレイが多過ぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 不要なトレイを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

[タイプ] イメージングキット残り僅か [84.xy]

メモ: [タイプ] は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

イメージングキットを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

[タイプ] イメージングキットほぼ残り僅か [84.xy]

メモ: [タイプ] は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

[タイプ] イメージングキット残りごく僅か、推定残りページ [x] [84.xy]

メモ: [タイプ] は、ブラックのイメージングキットまたはブラック・カラーのイメージングキットです。

次のような場合は、該当するイメージングキットをただちに交換する必要があります。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

フラッシュメモリが初期化されていません [53]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージが表示され続ける場合は、フラッシュメモリが不良品のため、交換が必要な可能性があります。

廃トナーボトルがほぼ満杯です [82.xy]

廃トナーボトルを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルの[続行]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。タッチ画面が搭載されていないプリンタ機種の場合は、 を押して確定します。

Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから  を押し、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

プリンタの問題を解決する

- 261 ページの「基本的なプリンタの問題」
- 263 ページの「オプションの問題」
- 265 ページの「給紙の問題」

基本的なプリンタの問題

プリンタが応答していない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。 プリンタの電源は入っていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？	スリープボタンを押して、プリンタをスリープモードまたはハイバネートモードから復帰します。	手順 3 に進みます。
手順 3 電源コードの一方がプリンタに接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。 電源コードはプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続されていますか？	手順 4 に進みます。	電源コードの一方をプリンタに、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。
手順 4 コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。 他の電気製品は動作していますか？	他の電気製品をコンセントから抜き、プリンタの電源をオンにします。プリンタが動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおします。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	以下が一致するようにしてください。 • ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク • Ethernet ポートとそれに対応するイーサネットケーブル
手順 6 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 7 に進みます。
手順 7 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？	プリンタの電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。	手順 8 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 8 プリンタケーブルの一方がプリンタのポートに、もう一方がコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。 プリンタケーブルはプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？	手順 9 に進みます。	プリンタケーブルをプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。
手順 9 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていることを確認してください。 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていますか？	手順 10 に進みます。	プリンタの電源をオフにし、すべての梱包材を取り除いてハードウェアオプションを再度インストールしてから、プリンタの電源を入れます。
手順 10 プリンタドライバで正しいポート設定が選択されていることを確認します。 ポート設定は間違っていないですか？	手順 11 に進みます。	正しいプリンタドライバ設定を使用します。
手順 11 インストールされているプリンタドライバを確認します。 正しいプリンタドライバがインストールされていますか？	手順 12 に進みます。	正しいプリンタドライバをインストールします。
手順 12 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは動作していますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

プリンタディスプレイに何も表示されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[スリープ]ボタンを押します。 プリンタディスプレイに[準備完了]と表示されていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタディスプレイに[お待ちください]と[準備完了]が表示されていますか？	問題は解決しました。	プリンタの電源を切り、以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをプリンタに接続し、正しくアースしたコンセントに接続してから、プリンタの電源をオンにします。 内蔵オプションはコントローラボードに正しく取り付けられていますか？	手順 3 に進みます。	内蔵オプションをコントローラボードに取り付けます。
手順 3 メニュー設定ページを印刷して、内蔵オプションが機能一覧に含まれているか確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	内蔵オプションを取り付けなおします。
手順 4 a 内蔵オプションが選択されているかどうかチェックします。 印刷ジョブを有効にするために、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加することが必要になる場合があります。(⇒ 35 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」) b 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

メモ리카ードを検出できない

対応	はい	いいえ
メモ리카ードが取り付けられていることを確認します。 a メモ리카ードを取り付けます。詳細については、 28 ページの「メモ리카ードを取り付ける」 を参照してください。 メモ: メモ리카ードがプリンタのコントローラボードにしっかりと接続されているかどうかを確認します。 b メニュー設定ページを印刷し、カードが[設置済みのオプション]リストに表示されるかどうかを確認します。 カードが[設置済みのオプション]リストに表示されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

トレイの問題

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出し、次の 1 つ以上の手順を実行します。 - 紙詰まりまたは給紙エラーを確認する。 - 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 - カスタムサイズの用紙に印刷する場合は、用紙ガイドが用紙の端に触れていることを確認する。 - 用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。 - 用紙がトレイに平らにセットされていることを確認する b トレイが正しく閉じているかどうか確認する。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トレイが取り付けられ、プリンタによって認識されているかどうかを確認します。 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストにトレイがあるかどうかを確認する。 トレイはメニュー設定ページに表示されますか。	手順 4 に進みます。	トレイを再取り付けします。詳細については、同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。
手順 4 プリンタドライバでトレイが使用可能かどうかを確認します。 メモ: 必要に応じて、プリンタドライバでトレイを手動で追加し、印刷ジョブでできるようにします。詳細については、35 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」を参照してください。 プリンタドライバでトレイが使用可能ですか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

給紙の問題

紙詰まりが発生したページが再印刷されない

対応	はい	いいえ
[紙詰まり回復]をオンにします。 a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] >> [一般設定] > [印刷回復] b [紙詰まり回復]メニューから、矢印をタッチし、[オン]または[自動]にスクロールします。 c [送信]をタッチします。 紙詰まり後にページが再印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

紙づまりが頻繁に発生する

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出し、以下のうち 1 つ以上を実行します。 - 用紙はトレイに平らに置きます。 - 用紙ガイドの用紙サイズインジケータとトレイの用紙サイズインジケータの位置が合っているかどうか確認します。 - 用紙ガイドが用紙の両端に揃っているかどうかを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 推奨の用紙サイズと種類に印刷しているかどうかを確認します。 b トレイを適切にセットします。 紙づまりリカバリが有効な場合、印刷ジョブは自動的に再印刷されます。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 紙づまりを防止するヒントを参照します。(⇒ 229 ページの「紙づまりを防ぐ」) b 推奨事項を試してから、印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート。	問題は解決しました。

紙詰まりを取り除いても紙詰まりのメッセージが消えない

対応	はい	いいえ
詰まった用紙の用紙経路全体を確認します。 a 詰まっている用紙を取り除きます。 b プリントコントロールパネルから[続行]をタッチし、メッセージを消去します。 紙詰まりメッセージが消えましたか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

プリンタの問題を解決する

印刷の問題

コンフィデンシャルジョブとその他の保留ジョブが印刷されない

メモ: プリンタが他の保留ジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタのディスプレイで保留ジョブフォルダを開き、印刷ジョブが一覧にあることを確認します。 印刷ジョブは保留ジョブフォルダに表示されていますか。	手順 2 に進みます。	[印刷後保持]オプションのいずれかを選択し、印刷ジョブを再送信します。詳細については、66 ページの「コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する」を参照してください。
手順 2 印刷ジョブには、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている場合があります。 - 印刷ジョブを削除し、再送信します。 - PDF ファイルの場合、新しい PDF ファイルを生成し、再度印刷します。 インターネットから印刷している場合は、プリンタが複数のジョブタイトルを重複として読み取り、最初のジョブ以外のすべてのジョブが削除される場合があります。 Windows の場合 a [印刷プロパティ]フォルダを開きます。 b [印刷後保持]ダイアログから、[重複文書を保持]チェックボックスを選択します。 c PIN 番号を入力します。 Macintosh の場合 印刷ジョブをそれぞれ別名で保存し、各ジョブをプリンタに送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 一部の保留ジョブを削除し、追加のプリンタメモリを解放します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	プリンタメモリを追加します。

フラッシュドライブの読み取りエラーが表示される

対応	はい	いいえ
手順 1 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されているかどうかを確認します。 メモ: 背面の USB ポートに挿入されている場合、フラッシュドライブは動作しません。 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されていますか。	手順 2 に進みます。	フラッシュドライブを正面の USB ポートに挿入します。
手順 2 プリンタコントロールパネルのインジケータランプが緑色で点滅しているかどうかを確認します。 メモ: 緑色の点滅はプリンタがビジー状態であることを示します。 インジケータランプが緑色で点滅していますか。	プリンタがレディになるまで待機してから、保留ジョブリストを表示し、文書を印刷します。	手順 3 に進みます。
手順 3 a ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。 b メッセージを消してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 フラッシュドライブがサポートされているかどうかを確認します。 テストおよび承認済み USB フラッシュドライブの詳細については、 64 ページの「サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ」 を参照してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 システムサポート担当者が USB ポートを無効にしているかどうかを確認します。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

不適切な文字が印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタが[16 進数トレース(HEX trace)]モードでないことを確認します。 メモ: プリンタディスプレイに[HEX trace 準備完了]と表示されている場合、プリンタの電源を切ってから再び入れて、16 進数トレースモードを無効にします。 プリンタが 16 進数トレースモードになっていますか？	16 進数トレースモードを無効にします。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの操作パネルで、[標準ネットワーク]または[ネットワーク [x]]を選択し、[SmartSwitch]をオンにします。 b 印刷ジョブを再送信します。 不適切な文字が印刷されますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

違うトレイからまたは違う用紙に印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログを開き、用紙の種類を指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a トレイがリンクされていないことを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .

大きなジョブで部単位印刷(丁合)ができない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタ操作パネルの[仕上げ]メニューで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタソフトウェアで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 メモ: ソフトウェアで[丁合印刷]を「(1,1,1) (2,2,2)」に設定すると、[仕上げ]メニューの設定が変更されます。 b 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 フォントの数とサイズ、イメージの数と複雑性、ジョブのページ数を減らして、印刷ジョブを簡素化します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

多言語 PDF ファイルが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a PDF 出力の印刷オプションがすべてのフォントを組み込むように設定されているかどうかを確認します。 詳細については、Adobe Acrobat に同梱されているマニュアルを参照してください。 b 新しい PDF ファイルを作成してから、印刷ジョブを再送信します。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a Adobe Acrobat で印刷する文書を開きます。 b [ファイル] > [印刷] > [詳細設定] > [イメージとして印刷] > [OK] > [OK]をクリックします。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

印刷の速度が低下する

メモ:

- 幅の狭い用紙に印刷する場合、フューザーへの損傷を避けるため、プリンタの印刷速度が遅くなります。
- 長時間の印刷や高温時の印刷では、プリンタの速度が低下することがあります。

対処方法	はい	いいえ
トレイにレターまたは A4 サイズの用紙をセットし、印刷ジョブを再送信します。 印刷速度は上がりましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 印刷しようとするドキュメントから、[印刷]ダイアログを開き、正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。 メモ: プリンタがデフォルトプリンタではない場合、印刷するドキュメントごとにプリンタを選択する必要があります。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタが接続され、電源が入っているかどうか、 準備完了 がプリンタディスプレイに表示されているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 エラーメッセージがプリンタディスプレイに表示される場合は、メッセージを消去します。 メモ: メッセージの消去後、プリンタは印刷を続行します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a ポート(USB、シリアル、イーサネット)が動作しているかどうか、ケーブルがしっかりとコンピュータとプリンタに接続しているかどうかを確認します。 メモ: 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 5 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 a プリンタソフトウェアを削除して、再インストールします。詳細については、 35 ページの「プリンタを取り付ける」 を参照してください。 メモ: プリンタソフトウェアは、 http://support.lexmark.com からダウンロードできます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの環境設定を変更します。 a プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [一般設定] b [エコモード]または[静音モード]を選択し、[オフ]を選択します。 メモ: エコモードまたは静音モードを無効にすると、電力または消耗品、あるいはその両方の消費が多くなる場合があります。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ジョブ中のフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、およびページ数を減らし、印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a プリンタメモリに保存された保留ジョブを削除します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a [ページ保護]機能を無効にします。 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [一般設定] > [印刷回復] > [ページ保護] > [オフ] b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 5 a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 追加のプリンタメモリを取り付け、印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

トレイのリンクが動作しない

メモ:

- トレイは用紙の長さを検出できます。
- 多目的フィーダーは用紙サイズを自動的に検出しません。[用紙サイズ/タイプ]メニューから、サイズを設定する必要があります。

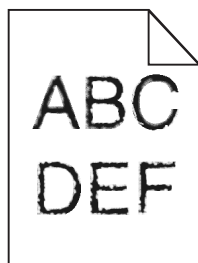
対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを開いてから、同じサイズとタイプの用紙がセットされているかどうかを確認します。 • 各トレイにセットされた用紙のサイズに合った正しい位置に用紙ガイドがあるかどうかを確認します。 • 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、リンクするトレイにセットされた用紙に一致させます。 メモ: 用紙サイズとタイプは、リンクされるトレイと一致していなければなりません。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

予期しない改ページが発生する

対応	はい	いいえ
[印刷タイムアウト]の値を大きくする a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] > [一般設定] > [時間切れ] b [印刷タイムアウト]設定を大きくし、[送信]をタッチします。 c 印刷ジョブを再送信します。 ファイルは正しく印刷されますか。	問題は解決しました。	原稿ファイルの手動改ページを確認します。

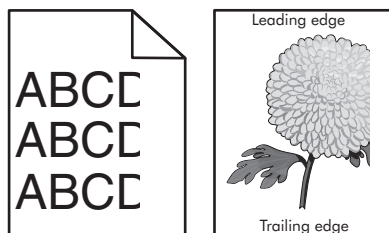
印刷品質の問題

文字の端がぎざぎざしている



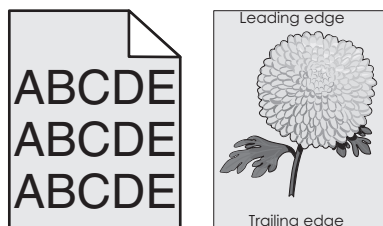
対処方法	はい	いいえ
手順 1 a フォントのサンプルリストを印刷して、使用しているフォントがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 1 プリンタの操作パネルで、次の順に選択します。 [メニュー] > [レポート] > [フォント一覧を印刷] 2 [PCL フォント]または[PostScript フォント]を選択します。 b 印刷ジョブを再送信します。 プリンタでサポートされているフォントを使用していますか？	手順 2 に進みます。	プリンタでサポートされているフォントを選択します。
手順 2 コンピュータにインストールされているフォントがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 コンピュータにインストールされているフォントはプリンタでサポートされていますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .

切り取られたページと画像



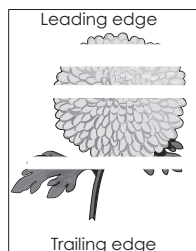
対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイの幅ガイドと長さガイドを移動し、セットされたページの位置に正しく合わせます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタコントロールパネルから、[用紙]メニューで用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙サイズはトレイにセットされた用紙と一致していますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • プリンタコントロールパネルから、用紙サイズを変更し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 • プリンタコントロールパネルから、用紙タイプを変更し、トレイにセットされた用紙に一致させます。
手順 3 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

印刷後の背景がグレーになる



対応	はい	いいえ
手順 1 トナーの濃さを薄くします。 a プリントコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃さを薄くします。 メモ: 工場出荷時は 4 に設定されています。 b 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景はなくなりましたか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり: イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり: イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景はなくなりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

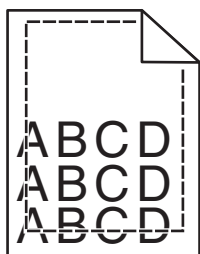
横の空白が印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a プログラムが正しいファイルパターンを使用していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ横の空白が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 指定したトレイまたはフィーダーに推奨された用紙をセットします。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ横の空白が印刷に表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ横の空白が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ横の空白が印刷に表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

印刷の余白が正しくない



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

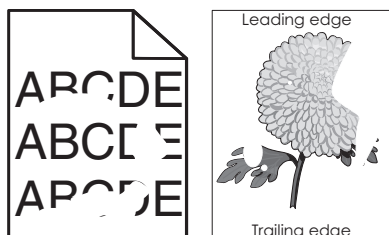
対処方法	はい	いいえ
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙サイズを設定します。 用紙のサイズはトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙サイズを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙サイズと一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

用紙が丸くなる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 幅ガイドと長さガイドは正しい位置にありますか？	手順 2 に進みます。	幅ガイドと長さガイドを調節します。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類と重さを設定します。 用紙の種類と重さがトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の種類と重さを指定します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a トレイから用紙を取り除き、裏返します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 5 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

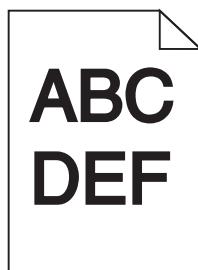
印刷が均一でない



対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイの幅ガイドと長さガイドを移動し、トレイでセットされた用紙のサイズの位置に正しく合わせます。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 トレイは、トレイにセットされた用紙のサイズとタイプに設定されていますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定の用紙サイズがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。 • トレイ設定の用紙サイズと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプと重量を指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットされた用紙にテクスチャや粗さがあるかどうかを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか。	プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。	手順 5 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 5 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

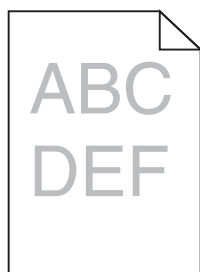
印刷が濃過ぎる



対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、[カラー調整]を選択します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が暗すぎますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃さを薄くします。 メモ: 工場出荷時は 4 に設定されています。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が暗すぎますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは、セットされた用紙のタイプ、粗さ、および重さに設定されていますか。	手順 4 に進みます。	トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、および重さと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。

対応	はい	いいえ
手順 4 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、および重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が暗すぎますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 トレイにセットされた用紙にテクスチャや粗さがあるかどうかを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか。	プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。	手順 6 に進みます。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が暗すぎますか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が暗すぎますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

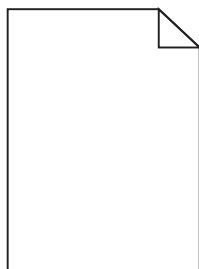
印刷が明るすぎる



対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタコントロールパネルの[印刷品質]メニューで、[カラー調整]を選択します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が明るすぎますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃さを濃くします。 メモ: 工場出荷時は 4 に設定されています。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が明るすぎますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 トレイは、セットされた用紙のタイプ、粗さ、および重さに設定されていますか。	手順 4 に進みます。	トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、および重量がトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
手順 4 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、および重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が明るすぎますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 用紙にテクスチャや粗さがいないことを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか。	プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。	手順 5 に進みます。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が明るすぎますか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が明るすぎますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

何も印刷されないページがある



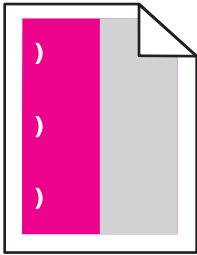
対応	はい	いいえ
手順 1 a イメージングキットに梱包材が残っていないか確認する 1 イメージングキットを取り外します。 2 梱包材がイメージングキットから正しく取り除かれているかどうかを確認します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 3 イメージングキットを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されないページがありますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されないページがありますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

プリンタが真っ黒のページを印刷する



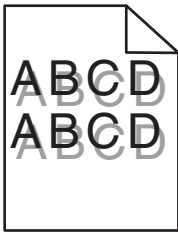
対応	はい	いいえ
手順 1 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

ページで異常を繰り返す



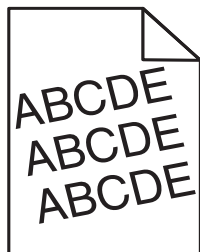
対応	はい	いいえ
手順 1 異常の間隔を測定します。 異常の間隔が次の間隔と等しいかどうかを確認します。 • 25.1 mm (0.98 インチ) • 29.8 mm (1.17 インチ) • 43.9 mm (1.72 インチ) • 45.5 mm (1.79 インチ) • 94.2 mm (3.70 インチ) 異常の間隔は一覧の値のいずれかと等しいですか。	手順 2 に進みます。	1 異常の間隔が次の値のいずれかと等しいかどうかを確認します。 • 37.7 mm (1.48 インチ) • 78.5 mm (3.09 インチ) • 95 mm (3.74 インチ) 2 距離の値を書き留め、カスタマサポートまたはサービス担当者に問い合わせてください。
手順 2 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 異常がまだ繰り返されますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

印刷に影の画像が表示される



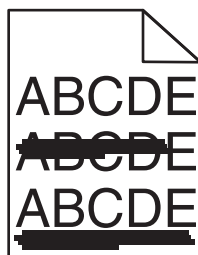
対応	はい	いいえ
手順 1 トレイにセットされた用紙が正しい用紙タイプと重量であるかどうかを確認します。 正しいタイプと重量の用紙がトレイにセットされていますか。	手順 2 に進みます。	正しいタイプと重量の用紙をトレイにセットします。
手順 2 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 プリンタ設定は、セットされた用紙のタイプと重さと一致していますか。	手順 3 に進みます。	用紙タイプと重量の設定を変更し、トレイにセットされた用紙に合わせます。
手順 3 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプと重量を指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 影の画像はまだ印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 影の画像はまだ印刷に表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

印刷が傾く



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

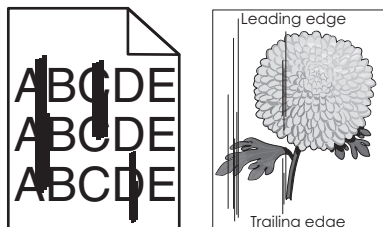
水平の線が印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログからトレイとフィーダーを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙タイプと重さの設定がトレイにセットされた用紙と合っていますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定の用紙タイプおよび重さがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。 • トレイ設定の用紙タイプと重さと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり: イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり: イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 5 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

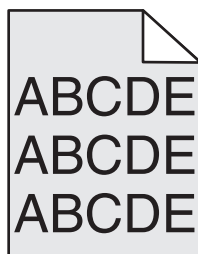
縦の線が印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、および重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さ、タイプ、および重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙の粗さ、タイプ、および重さの設定がトレイにセットされた用紙と合っていますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定で用紙の粗さ、タイプ、および重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 • トレイ設定の用紙サイズと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

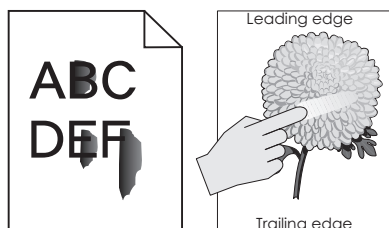
対応	はい	いいえ
手順 4 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	お客様サポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

トナーのはがれ



対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、用紙の種類と重さを確認します。 用紙の種類と重さは、トレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 2 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の種類と重さを指定します。
手順 2 表面に粗さがある用紙に印刷しているかどうかを確認します。 表面に粗さがある用紙に印刷していますか？	プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、用紙表面粗さを設定します。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

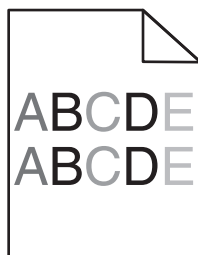
印刷にトナーのしみが表示される

対応	はい	いいえ
イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷にトナーのしみが表示されますか？	お客様サポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

OHP 用紙への印刷品質が悪い

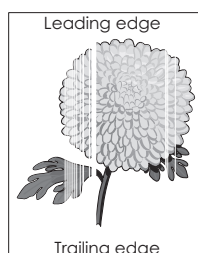
対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類を設定します。 トレイの用紙の種類が[OHP 用紙]に設定されていますか？	手順 2 に進みます。	用紙の種類を[OHP 用紙]に設定します。
手順 2 a 推奨される種類の OHP 用紙を使用しているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷品質に問題がありますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

印刷の濃さが均一ではない



対応	はい	いいえ
イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷の濃さが均一ではありませんか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

縦の線が印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a ソフトウェアプログラムで正しい塗りつぶしパターンを使用しているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]から、用紙タイプと用紙の重さを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 推奨された用紙を使用しているかどうかを確認します。 a 推奨された用紙を給紙源にセットします。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 4 a イメージングキットを取り外し、再挿入します。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットを 10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告！破損の恐れあり： イメージングキットの下に触れないでください。イメージングキットが損傷するおそれがあります。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングキットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

色品質の問題

カラー印刷についてのよくある質問

RGB カラーとは？

赤、緑、および青の光は、さまざまな割合で重ねると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、赤と緑を組み合わせると黄色を作ることができます。テレビやコンピュータのモニターの色はこのように作ります。RGB カラーは、ある色を作るのに必要な赤、緑、または青色の割合を示すことによって色を表現する方法です。

CMYK カラーとは？

シアン、マゼンタ、黄色、および黒のインクまたはトナーは、さまざまな割合で印刷すると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、シアンと黄色を組み合わせると緑色を作ることができます。印刷機、インクジェットプリンタ、およびカラーレーザー／LED プリンタの色はこのように作ります。CMYK カラーは、特定の色を再現するのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒の割合を示すことによって色を表現する方法です。

印刷される文書の色はどのように指定されるのですか？

一般的に、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK カラーの組み合わせを使用して文書の色を指定します。さらに、通常は文書中のオブジェクトの色をそれぞれ自分で修正することもできます。詳細については、オペレーティングシステムのヘルプ情報を参照してください。

プリンタは印刷する色をどのように認識するのですか？

印刷時に、それぞれのオブジェクトのタイプおよび色を説明する情報がプリンタに送信されます。この色情報は色変換表にかけられ、この希望の色を作るのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒のトナーの量が算出されます。オブジェクトタイプの情報に従い、オブジェクトのタイプごとに異なる色変換表を使用します。例えば、文字には 1 種類の色変換表を適用し、写真イメージには別の色変換表を適用することができます。

手動カラー補正とは？

手動カラー補正が有効である場合、ユーザーが選択した色変換表を使用し、オブジェクトを処理します。ただし、[カラー補正]を[手動]に設定する必要があります。このようにしない場合、ユーザー定義の色変換表が実装されません。手動カラー補正設定は、印刷中のオブジェクトのタイプ(テキスト、グラフィックス、または画像)と、ソフトウェアプログラムでオブジェクトの色を指定する方法(RGB または CMYK の組み合わせ)に固有です。

メモ:

- [手動カラー補正]は、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有用ではありません。ソフトウェアアプリケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムで色の調整を行う場合も効果はありません。
- [自動カラー補正]が選択されると、色変換表によって、ほとんどのドキュメントで使用される優先色が生成されます。

色変換表を手動で適用するには、次の手順を実行します。

- 1 プリントコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、[カラー補正]を選択し、[手動]を選択します。
- 2 プリントコントロールパネルの[印刷品質メニュー]で、[手動カラー]を選択し、影響するオブジェクトタイプの該当する色変換表を選択します。

オブジェクトタイプ	色変換表
RGB イメージ RGB テキスト RGB グラフィックス	• 鮮明—より明るい彩度の色を生成し、すべての受信するカラー形式に適用できます。 • sRGB 表示—コンピュータモニタに合った色を生成します。 メモ: 写真印刷の黒のトナーの使用が最適化されます。 • 表示—トゥルーブラック—コンピュータモニタに合った色を生成します。黒のトナーのみを使用し、すべてのレベルで中立的なグレーを作成します。 • sRGB 鮮明—sRGB 表示カラー補正の高い彩度の色を生成します。 メモ: ビジネスグラフィックスの印刷の場合に、黒トナーの使用が最適化されます。 • オフ—カラー補正されません。
CMYK イメージ CMYK テキスト CMYK グラフィックス	• US CMYK—SWOP (Specifications for Web Offset Publishing) 色出力の近似値に補正します。 • Euro CMYK—EuroScale 色出力の近似値に補正します。 • 鮮明 CMYK—[US CMYK] より彩度の高いカラー補正設定が適用されます。 • オフ—カラー補正されません。

特殊な色(企業のロゴなど)はどのように合わせますか？

[9 種類の色サンプル]セットは、プリントコントロールパネルの[印刷品質メニュー]から使用できます。これらは内蔵 WEB サーバーのカラーサンプルページにあります。カラーサンプルのいずれかを選択すると、数百のカラーボックスが複数ページに印刷されます。選択した表に応じて、CMYK または RGB の組み合わせが各ボックスに配置されています。ボックスに表示された CMYK または RGB の組み合わせを選択した色変換表に通すと各ボックスの実際の色が得られます。

カラーサンプルページを確認して、希望の色に最も近い色のボックスを特定できます。次に、ボックスに表示される色の組み合わせを使用して、ソフトウェアアプリケーションでオブジェクトの色を修正できます。詳細については、オペレーティングシステムのヘルプ情報を参照してください。

メモ: [手動カラー補正]は特殊なオブジェクトに対して色変換表を選択し利用する際に必要です。

特殊な色の色合わせにどの[カラーサンプル]ページを使用するかは、使用している[カラー補正]の設定、印刷するオブジェクトの種類、およびソフトウェアアプリケーションでのオブジェクトの色の指定方法によって異なります。[カラー補正]が[オフ]に設定されていると、その色は印刷ジョブのデータをベースにし、色変換は実行されません。

メモ: [カラーサンプル]ページは、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有用ではありません。また、ソフトウェアアプリケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムが、カラー管理を通してアプリケーションに指定された RGB または CMYK の組み合わせを調整する場合があります。その結果印刷された色が[カラーサンプル]ページと厳密には合わない場合があります。

カラー OHP フィルムの印刷が投影時に暗く見える

メモ: この問題は、反射オーバーヘッドプロジェクターに OHP フィルムを投影するときに発生します。投影されるカラー品質を最高にするため、透過型オーバーヘッドプロジェクターの使用をお勧めします。

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタコントロールパネルで、用紙タイプ設定が[OHP フィルム]に設定されていることを確認します。 用紙タイプ設定が正しいですか。	手順 2 に進みます。	用紙タイプを[OHP フィルム]に設定します。
手順 2 トナーの濃さを薄くし、印刷ジョブを再送信します。 カラー OHP フィルムの印刷が明るく見えますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 推奨のカラー OHP フィルムを使用していることを確認し、印刷ジョブを再送信します。 カラー OHP フィルムの印刷が明るく見えますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

印刷の色が原稿ファイルの色と一致しない

メモ: 自動カラー補正モードで使用する色変換表は、一般的に標準的なコンピュータモニターの色を模しています。しかし、プリンタとモニターの技術が異なるため、モニターの違いや照明条件からも影響を受ける可能性がある色がたくさんあります。

対応	はい	いいえ
手順 1 a [カラー補正]を[オフ]に設定します。 メモ: プリンタのカラー補正が無効な場合、その色は印刷ジョブのデータをベースにし、色変換は実行されません。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷の色はコンピュータ画面に表示されるファイルの色と一致しますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタコントロールパネルの[印刷品質]メニューで、次の手順を実行します。 a [カラー補正]を選択し、[手動]を選択します。 b [手動カラー]を選択し、影響するオブジェクトタイプの該当する色変換表を選択します。 c 印刷ジョブを再送信します。 印刷の色はコンピュータ画面に表示されるファイルの色と一致しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

印刷が薄く見える

対応	はい	いいえ
カラーバランスを調整します。 a プリンタコントロールパネルの[カラーバランス]メニューから、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの値を増減します。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷はまだ薄く見えますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

コピーの問題を解決する

- 293 ページの「コピー機が反応しない」
- 293 ページの「スキャナユニットが閉じない」
- 294 ページの「コピー品質が悪い」
- 295 ページの「文書または写真の一部しかコピーされない」

コピー機が反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 エラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 3 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 [Performing Self Test(自己テストを実行しています)]および[レディ]が表示されましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャナユニットが閉じない

対応	はい	いいえ
スキャナユニットとプリンタとの間に障害物がないか確認します。 a スキャナユニットを持ち上げます。 b スキャナユニットが開く原因となる障害物を取り除きます。 c スキャナユニットを下げます。 スキャナユニットが正しく閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 エラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 原稿の質をチェックしてください。 原稿の質は良好ですか。	手順 3 に進みます。	出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。
手順 3 暗いマークが印刷に表示される場合、糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。 スキャナ原稿台ガラスはきれいですか。	手順 4 に進みます。	201 ページの「原稿台ガラスを清掃する」 を参照してください。
手順 4 印刷ジョブを送信し、印刷品質の問題を確認します。 a [一般設定]メニューで、[エコモード]設定を調整します。 b [コピー]メニューで[濃さ]を調整してください。 c 印刷がかすれたままである場合は、トナーカートリッジを交換してください。 印刷品質は良好ですか。	手順 5 に進みます。	273 ページの「印刷品質の問題」 を参照してください。
手順 5 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 6 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 6 コピーの設定を確認します。 [コピー]画面で、[内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。 [内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適していますか。	手順 7 に進みます。	[内容タイプ]および[内容のソース]の設定を変更し、スキャンされている文書に合わせます。
手順 7 印刷のパターンを確認します。 a プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 [コピー] > [シャープネス] > 低い設定を選択 メモ: 拡大縮小が選択されていないことを確認します。 b コピージョブを再送信します。 まだパターンが印刷に表示されますか。	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 8 印刷で見つからない文字やかすれた文字があるかどうかを確認します。 a [コピー]画面で、次の設定を調整します。 • [シャープネス]—シャープネス設定を大きくします。 • [コントラスト]—コントラスト設定を大きくします。 b コピージョブを再送信します。 印刷に見つからない文字やかすれた文字がありますか。	手順 9 に進みます。	問題は解決しました。
手順 9 色が薄い出力や露出しすぎた出力があるかどうかを確認します。 a [コピー]画面で、次の設定を調整します。 • [背景削除]—現在の設定を小さくします。 • [濃さ]—現在の設定を大きくします。 b コピージョブを再送信します。 ページには薄い色や露出しすぎた色が印刷されていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

文書または写真の一部しかコピーされない

対応	はい	いいえ
手順 1 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 2 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 2 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙のサイズと合っているかどうかを確認します。 プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]から、[用紙サイズ]設定を確認します。 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙のサイズと合っていますか。	手順 3 に進みます。	用紙サイズ設定を変更し、トレイにセットされた用紙と合わせるか、用紙サイズ設定と合った用紙をトレイにセットします。
手順 3 a 用紙サイズを設定します。オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 コピーは正しく印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

Fax の問題を解決する

発信者 ID が表示されない

対応	はい	いいえ
カスタマの電話会社に連絡し、ご使用の電話回線が発信者 ID サービスに加入しているか確認してください。 メモ: - お住まいの地域が複数の発信者 ID パターンに対応している場合は、標準設定を変更する必要がある場合があります。FSK(パターン 1)および DTMF(パターン 2)の 2 種類を設定できます。 - FAX メニューでこれらの設定を利用できるかどうかは、お住まいの国または地域が複数の発信者 ID パターンに対応しているかどうかにより異なります。 - カスタマの電話会社に連絡し、どちらのパターンまたは切り替え設定を使用するか決定してください。 発信者 ID が表示されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 3 電源をチェックします。 プリンタが接続され、電源が入っているかどうか、準備完了がディスプレイに表示されているかどうかを確認します。 プリンタの電源が入っていて、準備完了がディスプレイに表示されていますか。	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れてから、 準備完了 がディスプレイに表示されるまで待機します。

対応	はい	いいえ
手順 4 プリンタ接続をチェックします。 以下の機器にケーブルが確実に接続されているか確認してください(該当する場合)。 • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 ケーブルが確実に接続されていますか。	手順 5 に進みます。	ケーブルを確実に接続します。
手順 5 a 電話の差し込み口をチェックします。 1 電話線を差し込み口に差し込んでください。 2 発信音を聞いてください。 3 発信音が聞こえない場合は、別の電話線を差し込み口に差し込んでください。 4 やはり発信音が聞こえない場合は、電話線を別の差し込み口に差し込んでください。 5 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されているかどうかを確認します。 FAX のモデムはアナログ装置です。一部の装置はプリンタに接続することができ、デジタル電話サービスを使用できます。 • ISDN 電話サービスをご使用の場合は、プリンタを ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポート(R インターフェイスポート)に接続してください。詳細について、また R インターフェイスポートの依頼については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL をご使用の場合は、DSL フィルタまたはアナログ対応のルーターに接続してください。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • PBX 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていますか。	手順 7 に進みます。	プリンタをアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続します。

対応	はい	いいえ
手順 7 発信音をチェックします。 発信音が聞こえましたか。	手順 8 に進みます。	• Fax 番号に発信し、正しく動作していることを確認します。 • 別の装置が電話回線を使用している場合は、使用が終わるのを待ってから FAX を送信してください。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。
手順 8 プリンタと電話回線間で、他の装置（留守番電話、モデム付きコンピュータ、または電話回線スプリッターなど）を一時的に切断し、Fax の送受信を試行します。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 9 に進みます。
手順 9 a 一時的に割込通話をオフにする電話会社に、割込通話を一時的にオフにするキーパッドシーケンスをお問い合わせください。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 10 に進みます。
手順 10 a 一時的にボイスメールサービスを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 メモ: ボイスメールとプリンタの両方を使用する場合は、プリンタ用にもう 1 本電話回線を追加するとよいでしょう。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 11 に進みます。
手順 11 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 トレイまたはフィーダーを確認します。 空の場合、トレイまたはフィーダーに用紙をセットしてください。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音待機回数の設定をチェックします。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 b [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] の順にクリックします。 c [呼び出し回数] 欄にプリンタが応答するまでの呼び出し音の回数を入力してください。 d [送信] をクリックします。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トナーカートリッジを交換してください。詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタが FAX モードであるかどうかを確認します。 ホーム画面で[FAX]にタッチし、プリンタを FAX モードにしてから、FAX を送信します。 メモ: マルチ送信アプリケーションは XPS 出力タイプに対応していません。XPS を使用するには、通常の FAX 方法を使用してください。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 原稿を正しくセットします。 原稿を、表を上にして短辺から先に ADF トレイにセットしてください。もしくは原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットしてください。 メモ: はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 ショートカット番号を正しく設定します。 - ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されているかどうかを確認してください。 - 電話番号に手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX および E メール機能がセットアップされていない

メモ:

- 問題に対処する前に、Fax ケーブルが接続されているかどうかを確認してください。
- FAX および E メールを設定するまで赤のインジケータライトが点滅します。

対応	はい	いいえ
a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] > [一般設定] > [初期設定を実行] > [はい] > [送信] b プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。 プリンタディスプレイに[言語の選択]画面が表示されます。 c 言語を選択し、  を押します。 d お住まいの国または地域を選択し、次に[次へ]にタッチします。 e 時間帯を選択し、次に[次へ]にタッチします。 f [FAX]および[E メール]を選択し、次に[次へ]にタッチします。 FAX および E メール機能がセットアップされていますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

受信した FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 FAX を送信してきた人に以下をご依頼ください。 a 原稿の質に問題がないかどうかをチェックします。 b 可能であれば、FAX のスキャン解像度を高くすること。 c FAX の再送信。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認します。 b [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] の順にクリックします。 c [速度優先] メニューで、以下のいずれかをクリックしてください。 2400 4800 9600 14400 33600 d [送信] をクリックして、Fax を再送信します。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トナーカートリッジを交換してください。 [カートリッジ残り僅か [88.xy]] が表示された場合、カートリッジを交換し、Fax を再送信してください。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャナの問題を解決する

- 302 ページの「スキャナが応答しない」
- 303 ページの「スキャンジョブが失敗しました」
- 303 ページの「スキャナユニットが閉じない」
- 303 ページの「スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする」
- 304 ページの「スキャンされたイメージの質が悪い」

- 305 ページの「文書または写真の一部しかスキャンされない」
- 305 ページの「コンピュータからスキャンできない」

スキャナが応答しない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源が入っていますか。	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタのケーブルがしっかりプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられているかどうかを確認します。 プリンタのケーブルがしっかりプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタのケーブルをしっかりとプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けます。
手順 3 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかどうかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 4 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 4 電気コンセントがスイッチやブレーカーで遮断されているかどうかを確認します。 電気コンセントがスイッチやブレーカーで遮断されていますか。	スイッチを入れるかブレーカーをリセットします。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されているかどうかを確認します。 プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されていますか。	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。	手順 6 に進みます。
手順 6 コンセントに接続した他の電気機器を確認します。 他の電源機器は動作していますか。	他の電源機器をコンセントから取り外し、プリンタの電源を入れます。プリンタが動作しない場合、他の電源機器を再度接続し、手順 6 に進みます。	手順 7 に進みます。
手順 7 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 プリンタとスキャナは動作していますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 ケーブル接続をチェックします。 イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されているか確認してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか。	手順 2 に進みます。	ケーブルを正しく接続します。
手順 2 ファイル名が既に使用中かどうかを確認します。 ファイル名が既に使用中ですか。	ファイル名を変更します。	手順 3 に進みます。
手順 3 スキャンする文書または写真が別のアプリケーションで開いていたり、別のユーザーが使用しているかどうかを確認します。 スキャンしたいファイルを別のアプリケーションまたはユーザーが開いていますか。	スキャンするファイルを閉じます。	手順 4 に進みます。
手順 4 送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]が選択されているかどうかを確認してください。 送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]が選択されていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]を選択します。

スキャナユニットが閉じない

対応	はい	いいえ
スキャナユニットに障害物があるかどうかを確認します。 a スキャナユニットを持ち上げます。 b スキャナユニットが開く原因となる障害物を取り除きます。 c スキャナユニットを下げます。 スキャナユニットが正しく閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
手順 1 他のアプリケーションがスキャンに干渉しているかどうかを確認します。 使用していないアプリケーションをすべて終了させてください。 まだスキャンに時間がかかり過ぎるか、コンピュータがフリーズしますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 スキャンの解像度を下げてください。 まだスキャンに時間がかかり過ぎるか、コンピュータがフリーズしますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャンされたイメージの質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかをチェックします。 プリンタディスプレイにエラーメッセージが表示されますか。	エラーメッセージを消してください。	手順 2 に進みます。
手順 2 原稿の質をチェックしてください。 原稿の質は良好ですか。	手順 3 に進みます。	出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。
手順 3 糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。 スキャナ原稿台ガラスはきれいですか。	手順 4 に進みます。	201 ページの「原稿台ガラスを清掃する」 を参照してください。
手順 4 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 5 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 5 印刷ジョブを送信し、印刷品質の問題を確認します。 ・ [一般設定]メニューで、[エコモード]設定を調整します。 ・ [コピー]メニューで[濃さ]を調整してください。 ・ 印刷がかすれたままである場合は、トナーカートリッジを交換してください。 印刷品質は良好ですか。	手順 6 に進みます。	273 ページの「印刷品質の問題」 を参照してください。
手順 6 スキャンの設定を確認します。 [スキャン]画面で、[内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。 [内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適していますか。	手順 7 に進みます。	[内容タイプ]および[内容のソース]の設定を変更し、スキャンされている文書に合わせます。
手順 7 出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。 解像度を上げることで、出力品質が上がりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

文書または写真の一部しかスキャンされない

対応	はい	いいえ
文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
手順 1 ジョブをスキャンする前に、プリンタの電源が入り、プリンタディスプレイに[準備完了]が表示されていることを確認します。 ジョブをスキャンする前に、[準備完了]が表示されますか。	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 プリンタディスプレイにエラーメッセージが表示されますか。	エラーメッセージを消してください。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタとプリントサーバー間のケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認してください。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 プリンタとプリントサーバー間はケーブルで確実に接続されていますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	ケーブルを確実に接続します。

ホーム画面のアプリケーションの問題を解決する

- 306 ページの「アプリケーションエラーが発生した場合」

アプリケーションエラーが発生した場合

対応	はい	いいえ
手順 1 システムログの関連する詳細情報をチェックします。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 プリンタの IP アドレスまたはホスト名が分からない場合: - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認します。 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 b [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [システム] タブ > [ログ] の順にクリックします。 c [フィルタ] メニューでアプリケーションの状態を選択します。 d [アプリケーション] メニューでアプリケーションを選択し、[送信] をクリックします。 エラーメッセージがログに表示されますか。	手順 2 に進みます。	カスタマサポート までお問い合わせください。
手順 2 エラーを解決します。 アプリケーションは動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

EWS(内蔵 Web サーバー) が開かない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を入れます。 b Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいことを確認します。 a プリンタの IP アドレスを入力します。 [ネットワーク/ポート] メニューの [TCP/IP] セクションから。 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷するか、[TCP/IP] セクションを確認する。 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 123.123.123.123 つの数字の並びで表されます。 b Web ブラウザを開き、IP アドレスを入力します。 メモ: EWS(内蔵 Web サーバー) にアクセスするには、ネットワーク設定に応じて、プリンタ IP アドレスの前に <code>http://</code> ではなく <code>https://</code> と入力する必要があります。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 ネットワークが動作していることを確認します。 a ネットワーク設定ページを印刷します。 b ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタの状態が[接続中]になっていることを確認します。 メモ: 状態が[未接続]の場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせしてから、別のネットワーク設定ページを印刷します。 c Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 d Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 ケーブルがプリンタとプリントサーバーにしっかりと接続されていることを確認します。 a ケーブルを正しく接続します。詳細については、プリンタに同梱のセットアップ説明書類を参照してください。 b Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 一時的に Web プロキシサーバーを無効にします。 プロキシサーバーによって、EWS(内蔵 Web サーバー) を含む特定の Web サイトへのアクセスがブロックされたり制限される場合があります。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	システムサポート担当者にお問い合わせください。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに問い合わせるときには、発生している問題、プリンタディスプレイのメッセージ、解決策を見つけるために実施したトラブルシューティング手順を説明してください。

プリンタモデルタイプとシリアル番号が必要です。詳細については、プリンタの背面にあるラベルを確認してください。シリアル番号は、メニュー設定ページにも表示されます。

Lexmark はさまざまな方法で、お客様の印刷の問題を解決できるように支援いたします。Lexmark Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスし、次のいずれかを選択してください。

技術ライブラリ (Tech Library)	マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照し、一般的な問題を解決できます。
E メール	Lexmark チームに E メールを送信し、問題を説明できます。サービス担当者が対応し、問題を解決するための情報を提供します。

ライブチャット (Live chat)	サービス担当者とは直接チャットができます。担当者がプリンタの問題の解決を行い、Assisted Service を通じてサポートを提供します。Assisted Service では、担当者がインターネット経由でモートでお客様のコンピュータに接続し、問題の解決、更新のインストール、または他のタスクの完了を実施し、お客様の Lexmark 製品が正しく動作するように支援できます。
--------------------------------	---

電話によるサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> をご覧ください。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark CX410e ならびに CX410de

機種番号:

7527

機種:

415, 436

版通知

2014 年 3 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2014 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

ライセンスに関する通知

この製品に関するすべてのライセンス通知は、インストールソフトウェア CD のルートディレクトリから表示することができます。

商標

Lexmark、Lexmark とダイヤモンドのデザイン、および MarkVision は、米国およびその他の国において登録された Lexmark International, Inc. の商標です。

Mac および Mac ロゴは、米国およびその他の国において登録された Apple Inc. の商標です。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

次の用語は、各企業の商標または登録商標です:

Albertus	The Monotype Corporation plc
Antique Olive	Monsieur Marcel OLIVE
Apple-Chancery	Apple Computer, Inc.
Arial	The Monotype Corporation plc
CG Times	The Monotype Corporation plc のライセンスによる Times New Roman に基づき、Agfa Corporation の製品です。
Chicago	Apple Computer, Inc.
Clarendon	Linotype-Hell AG およびその子会社
Eurostile	Nebiolo
Geneva	Apple Computer, Inc.
GillSans	The Monotype Corporation plc
Helvetica	Linotype-Hell AG およびその子会社
Hoefler	Jonathan Hoefler Type Foundry
ITC Avant Garde Gothic	International Typeface Corporation
ITC Bookman	International Typeface Corporation
ITC Mona Lisa	International Typeface Corporation
ITC Zapf Chancery	International Typeface Corporation
Joanna	The Monotype Corporation plc
Marigold	Arthur Baker
Monaco	Apple Computer, Inc.
New York	Apple Computer, Inc.
Oxford	Arthur Baker
Palatino	Linotype-Hell AG およびその子会社
Stempel Garamond	Linotype-Hell AG およびその子会社
Taffy	Agfa Corporation
Times New Roman	The Monotype Corporation plc
Univers	Linotype-Hell AG およびその子会社

その他のすべての商標は各所有者に帰属します。

AirPrint および AirPrint のロゴは Apple, Inc. の商標です。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	51
スキャン中	50
コピー中	50
レディ状態	16

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

廃電気電子機器(WEEE)指令



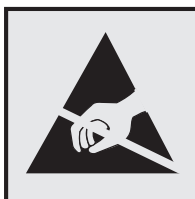
WEEE のロゴは、ヨーロッパ連合諸国内での電気製品に関する特定のリサイクルプログラムおよび手順を示します。弊社は、製品のリサイクルを奨励しています。

リサイクルに関するお問い合わせの場合は、www.lexmark.co.jp から Lexmark ホームページにアクセスし、お近くの販売店の連絡先をお調べください。

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気の発生について



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、プリンタの金属フレームに触れてください。

Energy Star(国際エネルギースター)プログラム

起動画面に「ENERGY STAR」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA(Environmental Protection Agency)ENERGY STAR 要件に準拠するよう構成されていることが、Lexmark によって認定されています。



温度に関する情報

動作環境温度	15.6 ~ 32.2°C (60 to 90°F)
輸送時の温度	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)
保管時の温度と相対湿度	2 ~ 35°C (34 ~ 95°F) 8 ~ 80% RH

レーザーに関する通知

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR、Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。本機には、クラス IIIb(3b)レーザーが内蔵されています。これは、655 ~ 675 ナノメートルの波長で動作する定格 7 ミリワットのガリウムヒ素レーザーです。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。

レーザー注意ラベル

本機には、図のようなレーザーに関する注意ラベルが貼られていることがあります。

DANGER - Invisible laser radiation when cartridges are removed and interlock defeated. Avoid exposure to laser beam.
 PERIGO - Radiação a laser invisível será liberada se os cartuchos forem removidos e o lacre rompido. Evite a exposição aos feixes de laser.
 Opasnost - Nevidljivo lasersko zračenje kada su kasete uklonjene i poništena sigurnosna veza. Izbjegavati izlaganje zracima.
 NEBEZPEČÍ - Když jsou vyjmuty kazety a je odblokována pojistka, ze zařízení je vysíláno neviditelné laserové záření. Nevystavujte se působení laserového paprsku.
 FARE - Usynlig laserstråling, når patroner fjernes, og spærreanordningen er slået fra. Undgå at blive udsat for laserstrålen.
 GEVAAR - Onzichtbare laserstraling wanneer cartridges worden verwijderd en een vergrendeling wordt genegeerd. Voorkom blootstelling aan de laser.
 DANGER - Rayonnements laser invisibles lors du retrait des cartouches et du déverrouillage des loquets. Eviter toute exposition au rayon laser.
 VAARA - Näkymätöntä lasersäteilyä on varottava, kun värikasetit on poistettu ja lukitus on auki. Vältä lasersäteelle altistumista.
 GEFAHR - Unsichtbare Laserstrahlung beim Herausnehmen von Druckkassetten und offener Sicherheitssperre. Laserstrahl meiden.
 ΚΙΝΔΥΝΟΣ - Έκλυση αόρατης ακτινοβολίας laser κατά την αφαίρεση των κασετών και την απασφάλιση της μανδάλωσης. Αποφεύγετε την έκθεση στην ακτινοβολία laser.
 VESZÉLY - Nem látható lézersugárzás fordulhat elő a patronok eltávolításakor és a zárószervezet felbontásakor. Kerülje a lézersugárnak való kitettséget.
 PERICOLO - Emissione di radiazioni laser invisibili durante la rimozione delle cartucce e del blocco. Evitare l'esposizione al raggio laser.
 FARE - Usynlig laserstråling når kassetene tas ut og sperren er satt ut av spill. Unngå eksponering for laserstrålen.
 NIEBEZPIECZENSTWO - niewidzialne promieniowanie laserowe podczas usuwania kaset i blokady. Należy unikać naświetlenia promieniem lasera.
 ОПАСНО! Невидимое лазерное излучение при извлеченных картриджах и снятии блокировки. Избегайте воздействия лазерных лучей.
 Pozor - Nebezpečnost neviditeľného laserového žiarenia pri odobratých kazetách a odblokovanej poistke. Nevystavujte sa lúčom.
 PELIGRO: Se producen radiaciones láser invisibles al extraer los cartuchos con el interbloqueo desactivado. Evite la exposición al haz de láser.
 FARA - Osynlig laserstrålning när patroner tas ur och spärrmekanismen är upphävd. Undvik exponering för laserstrålen.
 危険 - 当移除碳粉盒及互锁失效时会产生看不见的激光辐射, 请避免暴露在激光光束下。
 危険 - 移除碳粉匣与安全連續開關失效時會產生看不見的雷射輻射。請避免暴露在雷射光束下。
 危険 - カートリッジが取り外され、内部ロックが無効になると、見えないレーザー光が放射されます。このレーザー光に当たらないようにしてください。

電力消費量

製品の消費電力

次の表は、本製品の消費電力を記したものです。

メモ: 一部のモードが本製品に適用されない場合があります。

モード	説明	消費電力 (W)
印刷	製品が電子入力からハードコピーの出力を生成している状態	600 (片面); 380 (両面)
コピー	製品がハードコピーの原稿からハードコピーの出力を生成している状態	640
スキャン	製品がハードコピーの文書をスキャンしている状態	55
準備完了	製品が印刷ジョブを待機している状態	35
スリープ モード	製品が高レベルの省エネモードにある状態	6
ハイバネート	製品が低レベルの省エネモードにある状態	0.5
オフ時	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチがオフになっている状態	0

上記の消費電力は、時間平均で測定したものです。瞬間的な消費電力は、時間平均の値を大幅に上回る場合があります。

これらの数値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって、電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分):	20
-----------------------------------	----

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を1～120分の間に変更できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

ハイバネートモード

この製品には、ハイバネートモードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。ハイバネートモードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる上体です。

次のすべての方法で、ハイバネートモードに入ることができます。

- ハイバネートタイムアウトを使用する。
- 電力モードの定期実行を使用する
- スリープ/ハイバネートボタンを使用する

すべての国または地域における本機の工場出荷時のデフォルト ハイバネート タイムアウト	3 日間
--	------

ジョブが印刷された後、ハイバネートモードに入る前にプリンタが待機する時間は、1時間から1ヶ月の範囲で変更できます。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

合計の消費電力量

合計の消費電力量を計算することも、役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。合計の消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したものとなります。

電磁適合性の規制に関する通知

このセクションには、電磁適合性の規制に関する情報が含まれています。

日本の VCCI 規定

製品にこのマークが表示されている場合、次の要件を満たしています。



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、ファクシミリなどの通信端末機器を含む製品の規制に関する情報を提供しています。

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、証明書番号 A11-0160001 によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M03-002
	A11-0160001JP

ワイヤレス製品の規制に関する通知

このセクションでは、(たとえばワイヤレスネットワークカードまたは非接触カードリーダーなどの)トランスミッターを含むワイヤレス製品の規制に関する情報を提供しています。

モジュラーコンポーネントに関する通知

この製品には、以下のモジュラーコンポーネントが含まれている場合があります。

Lexmark Regulatory Type/Model LEX-M01-005, FCC ID: IYLLEXM01005; IC:2376A-M01005

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

特許の承認

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用の楕円曲線暗号 (ECC) スイートに関する IETF (インターネット・エンジニアリング・タスク・フォース) による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている SHA-256/382 および AES ガロア・カウンタ・モード (GCM) による TLS 用の楕円曲線暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用のスイート B プロファイルに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用のカメラ暗号スイートの追加に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスにおける一定の特許の使用には、製品またはサービスに実装されている TLS 用の AES-CCM ECC 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている楕円曲線デジタル署名アルゴリズム (ECDSA) を使用した IKE および IKEv2 認証に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている IPSec 用のスイート B 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているインターネットキー交換バージョン 1 (IKEv1) 用のアルゴリズムに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

索引

数値

- 250 枚トレイ
 - 用紙をセット 41
- 550 枚トレイ
 - 設置 32
 - 用紙をセット 41
- 650 枚デュオトレイ
 - 設置 32
 - 用紙をセット 41, 45

記号

- [Color] カートリッジ残り僅か [88.xy] 247
- [Color] カートリッジほぼ残り僅か [88.xy] 247
- [Color] カートリッジが非常に低下しています、推定残りページ [x] [88.xy] 247
- [Type] イメージングキットが低下しています [84.xy] 259
- [Type] イメージングキットがほぼ低下しています [84.xy] 259
- [Type] イメージングキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [84.xy] 260
- [x] ページ紙づまり、正面ドアを開いてください。[20y.xx] 238
- [x] ページ紙づまり、正面ドアを開きフューザーから用紙を取り除いてください。[202.xx] 235
- [x] ページ紙づまり、手差しフィーダーから用紙を取り除いてください。[251.xx] 242
- [x] ページ紙づまり、多目的フィーダーから用紙を取り除いてください。[250.xx] 242
- [x] ページ紙づまり、標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。[203.xx] 232
- [x] ページ紙詰まり、自動フィーダー上部カバーを開いてください [28y.xx] 244
- [x] ページ紙づまり、正面ドアを開き両面印刷エリアから用紙を取り除いてください。[23y.xx] 239
- [x] ページ紙づまり、トレイ[x] を開いてください。[24y.xx] 240

A

- 内蔵 Web サーバーにアクセスする 18
- NIC メニューを有効にする 131
- アダプタプラグ 99
- ハードウェアオプションを追加する
 - プリントドライバ 35
- ADF
 - 使用してコピー 69
- ADF の傾きを調整
 - コピーオプション 81
 - E メールオプション 88
 - FAX オプション 111
 - スキャンオプション 118
- 明るさの調整
 - 内蔵 Web サーバー 194
 - プリンタコントロールパネル 194
- 色の調整 246
- コピー品質の調整 74
- ディスプレイの明るさの調整 194
- スリープモードを調整する 192
- トナーの濃さを調整する 62
- 管理者設定
 - 内蔵 Web サーバー 225
- 詳細両面印刷
 - コピーオプション 79
- 詳細イメージング
 - コピーオプション 80
 - E メールオプション 88
 - FAX オプション 111
 - スキャン画面 118
- 留守番電話
 - セットアップ 91
- AppleTalk メニュー 136
- アプリケーション
 - ホーム画面 20
 - 理解 19
- ケーブルを接続する 34
- 使用可能な内蔵オプション 25
- 紙づまりを防止する 57
- 紙詰まりを防止する 229

B

- 白黒印刷 61
- 迷惑 FAX のブロック 108
- ボタン、タッチスクリーン
 - 使用 16

C

- ケーブル
 - イーサネット 34
 - USB 34
- [キャンセル]ボタン
 - プリンタコントロールパネル 14
- コピージョブをキャンセルする 78
- 印刷ジョブをキャンセルする
 - コンピュータから 68
 - プリンタコントロールパネルから 68
- E メールをキャンセルする 86
- 内蔵 Web サーバーを開けない 306
- カードコピー
 - セットアップ 21
- 厚紙
 - 用紙をセット 46
 - ヒント 54
- [給紙源] を [カスタム文字列] に変更 246
- [給紙源] を [カスタム紙種名] に変更 246
- Change [paper source] to [paper type] [paper size]. ([給紙源] を [用紙タイプ] [用紙サイズ] に変更してください。) 246
- 応答しないプリンタを確認する 261
- 部品と消耗品の状況を確認する 202
- 部品と消耗品の状況を確認する 202
- 仮想ディスプレイを確認する
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 225
- 清掃
 - プリンタの外観 200
 - プリンタの内部 200
 - 原稿台ガラス 201
- プリンタの清掃 200
- [すべてクリア/リセット]ボタン
 - プリンタコントロールパネル 14
- ドアを閉じる 246
- ジョブを再開する場合は原稿台のカバーを閉じ、原稿をセットしてください[2yy.xx] 247

- 丁合印刷
 - コピーオプション 79
 - 丁合印刷する 75
 - 色品質の問題に対処する
 - 印刷色とコンピュータ画面の色が一致しない 292
 - カラー OHP フィルムの印刷が投影時に暗く見える 292
 - 色品質、問題に対処する
 - 印刷が薄く見える 293
 - 複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39] 247
 - コンフィデンシャルデータ
 - セキュリティ情報 199
 - コンフィデンシャルジョブ
 - 印刷設定を修正する 67, 227
 - コンフィデンシャル印刷ジョブ 65
 - Macintosh コンピュータから印刷 66
 - Windows から印刷 66
 - コンフィデンシャル印刷メニュー 139
 - 構成変更、一部の保持されたジョブが復元されませんでした [57] 248
 - 構成情報
 - ワイヤレスネットワーク 36
 - 構成
 - プリンタ 11
 - 設定
 - 複数のプリンタ 227
 - 消耗品通知、イメージングキット 226
 - 消耗品通知、メンテナンスキット 226
 - 消耗品通知、トナーカートリッジ 226
 - 消耗品通知、廃トナーボトル 226
 - 内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する 226
 - 着信識別サービスへの接続 102
 - ワイヤレスネットワークに接続する
 - 暗証番号方式を使用する 38
 - プッシュボタン設定方式を使用する 38
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 39
 - ワイヤレスセットアップウィザードを使用する 37
 - 節約設定
 - 明るさ、調整 194
 - エコモード 191
 - ハイパネートタイムアウト 193
 - 静音モード 191
 - 電力モードの定期実行 194
 - スリープモード 192
 - カスタマサポートに問い合わせる 307
 - 内容
 - E メール設定 87
 - 内容のソース
 - E メール設定 87
 - FAX オプション 110
 - 内容の種類
 - E メール設定 87
 - FAX オプション 110
 - コントロールパネル、プリンタインジケータランプ 16
 - スリープボタンランプ 16
 - コントローラボード
 - アクセス 26
 - 部数
 - コピーオプション 79
 - コピージョブ、キャンセル
 - ADF を使用 77
 - 原稿台ガラスを使用 77
 - コピーオプション
 - ADF の傾きを調整 81
 - 詳細両面印刷 79
 - 詳細イメージング 80
 - 丁合印刷 79
 - 部数 79
 - 表紙ページ設定 80
 - 冊子を作成 81
 - カスタムジョブ 81
 - 濃さ 78
 - ヘッダー/フッター 80
 - オーバーレイ 80
 - 用紙節約 80
 - ショートカットとして保存 79
 - セパレータ紙 80
 - 印刷面(両面印刷) 78
- コピー品質
 - 調整 74
 - コピー画面
 - 内容のソース 79
 - 内容の種類 79
 - オプション 78, 79, 80
 - コピー設定メニュー 149
 - コピーの問題に対処する
 - コピー機が応答しない 293
 - 文書または写真の一部しかコピーされない 295
 - コピー品質が悪い 294
 - スキャンされたイメージの質が悪い 304
 - スキャナユニットが閉じない 293, 303
 - コピー
 - オーバーレイメッセージを追加 77
 - 品質の調整 74
 - コピージョブをキャンセルする 77, 78
 - 丁合印刷する 75
 - プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 71
 - サイズの異なる用紙 72
 - 拡大 74
 - ヘッダーまたはフッターを挿入する 76
 - 1 枚の用紙に複数ページをコピーする 76
 - 用紙の両面(両面) 73
 - レターヘッド紙 71
 - OHP フィルム 70
 - 写真 70
 - コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する 75
 - クイックコピー 69
 - 縮小 74
 - トレイを選択する 72
 - 異なるサイズ 72
 - ADF を使用 69
 - 原稿台ガラスを使用 70
 - サイズの異なる用紙をコピーする 72
 - 1 枚の用紙に複数ページをコピーする 76
 - 用紙の両面にコピーする(両面コピー) 73
 - レターヘッド紙にコピーする 71
 - OHP フィルムにコピーする 70
 - 表紙ページ設定
 - コピーオプション 80
 - 冊子を作成
 - コピーオプション 81
 - Fax 宛先ショートカットを作成
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 106
 - FTP ショートカットを作成する
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 112

カスタム名を作成
用紙タイプ 49
カスタムジョブ
コピーオプション 81
E メールオプション 88
FAX オプション 111
スキャンオプション 118
カスタム名
設定 50
カスタム名メニュー 129
カスタム用紙タイプ名
割り当て 49
カスタムスキャンサイズメニュー
129
カスタム紙種[x]
用紙タイプを変更 50
カスタム名を作成 49
カスタム紙種メニュー 128
カスタマサポート
問い合わせ 307

D
濃さ
コピーオプション 78
E メールオプション 87
FAX オプション 109
スキャンオプション 116
日時、FAX
設定 103
夏時間、設定 103
標準設定給紙源メニュー 121
不良フラッシュが検出されました
[51] 248
遅延送信
FAX オプション 111
開発者キット
交換 208, 218
デバイスおよびネットワーク設定情報
消去 197
サイズの異なる用紙、コピー 72
デジタル加入者回線(DSL)
FAX の初期設定 95
デジタル電話サービス
FAX の初期設定 97
ディレクトリリスト
印刷 67
Disk full 62(ディスクが満杯です
62) 248
Disk must be formatted for use in
this device(このデバイスで使用する

にはディスクをフォーマットする必
要があります) 248
ディスクのワイプ 198
表示
プリンタコントロールパネル 14
問題解決策の表示
プリンタディスプレイがブラン
ク 262
表示、プリンタコントロールパネル
明るさの調整 194
プリンタハードディスクの廃棄 196
着信識別サービス、FAX
接続 102
ドキュメント、印刷
Macintosh から 61
Windows から 61
DSL フィルタ 95
両面コピー 73

E

エコモード設定 191
フチ消去
E メールオプション 88
FAX オプション 111
スキャンオプション 118
内蔵ソリューション情報
消去 197
内蔵 Web サーバー 226
アクセス 18
管理者設定 225
部品の状況を確認する 202
消耗品の状況を確認する 202
設定を他のプリンタにコピーす
る 227
Fax 宛先ショートカットを作
成 106
FTP ショートカットを作成す
る 112
E メールショートカットを作成す
る 82
FAX の初期設定 90
コンフィデンシャル印刷設定を修
正する 67, 227
ネットワーク設定 225
アクセスの問題 306
コンピュータにスキャン 114
E メールアラートをセットアップす
る 225
内蔵 Web サーバー — セキュリテ
ィ: 管理者ガイド
入手先 225

内蔵 Web サーバー — セキュリテ
ィ: 管理者ガイド
入手先 199
二酸化炭素排出量に関する通
知 311, 315, 316
プリンタハードディスクの暗号化を
設定する 198
コピーの拡大 74
封筒
用紙をセット 44, 46
使用する際のヒント 53
環境設定
ディスプレイの明るさ、調整 194
エコモード 191
ハイバネートタイムアウト 193
静音モード 191
電力モードの定期実行 194
スリープモード 192
一時データファイルを消去メニュ
ー 140
ハードディスクメモリを消去す
る 198
不揮発性メモリを消去する 197
揮発性メモリを消去する 197
USB ドライブ読み取りエラー USB
を取り外してください 248
USB ハブ読み取りエラーハブを取
り外してください 248
イーサネットネットワーク
イーサネット印刷の設定を準備す
る 36
イーサネットポート 34
イーサネットネットワーク設定
準備 36
構成をエクスポートする
内蔵 Web サーバーを使用す
る 24
EXT ポート 34
プリンタの外観
清掃 200
E メール
キャンセル 86
E メールアラート
消耗品低下レベル 225
紙づまり 225
セットアップ 225
E メール機能
セットアップ 82
E メールオプション
ADF の傾きを調整 88
詳細イメージング 88
カスタムジョブ 88

- 濃さ 87
- フチ消去 88
- メッセージ 86
- 原稿サイズ 87
- ページ設定 88
- 受信者 86
- 解像度 87
- ショートカットとして保存 86
- 送信形式 87
- 件名 86
- 送信ログ 88
- E メール画面
 - オプション 86, 87, 88
- E メール設定メニュー 162
- E メールショートカット、作成
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 82
- E メール、送信
 - ショートカット番号を使用 84
 - アドレス帳を使用する 84
- E メール
 - E メール本文を追加 85
 - 件名を追加 85
 - 出力ファイルタイプ変更 85
 - 内蔵 Web サーバーを使用してショートカットを作成 82
 - プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 83
 - E メール機能をセットアップする 82
 - ショートカット番号を使用 84
 - アドレス帳を使用する 84
 - プリンタコントロールパネルを使用する 83
- F**
 - 出荷時標準設定
 - 復元 228
 - カラー印刷についてのよくある質問 290
 - Fax
 - 送信 104
 - プリンタコントロールパネルを使用して送信する 103
 - FAX および E メール機能
 - セットアップ 300
 - FAX および E メール機能がセットアップされていない 300
 - FAX ログ
 - 表示 107
 - FAX モード(アナログ FAX 設定)メニュー 153
 - FAX モード(FAX サーバー設定)メニュー 161
 - FAX 名、設定 102
 - FAX 番号、設定 102
 - FAX オプション
 - ADF の傾きを調整 111
 - 詳細イメージング 111
 - 内容のソース 110
 - 内容の種類 110
 - カスタムジョブ 111
 - 濃さ 109
 - 遅延送信 111
 - フチ消去 111
 - ページ設定 110
 - 解像度 110
 - スキャンプレビュー 111
 - 送信ログ 111
 - FAX 画面
 - オプション 110
 - FAX の初期設定
 - 国または地域固有 99
 - デジタル電話サービス 97
 - DSL 接続 95
 - 標準電話回線接続 91
 - VoIP 96
 - FAX の問題に対処する
 - 発信者 ID が表示されない 296
 - FAX を受信できるが送信できない 299
 - FAX を送信できるが受信できない 299
 - FAX を送受信できない 296
 - 受信した FAX の印刷品質が悪い 301
 - Fax
 - 迷惑 FAX のブロック 108
 - FAX ジョブをキャンセルする 108
 - 解像度を変更する 107
 - 夏時間を使用するようにプリンタを設定する 103
 - 内蔵 Web サーバーを使用してショートカットを作成 106
 - プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 106
 - 着信識別サービス 102
 - FAX の初期設定 90
 - FAX の転送 109
 - FAX の保留 108
 - FAX の濃さ調整 107
 - Fax を予定時刻に送信する 105
 - 日付および時刻の設定 103
 - FAX 番号の設定 102
 - 送信 FAX 名の設定 102
 - FAX ログの閲覧 107
 - FCC 通知 316
 - ファイル名
 - スキャンオプション 116
 - プリンタに関する詳細情報を見つける 9
 - プリンタの IP アドレスを確認する 18
 - 仕上げメニュー 177
 - ファームウェアカード 25
 - フラッシュドライブ
 - 印刷 63
 - フラッシュドライブ
 - サポートされているファイルタイプ 64
 - フォントサンプルリスト
 - 印刷 67
 - フッター
 - 挿入 76
 - 用紙とお気に入り
 - セットアップ 20
 - FAX の転送 109
 - FTP アドレス
 - プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 113
 - FTP オプション 116
 - FTP アドレス、スキャン
 - ショートカット番号を使用 113
 - プリンタコントロールパネルを使用する 113
 - FTP オプション
 - FTP アドレス 116
 - FTP 画面
 - オプション 116
 - FTP 設定メニュー 167
- G**
 - グリーン設定
 - エコモード 191
 - ハイパネートタイムアウト 193
 - 静音モード 191
 - 電力モードの定期実行 194

H

ハードウェアオプション、追加
プリントドライバ 35
ヘッダー
挿入 76
ヘッダー/フッター
コピーオプション 80
保持されたジョブ 65
Macintosh コンピュータから印刷 66
Windows から印刷 66
ヘルプメニュー 188
ハイバネートタイムアウト
設定 193
ホーム画面のアイコンの非表示 19
FAX の保留 108
[ホーム (Home)] ボタン
プリンタコントロールパネル 14
ホーム画面
ボタン、理解 14
カスタマイズ 19
アイコンの非表示 19
アイコンの表示 19
ホーム画面のアプリケーション
設定 20
情報を見つける 20
ホーム画面のボタン
理解 14
HTML メニュー 187

I

ホーム画面のアイコン
非表示 19
表示 19
画像メニュー 188
イメージングキット
交換 208
イメージングキット
注文 204
構成をインポートする
内蔵 Web サーバーを使用する 24
Incompatible tray [x] [59] (互換性のないトレイ [x] [59]) 249
正しくない用紙サイズ、[給紙源] を開いてください [34] 249
インジケータランプ
プリンタコントロールパネル 14
個別の設定情報
消去 197

FAX の初期設定 90

内蔵 Web サーバーを使用する 90
トレイ [x] を挿入 249
ヘッダーまたはフッターを挿入する 76
オプションカードを取り付ける 30
オプションを取り付ける
取り付け順序 31
プリンタを取り付ける 35
メモリ不足のためフラッシュメモリでフラグ処理ができません [37] 249
メモリ不足のためジョブを照合できません [37] 249
メモリ不足のためリソース保存機能をサポートできません [35] 250
メモリ不足、一部の保持されたジョブが削除されました [37] 249
メモリ不足、一部の保持されたジョブが復元されません [37] 250
プリンタの内部
清掃 200
内蔵オプション 25
コンピュータの IP アドレス
確認 18
IP アドレス、プリンタ
確認 18
IPv6 メニュー 134

J

紙づまり
防止 229
ドアとトレイを見つける 230
場所 230
メッセージ 230
紙詰まり、取り除く
自動原稿フィーダーの上部カバー 244
フューザーエリア 235
手差しフィーダー 242
多目的フィーダー 242
標準排紙トレイ 232
トレイ 1 240
トレイ 2 240
ジョブアカウントメニュー 181

K

キーパッド
プリンタコントロールパネル 14

L

ラベル、用紙
ヒント 53
レターヘッド
コピー 71
用紙をセット、多目的フィーダー 51
用紙をセットする、トレイ 51
ラインフィルタ 95
LINE ポート 34
トレイのリンク 48, 49
[給紙源] に [カスタム文字列] をセット 250
[給紙源] に [カスタム紙種名] をセット 250
[給紙源] を [用紙サイズ] にセット 250
[給紙源] を [用紙タイプ] [用紙サイズ] にセット 251
手差しフィーダーに [カスタム文字列] をセット 251
手差しフィーダーに [カスタム紙種名] をセット 251
手差しフィーダーに [用紙サイズ] にセット 251
手差しフィーダーに [用紙タイプ] [用紙サイズ] にセット 252
用紙をセット
250 枚トレイ 41
550 枚トレイ 41
650 枚デュオトレイ 41, 45
厚紙 46
封筒 44, 46
手差しフィーダー 44
多目的フィーダー 46
OHP フィルム 46
レターヘッド紙をセットする
用紙の向き 51
ロック、セキュリティ 196

M

メンテナンスキット
注文 204
メンテナンスキットが低下しています [80.xy] 252
メンテナンスキットがほぼ低下しています [80.xy] 252
メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [80.xy] 252

選択したトレイの用紙でコピーする 72
手差しフィーダー
用紙をセット 44
速度優先と枚数優先
使用 62
メモリ
プリンタに取り付けられたタイプ 196
メモリカード 25
設置 28
問題に対処する 263
メモリが満杯です [38] 252
メニュー設定
複数のプリンタに読み込む 227
メニュー設定ページ
印刷 39
メニュー
アクティブ NIC 131
AppleTalk 136
コンフィデンシャル印刷 139
コピー設定 149
カスタム名 129
カスタムスキャンサイズ 129
カスタム紙種 128
標準設定給紙源 121
図 119
一時データファイルの消去 140
E メール設定 162
FAX モード(アナログ FAX 設定) 153
FAX モード(FAX サーバー設定) 161
仕上げ 177
FTP 設定 167
ヘルプ 188
HTML 187
画像 188
IPv6 134
ジョブアカウント 181
その他 139
ネットワーク[x] 131
ネットワークカード 133
ネットワークレポート 132
用紙セット方法 127
用紙サイズ/タイプ 121
用紙の粗さ 124
用紙の重量 125
PCL Emul 184
PDF 183
PostScript 184
印刷設定 174

印刷品質 178
レポート 130
スキャン設定 171
セキュリティ監査ログ 141
日付/時刻を設定 141
セットアップ 176
SMTP セットアップメニュー 137
標準ネットワーク 131
標準 USB 136
代替サイズ 124
消耗品 120
TCP/IP 133
ユニバーサル設定 129
ユーティリティ 182
ワイヤレス 135
XPS 183
メッセージ
E メールオプション 86
その他のメニュー 139
モバイルデバイス
印刷 65
プリンタを移動する 10, 224
マルチ転送
プロフィールを追加する 22
セットアップ 22
多目的フィーダー
用紙をセット 46
個人ショートカット
概要 21

N

ネットワーク[x] メニュー 131
ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54] 253
ネットワークカードメニュー 133
ネットワークレポートメニュー 132
ネットワーク設定
内蔵 Web サーバー 225
ネットワーク設定ページ
印刷 40
ネットワークガイド
入手先 225
騒音レベル 311
Lexmark の [color] [supply type] ではありません、『ユーザーガイド』を参照してください [33.xy] 253
不揮発性メモリ 196
消去 197
リソースのためにフラッシュメモリに十分な領域がありません [52] 253
通
知 311, 312, 313, 314, 315, 316

残りページ数
推定 202

O

オプションカード
設置 30
オプション
550 枚トレイ 32
650 枚デュオトレイ 32
ファームウェアカード 25
メモリカード 28
メモリカード 25
オプション、コピー画面
コピー元 78
フチ消去 80
余白移動 80
拡大縮小 78
オプション、タッチスクリーン
コピー 78, 79
E メール 86, 87, 88
Fax 110
FTP 116
注文
イメージングキット 204
メンテナンスキット 204
トナーカートリッジ 203
廃トナーボトル 204
原稿サイズ
E メールオプション 87
スキャンオプション 116
出力ファイルタイプ
変更 85
オーバーレイ
コピーオプション 80

P

ページ設定
E メールオプション 88
FAX オプション 110
スキャンオプション 117
用紙
特性 54
サイズの異なる、コピー 72
レターヘッド 56
プレプリント用紙 56
リサイクル 56, 190
保存 76
選択 55
保存 57
使用できない 55
ユニバーサルサイズ設定 41

給紙の問題に対処

紙づまりを取り除いてもメッセージ
が消えない 266

紙詰まり

防止 229

紙づまり、取り除く

[x] ページ紙づまり、正面ドアを開
いてください。[20y.xx] 238

[x] ページ紙づまり、正面ドアを開
きフューザーから用紙を取り除
いてください。[202.xx] 235

[x] ページ紙づまり、正面ドアを開
き両面印刷エリアから用紙を取
り除いてください。[23y.xx] 239

自動原稿フィーダーの上部カバ
ー 244

フューザーエリア 235

手差しフィーダー 242

多目的フィーダー 242

標準排紙トレイ 232

トレイ 1 240

トレイ 2 240

用紙セット方法メニュー 127

用紙節約

コピーオプション 80

用紙サイズ

設定 41

用紙サイズ/タイプ 121

用紙サイズ

プリンタでサポート 57

用紙の粗さメニュー 124

用紙タイプ

設定 41

用紙タイプ

プリンタでサポート 59

セット場所 59

用紙の重さメニュー 125

用紙の重量

プリンタでサポート 59

部品

状況を確認する 202

確認、プリンタコントロールパネ
ル 202

確認、内蔵 Web サーバーを使用
する 202

純正 Lexmark を使用する 202

PCL メニュー 184

PDF メニュー 183

個人 ID 番号方式

使用 38

電話スプリッター 96

写真

コピー 70

コピーの区切りとしてセパレータ紙
を挿入する 75

PostScript メニュー 184

電源コードソケット 34

イーサネットネットワークでプリンタ
を設定する準備をする 36

プリントドライバ

ハードウェアオプション、追加 35

印刷が均一でない 278

印刷ジョブ

キャンセル、コンピュータから 68

印刷品質

原稿台ガラスを清掃する 201

開発者キットを交換する 218

イメージングキットを交換す
る 208

廃トナーボトルを交換する 204

印刷品質の問題に対処する

空白ページ 281

文字の端が角になっている 273

切り取られたページと画像 274

印刷後の背景がグレーにな
る 275

水平の線が印刷に表示され
る 275

印刷が均一でない 278

印刷が暗すぎる 279

印刷が明るすぎる 280

プリンタが真っ黒のページを印刷
する 282

印刷の問題を繰り返す 283

印刷に影の画像が表示され
る 283

歪んだ印刷 284

横の線が印刷に表示される 285

縦の線が印刷に表示される 286

トナーフォグまたは背景の網掛け
が印刷に表示される 287

トナーが摩擦ではがれ落ち
る 288

印刷にトナーのしみが表示され
る 288

OHP フィルムの印刷品質が悪
い 288

印刷の濃さが均一ではない 289

縦の線が印刷に表示される 289

印刷設定メニュー 174

印刷の問題に対処する

フラッシュドライブ読み取りエラ
ー 267

保持されたジョブが印刷されな
い 266

正しくない文字が印刷される 268

印刷の余白が正しくない 276

紙づまりが発生したページが再印
刷されない 265

ジョブが正しくないトレイから印刷
される 268

ジョブが正しくない用紙で印刷さ
れる 268

ジョブが印刷されない 270

大きなジョブが丁合印刷されな
い 269

多言語 PDF ファイルが印刷され
ない 269

用紙が巻いてしまう 277

頻繁な紙づまり 265

想定しているよりも印刷ジョブに
時間がかかる 271

印刷速度が低下する 270

トレイのリンクが動作しない 272

予期しない改ページが発生す
る 273

プリンタ 35

構成 11

最小スペース 10

モデル 11

移動 10, 224

設置場所を選択する 10

搬送 224

プリンタコントロールパネル

初期状態のデフォルト、復元 228

インジケータランプ 16

スリープボタンランプ 16

使用 14

プリンタコントロールパネル、仮想

ディスプレイ

内蔵 Web サーバーを使用す
る 225

プリンタハードディスク

廃棄 196

暗号化 198

ワイプ 198

プリンタハードディスクの暗号

化 198

プリンタハードディスクメモリ

消去 198

プリンタ情報

入手先 9

プリンタの IP アドレス

確認 18

何も印刷されないページがある 281

プリンタメッセージ

[Color] カートリッジ残り僅か [88.xy] 247

[Color] カートリッジほぼ残り僅か [88.xy] 247

[Color] カートリッジが非常に低下しています、推定残りページ [x] [88.xy] 247

[Type] イメージングキットが低下しています [84.xy] 259

[Type] イメージングキットがほぼ低下しています [84.xy] 259

[Type] イメージングキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [84.xy] 260

[x] ページ紙づまり、手差しフィーダーから用紙を取り除いてください。[251.xx] 242

[x] ページ紙づまり、多目的フィーダーから用紙を取り除いてください。[250.xx] 242

[x] ページ紙づまり、標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。[203.xx] 232

[x] ページ紙詰まり、自動フィーダー上部カバーを開いてください [28y.xx] 244

[x] ページ紙づまり、トレイ[x]を開いてください。[24y.xx] 240

色の調整 246

[給紙源]を[カスタム文字列]に変更 246

[給紙源]を[カスタム紙種名]に変更 246

Change [paper source] to [paper type] [paper size]. ([給紙源]を[用紙タイプ][用紙サイズ]に変更してください。) 246

ドアを閉じる 246

ジョブを再開する場合は原稿台のカバーを閉じ、原稿をセットしてください[2yy.xx] 247

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39] 247

構成変更、一部の保持されたジョブが復元されませんでした [57] 248

不良フラッシュが検出されました [51] 248

Disk full 62(ディスクが満杯です 62) 248

Disk must be formatted for use in this device(このデバイスで使用するにはディスクをフォーマットする必要があります) 248

USB ドライブ読み取りエラー USB を取り外してください 248

USB ハブ読み取りエラーハブを取り外してください 248

Incompatible tray [x] [59](互換性のないトレイ [x] [59]) 249

正しくない用紙サイズ、[給紙源]を開いてください [34] 249

トレイ [x] を挿入 249

メモリ不足のためフラッシュメモリデフラグ処理ができません [37] 249

メモリ不足のためジョブを照合できません [37] 249

メモリ不足のためリソース保存機能をサポートできません [35] 250

メモリ不足、一部の保持されたジョブが削除されました [37] 249

メモリ不足、一部の保持されたジョブが復元されません [37] 250

[給紙源]に[カスタム文字列]をセット 250

[給紙源]に[カスタム紙種名]をセット 250

[給紙源]を[用紙サイズ]にセット 250

[給紙源]を[用紙タイプ][用紙サイズ]にセット 251

手差しフィーダーに[カスタム文字列]をセット 251

手差しフィーダーに[カスタム紙種名]をセット 251

手差しフィーダーに[用紙サイズ]にセット 251

手差しフィーダーに[用紙タイプ][用紙サイズ]にセット 252

メンテナンスキットが低下しています [80.xy] 252

メンテナンスキットがほぼ低下しています [80.xy] 252

メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [80.xy] 252

メモリが満杯です [38] 252

ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54] 253

Lexmark の [color] [supply type] ではありません、『ユーザーガイド』を参照してください [33.xy] 253

リソースのためにフラッシュメモリに十分な領域がありません [52] 253

見つからないか応答しない[color] カートリッジを取り付け直してください [31.xy] 254

Reload printed pages in Tray [x](トレイ [x] に印刷ページを再セットしてください) 254

故障したハードディスクを取り外してください [61] 255

梱包材を取り除いてください、[エリア名] 254

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください 254

[color] カートリッジを交換してください、推定残りページ 0 [88.xy] 254

[color] カートリッジを交換してください、プリンタリビジョンが一致しません [42.xy] 255

[type] イメージングキットを交換してください、推定残りページ 0 [84.xy] 255

ジョブを再開する場合は、すべての原稿を交換してください。 255

不良の [color] カートリッジを交換してください [31.xy] 256

不良の [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 256

ジョブを再開する場合は、詰まっている原稿を交換してください。 256

メンテナンスキットを交換してください、推定残りページ 0 [80.xy] 256

見つからない [color] カートリッジを交換してください [31.xy] 256

見つからない [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 256

見つからないまたは応答しない [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 254

見つからない廃トナーボトルを交換してください [82.xy] 257
サポートされていない [color] カートリッジを交換してください [32.xy] 257
サポートされていない [type] イメージングキットを交換してください [32.xy] 257
廃トナーボトルを交換してください [82.xy] 257
保持されたジョブを復元しますか? 257
Scanner automatic feeder cover open (スキャナ自動フィーダーのカバーが開いています) 257
Scanner disabled by admin [840.01] (管理者によってスキャナが無効にされています [840.01]) 257
スキャナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。 [840.02] 258
Scanner jam, remove all originals from the scanner [2yy.xx] (スキャナ紙づまり、原稿をすべてスキャナから取り除いてください [2yy.xx]) 258
Scanner jam, remove jammed originals from the scanner [2yy.xx] (スキャナ紙づまり、原稿をスキャナから取り除いてください [2yy.xx]) 258
SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 258
保持されたジョブが復元されませんでした 258
標準ネットワークソフトウェアエラー [54] 258
標準 USB ポートが無効です [56] 258
Supply needed to complete job (ジョブを完了するには消耗品が必要です) 259
取り付けられているフラッシュオプションが多すぎます [58] 259
挿入されているトレイが多すぎます [58] 259
未フォーマットのフラッシュが検出されました [53] 260

サポートされていない USB ハブ、取り外してください 248
廃トナーボトルがほぼ満杯です [82.xy] 260
Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 260
プリンタオプションの問題に対処する
内部オプションが検出されません 263
メモリカード 263
トレイの問題 264
プリンタの問題、基本的な解決 261
プリンタセキュリティ情報 199
印刷
白黒 61
キャンセル、プリンタコントロールパネルから 68
ディレクトリリスト 67
フォントサンプルリスト 67
用紙 61
モバイルデバイスから 65
フラッシュドライブから 63
Macintosh から 61
Windows から 61
速度優先と枚数優先 62
メニュー設定ページ 39
ネットワーク設定ページ 40
ディレクトリリストを印刷する 67
ドキュメントを印刷する 61
フォントサンプルリストを印刷する 67
メニュー設定ページを印刷する 39
ネットワーク設定ページを印刷する 40
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する
Macintosh コンピュータから印刷 66
Windows から 66
用紙を印刷する 61
フラッシュドライブから印刷する 63
モバイルデバイスから印刷する 65
白黒で印刷 61
マニュアル
入手先 9
プッシュボタン設定方式使用 38

Q

印刷品質メニュー 178
静音モード 191

R

受信者
E メールオプション 86
再生紙
使用 56, 190
リサイクル
Lexmark 梱包 195
Lexmark 製品 195
トナーカートリッジ 195
コピーの縮小 74
騒音を低減する 191
見つからないか応答しない [color] カートリッジを取り付け直してください [31.xy] 254
Reload printed pages in Tray [x] (トレイ [x] に印刷ページを再セットしてください) 254
残りページ、番号
推定 202
遠隔操作パネル
セットアップ 23
故障したハードディスクを取り外してください [61] 255
梱包材を取り除いてください、[エリア名] 254
標準排紙トレイから用紙を取り除いてください 254
印刷ジョブを繰り返し 65
Macintosh コンピュータから印刷 66
Windows から印刷 66
印刷の問題を繰り返す 283
[color] カートリッジを交換してください、推定残りページ 0 [88.xy] 254
[color] カートリッジを交換してください、プリンタリビジョンが一致しません [42.xy] 255
[type] イメージングキットを交換してください、推定残りページ 0 [84.xy] 255
ジョブを再開する場合は、すべての原稿を交換してください。 255
不良の [color] カートリッジを交換してください [31.xy] 256
不良の [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 256

ジョブを再開する場合は、詰まっている原稿を交換してください。 256
 メンテナンスキットを交換してください、推定残りページ 0 [80.xy] 256
 見つからない [color] カートリッジを交換してください [31.xy] 256
 見つからない [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 256
 見つからないまたは応答しない [type] イメージングキットを交換してください [31.xy] 254
 見つからない廃トナーボトルを交換してください [82.xy] 257
 サポートされていない [color] カートリッジを交換してください [32.xy] 257
 サポートされていない [type] イメージングキットを交換してください [32.xy] 257
 廃トナーボトルを交換してください [82.xy] 257
 レポート
 表示 226
 レポートメニュー 130
 印刷ジョブを戻す
 Macintosh コンピュータから印刷 66
 Windows から印刷 66
 解像度
 E メールオプション 87
 FAX オプション 110
 スキャンオプション 116
 解像度、FAX
 変更 107
 保持されたジョブを復元しますか? 257
 初期状態のデフォルトを復元する 228
 RJ-11 アダプタ 99

S

安全情報 7, 8
 ショートカットとして保存
 コピーオプション 79
 E メールオプション 86
 スキャンオプション 116
 用紙節約 76
 スキャンオプション
 ADF の傾きを調整 118
 カスタムジョブ 118
 濃さ 116

フチ消去 118
 ファイル名 116
 原稿サイズ 116
 ページ設定 117
 解像度 116
 ショートカットとして保存 116
 スキャンプレビュー 118
 送信形式 117
 送信ログ 117
 スキャンプレビュー
 スキャンオプション 118
 スキャンプレビュー
 FAX オプション 111
 スキャン画面
 詳細イメージング 118
 内容のソース 117
 内容の種類 117
 スキャン設定メニュー 171
 コンピュータへのスキャン
 セットアップ 115
 ネットワークへのスキャン
 セットアップ 23
 使用 112
 スキャンの問題に対処する
 コンピュータからスキャンできない 305
 文書または写真の一部しかスキャンされない 305
 スキャンジョブが失敗しました 303
 スキャナユニットが閉じない 293, 303
 スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする 303
 スキャナ
 自動原稿フィーダー(ADF) 13
 機能 12
 原稿台ガラス 13
 Scanner automatic feeder cover open(スキャナ自動フィーダーのカバーが開いています) 257
 Scanner disabled by admin[840.01](管理者によってスキャナが無効にされています [840.01]) 257
 スキャナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。[840.02] 258
 原稿台ガラス
 清掃 201
 使用してコピー 70

Scanner jam, remove all originals from the scanner [2yy.xx](スキャナ紙づまり、原稿をすべてスキャナから取り除いてください[2yy.xx]) 258
 Scanner jam, remove jammed originals from the scanner [2yy.xx](スキャナ紙づまり、原稿をスキャナから取り除いてください [2yy.xx]) 258
 スキャン
 フラッシュドライブから 115
 クイックコピー 69
 内蔵 Web サーバーを使用してコンピュータに 114
 コンピュータへのスキャン 115
 内蔵 Web サーバーを使用する 114
 フラッシュドライブにスキャンする 115
 FTP アドレスにスキャンする
 コンピュータを使用してショートカットの作成 112
 ショートカット番号を使用 113
 プリンタコントロールパネルを使用する 113
 ネットワーク上の保存場所にスキャンする 112
 電力モードの定期実行
 使用 194
 セキュリティ
 コンフィデンシャル印刷設定を修正する 67, 227
 セキュリティ監査ログメニュー 141
 セキュリティロック 196
 セキュリティロックポート 34
 セキュリティ設定情報
 消去 197
 セキュリティ Web ページ
 入手先 199
 プリンタの設置場所を選択する 10
 用紙を選択する 55
 送信形式
 E メールオプション 87
 スキャンオプション 117
 Fax を送信する 104
 プリンタコントロールパネルを使用して Fax を送信する 103
 プリンタコントロールパネルを使用して E メールを送信する 83
 Fax を送信
 ショートカットを使用 104

アドレス帳を使用する 105
Fax を予定時刻に送信する 105
セパレータ紙
 コピーオプション 80
日付/時刻を設定メニュー 141
設定
 用紙サイズ 41
 用紙タイプ 41
 TCP/IP アドレス 133
ハイバネートタイムアウトを設定する 193
FAX 番号の設定 102
送信 FAX 名の設定 102
ユニバーサル用紙サイズを設定する 41
E メールアラートをセットアップする 225
Fax の設定
 国または地域固有 99
 デジタル電話サービス 97
 DSL 接続 95
 標準電話回線接続 91
 VoIP 接続 96
FAX および E メール機能のセットアップ 300
セットアップメニュー 176
プリンタを搬送する 224
ショートカット、作成
 コピー画面 71
 E メール 82
 E メール画面 83
 Fax 宛先 106
 FTP アドレス 113
 FTP 宛先 112
ホーム画面のアイコンの表示 19
印刷面 (両面印刷)
 コピーオプション 78
[スリープ (Sleep)] ボタン
 プリンタコントロールパネル 14
スリープモード
 調整 192
SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 258
SMTP セットアップメニュー 137
保持されたジョブが復元されませんでした 258
標準ネットワークメニュー 131
標準ネットワークソフトウェアエラー [54] 258
標準トレイ
 用紙をセット 41

標準 USB メニュー 136
標準 USB ポートが無効です [56] 258
[スタート] ボタン
 プリンタコントロールパネル 14
揮発性に関する記述 196
部品の状況
 確認 202
消耗品の状況
 確認 202
保存
 用紙 57
 消耗品 200
印刷ジョブの保存 65
横の線が印刷に表示される 285
縦の線が印刷に表示される 286
件名と本文情報
 E メールへ追加 85
代替サイズメニュー 124
消耗品
 状況を確認する 202
 確認、プリンタコントロールパネル 202
 確認、内蔵 Web サーバーを使用する 202
 保存 200
 純正 Lexmark を使用する 202
 再生紙を使用する 190
消耗品メニュー 120
消耗品、注文
 イメージングキット 204
 メンテナンスキット 204
 トナーカートリッジ 203
 廃トナーボトル 204
Supply needed to complete job (ジョブを完了するには消耗品が必要です) 259
消耗品通知
 設定 226
サポートされているフラッシュドライブ 64

T

TCP/IP メニュー 133
通信に関する通知 315
スキナが応答しない 302
ヒント
 厚紙 54
 ラベル、用紙 53
 封筒を使用する 53
 レターヘッド紙で使用する 51
 OHP フィルム 53

封筒を使用する場合のヒント 53
レターヘッド紙を使用する場合のヒント 51
トナーカートリッジ
 注文 203
 リサイクル 195
 交換 216
トナーの濃さ
 調整 62
取り付けられているフラッシュオプションが多すぎます [58] 259
挿入されているトレイが多すぎます [58] 259
タッチスクリーン
 ボタン 16
送信ログ
 E メールオプション 88
 FAX オプション 111
 スキャンオプション 117
OHP フィルム
 コピー 70
 用紙をセット 46
 使用する際のヒント 53
トレイ
 リンク 48, 49
 リンク解除 48, 49
問題に対処する
 アプリケーションエラーが発生した場合 306
 内蔵 Web サーバーを開けない 306
 応答しないプリンタを確認する 261
 カスタマサポートに問い合わせる 307
 カラー印刷についてのよくある質問 290
 FAX および E メール機能がセットアップされていない 300
 基本的なプリンタの問題を解決する 261
 スキナが応答しない 302
対処、色品質
 印刷色とコンピュータ画面の色が一致しない 292
 印刷が薄く見える 293
 カラー OHP フィルムの印刷が投影時に暗く見える 292
問題に対処する、コピー
 コピー機が応答しない 293
 文書または写真の一部しかコピーされない 295

コピー品質が悪い 294
スキャンされたイメージの質が悪い 304
スキャナユニットが閉じない 293, 303
問題に対処する、表示
プリンタディスプレイがブランク 262
問題に対処する、FAX
発信者 ID が表示されない 296
FAX を受信できるが送信できない 299
FAX を送信できるが受信できない 299
FAX を送受信できない 296
受信した FAX の印刷品質が悪い 301
対処、給紙
紙づまりを取り除いてもメッセージが消えない 266
問題に対処する、印刷
フラッシュドライブ読み取りエラー 267
保持されたジョブが印刷されない 266
正しくない文字が印刷される 268
印刷の余白が正しくない 276
紙づまりが発生したページが再印刷されない 265
ジョブが正しくないトレイから印刷される 268
ジョブが正しくない用紙で印刷される 268
ジョブが印刷されない 270
大きなジョブが丁合印刷されない 269
多言語 PDF ファイルが印刷されない 269
用紙が巻いてしまう 277
頻繁な紙づまり 265
想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる 271
印刷速度が低下する 270
トレイのリンクが動作しない 272
予期しない改ページが発生する 273
対処、印刷品質
空白ページ 281
文字の端が角になっている 273
切り取られたページと画像 274
印刷後の背景がグレーになる 275

水平の線が印刷に表示される 275
印刷が均一でない 278
印刷が暗すぎる 279
印刷が明るすぎる 280
プリンタが真っ黒のページを印刷する 282
印刷の問題を繰り返す 283
印刷に影の画像が表示される 283
歪んだ印刷 284
横の線が印刷に表示される 285
縦の線が印刷に表示される 286
トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される 287
トナーが摩擦ではがれ落ちる 288
印刷にトナーのしみが表示される 288
OHP フィルムの印刷品質が悪い 288
印刷の濃さが均一ではない 289
縦の線が印刷に表示される 289
問題に対処する、プリンタオプション
内部オプションが検出されません 263
メモ리카ード 263
トレイの問題 264
問題に対処する、スキャン
コンピュータからスキャンできない 305
文書または写真の一部しかスキャンされない 305
スキャンジョブが失敗しました 303
スキャナユニットが閉じない 293, 303
スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする 303

U

ホーム画面を理解する 14
印刷の濃さが均一ではない 289
未フォーマットのフラッシュが検出されました [53] 260
ユニバーサル用紙サイズ
設定 41
ユニバーサル設定メニュー 129
トレイのリンク解除 48, 49

サポートされていない USB ハブ、取り外してください 248
USB ポート 34
プリンタコントロールパネル 14
ショートカット番号を使用
FTP アドレスにスキャンする 113
用紙とお気に入りを使用する 61
速度優先と枚数優先を使用する 62
電力モードの定期実行を使用する 194
ショートカットを使用
Fax を送信 104
アドレス帳を使用する
Fax を送信 105
タッチスクリーンのボタンを使用する 16
ユーティリティメニュー 182

V

印刷ジョブを確認 65
Macintosh コンピュータから印刷 66
Windows から印刷 66
縦の線が印刷に表示される 289
表示
レポート 226
FAX ログの閲覧 107
仮想ディスプレイ
確認、内蔵 Web サーバーを使用する 225
ボイスメール
セットアップ 91
ボイスオーバーインターネットプロトコル (VoIP)
FAX の初期設定 96
VoIP アダプタ 96
揮発性メモリ 196
消去 197
揮発性
記述 196

W

廃トナーボトル
注文 204
交換 204
廃トナーボトルがほぼ満杯です [82.xy] 260
Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 260

プリンタハードディスクのワイ
プ 198
ワイヤレスメニュー 135
ワイヤレスネットワーク
構成情報 36
ワイヤレスネットワーク設定
内蔵 Web サーバーを使用す
る 39
ワイヤレスセットアップウィザード
使用 37

X

XPS メニュー 183